

いち
櫟 ^{のき} 木 遺 跡 1区

(ICK-1)

V. 櫟木遺跡 1区

1. 調査の概要

調査は掘削機による表土除去作業から開始した。表土は40~50cm程度で、基盤は褐色~淡黄褐色の砂質土であった。

表土除去後、原ノ町遺跡と同様のグリッドを設定し、人力による掘削作業及び記録作業に入った。

櫟木遺跡の本格的な調査は今回が最初であり、調査対象地を便宜的に1区と呼称して調査を行った。対象地は支線水路予定地で、FG~FT-112~114グリッドにあたる。全体的に開墾時の削平を受けており、遺構の残存状態は良好とはいえなかった。

2. 遺跡の概要

水田下であり、40~50cmの耕作土直下には褐色~淡黄褐色の基盤面が存在し、遺構は基本的に暗褐色~黒褐色で検出された。遺構検出面は15.1~15.2mで、ほぼ平坦であった。検出した遺構は古墳時代~中世にかけての所産で、掘立柱建物、土壇、溝等を検出した。その大部分は遺物がほとんど出土せず、所属時期が限定できないものであった。以下、時代別による特徴を述べる。

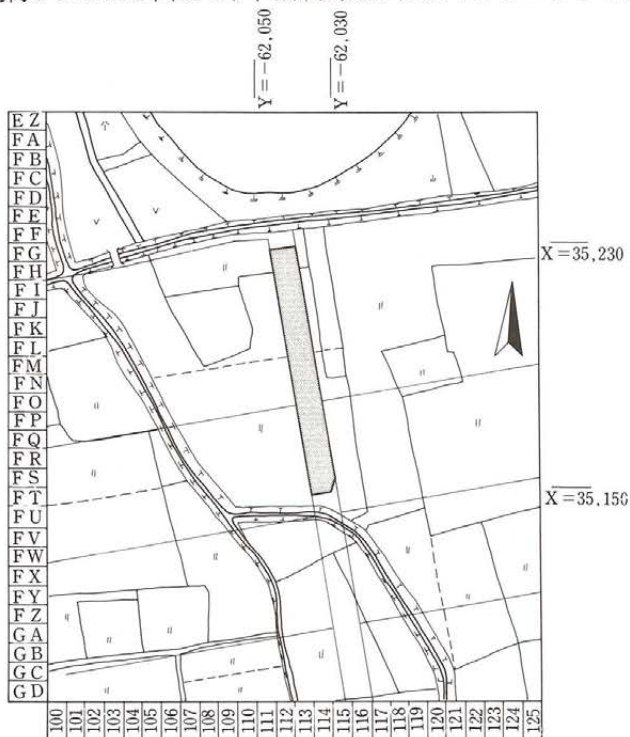


Fig.204 櫟木遺跡グリッド設定図 (1/2,000)

述べる。

古墳時代では掘立柱建物1棟と
竪穴住居の可能性のある遺構1基
を検出した。東高田遺跡で検出し
た集落の一部になる可能性がある。

奈良・平安時代では土壇1基、
溝1条がある。特にSK101からは遺
物がまとまって出土した。

中世では溝を1条検出している
のみであるが、調査区の南寄りに
検出している畑の畝状の痕跡は当
該期に含まれる可能性がある。

今回の調査は調査区の狭小さも
あって、遺跡の断片的な部分しか
明らかにできなかった。また、以
前には同じ櫟木遺跡から銅戈鋳型

が出土しており、同時期の遺構の検出に期待がもたれたが、達成し得なかった。

3. 調査の記録 - 1区 -

(1) 古墳時代の遺構と遺物

a) 掘立柱建物

調査区の南寄りに1棟検出した。出土遺物がなく時期が限定できないが、建物の規模と、隣接する東高田遺跡の状況から判断して、ここでは古墳時代の建物として報告しておく。

S B105掘立柱建物 (Fig.206)

FP・FQ-113グリッドで検出した。検出面の標高は15.1m。SD106に切られる。2×1間の建物で、桁行2.4~2.5m、梁行2.05~2.15mの規模を有する。主軸をN-15°-Wにとる。柱間は図示したとおり。柱穴掘方は円形に近く、その規模は径0.3~0.5m、深さ0.3~0.4m程度である。遺物は全く出土していない。

b) 不明遺構

S X104不明遺構 (Fig.207)

FO-113グリッドで検出した。検出面の標高は15.2m。遺

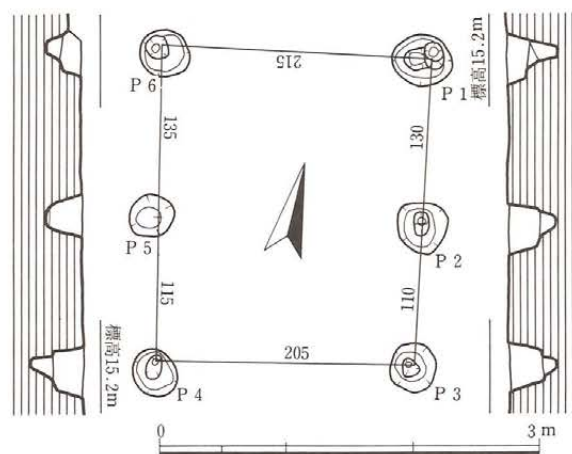


Fig.206 S B105掘立柱建物実測図 (1/60)

3. 調査の記録 (1区)

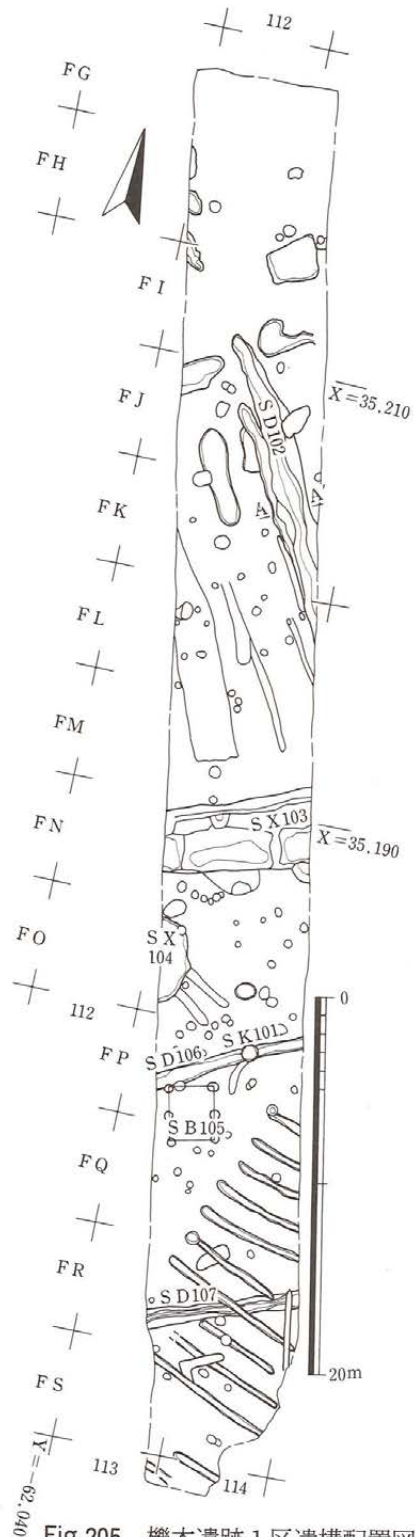


Fig.205 櫟木遺跡1区遺構配置図 (1/400)

V. 櫟木遺跡

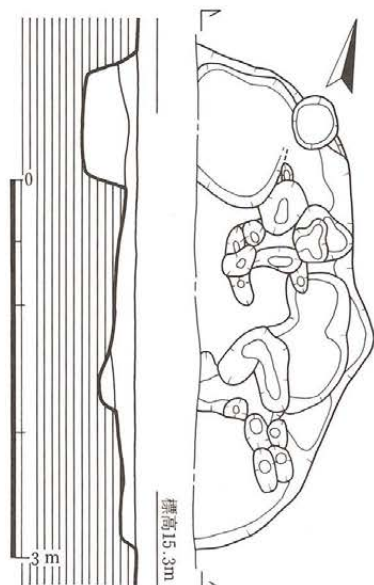


Fig.207 S X104不明遺構実測図 (1/60)

構の一部しか検出できておらず、その全貌は知り得ない。南北軸4.0m、深さ0.1~0.4m程度である。埋土の状態より竪穴住居の可能性はある。遺物は埋土中より須恵器、土師器が出土した。

出土遺物 (Fig.208)

蓋 (1・2) 須恵器。基本的に天井外面回転ヘラ削り、同内面ナデ、他は横ナデ調整。1は内面にヘラ記号有り。灰色。2は復元口径11.5cm、器高3.2cm。灰色。

坏 (3) 須恵器。復元口径11.2cm。底外面回転ヘラ削り、他は横ナデ調整。灰色。

甕 (4) 土師器。復元口径17.6cm。口縁部内面横方向のハケ目、体部内面ヘラ削り、外面縦方向のハケ目調整。褐色を呈する。

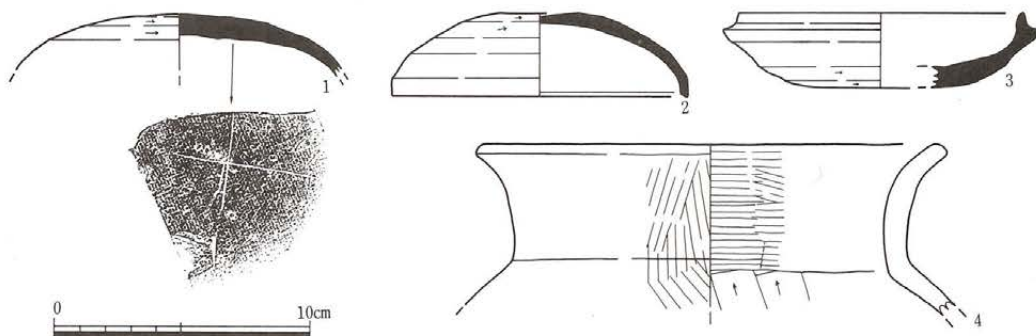


Fig.208 S X104不明遺構出土遺物実測図 (1/3)

(2) 奈良・平安時代の遺構と遺物

a) 土 壙

S K101土壙 (Fig.209)

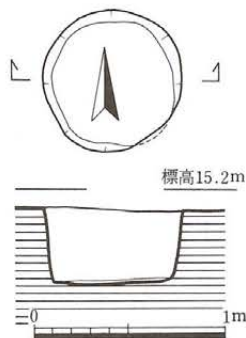


Fig.209 S K101土壙実測図 (1/40)

FP-114グリッドで検出した。検出面の標高は15.1m。SD106を切る。平面形は径0.75mのほぼ円形を呈し、深さ0.4mを測る。底面はほぼ平坦で、壁面は垂直に立ち上がる。埋土は2層に大別でき、上層が暗褐灰色土混じりの黄灰色砂質土、下層が淡灰色砂混じりの淡黄灰色砂質土であった。遺物は多く埋土中より土師器、黒色土器等がコンテナ1箱程度出土した。

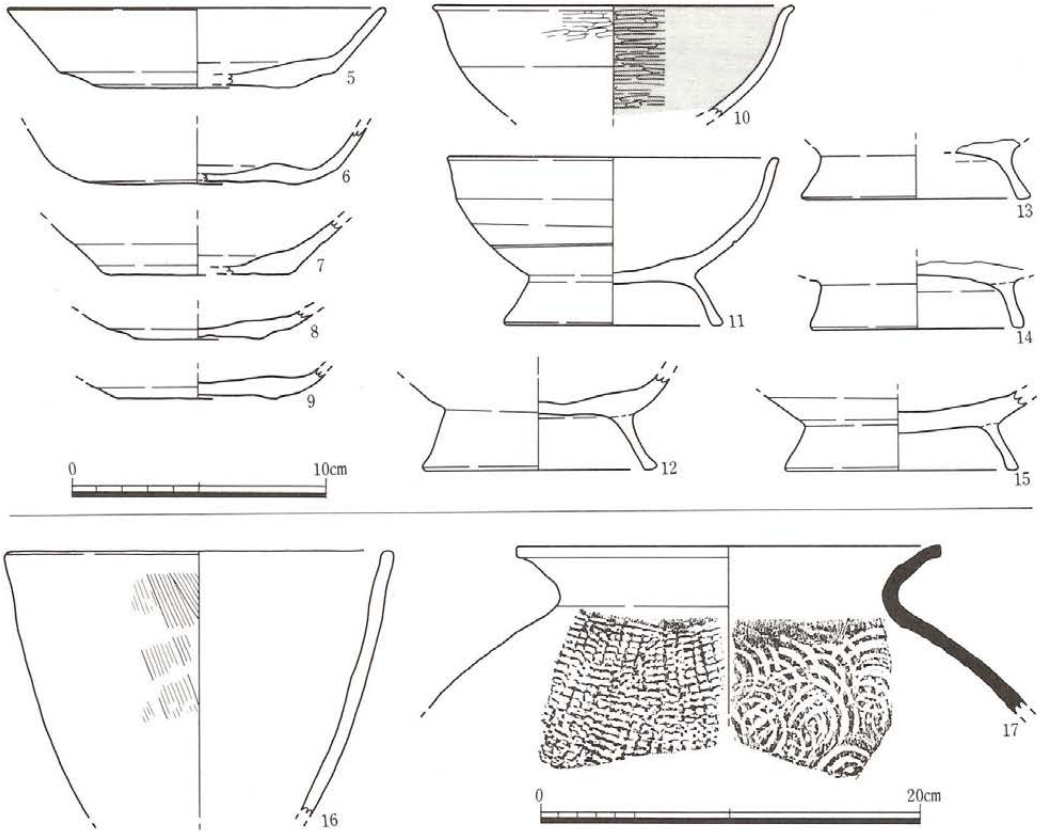


Fig.210 S K101土壙出土遺物実測図① (1/3・1/4)

出土遺物 (Fig.210)

坏 (5～9) 土師器。基本的に底部ヘラ切り、内底面ナデ、他は横ナデ調整。淡褐色～淡橙褐色を呈する。5は復元口径14.7cm、器高3.1cm。

鉢 (10～15) 10・15は黒色土器A類。10は復元口径14.2cm。内面から体部外面上半にかけてヘラミガキ、体部外面下半は回転ヘラ削り調整。内面黒褐色、外面褐色。15は高台部破片で復元高台径9.0cm。器面はナデ及び横ナデ調整。内面暗褐色、外面淡褐色。11～14は土師器。11は2/3以上が残存し、復元口径18.9cm、同高台径8.4cm、器高6.55cm。内面から体部外面上半にかけて、ヘラミガキ調整を行うと思われるが不明瞭。体部外面下半回転ヘラ削り、底外面ナデ、他は横ナデ調整。淡褐色。他は高台部破片で、基本的に器面はナデ及び横ナデ調整。すべて淡橙褐色を呈する。

鉢 (16) 土師器。復元口径20.0cm。内面ナデ、外面ハケ目後ナデ調整。淡褐色。

甕 (17) 須恵器。復元口径22.0cm。外面格子目タタキ調整、内面には同心円状の当て具痕を残す。焼成軟質で淡灰色を呈する。

V. 櫟木遺跡

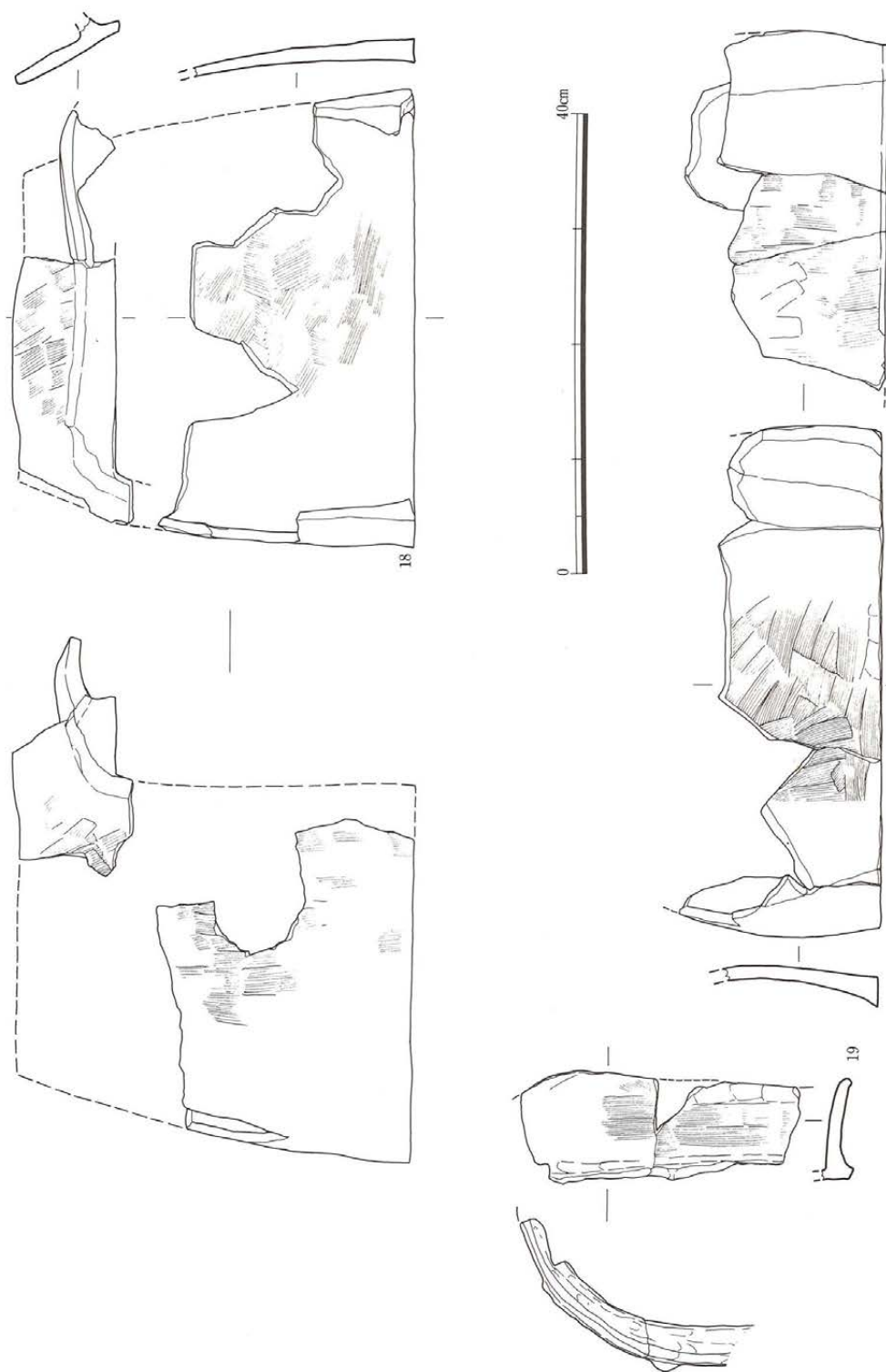


Fig.211 S K101土壙出土遺物実測図② (1/6)

3. 調査の記録（1区）

土製カマド（18・19） 18は頂部と底部で、おおよその全体形が想定できる。内面不定方向のハケ目、外面縦方向のハケ目調整。内面に環状に煤の付着が認められる。淡黄褐色。19は底部と底の破片で、内面不定方向のハケ目、外面縦方向のハケ目調整。褐色。

b) 溝

S D106溝

FR-113・114グリッドで検出した。検出面の標高は15.1m。SK101に切られる。東西方向に検出し、その延長は調査区外にある。幅0.5～0.7m、深さ0.1～0.2m程度である。断面形はU字形を呈する。埋土は暗褐色土であった。遺物は埋土中よりわずかに出土した。

出土遺物（Fig. 212）

坏（20・21） 土師器。20は復元口径11.6cm。底部へラ切り、体部内外面は横ナデ調整。橙褐色。21は高台付で復元高台径8.3cm。内面ナデ、外面横ナデ調整。淡褐色。

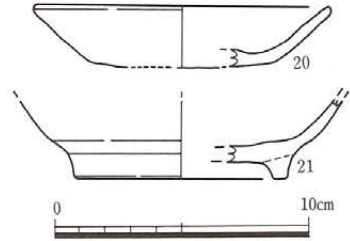


Fig.212 S D106溝出土遺物
実測図（1/3）

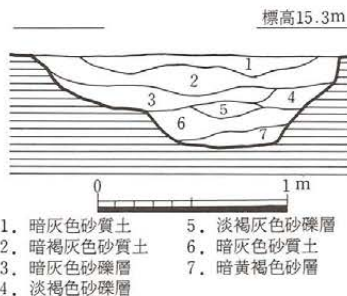
(3) 中世の遺構と遺物

明確に中世に属する遺構はSD102しか検出していないが、遺構検出面などで当該期の遺物をいくらか検出している。調査区の南側に存在する畑の畝状の痕跡は、その切り合い関係等より中世の所産である可能性がある。

a) 溝

S D102溝（Fig. 213）

FI～FL-112・113グリッドで検出した。検出面の標高は15.2m。北西、南東方向に検出し、北側は削平のため途切れているが、その延長は調査区外にあると思われる。幅1.0～1.7m、深さ0.1～0.4m程度である。断面は2段掘り状をなし、埋土は7層に大別できる。遺物は埋土中よりわずかに出土している。



1. 暗灰色砂質土
2. 暗褐色砂質土
3. 暗灰色砂礫層
4. 淡褐色砂礫層
5. 淡褐色砂礫層
6. 暗灰色砂質土
7. 暗黄褐色砂層

Fig.213 S D102土層断面図（1/40）

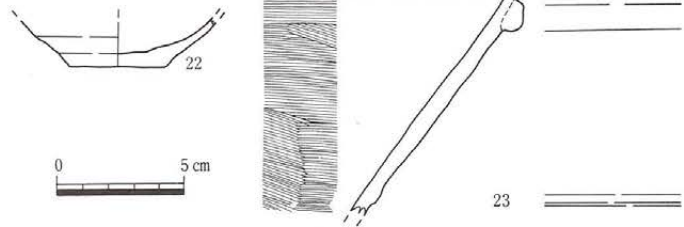


Fig.214 S D102溝出土遺物実測図（1/3）

V. 櫟木遺跡

出土遺物 (Fig.214)

坏 (22) 土師器。底部糸切りで、内外面横ナデ調整。淡褐色。

鍋 (23) 土師器。内面横方向のハケ目調整。外面は煤付着のため調整不明瞭。内面褐色。

4. 小 結

2. 遺跡の概要でも触れたとおり、今回の調査は調査区の狭小さもあり、遺跡の断片的な部分しか明らかにすることができなかった。検出した遺構は古墳時代～中世にかけての所産で、確実な住居関連遺構は、古墳時代に属すると考えられる掘立柱建物1棟であった。他時期の検出遺構は土壇、溝等で、集落の周辺部にあたると思われる。出土遺物がわずかで、多くの遺構の所属時期が限定できなかった。その中でもSK101は、10世紀前半頃の比較的多くの遺物が一括で出土している。

また中世の遺構は溝しか検出しておらず、原ノ町遺跡、東高田遺跡（両者とも大型土壇を検出している）同様集落の周辺部しか検出できていない。しかし、平成3年度の東高田遺跡に隣接する宿野遺跡の調査では、中世の集落を中心とする遺構が検出されている。この周辺には、この他にも中世の集落が存在することが十分考えられ、今後の調査に期待がもたれる。

きた
北 宿 遺 跡 1区

(K S K—1)

VI. 北宿遺跡 1区

1. 調査の概要

(1) 遺跡の立地

北宿遺跡1区は佐賀市久保泉町大字下和泉字北宿に所在する。周辺は起伏の少ない地形で、南へ水田が広がっている。水田には一段高くなった畑地が点在する。これら畑地部分に遺存する遺跡はあまり削平を受けておらず、遺構の残存状況が比較的良い。今回調査を行なった北宿遺跡1区はこのような畑地部分に存在していた。遺構検出面の標高は5.5mを測る。本調査区の東約250mの地点には、方形区画溝（一辺40~70m）を伴う中世居館跡が検出された本村遺跡1~6区が所在する。

(2) グリッド設定

遺構面まで掘削後、5m方眼を単位とするグリッドの設定を行なった。グリッドは国土座標系第II系を基準とし、 $X=33^{\circ}900$ 、 $Y=-61^{\circ}420$ の交点を始点として、そこから南にAA、AB、AC…、東に1、2、3…、と名称を与え、各グリッドについてはAA-1、AB-1、AC-1のように表示することとした。発掘調査における遺構配置図の作成、遺構図の作成、調査報告書における遺構の説明等、すべて設定したグリッドに基づいて行なった。遺構番号は



Fig.215 北宿遺跡1区調査区位置図 (1/2,000)

100番台の番号を与えた。

2. 遺跡の概要

調査は機械力による表土除去作業から開始した。遺構検出面は表土から50～70cmのところ
存在した。検出面は褐色ないしは黄褐色土を基本とし、部分的に砂質土や粘質土へ変化して
いる。遺構埋土は僅かに粘性のある黒褐色土である。

調査区は東側や南側などで幾分攪乱を受けており、また遺構密度も比較的低い。遺跡は中世
～近世のものと考えられ、他時代の遺構・遺物は検出されていない。主要な遺構としては土壇・
掘立柱建物・溝等を検出した。

土壇は数基を検出したが、遺物を伴うものが非常に少なく、時期を決定できそうなものはS
K107だけである。中には柱穴の可能性をもつものもあったが、調査区が狭く全体形を把握でき
なかったことや柱痕跡を確認できなかったことなど、確証は得られなかった。

掘立柱建物はS B104（1間×3間）・S B109（1間×2間）の2棟を確認した。2棟は直接
の切り合い関係にあるが、その新旧関係は残念ながら確認できなかった。掘立柱建物は時期の
明確な遺構との切り合いがなかったが、柱穴からの出土遺物によりある程度時期を類推するこ
とができた。今回は2棟のみを掘立柱建物として認定した。他にもその可能性をもつものもあるが、
先にのべたような理由によって断定するには至らなかった。

溝は調査区の中央を弧状に延びている3条と調査区北部にある浅い1条、また調査区の南北
にあって平行に走行する溝を検出した。いずれも残存状況が非常に悪く、出土遺物もS D101及
び102から小片が数片出土しただけであった。今回は遺物の出土したS D101とS D102のみを報
告した。ただ、調査区の北部及び南部にあって平行に走る溝は、掘立柱建物の梁行方向とほぼ
平行に走行しており、建物との関連性が考えられる。ただし、溝は深い部分でも15cm程度と残
存状況が非常に劣悪で、出土遺物も殆どないため、溝と建物の関係については深く触れること
ができない。今回は可能性の指摘だけにとどめておく。

VI. 北宿遺跡

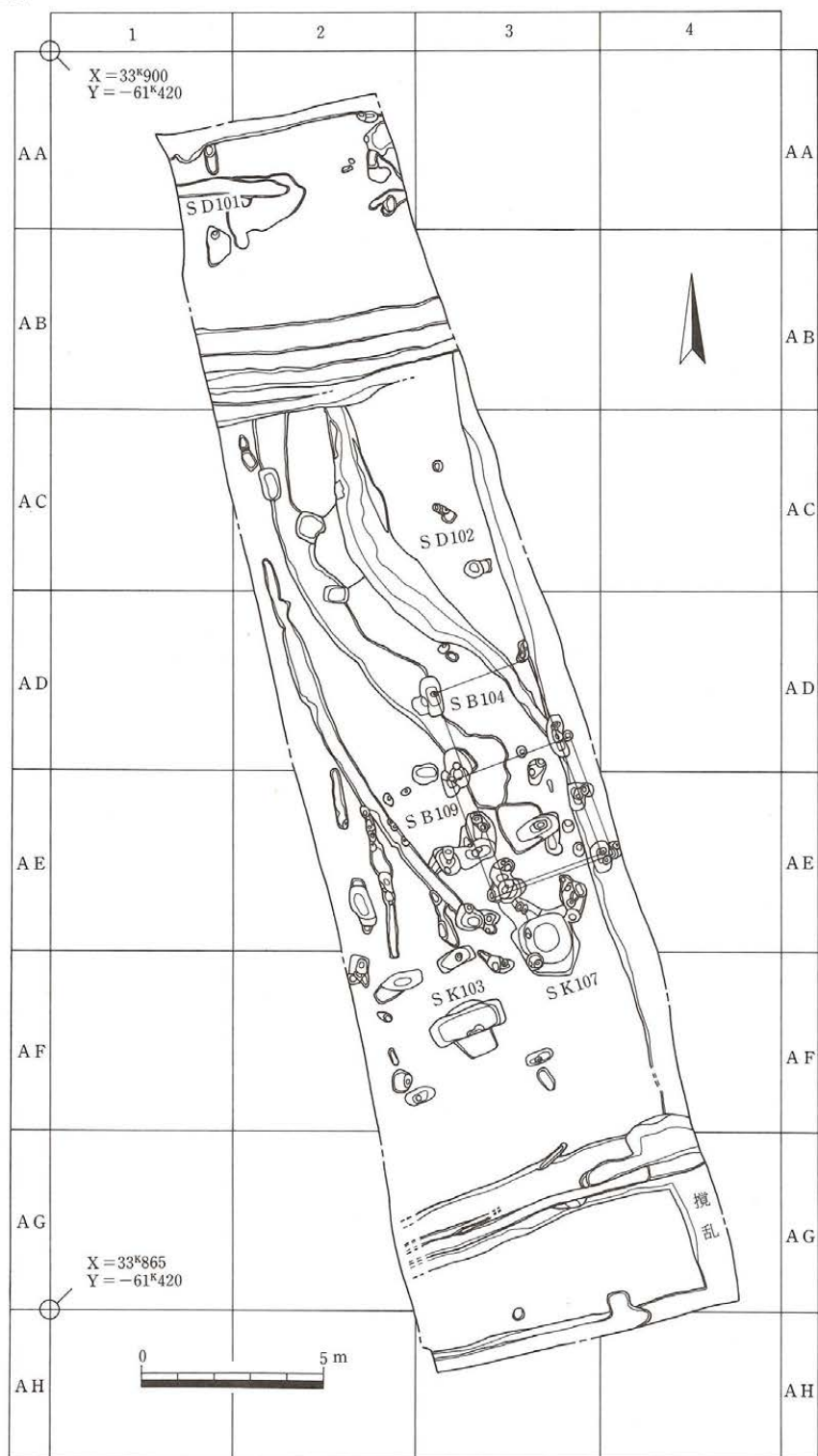


Fig.216 北宿遺跡 1 区遺構配置図 (1/200)

3. 調査の記録—1区—

(1) 遺構と遺物

a) 掘立柱建物

S B104掘立柱建物 (Fig.217)

AD-3、AE-3・4グリッドで検出した。SB109掘立柱建物・SD102溝と直接の切り合い関係にあるが、新旧関係は確認できなかった。東側桁行の柱穴は削平を受けており、一段低くなっている。検出面の標高は6.3~6.4mである。1間×3間の建物規模で、主軸をN-19°-Wにとる。梁行2.7m、桁行5.9mを測り、柱間寸法は図中のとおり。柱穴掘り方は長軸0.5~1.3mの隅丸長方形ないしは楕円形を基調とし、深さ0.1~0.6mを測る。ほぼ中央に段掘りされる

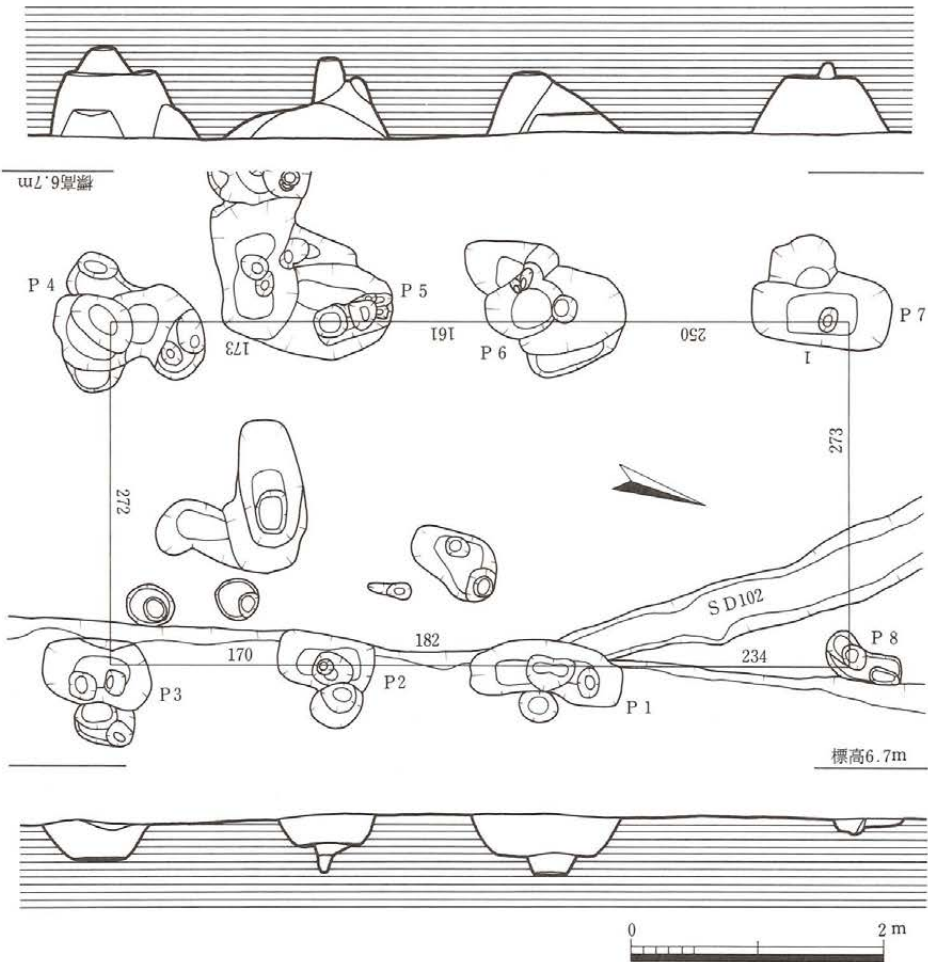


Fig.217 S B104掘立柱建物実測図 (1/60)

VI. 北宿遺跡

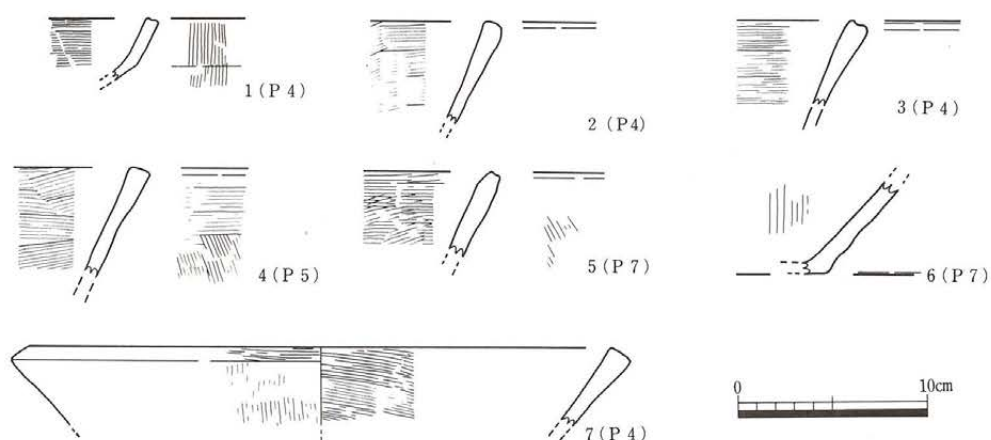


Fig.218 S B104出土遺物実測図 (1/4)

ものとされないものがある。柱穴は殆どが桁行方向にその長軸をとる。柱穴埋土はやや粘性を帯びた黒褐色土である。柱痕跡は確認できなかった。柱穴からの出土遺物は少ないが、P 7からは瓦質の播鉢などが出土している。

出土遺物 (Fig.218)

鍋 (1～5・7) すべて瓦質の鍋である。1はP 4出土。残存器高3.3cm。端部に横ナデ調整、内外器面にハケ目調整。外面下位に煤が付着する。褐色。2はP 4出土。残存器高5.4cm。端部に横ナデ調整、外器面にナデ調整、内器面にハケ目調整。橙褐色。3はP 5出土。残存器高4.5cm。端部に横ナデ調整、内器面にハケ目調整、外器面は調整不明。外器面には全面に煤が付着する。外面黒褐色、内面褐色。4は残存器高5.7cm。内外面ともにハケ目調整。灰褐色。5はP 7出土。残存器高4.5cm。端部に横ナデ調整、内面にハケ目調整。外面は不明瞭だがハケ目調整で、全面に煤が付着する。暗褐色。7はP 4出土。復元口径30.6cm、残存器高4.2cm。全面にハケ目調整。外器面はハケ目調整後にナデ調整。外面暗褐色、内面橙褐色。

播鉢 (6) P 7出土。残存器高4.5cm。外面上半部はハケ目調整後にナデ調整、下半部はナデ調整。内器面には粗い播目を有する。灰褐色。

S B109掘立柱建物 (Fig.219)

A D・A E-3、A E-4グリッドで検出した。S B104掘立柱建物と直接の切り合い関係にあるが、新旧関係は確認できなかった。東側桁行の柱穴は削平を受けており、一段低くなっている。検出面の標高は6.1～6.4mである。1間×2間の建物規模で、主軸をN-19°-Wにとり、S B104掘立柱建物と同一の建物方向である。先後関係は不明だが建て替えと考えられる。梁行3.46m、桁行3.5mを測り、ほぼ正方形の建物である。柱間寸法は図中のとおり。柱穴掘り方は

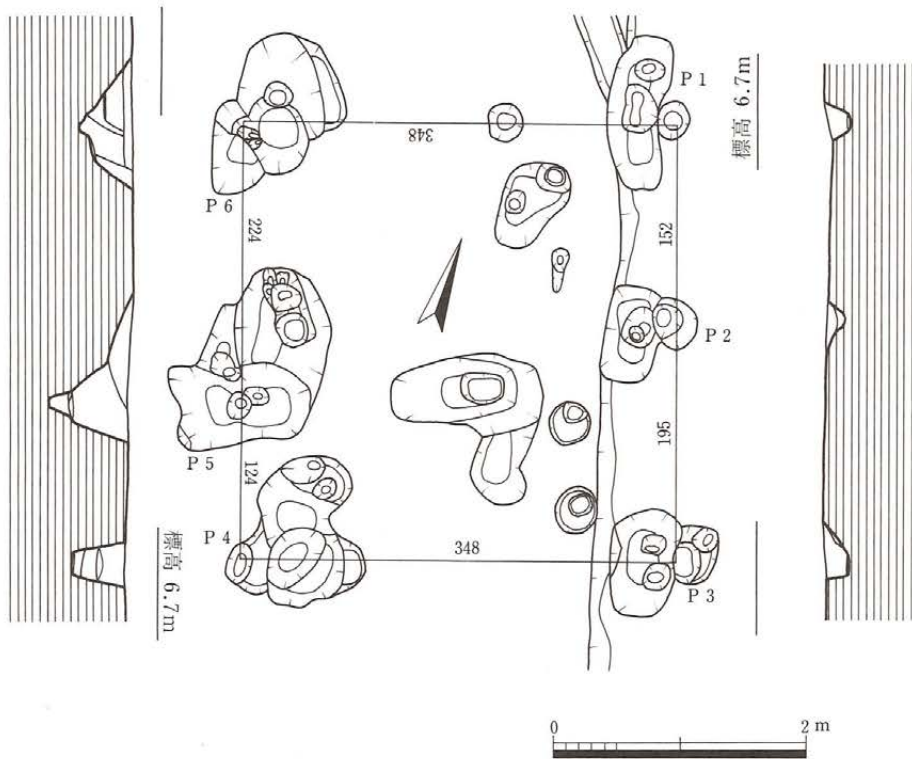


Fig.219 S B109掘立柱建物実測図 (1/60)

長さ0.3~1.0mの隅丸長方形、楕円形、円形を基調とし、深さ0.15~0.6mを測る。ほぼ中央に段掘りされるものとされないものがある。柱穴埋土はやや粘性を帯びた黒褐色土である。柱痕跡は確認できなかった。柱穴からは遺物は出土していない。

b) 土壌

S K107土壌 (Fig.220)

AE・AF-3グリッドで検出した。S K106土壌と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。また遺構南部において小穴に切られている。検出面の標高は5.5m前後である。平面形は直径1.4~1.9mの不整円形を呈し、深さ約0.75mを測る。遺構南部には平坦面を有する。遺構底面はほぼ平坦をなす。遺構埋土は黒褐色土の単層であった。土壌として報告したが井戸の可能性もある。遺物は少ないが、瓦質鍋片と土師器小皿が出土している。

出土遺物 (Fig.221、1・2)

鍋 (1) 瓦質の鍋。残存器高8.0cm。端部に横ナデ調整、内外面にハケ目調整。内器面はハケ目調整後にナデ調整。褐色。

VI. 北宿遺跡

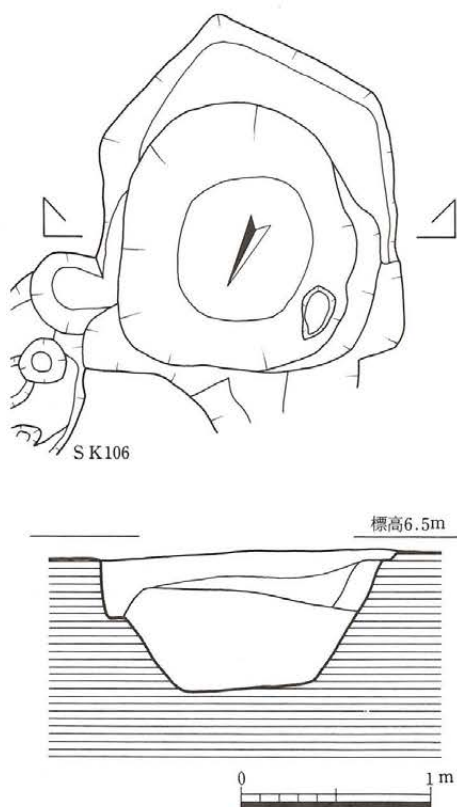


Fig.220 SK107土壌実測図 (1/40)

小皿(2) ほぼ完形。口径6.1cm、底径2.8cm、器高1.75cm。体部内外面及び内底にナデ調整。底部は糸切り離し。淡橙褐色。

c) 溝

SD101溝 (Fig.216)

AA-1・2グリッド検出した。西部が調査区外にあるため完全に検出できなかった。検出長3.1m、幅0.5mを測る。上面がかなり削平されているためか、深さは5cm程度とかなり浅い。埋土は黒褐色土であった。遺物は鍋の破片が出土している。

出土遺物 (Fig.221)

鍋(3) 残存器高4.5cm。外面に横ナデ調整、内面にハケ目調整。口縁部は肥厚する。褐色。

SD102溝 (Fig.216)

AC-2・3、AD-2・3グリッドで検出した。北部は攪乱により消失する。南部ではSB104と切り合うが、新旧関係は確認できなかった。検出長約11m、幅0.5~1.5m。断面は逆台形状をなし、深さは10cm程度である。遺構

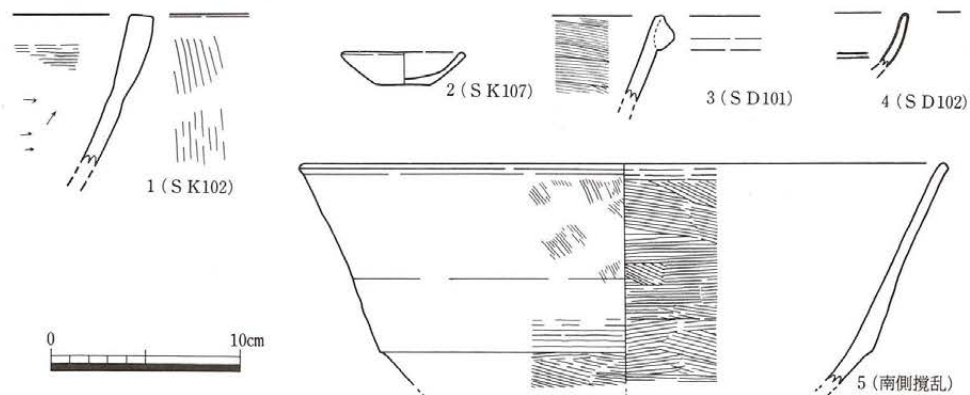


Fig.221 SK107・SD101・SD102ほか出土遺物実測図 (1/4)

埋土は黒褐色土。遺物は殆どない。

出土遺物 (Fig. 221)

青磁碗（4） 残存器高2.9cm。灰色の胎土に暗緑色の釉がかけられる。内面には2条の平行線文が施文される。

(2) その他の出土遺物 (Fig. 221)

鍋（5） 調査区南部攪乱出土。瓦質の鍋である。復元口径33.6cm、残存器高11.7cm。端部に横ナデ調整。外器面は上半部がハケ目調整後にナデ調整、下半部はハケ目調整。内器面はハケ目調整。暗褐色。

4. 小 結

これまで北宿遺跡においては発掘調査は実施されたことがなく、今回の1区の調査が初めての調査であった。確かに北宿遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地として認識はされていたものの、その実態についてはまったく不明であった。周辺の遺跡においても、方形区画溝を伴う中世居館跡が検出された本村遺跡1～6区の調査が行なわれているだけである。

今回、調査を行なった北宿遺跡1区は調査面積が非常に狭く、遺構の残存状況も良好とはいえない。検出した遺構もごく僅かであり、遺跡の全体像を捉えることはできない。また、検出した遺構についても、その性格などを判断するにはあまりにも資料に乏しい。ここでは、周辺遺跡の状況を考慮して気づいたことを若干述べてみたい。

今回、最も明瞭に確認できた遺構は、掘立柱建物であろう。確実なものとしてSB104とSB109の2棟を報告した。他に掘立柱建物として可能性のあるものが存在することは「2. 遺跡の概要」においても触れたところであるが、ここでは先の2棟についてのみ触れることとする。検出した掘立柱建物2棟は直接の切り合い関係にあり、建物の主軸も同一である。おそらく建て替えられたものと考えられる。これらの建物の南北には、建物梁行方向と平行に走行する溝が存在している。建物は北溝と南溝のちょうど中間に位置している。

さて、今回の調査で検出したこれらの掘立柱建物及び溝を、本村遺跡1区の例と比較してみると、掘立柱建物の建物方位、溝の走行方位などは非常に近似していると考えられる。確かに、掘立柱建物の柱穴の形状、出土遺物、溝の埋土・形状などから考えて全く同時期のものとは考えられないし、本調査区と本村遺跡1区とは約250m程の距離を置いていることから考えると、同一の遺跡と断言はできない。しかし逆に、このような状況のなかで、建物・溝の方位が近似していることは、やはり集落を営むにあたって何らかの意識が働いていたことは指摘できると思われる。

VI. 北宿遺跡

今回の調査においては、周辺遺跡との関連性を確実に裏付ける資料は得られなかったものの、可能性をもつ資料は断片的ながら得ることができた。周辺における今後の調査例の増加に期待したい。

なん 宿 遺 跡 1区

(NSK-1)

VII. 南宿遺跡 4区

1. 調査の概要

(1) 遺跡の立地

南宿遺跡4区は佐賀市久保泉町大字下和泉字南宿・永屋に所在する。周辺地域は起伏の少ない地形で、なだらかに南へ下る水田が広がっている。一段高くなった畑が島状に点在しており、これまでの調査結果から判断すると、その殆どが盛土によって造られたものである。盛土の時期はその多くが近世以降と考えられる。このような畑地部分に遺存する遺構は、水田部分のそれに比べあまり削平を受けておらず、遺構の残存状況は比較的良好である。本調査区もこのような畑地部分に存在していた。

本調査区一帯は、地形的には複合扇状地の末端付近に位置するものと考えられ、遺構検出面の標高は5m前後である。本調査区の80m程北側には、平成元年度に調査を行なった南宿遺跡1～3区がある。また北東500mの地点には、方形区画溝（一辺40～70m）を伴う中世居館跡が検出された本村遺跡が1～6区が存在する。

(2) グリッド設定

遺構面まで掘削後、5m方眼を単位とするグリッドの設定を行なった。グリッドは国土座標系第II系を基準とし、 $X=33^{\circ}425$ 、 $Y=-61^{\circ}445$ の交点を始点として、そこから南にAA、AB、AC…、東に1、2、3…、と名称を与え、各グリッドについてはAA-1、AB-1、AC-1のように表示することとした。発掘調査における遺構配置図の作成、遺構図の作成、調査報告書における遺構の説明等、すべて設定したグリッドに基づいて行なった。遺構番号は400番台の番号を与え、多数検出した小穴などには4,000番台の番号を与えた。

なお、平成元年度に調査を行なった南宿遺跡は調査区を3分割し、北からI区、II区、III区に分割設定されているが、今後の調査の増加を考慮して、調査区名称を算用数字による表記に統一するものとする。したがって、南宿遺跡I・II・III区（NSK-I・II・III）は今後、南宿遺跡1・2・3区（NSK-1・2・3）とする。

2. 遺跡の概要

遺構検出面は表土から60～80cmのところ存在した。検出面は、上面から10～30cmは褐色土ないしは褐色砂質土が堆積しており、それより下面は淡黄褐色ないしは明黄褐色の砂質土へ変化している。検出面から1～1.5m程下位になると、青灰色粘土へと変わる。遺構埋土は僅かに粘性のある黒褐色土ないしは黒色土であり、時代差による遺構埋土の相違は識別できなかった。

遺跡は、弥生時代、古墳時代、平安時代の3時期にわたる複合遺跡で、遺構の遺存状況は比

較的良好である。この中で最も遺構密度の高かったものは、弥生時代の遺構であった。

弥生時代の主要な遺構としては、掘立柱建物2棟、井戸3基、土壇12基、円形周溝状遺構1基、柵列2条、溝1条が挙げられる。掘立柱建物は村徳永遺跡（F・G・H・J・K・L地区）等で検出されている建物と、柱穴の形状・規格などがほぼ同じものである。前回の調査では掘立柱建物は検出されておらず、南宿遺跡においては今回初めての調査例となった。井戸は3基と少なかったものの、出土遺物は比較的良好な状態で出土している。周溝状遺構は1基のみであるが、村徳永遺跡の検出例同様、掘立柱建物に切られている。また、内部にはこれと伴うような遺構は存在しなかった。柵列は同時存在のものと判断される2条がある。時期を断定するには至らなかったが、出土遺物から判断して弥生時代の遺構として報告した。

古墳時代の主な遺構は井戸2基のみである。遺物も少ないが、SE407井戸からは、木錘状の木製品がまとめて出土している。

平安時代の遺構としては、掘立柱建物2棟を検出している。この時期の他の遺構が検出されておらず、当該期の集落の内容については触れることができない。

今回の調査は、調査面積が狭く遺跡の全体像を掴むことはできなかったが、前回の調査では確認できなかった古墳時代の遺構・遺物及び平安時代の遺構・遺物の存在が確認できたことや、また、弥生時代の掘立柱建物の分布範囲が村徳永遺跡周辺にとどまらず、当地域にも及んでいたことを確認できたことは、貴重な成果であったといえる。

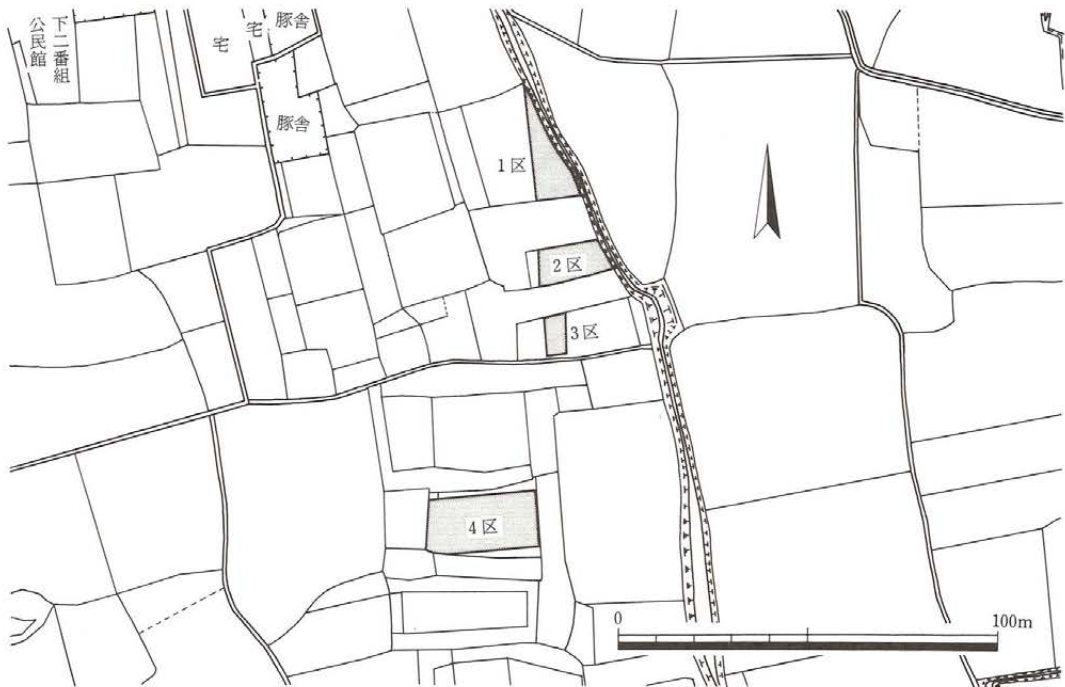


Fig.222 南宿遺跡調査区位置図 (1/2,000)

VII. 南宿遺跡

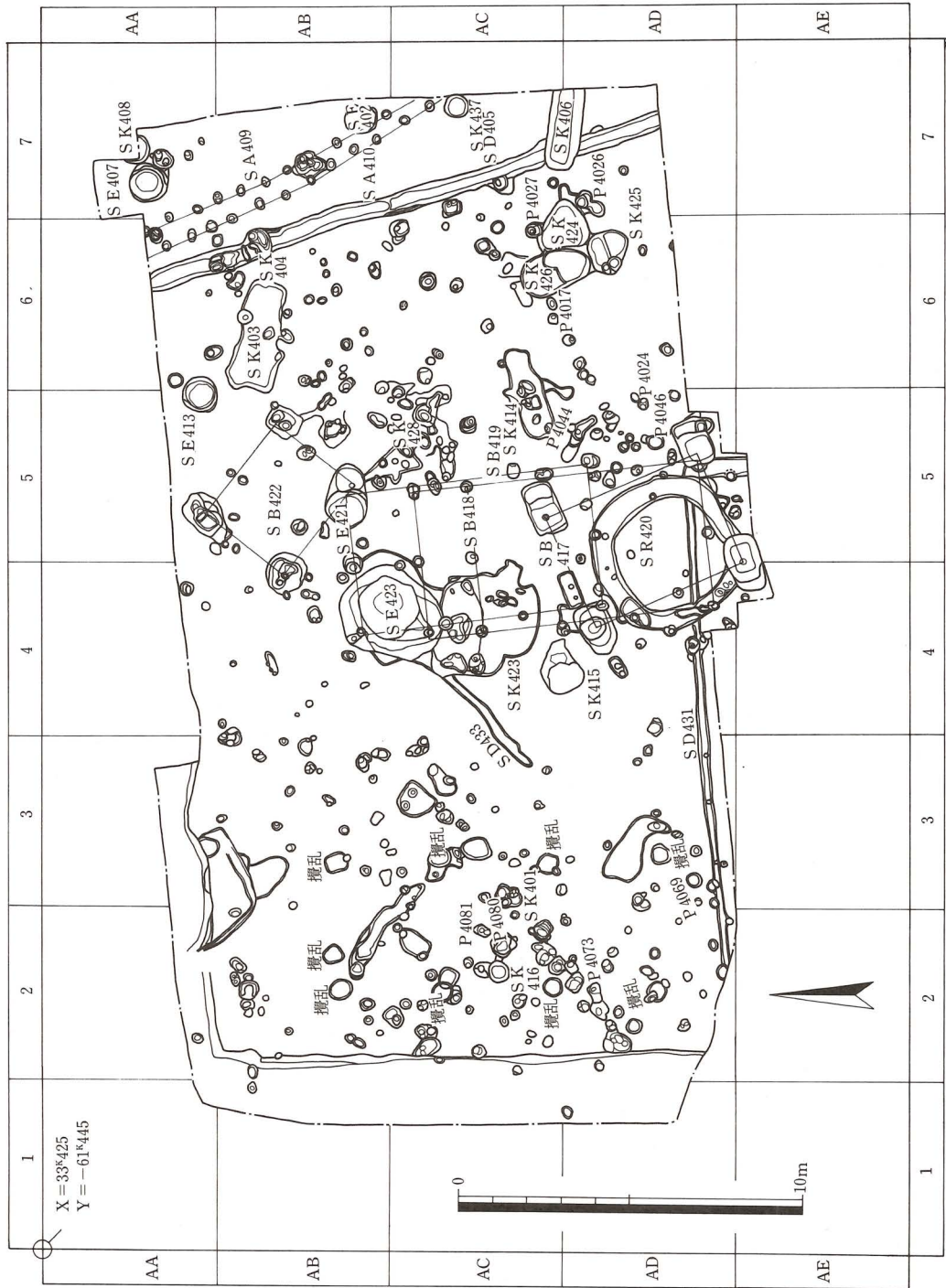


Fig.223 南宿遺跡 4区遺構配置図 (1/200)

3. 調査の記録 — 4区 —

(1) 弥生時代の遺構と遺物

a) 掘立柱建物

本調査区では弥生時代の掘立柱建物は、S B417とS B422の2棟が検出されている。

S B417掘立柱建物 (Fig.224)

A C-4・5、A D-4・5、A E-4・5グリッドで検出した。他遺構との切り合い関係は本遺構がS R420を切り、S D431・S B418・S B419に切られている。検出面の標高は4.9m前後である。1間×1間の建物規模で、主軸をN-23°-Wにとる。桁行0.47m、梁行は0.33mを測る。柱穴掘方は、平面形が長軸1.5~1.7m、短軸1.0mの隅丸長方形を基調としており、深さは0.9mを測る。段掘りにより掘り込まれており、P 1・P 2は掘り込みの東側にテラスが造り出されている。各柱穴は建物の梁行方向にその長軸をとる。柱痕跡はP 2以外では検出面で確認できた。柱材は柱痕跡から推定すると径約20cmの断面円形を呈していたと考えられる。柱穴埋土は図中に示したとおりだが、柱穴掘り込み後に柱を据えて、順次埋めていった状況が明らかに読み取れる。柱材そのものは検出されず、横木・枕木・礎板などが使用された痕跡も無かった。出土遺物はいずれも破片資料であるが、弥生土器甕・鉢・高坏・器台が出土している。

出土遺物 (Fig.225)

鉢 (1) P 3出土。復元口径11.0cm、残存器高2.3cm。器面調整は内外面ともに横ナデ調整。褐色を呈する。

器台 (2) 復元受部径9.6cm、残存器高6.2cm。器面調整は、外器面上位に横ナデ調整、外器面中位及び内器面上位に斜方向のハケ目調整を行なう。褐色を呈する。

高坏 (3) P 1出土。復元底径24.6cm、残存器高4.2cm。器面調整は、内外器面にハケ目調整、端部には横ナデ調整を行なう。淡褐色を呈する。

甕 (4・5) 4は胴部のみが残存である。残存器高14.6cm。器面調整は、外器面にハケ目調整、内器面は頸部に横ナデ調整、胴部上半にハケ目調整、胴部下半にナデ調整。内外面ともに淡褐色を呈する。また、胴部外面下半に黒斑を有する。5は平底の底部。P 4出土。復元底径13.6cm、残存器高3.3cm。外面には工具によるナデ調整、内面にはナデ調整。暗褐色。

S B422掘立柱建物 (Fig.224)

A A-5、A B-4・5グリッドで検出した。他遺構との切り合い関係は、弥生時代中期後半の井戸であるS E421を本遺構が切っている。また、S B419と切り合い関係にあり本遺構が切られていると考えられるが、遺構上面及び土層断面での確認はできていない。検出面の標高は4.9m前後である。1間×1間の建物規模で、主軸をN-51°-Wにとる。柱間寸法は図中のとお

VII. 南宿遺跡

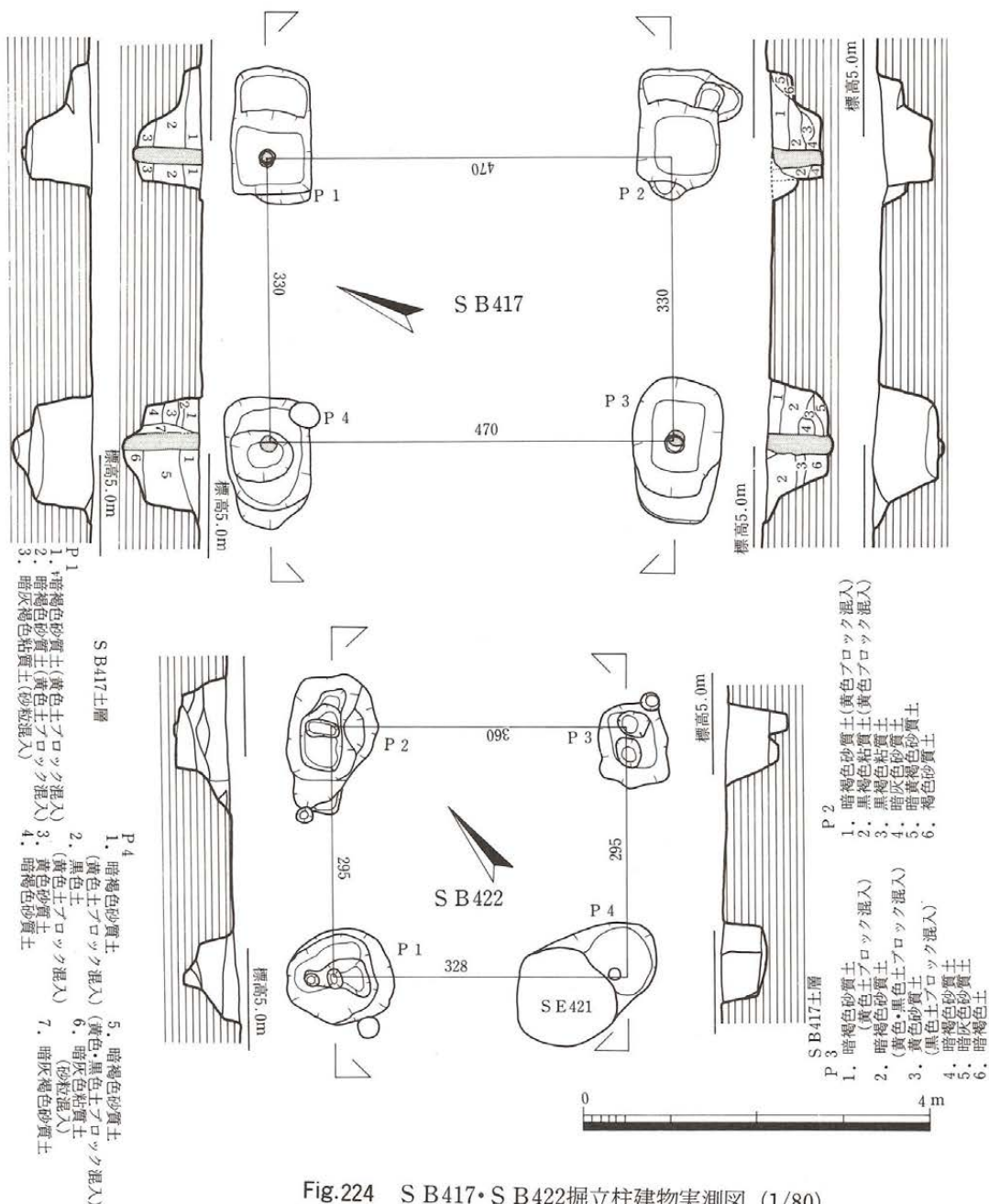


Fig.224 S B 417・S B 422掘立柱建物実測図 (1/80)

り。柱穴掘方の平面形は、径1.0~1.2mの不整円形ないしは長軸1.0~1.6m、短軸0.8~1.0mの不整長方形を呈している。柱穴の深さ0.6~0.8mを測る。平面形及び掘方形は、前述したS B 417ほど規格性に富んだものではない。当初、本遺構を土壌と誤認して調査を進めたため、P 1~P 3については柱痕跡及び土層の堆積状況についての精査が行なえなかった。ただ、P 4については辛うじてそれらの確認が行なえた。土層の堆積状況についてはFig.234を参照された

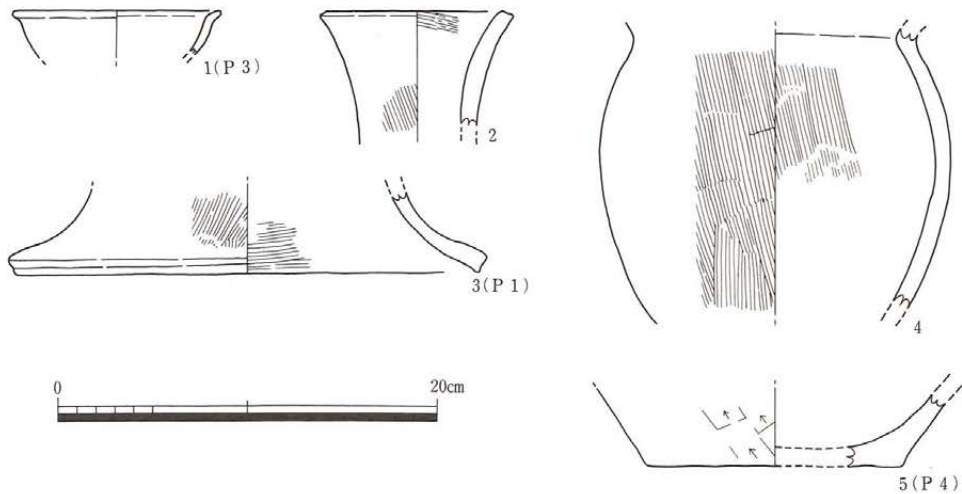


Fig.225 SB417出土遺物実測図 (1/4)

い。この掘立柱建物においても、SB417同様、柱材そのものは検出されず、横木・枕木・礎板などが使用された痕跡も無かった。出土遺物は土器細片で、図化可能なものは皆無であった。

b) 柵列

検出した柵列はSA409とSA410の2列のみである。両柵列の柱穴がほぼ交互に配されており、50~60cmの間隔を保ちながらほぼ平行に延びて交錯しないことから、同時存在のものとする。また、柱穴の出土遺物から考えて、弥生時代の柵列と判断した。

S A 409柵列 (Fig.226)

AA-6・7、AB-7、AC-7グリッドで検出した。SE402とSK411と直接の切り合い関係にある。SK411は本遺構に切られているが、SE402との新旧関係は確認することができなかった。また、SD405との切り合いも考えられるが、調査区外に存在するため確認はできなかった。検出面の標高は4.7~4.8mである。両端とも調査区外に延びており、検出できたのは10間分の柵列である。柱間寸法は図中のとおりである。柱筋はP6あたりでやや東に折れて南東方向に延びている。柱穴は0.2~0.3mの円形を基調とした平面形を呈し、深さ0.1~0.4mを測る。遺構埋土は黒褐色土で、柱痕跡等は確認できなかった。柱穴からの出土遺物はいずれも土器小片で、図化できるものはない。

S A 410柵列 (Fig.226)

AA-6、AB-6・7、AC-7グリッドで検出した。SK411と直接の切り合い関係にあ

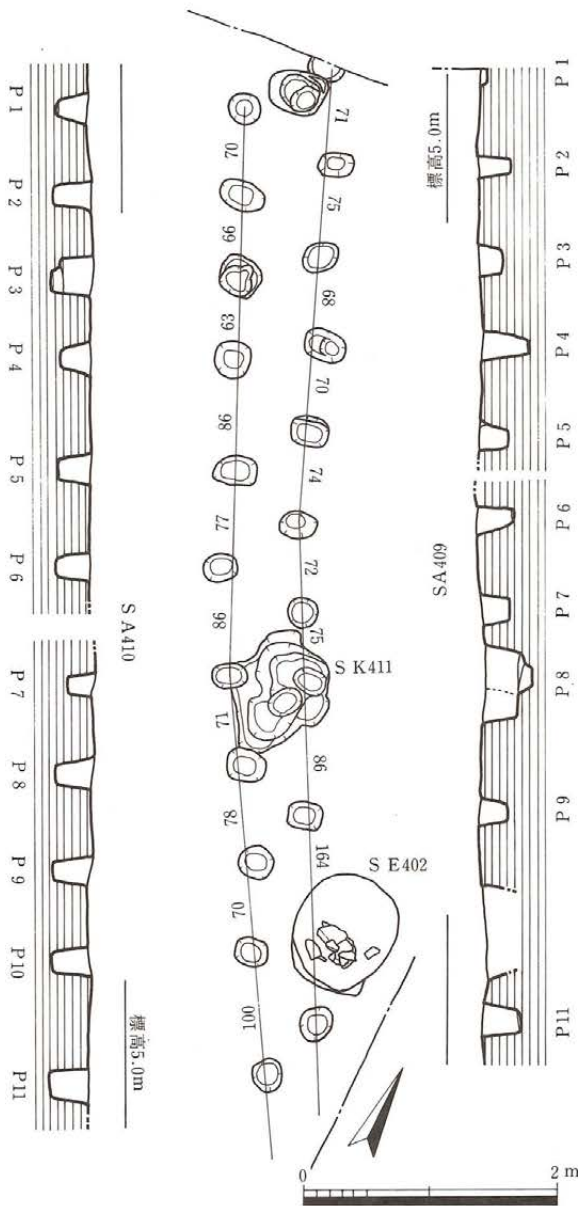


Fig.226 S A 409・410柵列実測図 (1/60)

り、本遺構が切っている。SD405との切り合いやSK437との重複が考えられるが、いずれも調査区外に存在するため確認はできなかった。検出面の標高は4.7~4.8mである。両端とも調査区外に延びており、検出できたのは10間分の柵列である。柱間寸法は図中のとおりである。柱筋はP7あたりでやや東に折れて南東方向に延びている。柱穴は0.2~0.3mの円形を基調とした平面形を呈し、深さ0.2~0.3mを測る。遺構埋土は黒褐色土で、柱痕跡等は確認できなかった。柱穴からの出土遺物は、弥生土器壺・甕片である。

出土遺物 (Fig.227)

壺(1) P11出土。複合口縁壺の頸部と考える。残存器高7.8cm。1条の三角突帯を有する。外器面は、上位にハケ目調整、突帯から下位にかけては横ナデ調整。内器面にはナデ調整。また、外器面には丹が全面に塗布されている。赤褐色を呈する。

甕(2・3) 2はP5出土。口縁部のみが残存である。復元口径31.6cm、残存器高4.4cm。器面調整は口縁部内外面に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。口縁部外面には煤の付着が認められる。褐色を呈する。3はP9出土。台付甕の底部と考える。復元底径9.8cm、残存器高5.2cm。外器面にはハケ目調整。内器面にはナデ調整を行ない、内底には指頭圧痕が認められる。台部分は、端部から外底にかけて横ナデ調整、外底にはナデ調整を行なう。褐色を呈する。

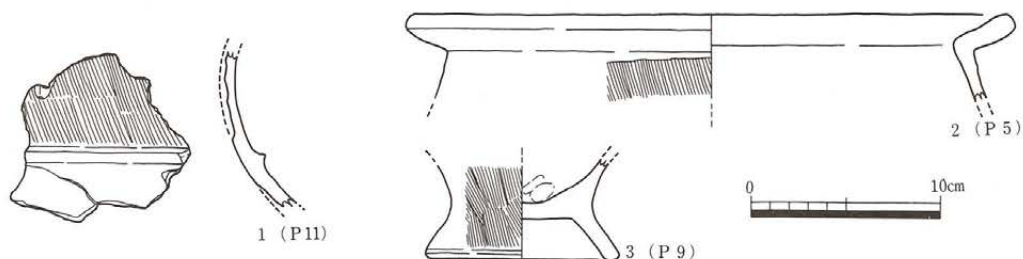


Fig.227 S A410出土遺物実測図 (1/4)

c) 周溝状遺構

SR420周溝状遺構 (Fig.228)

AD-4・5、AE-4・5グリッドで検出した。SB417・SB419・SD431と切り合い関係にあり、本遺構がすべて切られている。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は軸長約4.2mの隅丸方形形状をなし、溝幅0.5~0.8m、深さ0.2~0.3mを測る。周溝の断面形は逆台形状ないしは凸レンズ状を呈する。遺構埋土は上下2層に分層可能で、いずれも地山土の小ブロックが混入している。人為的な堆積状況も想定したが、確証は得られなかった。周溝内部にはこれに伴うような遺構は見受けられない。ただ、周溝外部には、周溝に沿って巡るような小穴がいくつか見受けられる。深さ約0.2m前後の円形の小穴であるが、本遺構に伴うかどうか

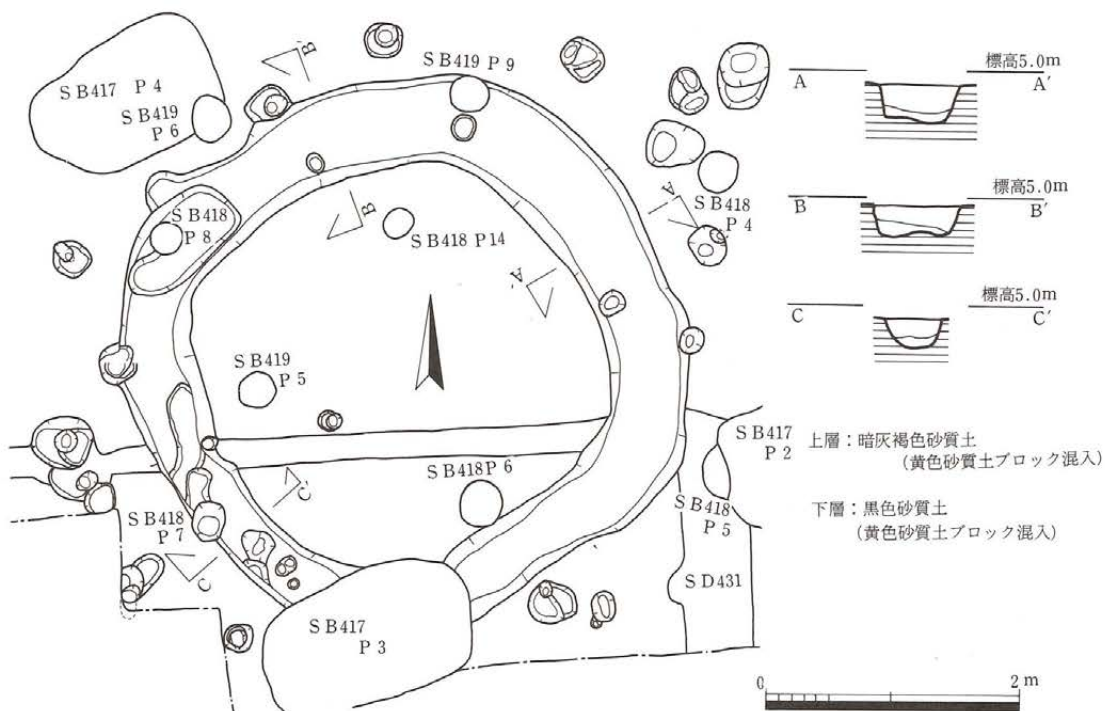


Fig.228 SR420実測図 (1/60)

VII. 南宿遺跡

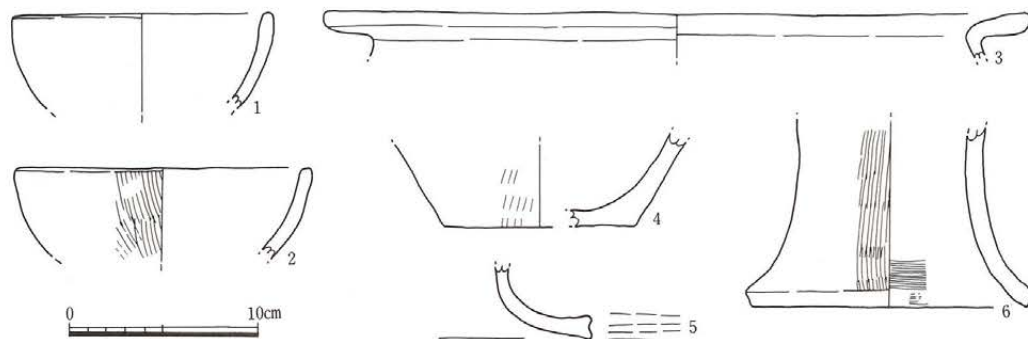


Fig.229 S R420出土遺物実測図 (1/4)

かは不明であり、可能性の指摘にとどめておく。出土遺物は、弥生土器甕・鉢・高坏などがある。

出土遺物 (Fig.229)

鉢 (1・2) 1は復元口径13.6cm、残存器高5.0cm。口縁端部内面から体部外面上半部にかけて横ナデ調整、他にはナデ調整。淡褐色を呈する。また、外器面下部に黒斑が認められる。2は復元口径15.5cm、残存器高4.8cm。口縁端部に横ナデ調整、外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。褐色を呈する。

甕 (3・4) 3は復元口径31.4cm、残存器高2.4cm。口縁部に横ナデ調整。頸部内面はハケ目調整をナデ消している。褐色を呈する。外器面には煤の付着が、また口縁部上面には黒斑が認められる。4は底部。復元底径10.2cm、残存器高4.4cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。外底にもハケ目調整が及んでいるがナデ消している。淡褐色を呈する。

高坏 (5) 脚部の破片資料である。残存器高3.9cm。端部には横ナデ調整。器面の磨耗により不明瞭であるが、外器面には縦方向のハケ目調整、内器面には横方向のハケ目調整を行なっている。淡褐色を呈する。

器台 (6) 復元裾部径14.6cm、残存器高9.5cm。外器面に縦方向のハケ目調整、端部に横ナデ調整、内器面下部に横方向のハケ目調整、内器面上部にはナデ調整を行なう。淡褐色。

d) 井戸

S E 402井戸 (Fig.230)

AB-7グリッドで検出した。SA409と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は4.7m前後である。平面形は直径0.8~0.9mの円形を基調としている。断面形は長方形に近い逆台形状をなし、深さは1.2mを測る。遺構埋土は黒褐色土であり、若干の粘性を帯びていた。土層断面図を作成することは叶わなかったが、掘り下げる過程においては異なる土層の堆積状況は窺えなかった。遺物は、検出面から0.3~0.5mの範囲に集中し

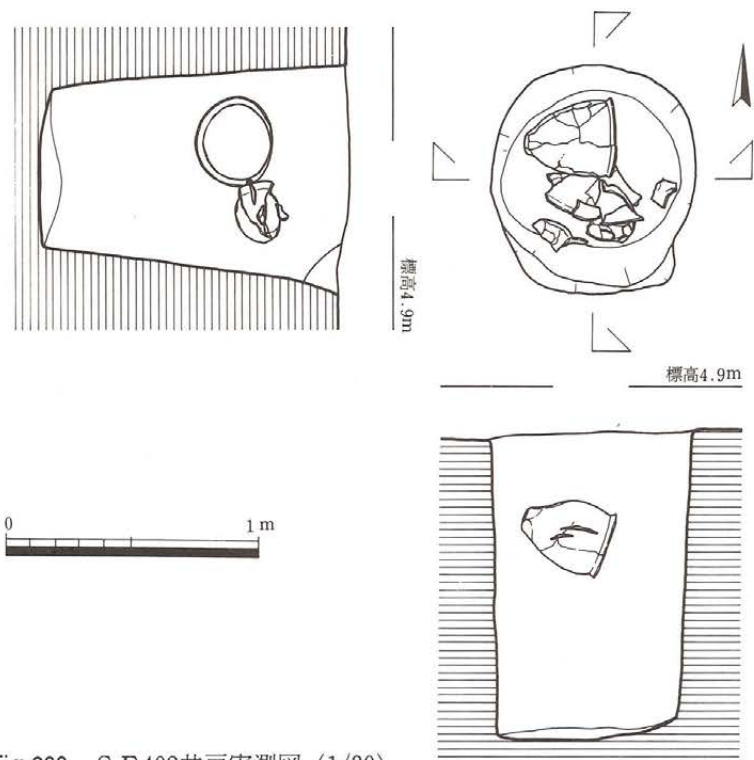


Fig.230 S E 402井戸実測図 (1/30)

ており、遺構の埋没過程において一括投棄されたものと判断した。なお、遺構底面からの遺物の出土は無い。出土遺物は、弥生土器甕・壺・高坏・器台などがある。

出土遺物 (Fig.231~233)

甕 (1~4・9) 1は復元口径21.6cm、残存器高11.6cm。口縁部には横ナデ調整、胴部には内外面ともにハケ目調整を行なう。外面褐色、内面暗褐色を呈する。2はほぼ完存の甕。口径27.6cm、底径8.9cm、器高33.0cm。口縁部にナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。褐色を呈する。3は復元口径34.6cm、残存器高6.2cm。口縁部外面に横ナデ調整、口縁部内面に横方向のハケ目調整、胴部外面に縦方向のハケ目調整、胴部内面にナデ調整。褐色を呈する。また、胴部外面の一部に黒斑を有する。4は復元口径24.6cm、底径8.0cm、器高24.7cm。口縁部には横ナデ調整を行なうが、口縁内面はハケ目をナデ消しているようである。胴部外面はハケ目調整。胴部内面は工具によるナデ調整か。底部外面にも横ナデ調整が行なわれている。暗赤褐色を呈する。9は復元口径27.4cm、残存器高42.5cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。

壺 (5・6) 5は袋状口縁壺。復元口径15.6cm、残存器高8.4cm。口縁部には横ナデ調整、頸部外面に縦方向のハケ目調整、内面にナデ調整。外器面には丹が全面に塗布されている。外

VII. 南宿遺跡

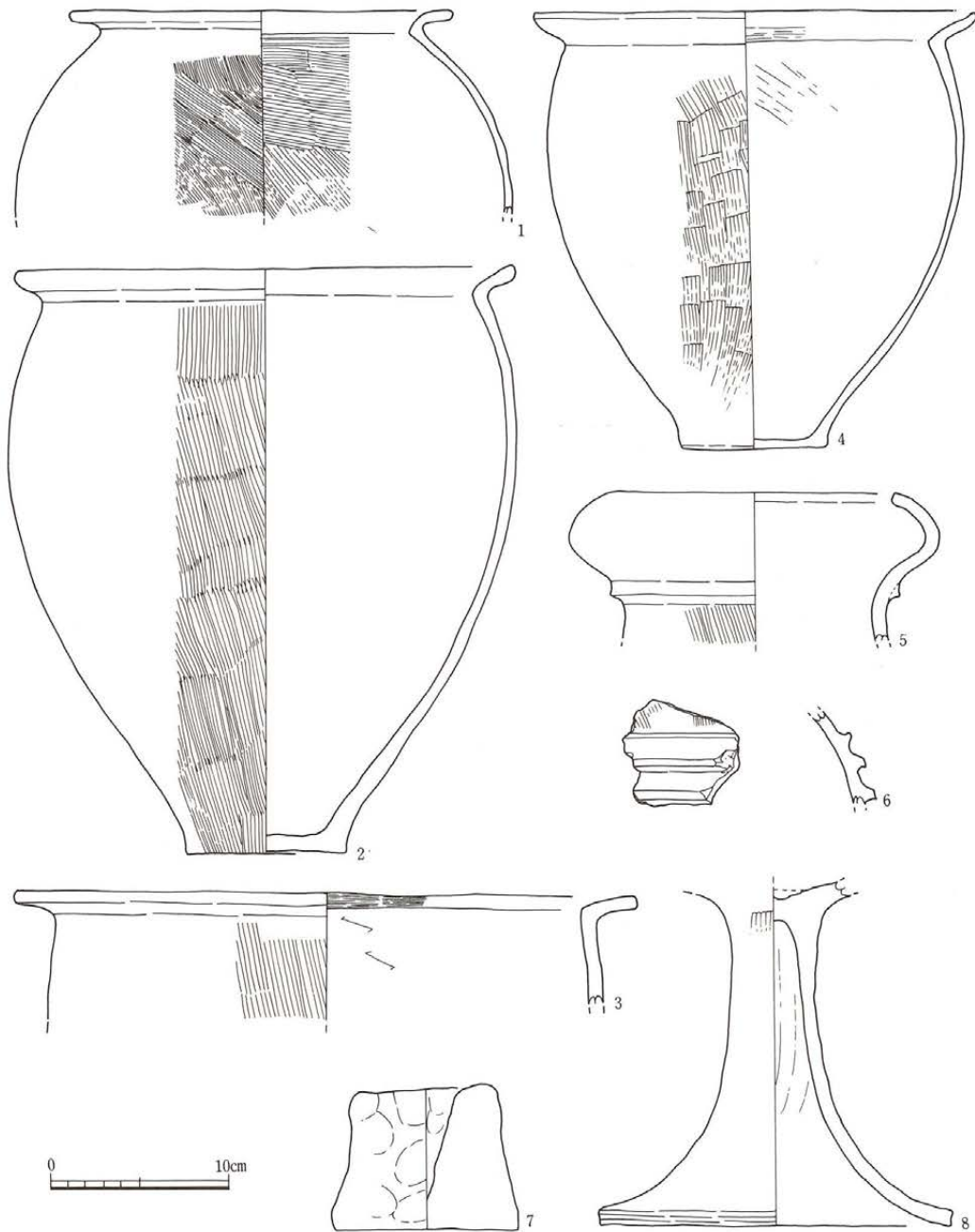


Fig.231 S E402出土遺物実測図(1) (1/4)

面赤褐色、内面淡赤黄褐色。6は胴部片。3条の突帯を有し、突帯上方にハケ目調整が認められる。外面には横ナデ調整、内面にはナデ調整を行なう。赤褐色を呈する。

器台(7) 完形である。受部径7.5cm、底径10.2cm、器高8.2cm。内外面ともにナデ調整を行ない、指頭圧痕が明瞭に残る。外面の一部に黒斑が認められる。褐色。

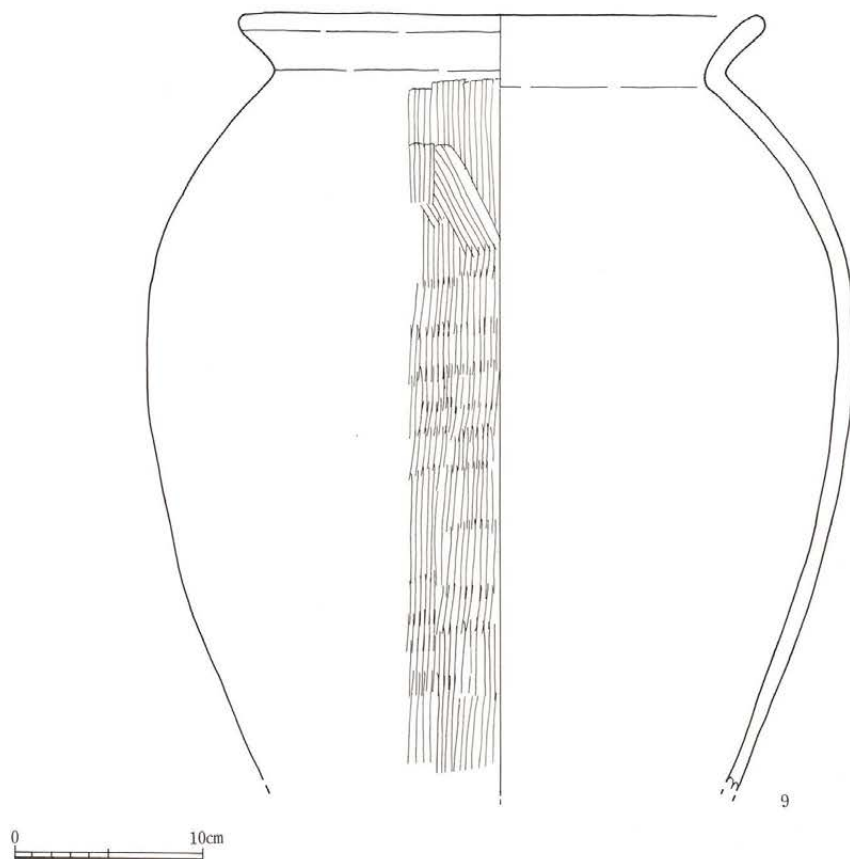


Fig.232 S E 402出土遺物実測図(2) (1/4)

高坏(8) 脚部のみが残存である。復元底径19.7cm、残存器高19.4cm。器面の磨耗が著しいが、脚部外面にヘラミガキ調整、内面にナデ調整と思われる。脚端部には横ナデ調整。坏部内面及び脚部外面上位に丹塗りの痕跡が認められる。赤褐色を呈する。

木製品(10・11) 10は杭材。残存長36cm、最大径3.7cm。先端部に面取りを行ない、先端を尖らせている。11は不明木製品。残存長19.2cm、最大幅13.3cm、最大厚2.5cm。板状をなし、表面全面に加工痕を明瞭に残している。また、一部は焼けて炭化している。

S E 421井戸 (Fig.234)

AB-5グリッドで検出した。SB418・SB422-P4と直接の切り合い関係にあり、いずれも本遺構を切っている。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は直径1.1~1.2mの円形を基調としている。深さは約1.2mを測り、遺構底面はほぼ平坦をなす。遺構埋土は4層に分層でき、堆積状況から判断して自然堆積によるものとする。遺物は各層から出土したが、底面付近(第8層)からの出土が顕著である。弥生土器甕・壺・鉢などとともに手斧の柄・自然

VII. 南宿遺跡

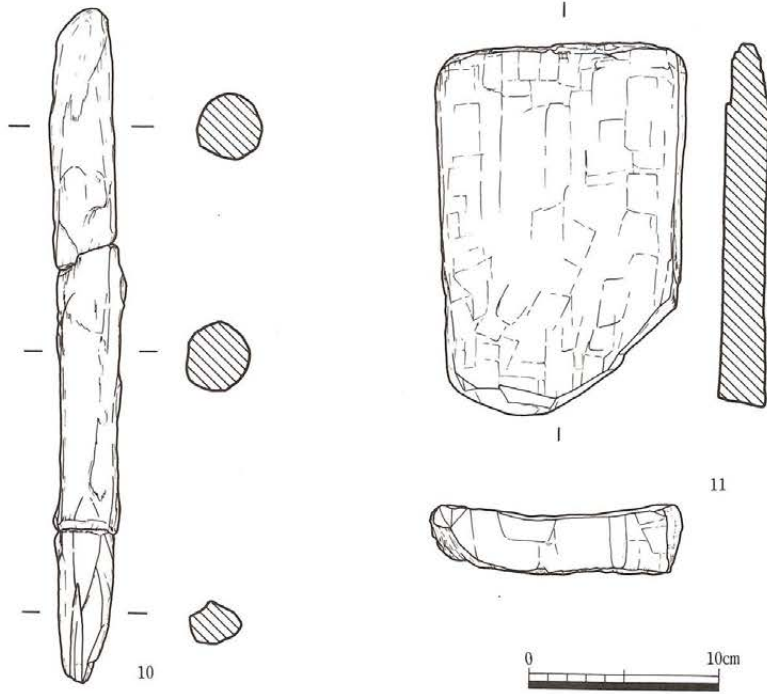


Fig.233 S E 402出土遺物実測図(3) (1/4)

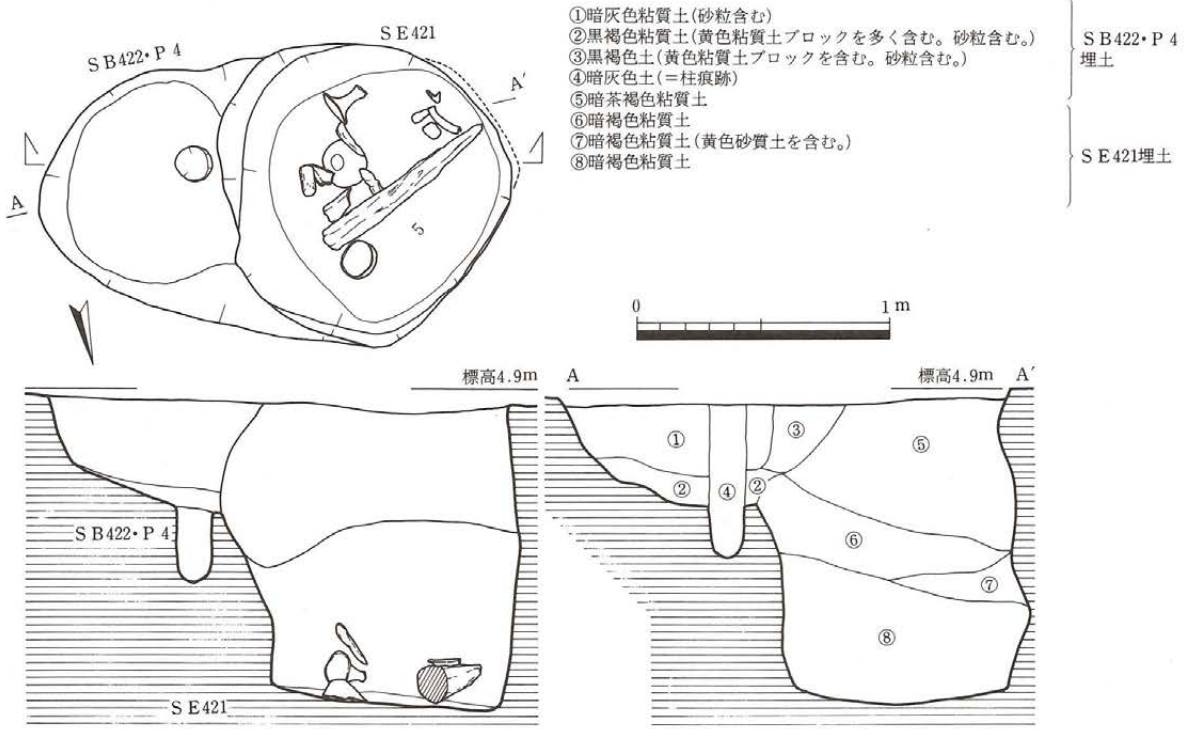


Fig.234 S E 421井戸実測図 (1/30)

3. 調査の記録 (4区)

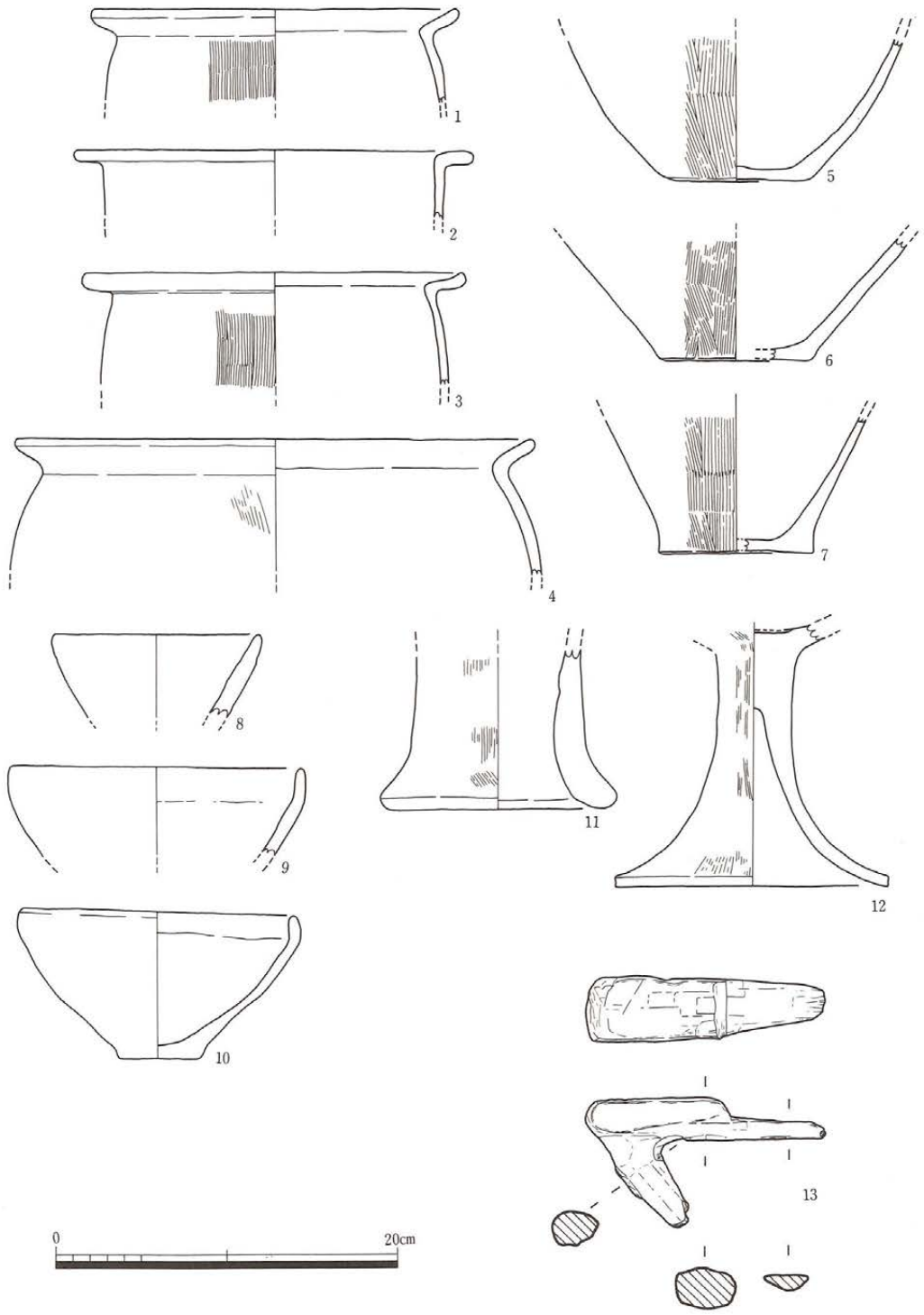


Fig.235 S E 421出土遺物実測図 (1/4)

VII. 南宿遺跡

木などが出土している。

出土遺物 (Fig.235)

甕(1~7) 1~4は口縁部。器面調整は基本的には口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にはナデ調整を行なう。1は復元口径21.4cm、残存器高5.3cm。褐色を呈する。2は復元口径23.0cm、残存器高3.9cm。胴部には内外面ともにナデ調整。黒褐色を呈する。3は復元口径22.2cm、残存器高6.6cm。褐色を呈する。4は復元口径30.4cm、残存器高7.9cm。胴部外面にはハケ目調整の後にナデ調整を行ない、ハケ目をナデ消している。褐色を呈する。5~7は底部。3点ともに外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なう。5は復元底径8.6cm、残存器高8.2cm。淡褐色。6は復元底径9.0cm、残存器高7.0cm。外底はナデ調整。暗褐色を呈する。7は復元底径9.0cm、残存器高7.9cm。淡褐色を呈する。

鉢(8~10) 8は復元口径12.0cm、残存器高5.0cm。端部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。9は復元口径16.8cm、残存器高5.1cm。口縁部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。外器面に黒斑を有する。外面褐色、内面淡褐色を呈する。10は完形品である。口径15.9cm、底径4.8cm、器高8.9cm。口縁部に横ナデ調整、体部外面及び外底にはナデ調整。体部内面は工具によるナデ調整と思われる。外器面には黒斑を有する。淡褐色を呈する。

器台(11) 復元底径14.0cm、残存器高9.0cm。外器面はハケ目調整をナデ消している。褐色を呈する。

高坏(12) 脚部のみが残存である。底径16.1cm、残存器高14.7cm。外器面には不明瞭ながらハケ目調整、内面下位にはハケ目調整をナデ消し、内面上位はナデ調整。内外器面ともに丹が塗布されている。

木製品(13) 手斧の柄であるが、握りの部分は欠損している。残存長14.4cm、最大幅3.9cm、最大厚2.5cm。比較的丁寧な加工が施されている。

S E 423井戸 (Fig.236)

AB-4・5、AC-4・5グリッドで検出した。SB418・SB419に切られ、SK432を切っている。SD433との新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は長軸約3.0m、短軸約2.5mの不整楕円形を呈し、深さは約1.4mを測る。素掘りの井戸で、井戸側などは存在せず、その痕跡もなかった。遺構埋土は黒褐色土を基調とする。遺物は全体から出土しており、特に集中しての出土は認められなかったが、調査遺構のなかでは最も多量に出土した。図化できたものは、弥生土器甕・壺・鉢・蓋・器台・高坏・ミニチュア土器などがある。

出土遺物 (Fig.237~239)

甕(1~23) 器面調整は基本的に口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面に

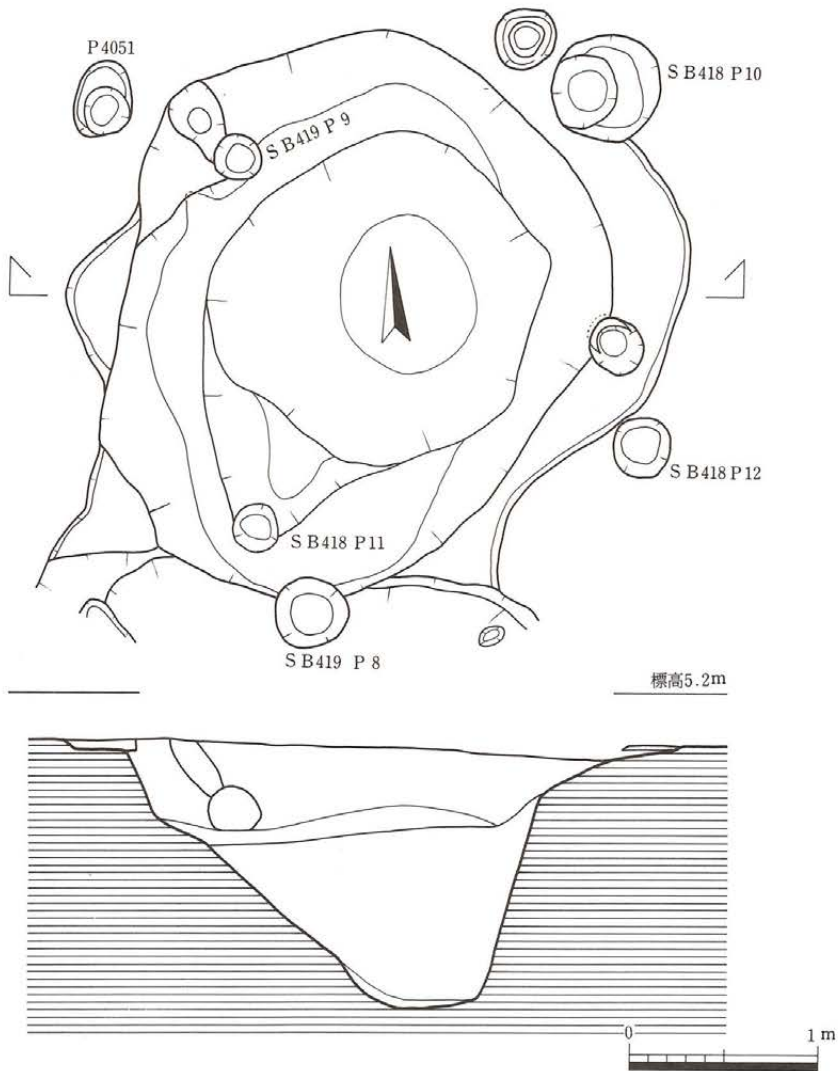


Fig.236 S E423井戸実測図 (1/40)

ナデ調整を行なう。1から12は口縁部。1は復元口径13.1cm、残存器高2.8cm。暗褐色。2は復元口径15.0cm、残存器高6.1cm。淡褐色。3は復元口径16.2cm、残存器高5.3cm。内器面はヘラナデ調整か。淡褐色。4は復元口径16.7cm、残存器高3.6cm。外器面にナデ調整、内器面にハケ目調整。淡褐色。5は復元口径17.4cm、残存器高3.2cm。内外器面にナデ調整。淡褐色。6は復元口径17.2cm、残存器高5.5cm。内外器面ともにナデ調整。褐色。7は復元口径19.2cm、残存器高5.8cm。胴部外面はハケ目調整をナデ消し。淡褐色。8は復元口径17.8cm、残存器高15.2cm。淡褐色。9は復元口径22.3cm、残存器高5.1cm。外面暗黄褐色、内面暗褐色。10は復元口径26.0cm、残存器高5.7cm。外面褐色、内面淡褐色。11は復元口径26.6cm、残存器高19.0cm。胴部内面

VII. 南宿遺跡



Fig.237 S E 423出土遺物実測図(1) (1/4)

下位に粗いハケ目調整。淡褐色。12は復元口径37.2cm、残存器高8.7cm。淡褐色。13~23は底部。13は復元底径5.6cm、残存器高3.1cm。外底にナデ調整。褐色。14は復元底径7.0cm、残存器高3.6cm。淡褐色。15は復元底径7.6cm、残存器高3.3cm。暗褐色。16は復元底径7.7cm、残存器高3.5cm。内外面ともにハケ目調整で外底にも及ぶ。外面淡褐色、内面黒褐色。17は復元底径8.6

3. 調査の記録 (4区)

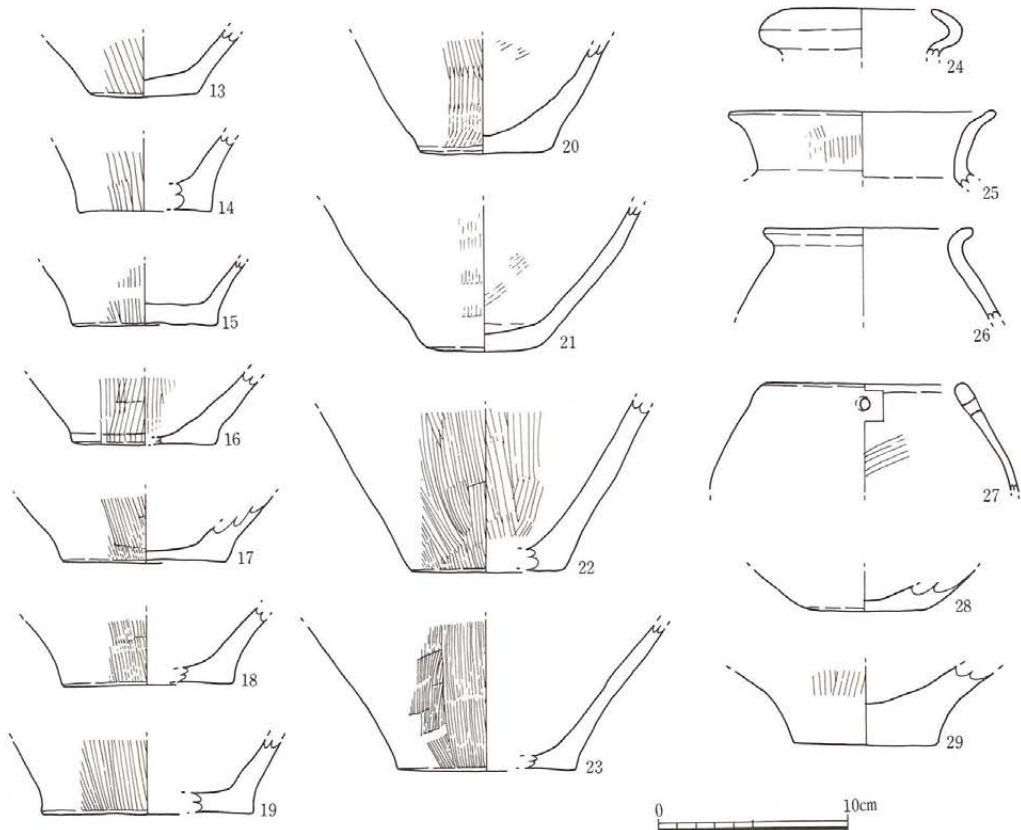


Fig.238 S E 423出土遺物実測図(2) (1/4)

cm、残存器高3.5cm。外底にナデ調整。暗褐色。18は復元底径9.0cm、残存器高3.5cm。淡褐色。19は復元底径11.2cm、残存器高3.7cm。暗褐色。20は復元底径7.0cm、残存器高6.0cm。内器面の一部にハケ目調整、外底にナデ調整。褐色。21は復元底径6.0cm、残存器高7.5cm。22は復元底径8.0cm、残存器高8.5cm。内外面ともにハケ目調整、外底にナデ調整。暗褐色。23は復元底径9.4cm、残存器高7.6cm。暗褐色。

壺 (24~29) 24は袋状口縁壺。復元口径8.2cm、残存器高2.5cm。内外面ともに横ナデ調整。内外器面ともに丹が塗布されている。25は復元口径13.8cm、残存器高3.5cm。口縁内面に横ナデ調整、外面にハケ目調整。淡褐色。26は復元口径11.4cm、残存器高4.8cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。外器面に黒斑を有する。淡褐色。27は復元口径10.2cm、残存器高5.8cm。口縁端部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。胴部内面の一部にハケ目調整が認められる。口縁部には穿孔が行なわれている。紐かけ用の孔か。井戸からの出土であることから「釣瓶」の可能性はある。赤褐色。28は底部。復元底径6.0cm、残存器高2.2cm。内外面ともにナデ調整。淡褐色。29は復元底径7.6cm、残存器高3.8cm。外面にはハケ目調整で、外底にも及ぶ。内面ナデ調整。褐色。

VII. 南宿遺跡

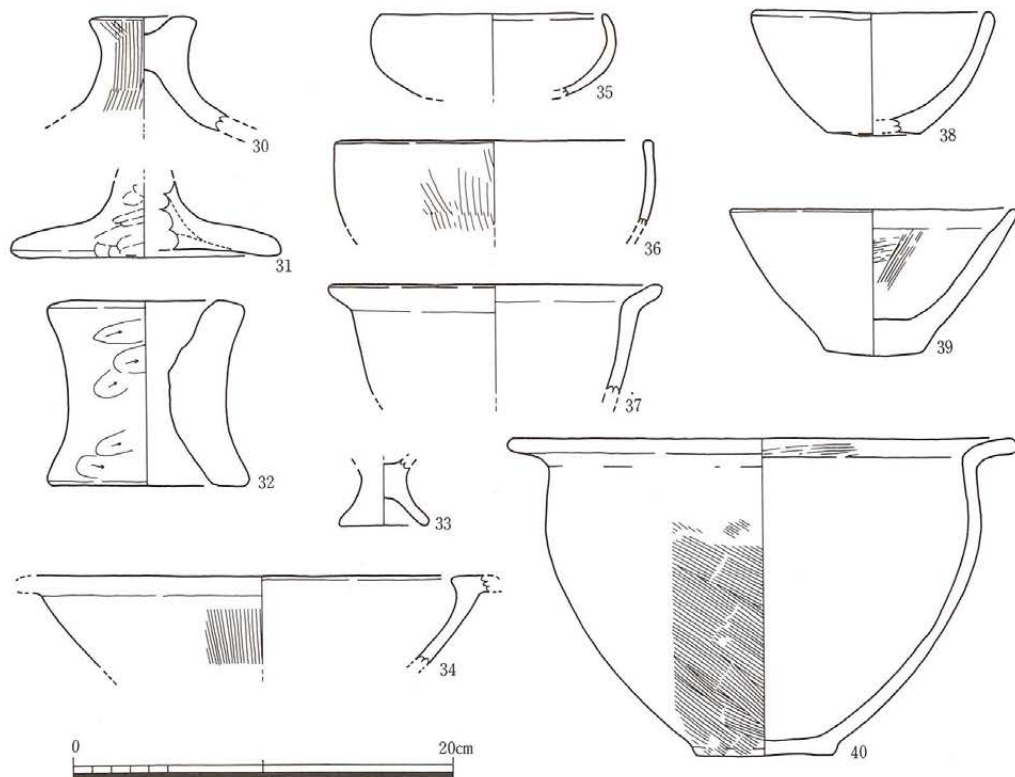


Fig.239 S E423出土遺物実測図(3) (1/4)

蓋 (30・31) 30はつまみ径5.7cm、残存器高5.4cm。外器面にはハケ目調整、他にはナデ調整。淡褐色を呈する。31は復元裾部径14.4cm、残存器高4.0cm。全面にナデ調整が行なわれており、指頭圧痕を明瞭に残している。淡褐色を呈する。

器台 (32) 復元口径10.5cm、復元底径10.3cm、器高9.9cm。外器面にはナデ調整、端部から内器面にかけては横ナデ調整。外器面には指頭圧痕を有する。外面淡黄褐色、内面淡赤褐色を呈する。

高坏 (33・34) 33はミニチュア土器。坏部を欠失する。復元底径4.6cm、残存器高3.0cm。脚端部に横ナデ調整、他はナデ調整。淡褐色を呈する。34は坏部のみが残存である。口縁部を欠損しており、復元内口径20.4cm、残存器高4.7cm。口縁部から内器面にかけて横ナデ調整、外器面にはハケ目調整。赤褐色を呈する。

鉢 (35～40) 35は復元口径12.0cm、残存器高4.4cm。どちらかといえば椀に近い器形といえる。磨耗のため不明瞭だが、内外面ともにヘラミガキ調整が行なわれているようである。赤褐色を呈する。36は復元口径16.8cm、残存器高4.5cm。端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。淡褐色を呈する。37は復元口径17.4cm、残存器高5.8cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。褐色を呈する。38は復元口径12.6cm、復元底径5.0cm、器高6.5cm。口

3. 調査の記録（4区）

縁端部には横ナデ調整、他は器面の磨耗により調整不明。淡褐色を呈する。39はほぼ完形。口径15.0cm、底径5.1cm、器高7.8cm。口縁部には横ナデ調整、外器面にはナデ調整。内器面はハケ目調整の後にハケ目を軽くナデ消している。暗褐色を呈する。40は復元口径26.8cm、復元底径7.4cm、器高17.0cm。口縁部には上面に横方向のハケ目調整、他は横ナデ調整。胴部は外面にハケ目調整、内面にナデ調整。胴部外面下半部に黒斑を有する。淡赤褐色。

e) 土壌

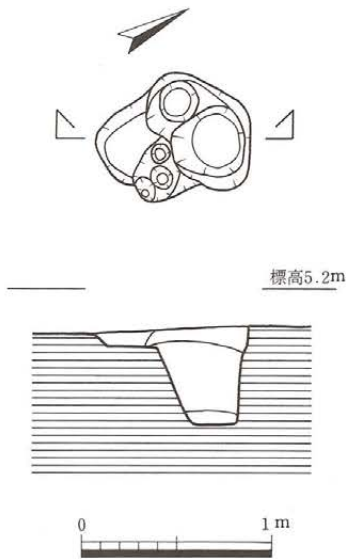
S K 401土壌 (Fig.240)

AC-3グリッドで検出した。他遺構との切り合い・重複関係はない。検出面の標高は5.0m前後である。平面形は小穴がいくつか切りあった状況を呈している。深さは最深0.5mを測る。遺構埋土は黒褐色土の単層で、人為的な堆積状況は認められなかった。遺物は弥生土器甕・器台・鉢・蓋などが一括出土している。

出土遺物 (Fig.241)

器台(1・2) 1は復元口径8.8cm、復元底径10.6cm、器高10.0cm。内外面ともにナデ調整で、器面には指頭圧痕が著しい。淡褐色を呈する。2は復元口径10.0cm、復元底径10.3cm、器高17.2cm。端部から内器面にかけて横ナデ調整、外器面にはナデ調整。内面には絞り痕が残る。淡褐色を呈する。

鉢(3・4) 3は手捏の鉢で、完形品である。口径7.3cm、底径4.3cm、器高5.1cm。外器面及び外底にはナデ調整、内器面には工具によるナデ調整。外面には指頭圧痕が明瞭に残る。外底部には黒斑を有する。赤褐色を呈する。4はほぼ完形品。口径11.6cm、底径6.4cm、器高8.5cm。外器面から外底にかけてナデ調整。内器面は工具による縦方向のナデ調整の後に横ナデ調整を行なっている。内外面ともに器面がやや磨耗する。淡褐色を呈する。



甕(5~8) 5は復元口径17.2cm、残存器高10.8cm。口縁部に横ナデ調整。胴部外面は器面の磨耗が著しいがハケ目調整。胴部内面はナデ調整。淡赤褐色を呈する。6は復元口径23.6cm、残存器高9.7cm。口縁部には横ナデ調整だが、内面にハケ目調整を行なう。胴部はナデ調整。褐色を呈する。7は底径8.2cm、残存器高6.2cm。器面の磨耗が著しく調整不明。外面淡赤褐色、内面褐色を呈する。8は復元底径8.4cm、残存器高5.1cm。

Fig.240 S K 401土壌実測図 (1/40)

VII. 南宿遺跡

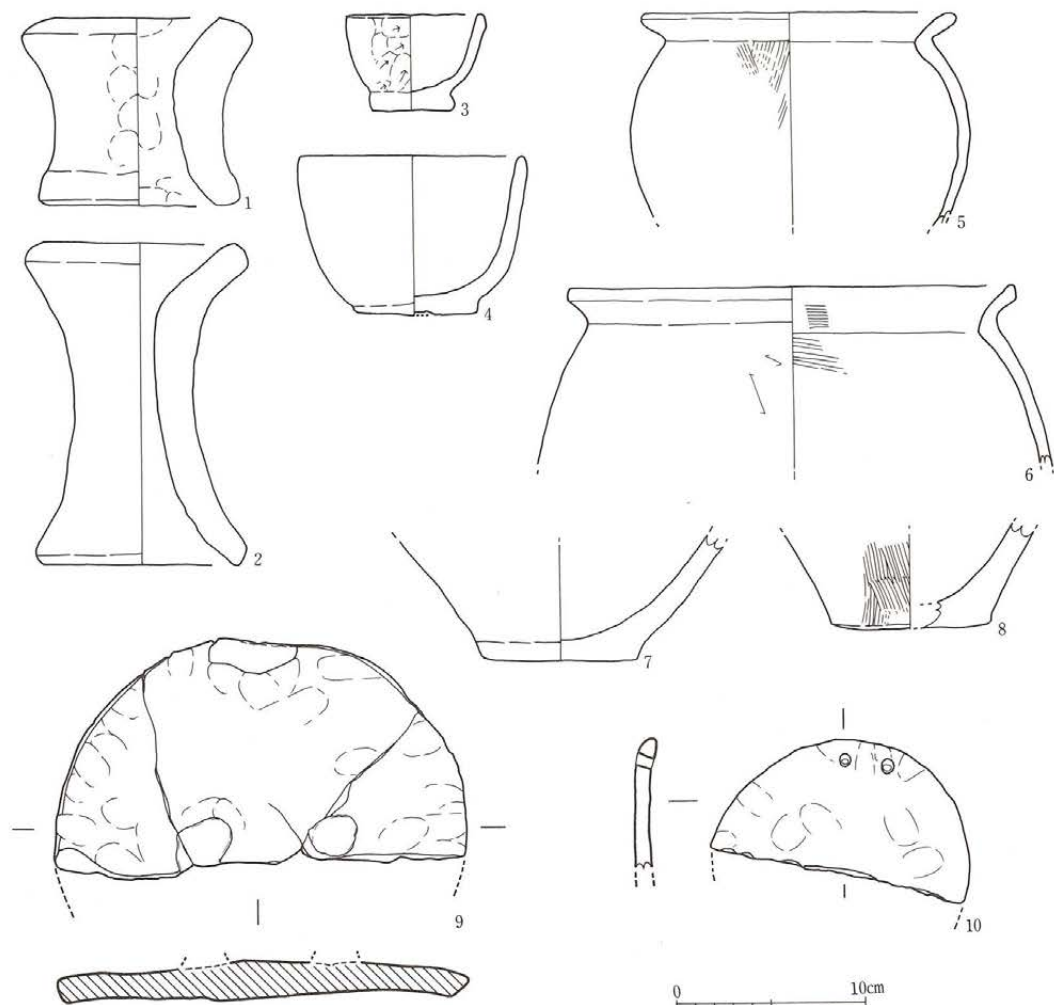


Fig.241 S K 401出土遺物実測図 (1/4)

外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。外器面の一部に黒斑を有する。外面淡褐色、内面暗褐色を呈する。

蓋(9・10) 2点ともに粗い造りの蓋である。9は直径20.5cm、器高2.1cm。一見土盤の様である。全面にナデ調整を行ない、特に外面には指頭圧痕が明瞭に残る。把手が貼り付けられていたらしく、貼り付けの痕跡を中央に残している。内面の一部に黒斑を有する。褐色を呈する。10は復元直径13.6cm、器高1.2cm。全面にナデ調整を行ない、外面には指頭圧痕が残る。縁辺部に径約4mmの孔が2箇所穿たれている。赤褐色を呈する。

S K 403土壙 (Fig.242)

AB-5・6グリッドで検出した。他遺構との切り合い・重複関係はない。検出面の標高は

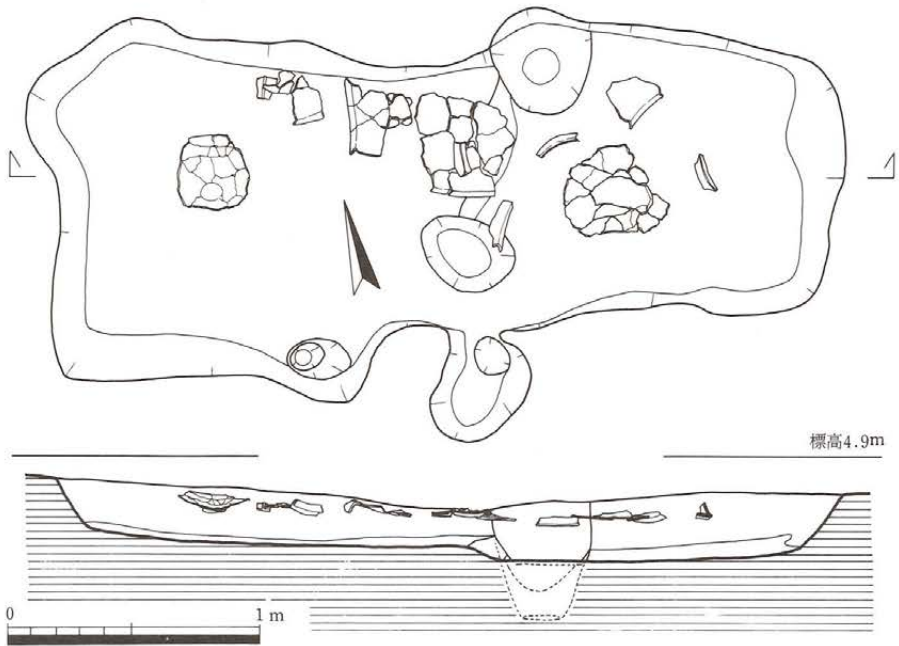


Fig.242 S K403土坑実測図 (1/30)

4.7m前後である。平面形は長軸3.1m、短軸1.4mの隅丸長方形を基調としている。断面形は扁平な逆台形状をなし、深さは0.2m前後を測る。遺構埋土は黒褐色土の単層であった。中央部には浅い段を有し、西部が低くなっているが、遺構底面はほぼ平坦をなしている。遺物は遺構底面からやや浮いた状況で検出されているが、ほぼ同じレベルで出土していることから、遺構の埋没過程において一括投棄されたものと考えられる。これと類似する遺構は、南宿遺跡2区からも検出されている。出土遺物は弥生土器甕・鉢・壺などがある。

出土遺物 (Fig.243・244)

甕 (1～5・12) 1は復元外径26.0cm、復元内口径19.8cm、残存器高5.5cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。2は復元外径31.2cm、復元内口径23.6cm、残存器高3.1cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。3は復元外径33.6cm、復元内口径26.8cm、残存器高3.7cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内面にナデ調整。胴部外面にはハケ目調整の後にハケ目をナデ消している。淡褐色を呈する。4は復元外径34.6cm、復元内口径26.6cm、残存器高3.6cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。5は復元口径33.0cm、残存器高6.8cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。12は口径36.1cm、底径11.3cm、器高38.5cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部

VII. 南宿遺跡

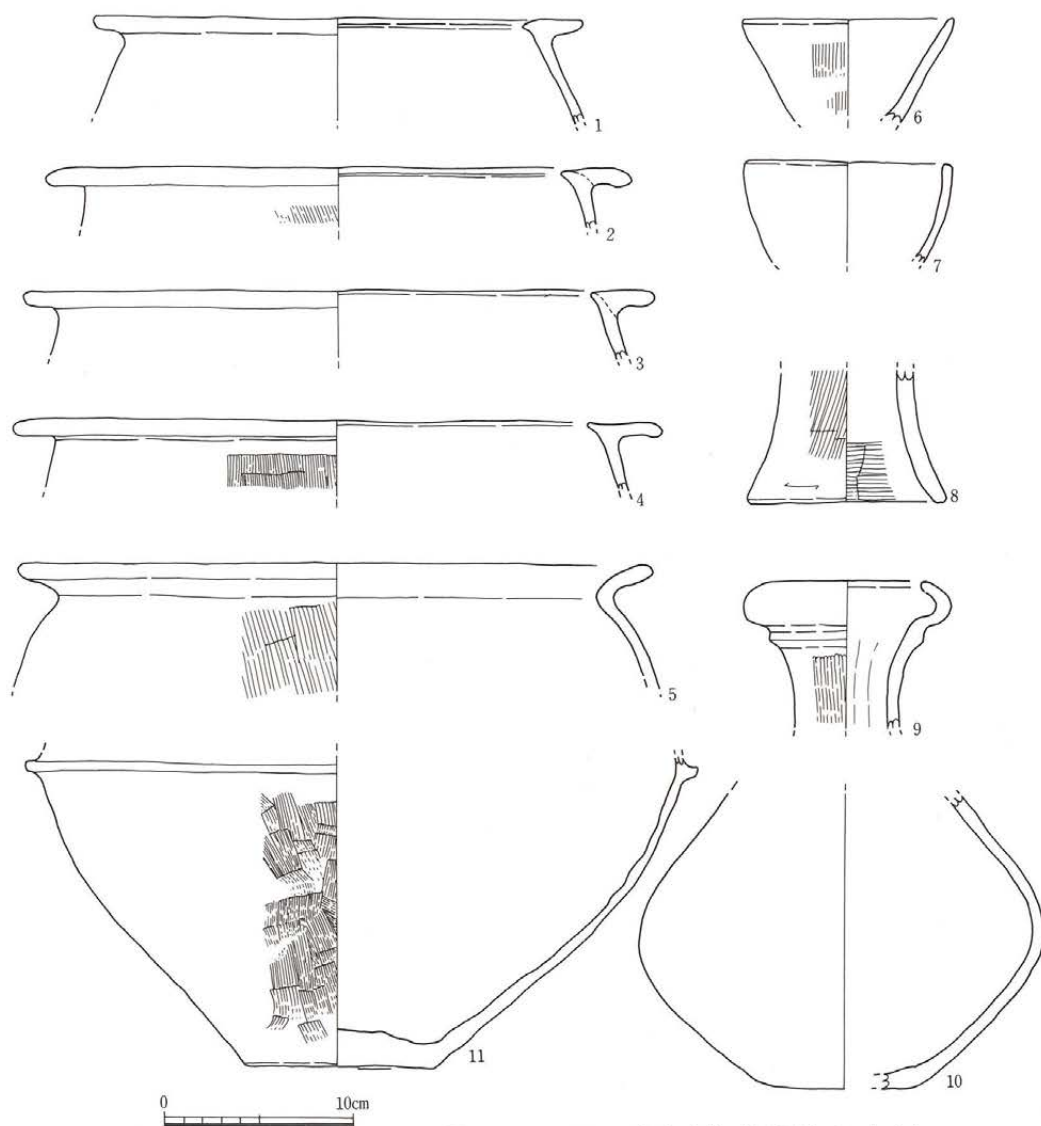


Fig.243 S K403出土遺物実測図(1) (1/4)

内面にナデ調整。褐色を呈する。

鉢(6・7) 6は復元口径11.0cm、残存器高5.6cm。口縁部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整、体部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。7は復元口径10.6cm、残存器高5.4cm。端部に横ナデ調整、体部は内外面ともにナデ調整。淡褐色を呈する。

器台(8) 復元底径10.2cm、残存器高7.0cm。裾端部は横ナデ調整、外器面は縦方向のハケ目調整。内器面は下半部に横方向のハケ目調整、他にはナデ調整。淡褐色を呈する。

壺(9~11) 9は袋状口縁壺。復元口径7.8cm、残存器高8.0cm。口縁部内外面には横ナデ調整。頸部外面には縦方向のヘラミガキ調整。頸部内面には絞り痕を残す。外器面には丹が塗布

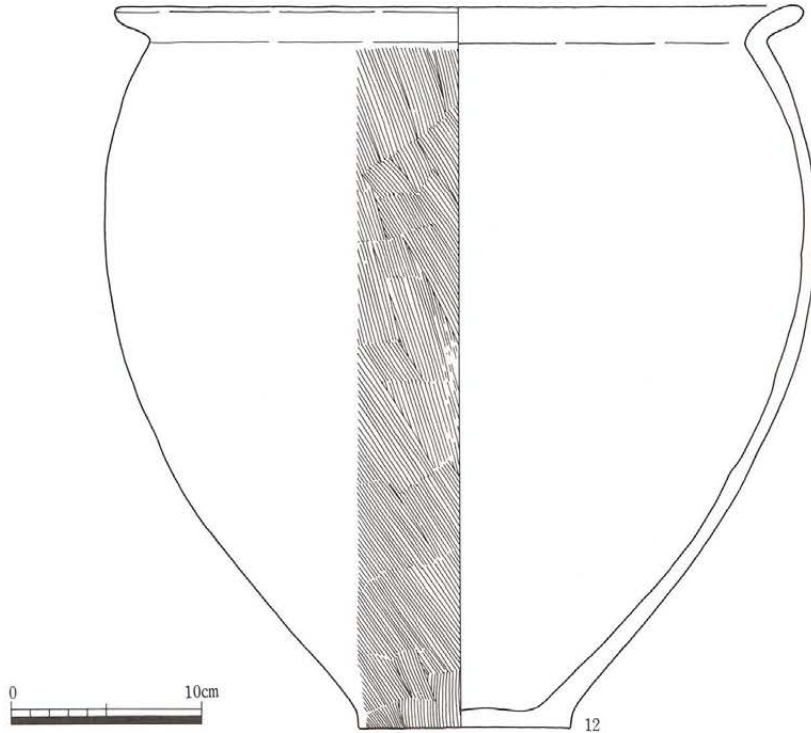


Fig.244 S K403出土遺物実測図(2) (1/4)

されており、丹塗りの痕跡は頸部内面上位にまで及んでいる。10は底径7.4cm、残存器高15.7cm。外器面にはヘラミガキ調整、内器面にはナデ調整。外器面には全面に丹が塗布されている。9の口縁部と同一個体である可能性が高い。11は復元底径10.0cm、残存器高16.7cm。胴部中位に1条の突帯を有する。突帯部には横ナデ調整、外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整を行なう。内器面は一部剝離する。赤褐色を呈する。

S K406土壌 (Fig.245)

AC-7、AD-7グリッドで検出した。本遺構がSD405を切っている。検出面の標高は4.7m前後である。遺構東部が調査区外にあるため全体形は不明だが、概ね隅丸長方形をなすものと思われる。検出長軸2.3m、短軸1.0mを測る。断面形は角のとれた逆台形状を呈しており、深さ約0.4mを測る。遺構埋土は黒褐色土の単層である。遺構底面はゆるやかに東に傾斜している。出土遺物は土器細片が数点出土しただけで、図化できるものは皆無であった。

S K414土壌 (Fig.246)

AC-5・6グリッドで検出した。他遺構との切り合い・重複関係は認められない。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は長軸2.7m、短軸1.0mの隅丸長方形を呈する。断面形は逆

VII. 南宿遺跡

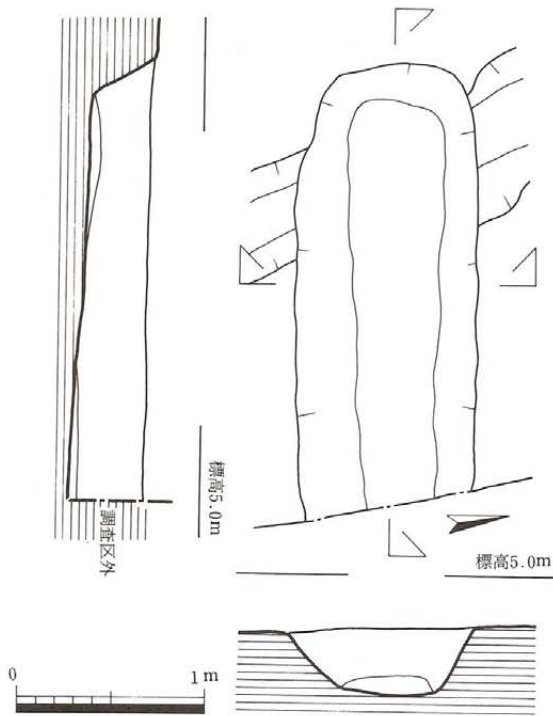


Fig.245 S K406土壙実測図 (1/40)

遺物はほとんどが平坦部からやや浮いた状態で集中して出土しており、遺構の埋没過程において一括投棄されたものと判断した。出土遺物は弥生土器甕・鉢・蓋などがある。

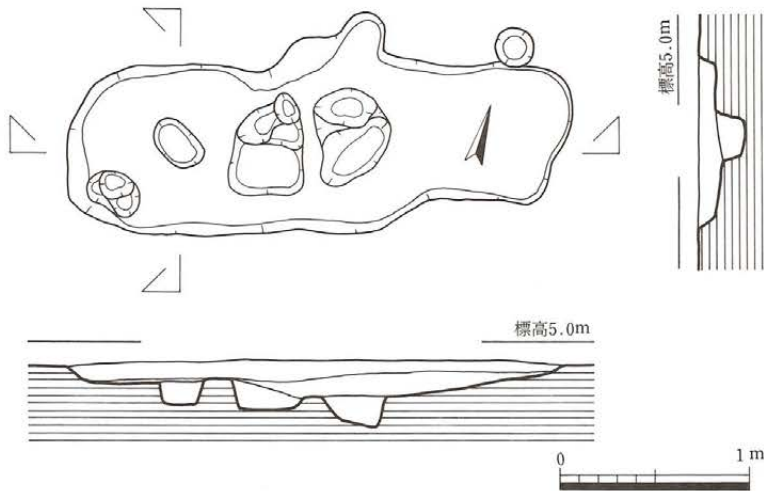


Fig.246 S K414土壙実測図 (1/40)

台形状をなし、深さ0.1~0.35mを測る。遺構中央部には小穴が掘り込まれている。遺構埋土は暗褐色土の単層である。遺構の形状・遺物の傾向などから判断して、SK403と同様な性格の遺構と考えられる。出土遺物は土器細片で、図化できるものはなかった。

S K415土壙 (Fig.247)

AC-4、AD-4グリッドで検出した。他遺構との切り合い・重複関係はない。検出面の標高は5.0m前後である。平面形は長径1.5m、短径1.1mの楕円形を基調としたもので、深さは約0.4mを測る。遺構東部に平坦部を持ち、東部が一段深く掘り込まれている。遺構埋土は黒褐色土の単層であった。

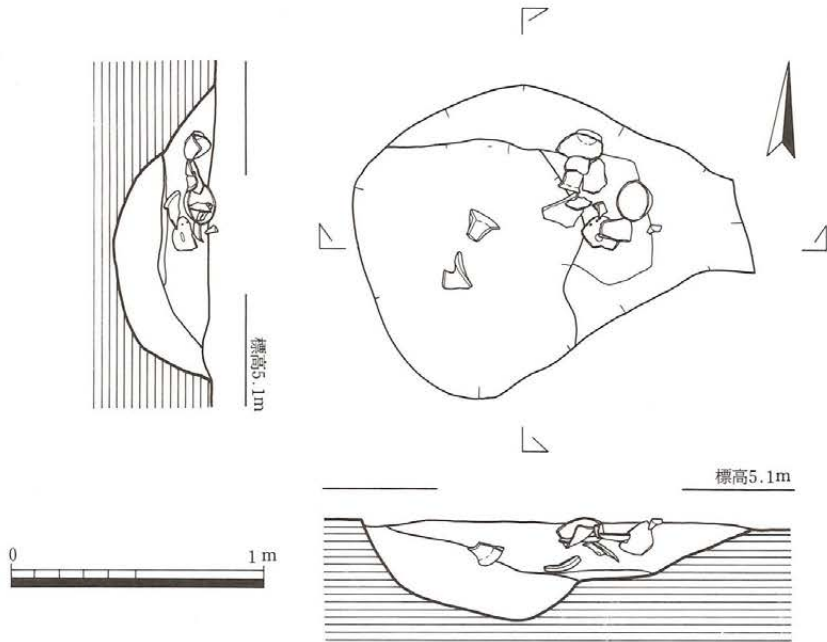


Fig.247 S K 415土壙実測図 (1/30)

出土遺物 (Fig.248)

蓋(1) ほぼ完形である。頭部径5.4cm、裾部径16.6cm、器高4.6cm。体部には内外面ともにハケ目調整を行なう。他はナデ調整。裾部に径4mmの孔が2個ずつ対称に穿たれている。穿孔は外方からの焼成前穿孔である。淡褐色を呈する。

鉢(2) ほぼ完形である。口径16.7cm、底径6.2cm、器高8.5cm。口縁部に横ナデ調整、体部外面に縦方向のハケ目調整、内面にナデ調整。外器面の中位に黒斑を有する。淡褐色。

甕(3~5) 3は復元口径15.2cm、残存器高11.1cm。口縁部は屈曲せずに立ち上がる。口縁部は横ナデ調整、胴部外面にナデ調整、胴部内面にハケ目調整を行なっている。褐色を呈する。4は復元口径18.3cm、底径9.8cm、器高19.7cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面に縦方向のハケ目調整、胴部内面にナデ調整。やや上げ底気味の底部をもつ。胴部外面下半部に黒斑を有する。淡褐色を呈する。5は復元口径20.6cm、残存器高17.7cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。口径がやや広く、鉢状の器形をなす。淡褐色を呈する。

S K 416土壙 (Fig.249)

AC-2グリッドで検出した。P 4 0 8 0 に切られる。検出面の標高は5.1m前後である。平面形は直径約0.3mの円形で、断面形は逆台形状を呈する。深さは約0.2mを測る。遺構底面はやや西に傾斜している。遺構埋土は黒褐色土の単層である。弥生土器甕が出土している。

VII. 南宿遺跡

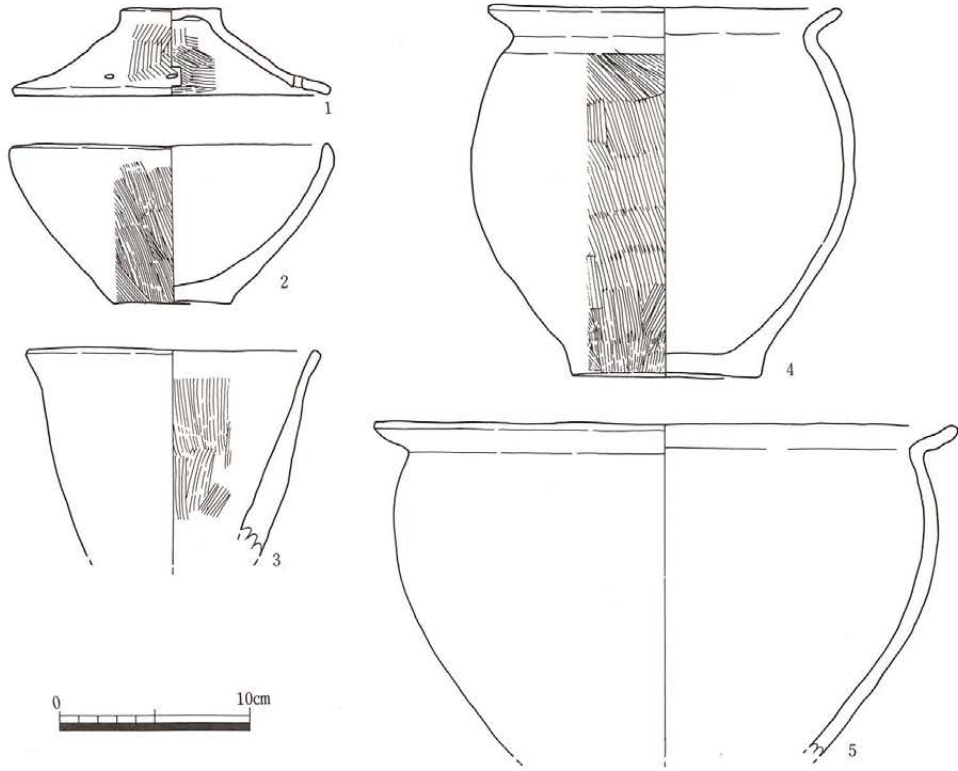


Fig.248 S K415出土遺物実測図 (1/4)

出土遺物 (Fig.250)

甕 (1~5) 1は復元口径27.0cm、残存器高8.0cm。口縁部外面に横ナデ調整、口縁部内面には横方向のハケ目調整。胴部外面はハケ目調整。胴部内面はナデ調整で、一部にハケ目調整を行なう。淡褐色を呈する。2は復元口径27.0cm、残存器高14.0cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。胴部外面には口縁部から胴部に至るまで全面に煤の付着が認められる。赤褐色を呈する。3は復元口径31.6cm、残存器高6.0cm。口縁部には横ナデ調整、胴部外面にはハケ目調整、胴部内面にはナデ調整。外器面は頸部から胴部にかけて煤の付着が認められる。赤褐色を呈する。4は底径7.4cm、残存器高4.2cm。外器面は外底に至るまで工具による比較的強いナデ調整を行ない、内面にはナデ調整。暗

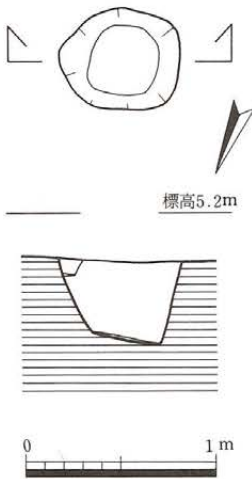


Fig.249 S K416土坑実測図 (1/40)

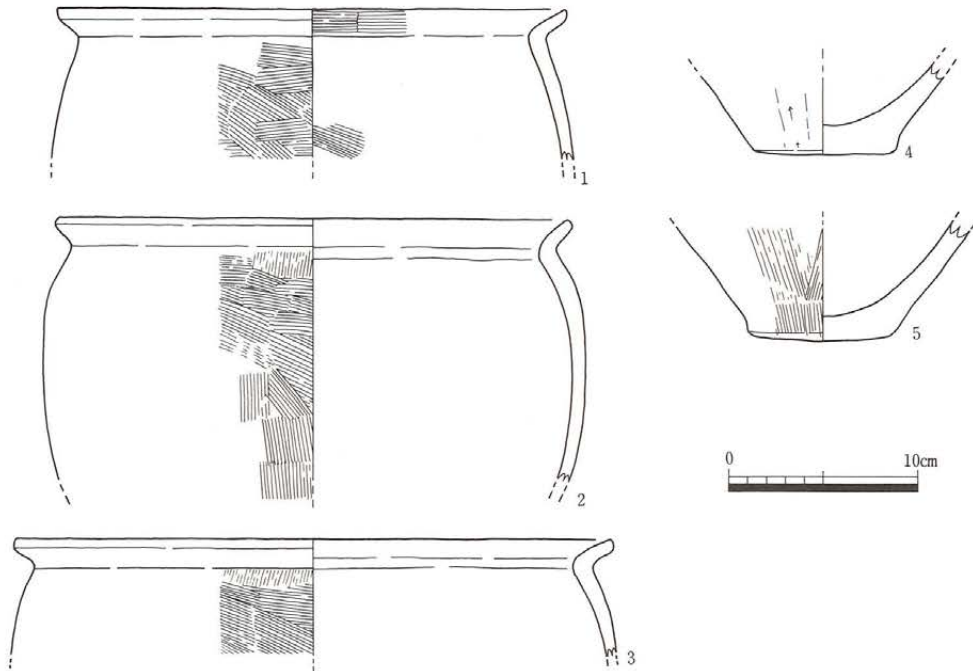


Fig.250 S K416出土遺物実測図 (1/4)

褐色を呈する。5は底径7.5cm、残存器高6.0cm。外器面にハケ目調整、外底及び内器面にはナデ調整。外面褐色、内面暗褐色を呈する。

S K424土壌 (Fig.251)

AC-6・7、AD-6・7グリッドにかけて検出した。SK425・SK426・P4027と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は長径1.6mのやや歪んだ楕円形状を呈し、断面形はレンズ状をなす。深さは0.35mを測る。遺構埋土は黒褐色土の単層であった。出土遺物は弥生土器甕・鉢・器台・高坏などである。

出土遺物 (Fig.252)

鉢 (1) 残存器高3.9cm。口縁部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整、体部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。

器台 (2~4) 2は復元底径14.0cm、残存器高4.0cm。裾端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。褐色を呈する。3は復元底径14.6cm、残存器高3.7cm。裾端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。褐色を呈する。4は復元底径14.4cm、残存器高4.2cm。裾端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。淡褐色を呈する。

甕 (5~11) 5は残存器高7.1cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面に

VII. 南宿遺跡

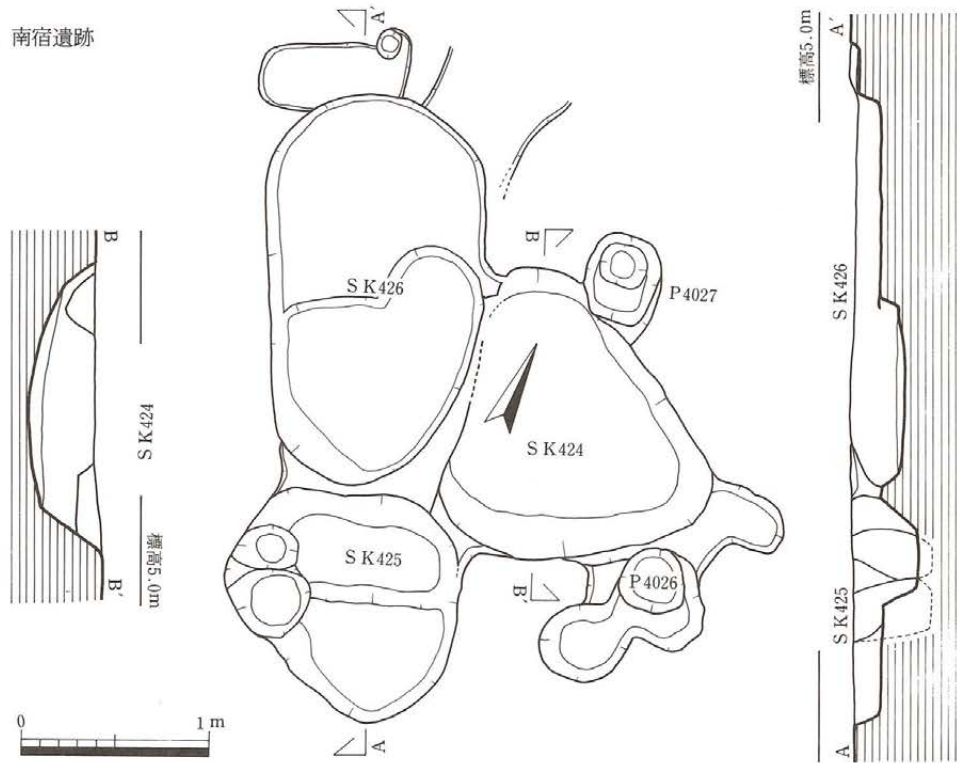


Fig.251 S K424・425・426土壌実測図 (1/40)

ナデ調整。褐色を呈する。6は残存器高5.9cm。口縁部外面に横ナデ調整、胴部外面及び口縁部内面にハケ目調整、胴部内面はナデ調整。淡褐色を呈する。7は残存器高5.6cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内面にナデ調整。胴部外面はハケ目調整の後にナデ調整を行ない、ハケ目をナデ消している。暗褐色を呈する。8は復元口径31.6cm、残存器高3.5cm。口縁部に横ナデ調整。褐色を呈する。9は復元底径8.6cm、残存器高4.0cm。内外器面ともにナデ調整。内器面には煤の付着が認められる。外面淡褐色、内面褐色を呈する。10は復元底径8.0cm、残存器高3.3cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。褐色を呈する。11は復元底径11.0cm、残存器高2.9cm。外器面はハケ目調整の後にナデ調整を行ないハケ目をナデ消している。内器面はナデ調整。内器面には煤の付着が認められる。外面褐色、内面暗褐色を呈する。

S K 4 2 5 土 壌 (Fig.251)

AD-6グリッドで検出した。SK424・SK426と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は直径1.2mの不整円形状を呈する。南部に平坦部を持ち、北部は一段深く掘り込まれている。また西壁付近に小穴が掘り込まれているが本遺構に伴うかどうかは確認できなかった。遺構底面はほぼ平坦で、最深0.35mを測る。遺構埋土は黒褐色土の単層である。出土遺物は、弥生土器甕・鉢・壺・器台などがある。

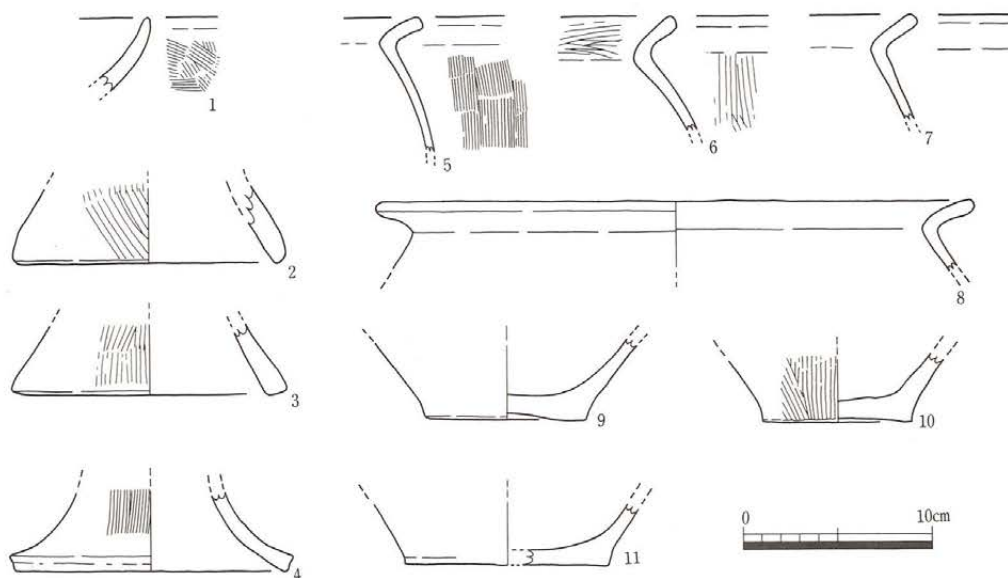


Fig.252 S K424出土遺物実測図 (1/4)

出土遺物 (Fig.253)

鉢 (1・2) 1は復元口径13.0cm、残存器高6.0cm。口縁部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。2は復元口径15.6cm、残存器高3.1cm。口縁部から体部内面にかけて横ナデ調整、体部外面はハケ目調整。淡褐色を呈する。

壺 (3) 袋状口縁壺である。復元口径8.6cm、残存器高4.6cm。外器面はハケ目調整の後にナデ調整を行ない、ハケ目をナデ消している。内器面は横ナデ調整。淡褐色を呈する。

器台 (4～8) 4は復元受部径7.4cm、残存器高4.5cm。全面にナデ調整。淡褐色を呈する。5は復元裾部径9.8cm、残存器高7.5cm。外器面に縦方向のハケ目調整、他はナデ調整。褐色を呈する。6は復元裾部径11.8cm、残存器高5.5cm。外面はナデ調整。内面は器面の剝離のため調整不明。淡赤褐色を呈する。7は受部径8.6cm、裾部径11.4cm、器高13.3cm。全面にナデ調整。内外器面には指頭圧痕が明瞭に残る。淡褐色を呈する。8は復元裾部径14.0cm、残存器高13.3cm。裾端部に横ナデ調整、外器面に縦方向のハケ目調整、内器面は裾部にハケ目調整、他にはナデ調整。淡褐色を呈する。

甕 (9～16) 9は復元口径22.6cm、残存器高3.8cm。口縁部外面にナデ調整、口縁部内面及び胴部外面にハケ目調整、胴部内面に横ナデ調整。褐色を呈する。10は復元口径20.6cm、残存器高6.6cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。11は復元口径22.0cm、残存器高7.5cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。12は復元口径30.6cm、残存器高6.3cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。胴部外面には煤の付着が認められる。淡褐

VII. 南宿遺跡

色を呈する。13は復元口径34.0cm、残存器高25.3cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整。胴部内面は基本的にはナデ調整だが、一部にハケ目調整が行なわれる。褐色を呈する。14は復元口径30.4cm、残存器高10.2cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。15は復元底径5.6cm、残存器高2.0cm。外器面にハケ目調整。内器面はハケ目調整の後にナデ調整を行ない、ハケ目をナデ消している。内底付近にハケ目を残している。外底に黒斑を有する。16は底径10.4cm、残存器高4.6cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。外底には黒斑を有する。褐色を呈する。

S K 426土壙 (Fig.251)

AC-6、AD-6グリッドで検出した。SK424・SK425と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は4.9m前後である。平面形は長径2.1m、短径1.15mの楕円形を基調としている。遺構北部には平坦面を有し、南部は一段深く掘り込まれている。深さは最深0.3mを測る。遺構底面はほぼ平坦をなしている。遺構埋土は黒褐色土の単層であった。出土遺物は、弥生土器甕・鉢などがある。

出土遺物 (Fig.254・255)

鉢(1) 復元口径20.2cm、残存器高8.6cm。口縁端部に横ナデ調整。体部外面は上半部に横方向のハケ目調整、下半部に暗文が施されている。体部内面は上半部に横方向のハケ目調整、下半部に工具によるナデ調整が行なわれる。褐色を呈する。

甕(2~12) 2は底部。復元底径15.4cm、残存器高2.5cm。外器面はハケ目調整、内器面はナデ調整。外底はハケ目調整の後にナデ調整を行なう。褐色を呈する。3は復元口径10.2cm、残存器高5.4cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。外面褐色、内面暗褐色を呈する。4は復元口径14.7cm、残存器高6.2cm。口縁部に横ナデ調整。胴部外面はハケ目調整の後にナデ調整を行なう。胴部内面はナデ調整。口縁部外面には黒斑を有する。5は復元口径27.0cm、残存器高4.1cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。淡褐色を呈する。6は復元口径27.6cm、残存器高10.5cm。口縁部外面には横ナデ調整、口縁部内面には横方向のハケ目調整。胴部は外面に縦方向のハケ目調整、内面は上位に横ナデ調整、他にはナデ調整を行なう。褐色を呈する。7は復元口径31.3cm、残存器高7.5cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にはナデ調整。淡褐色を呈する。8は復元口径30.9cm、残存器高6.4cm。口縁部には横ナデ調整。胴部外面にはハケ目調整の後にナデ調整。胴部内面は基本的にはナデ調整であるが、一部にハケ目調整が行なわれている。淡赤褐色を呈する。9は復元口径31.4cm、残存器高6.4cm。口縁部に横ナデ調整、胴部は内外面ともにナデ調整。淡褐色を呈する。10は口径31.4cm、残存器高17.9cm。口縁部外面に横ナデ調整、口縁部内面には横方向のハケ目調整。胴部外面には縦方向のハケ目調整、胴部内面にはナデ調整を行なう。淡褐色を呈す

3. 調査の記録 (4区)

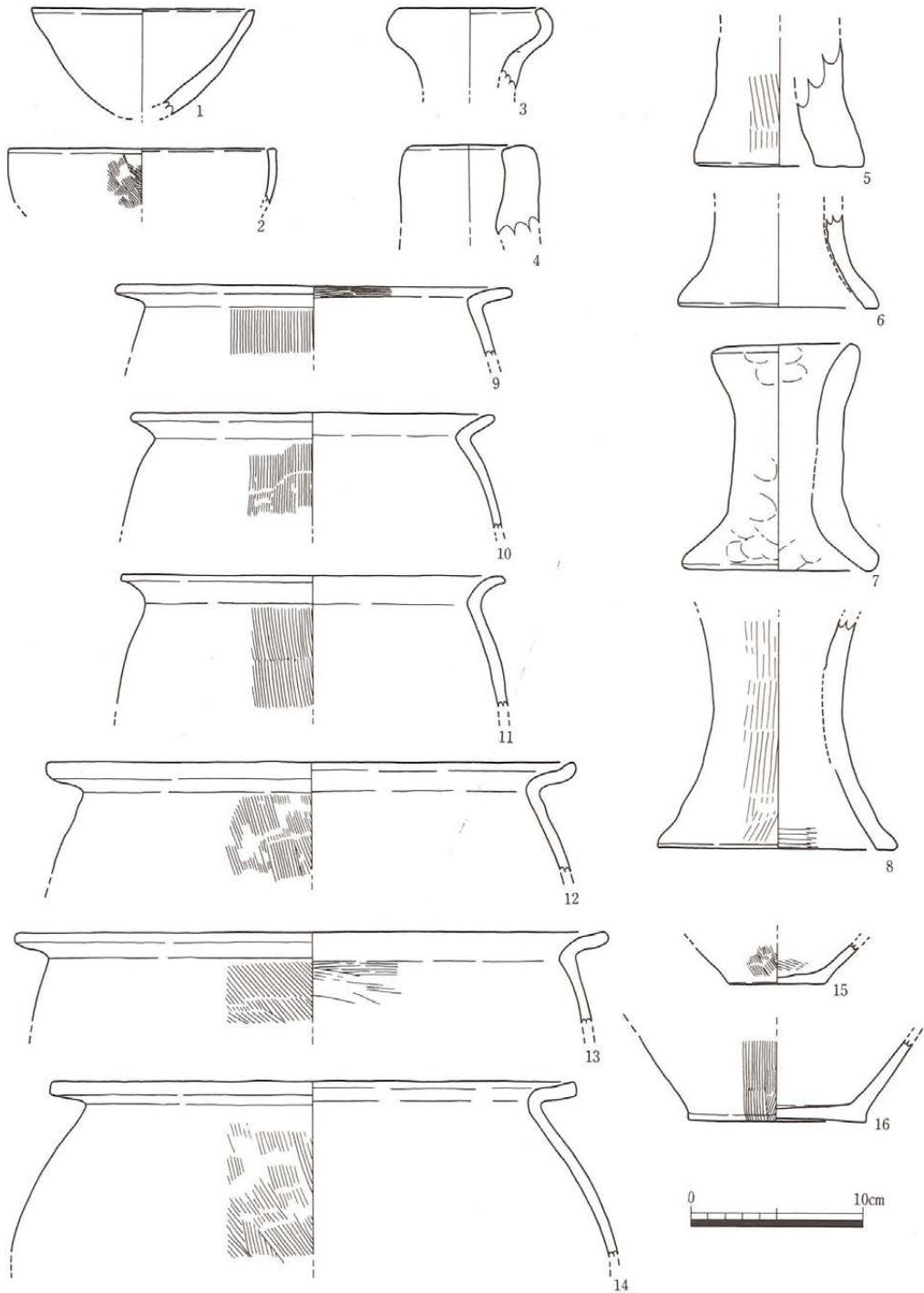
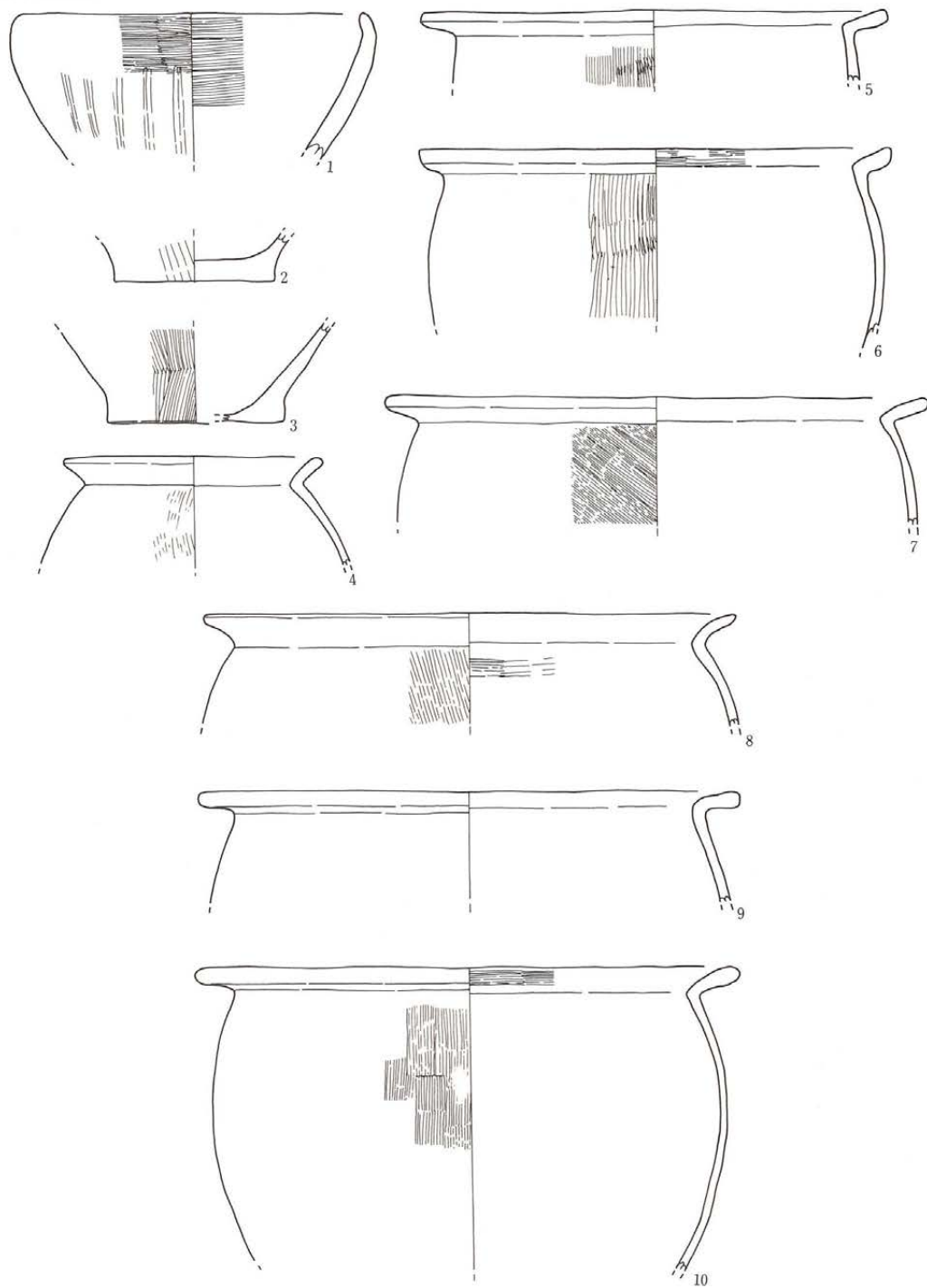


Fig.253 S K425出土遺物実測図 (1/4)

VII. 南宿遺跡



0 10cm

Fig.254 S K 426出土遺物実測図(1) (1/4)

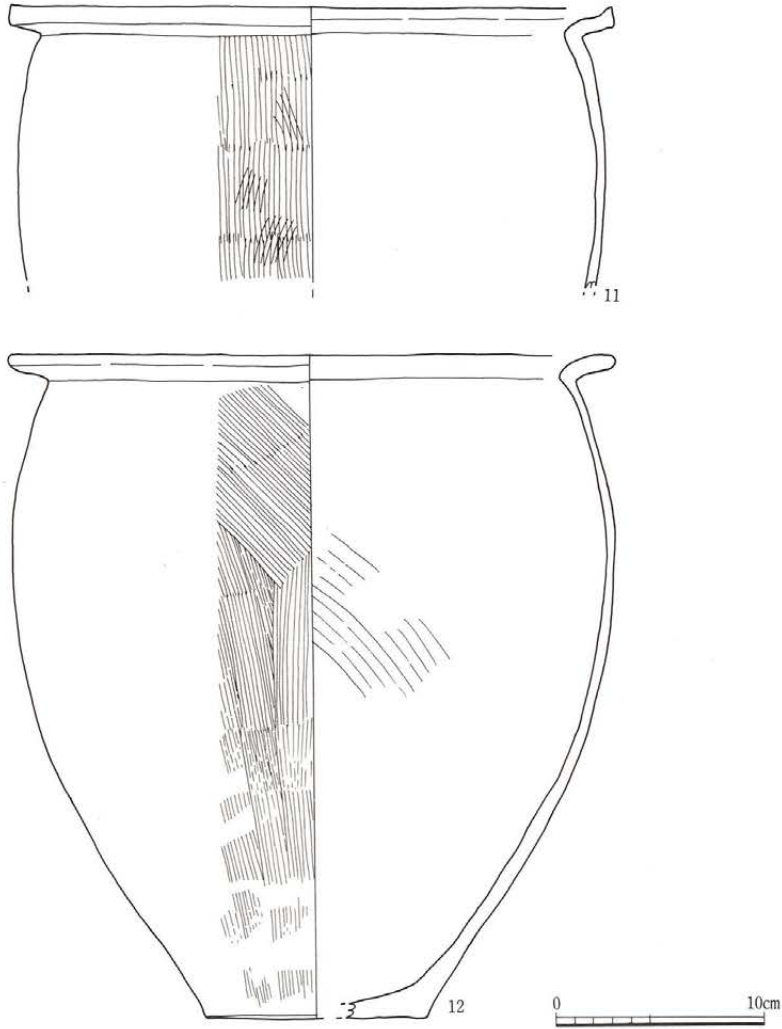


Fig.255 S K426出土遺物実測図(2) (1/4)

る。11は復元口径32.0cm、残存器高14.8cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。褐色を呈する。12は復元口径31.8cm、復元底径11.7cm、器高35.5cm。口縁部には横ナデ調整、胴部外面にはハケ目調整。胴部内面は基本的にはナデ調整であるが、一部にハケ目調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

S K432土壌 (Fig.256)

AC-4グリッドで検出した。SB418・SB419・SE423・P4050すべてに切られている。SD433との新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は5.0m前後である。平面形は直径約2.8mの不整円形を呈している。遺構南部には平坦面を有し、北部は一段深

VII. 南宿遺跡

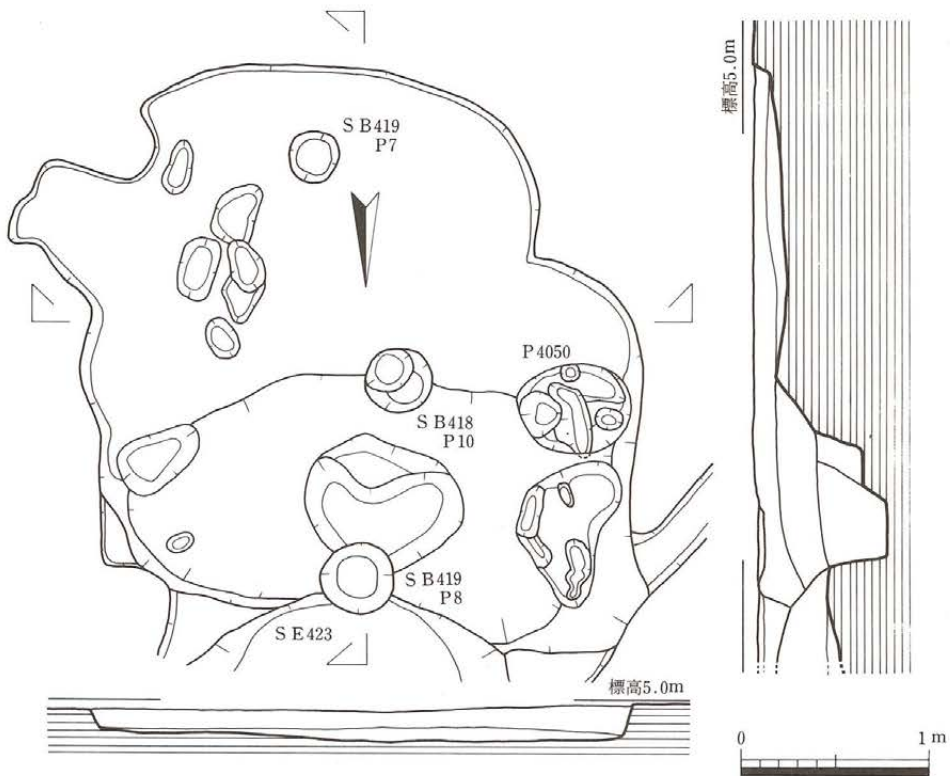


Fig.256 S K432土坑実測図 (1/40)

く掘り込まれている。遺構北部においてさらに掘り込まれている土坑は、確証は得られなかったものの、埋土の状況から判断して本遺構に伴うものと思われる。遺構埋土はほぼ黒褐色土の単層と考えられた。出土遺物は土器細片で、図化できるものはなかった。

S K436土坑 (Fig.257)

AB-2、AC-2・3グリッドで検出した。遺構南東部において小穴と切りあっているが、その新旧関係は確認できなかった。検出面の標高は、5.0m前後である。平面形は、不整長楕円形を呈し、溝状のようである。最大長3.4m、幅0.4~0.6mを測る。断面形は逆台形状をなし、深さは1.5mを測る。遺構埋土は黒褐色土の単層であり、人為的な堆積状況は認められなかった。出土遺物は土器細片で、図化できるものはなかった。

f) 溝

SD405溝 (Fig.223)

AA-6、AB-6・7、AC-7、AD-7グリッドで検出した。SK404及びSK4

3. 調査の記録（4区）

06に切られている。また、SA409・SA410と切り合い関係ないしは重複関係にありそうだが、調査区外のため確認はできなかった。検出面の標高は4.8m前後である。両端は調査区外にあり、検出長は12.6mを測る。幅0.5~0.6m、深さ0.2m前後を測る。断面形は逆台形状を呈し、溝底面は南へ緩やかに傾斜している。遺構埋土は黒褐色土の単層で、自然堆積の状況を示していた。溝の掘削時期を決定できる状況で出土した遺物はなかったが、埋土中から弥生土器甕・鉢・器台などが出土している。これより古い時期や新しい時期の遺物はない。

出土遺物 (Fig.258)

鉢(1) 復元口径11.4cm、残存器高4.5cm。口縁部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。

甕(2~8) 2は復元口径16.0cm、残存器高3.7cm。口縁部に横ナデ調整、胴部は内外面とも

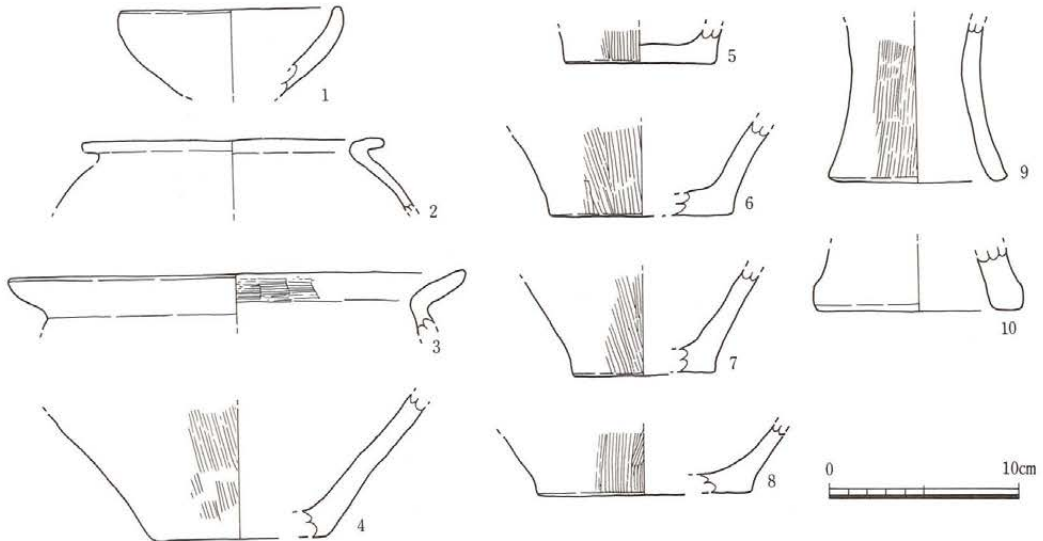


Fig.258 S D405出土遺物実測図 (1/4)

Fig.257 S K436土坑実測図 (1/40)

VII. 南宿遺跡

にナデ調整。淡褐色を呈する。3は復元口径24.2cm、残存器高2.7cm。口縁部外面には横ナデ調整、口縁部内面には横方向のハケ目調整。胴部内面はナデ調整。褐色を呈する。4は復元底径9.0cm、残存器高6.8cm。外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。淡褐色を呈する。5は底径8.0cm、残存器高1.7cm。外器面にハケ目調整、他にはナデ調整。淡褐色を呈する。6は復元底径9.6cm、残存器高4.4cm。外器面には縦方向のハケ目調整、内器面及び外底にナデ調整。淡赤褐色を呈する。7は復元底径7.4cm、残存器高5.2cm。外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。淡褐色を呈する。8は復元底径11.4cm、残存器高3.2cm。外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。淡褐色を呈する。

器台(11・12) 11は復元底径9.4cm、残存器高8.4cm。裾端部に横ナデ調整、外器面にはハケ目調整、内器面にはナデ調整。淡褐色を呈する。12は復元底径10.8cm、残存器高3.4cm。全面にナデ調整を行なう。淡褐色を呈する。

(2) 古墳時代の遺構と遺物

a) 井戸

S E 407井戸 (Fig.259)

AA-7グリッドで検出した。他遺構との切り合い及び重複関係はない。検出面の標高は4.7m前後である。平面形は直径1.1mの円形を基調としている。断面形はややいびつなU字状をなし、深さは約1.1mを測る。遺構埋土は3層に分層でき、自然堆積によるものと考えられた。出土遺物は量的には少なかったが、遺構底面からやや浮いた状態で木製品(木錘?)10個体がまとまった状態で出土した。また、遺構北壁付近からはほぼ完形に近い土師器壺が出土している。いずれも第3層からの出土である。出土遺物は、先述した木製品・土師器壺のほかに、土師器甕などがある。

出土遺物 (Fig.260・261)

壺(1) 口縁部を2/3程度欠損するが、他は完存している。復元口径11.5cm、器高13.7cm。丸底の壺で、口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。内底付近はハケ目調整後にハケ目をナデ消している。外底付近には煤の付着が認められる。外面淡褐色～黒

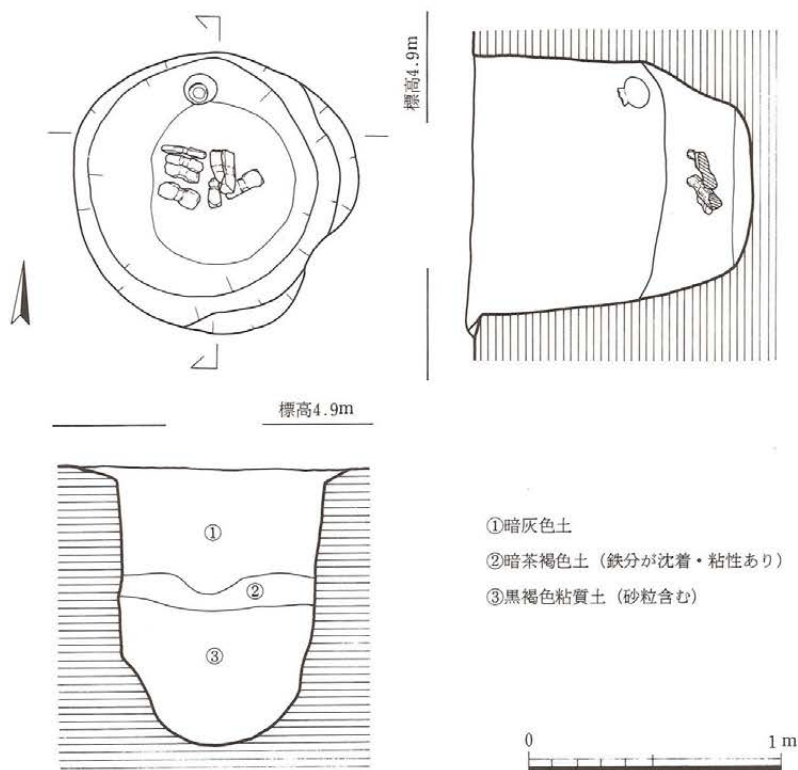


Fig.259 S E 407井戸実測図 (1/30)

VII. 南宿遺跡

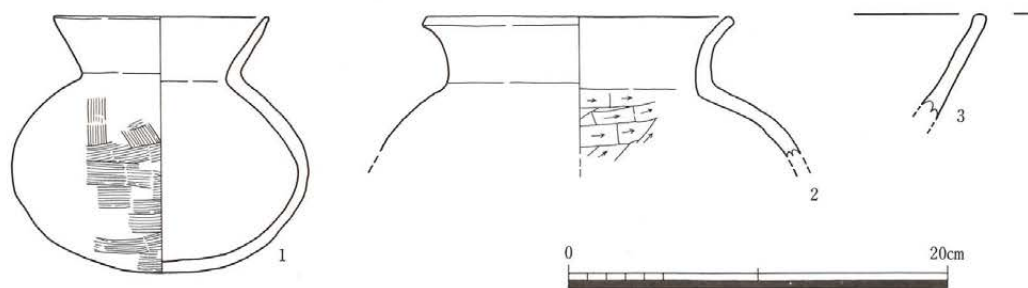


Fig.260 S E 407出土遺物実測図 (1) (1/4)

色、内面明黄褐色を呈する。

甕(2) 口径15.9cm、残存器高7.3cm。口縁部に横ナデ調整。胴部外面は磨耗により不明瞭だが比較的粗いハケ目調整と思われる。胴部内面はヘラケズリ調整。外器面には全体に煤の付着が認められる。暗赤褐色を呈する。

鉢(3) 残存器高5.6cm。端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。淡褐色を

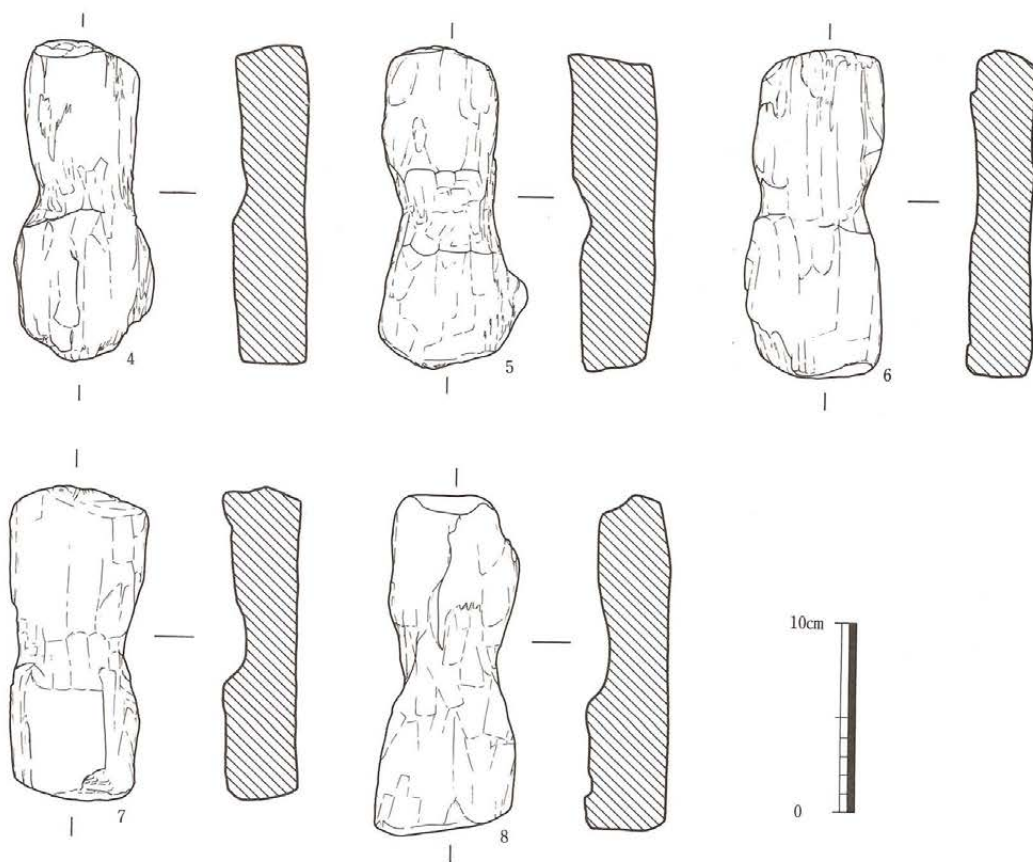


Fig.261 S K 407出土遺物実測図 (2) (1/4)

呈する。

木錘(4~8) 長さ16.8~18.2cm、幅7.2~7.6cm、厚さ3.5~4.4cm。いずれも平面形は隅丸長方形、断面形は半円形をなしている。全体的に粗い加工が施されるが、中央部には紐を縛るための割り込みを造り出している。

S E 413井戸 (Fig.262)

AA-5・6グリッドで検出した。他遺構との切り合い及び重複関係はない。検出面の標高は4.7m前後である。平面形は直径0.9~1.1mの円形を基調としている。断面形は逆台形状を呈し、深さ約0.7mを測る。遺構埋土は黒褐色土を基本とする。遺構底面直上から土師器甕の胴部片が出土している。

出土遺物 (Fig.263)

甕(1) 口縁部をすべて欠失する。残存器高19.3cm。外面にはハケ目調整、内面には底部にいたるまでヘラケズリ調整。外面には煤の付着が認められる。淡赤褐色を呈する。

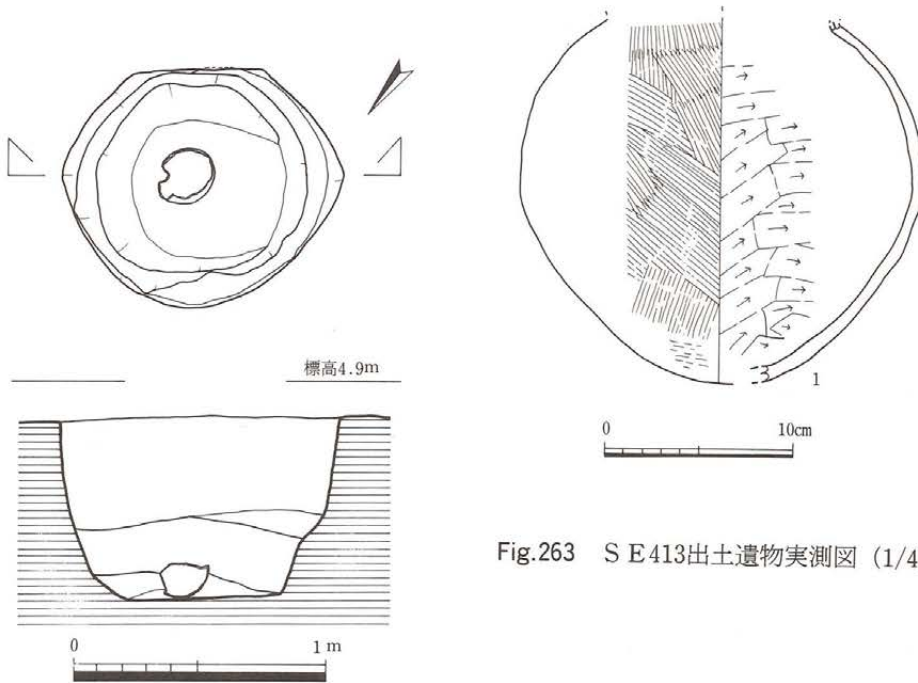


Fig.263 S E 413出土遺物実測図 (1/4)

Fig.262 S E 413井戸実測図 (1/30)

(3) 平安時代の遺構と遺物

a) 掘立柱建物

S B 418掘立柱建物 (Fig.265)

AC-4・5、AD-4・5グリッドで検出した。他遺構との切り合い関係は以下のとおりである。SE423・SK432・SR420・SB417-P2を本遺構がすべて切っている。また、SD431と切り合い関係にあるが、その新旧関係は確認できなかった。なお、SB419と重複関係にあるが、柱穴どうしの直接の切り合いが無いため、新旧関係は不明である。検出面の標高は4.9m前後である。梁行2間、桁行3間の建物で、北面に廂を持つ。建物主軸をN-11°-Wにとる。柱間寸法は図中のとおりである。柱穴は、平面形が0.2~0.5mの円形を基調としたもので、深さ0.2~0.7mを測る。柱穴には黒褐色土の埋土が充填されていた。検出面及び断面において、柱痕跡は確認できなかった。また柱そのものの残存も認められなかった。出土遺物は、土師器坏、黒色土器A類碗がある。

出土遺物 (Fig.264、1~3・6)

4点ともにP9出土である。

土師器坏(1・2) 1は復元口径10.2cm、復元底径6.0cm、器高1.2cm。体部内外面に横ナデ調整、内底にナデ調整。底部は回転ヘラ切り離しである。板状圧痕は認められない。淡褐色を呈する。2は復元底径7.2cm、残存器高1.4cm。体部内外面に横ナデ調整、内底にナデ調整。底部は回転ヘラ切り離しである。板状圧痕は認められない。淡褐色を呈する。

黒色土器碗(3) A類の碗である。復元高台径7.6cm、残存器高3.0cm。外面に横ナデ調整、内面にはヘラミガキ調整。内面真黒色、外面淡褐色を呈する。

砥石(6) 最大長8.1cm、最大厚2.9cm、最大幅7.3cm。4面ともに使用される。砂岩製。

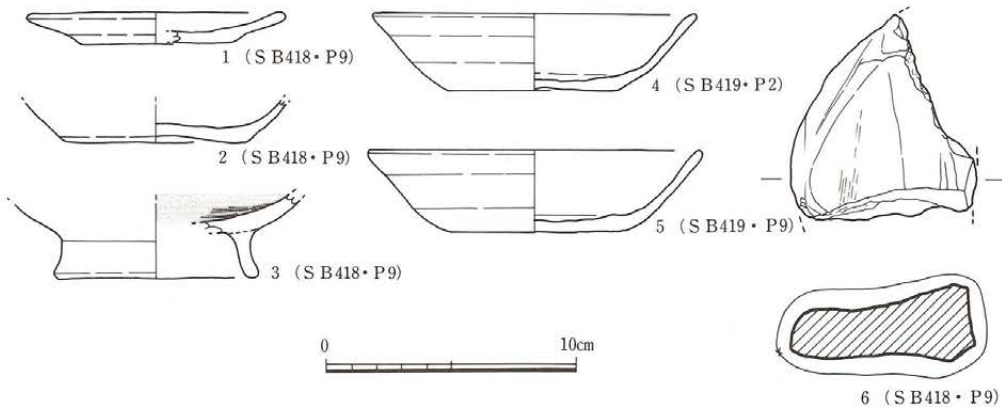


Fig.264 S B 418・S B 419出土遺物実測図 (1/3)

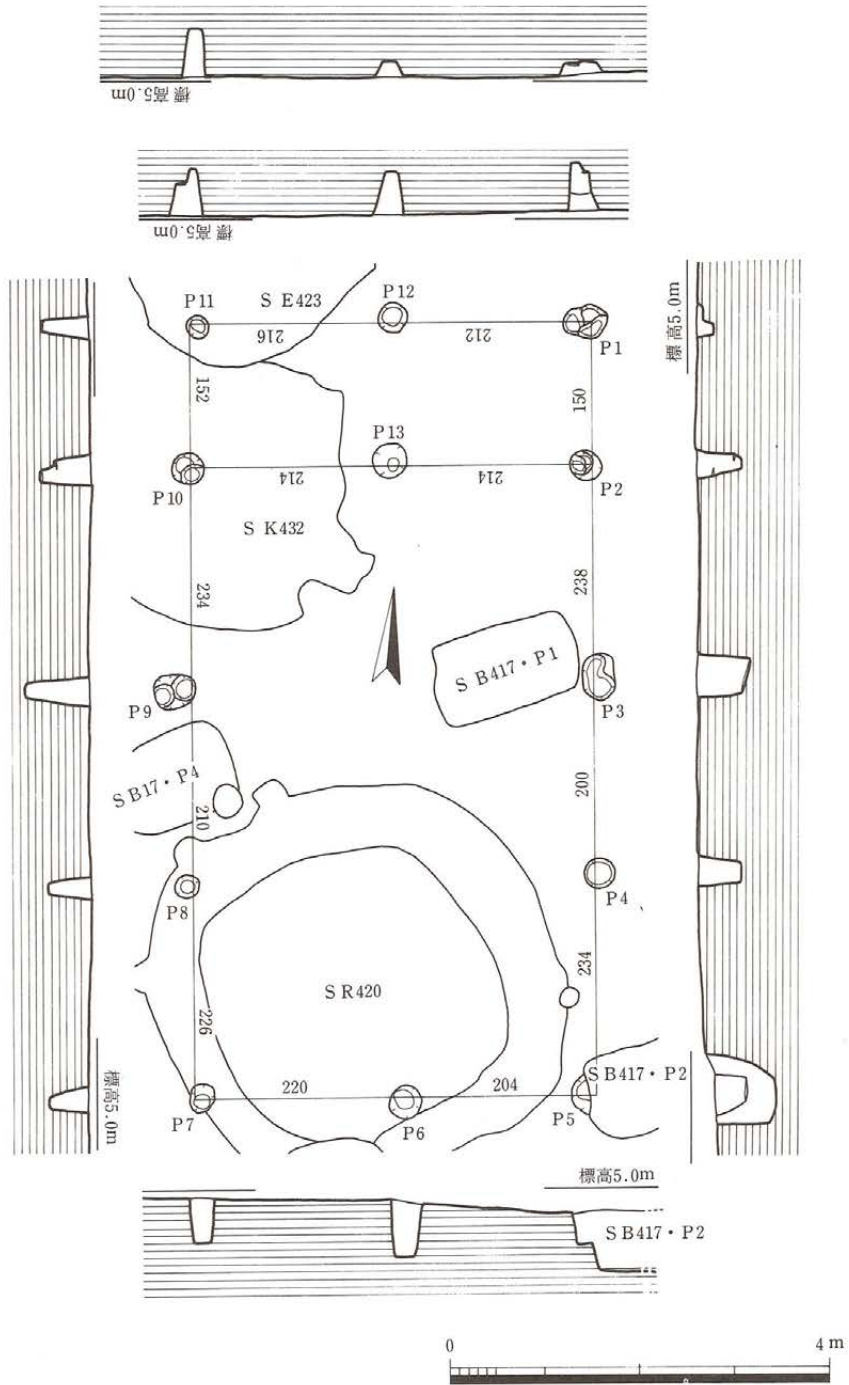


Fig.265 S B418掘立柱建物実測図 (1/80)

VII. 南宿遺跡

S B419掘立柱建物 (Fig.266)

AB-4・5、AC-4・5、AD-4・5グリッドで検出した。他遺構との切り合い関係は以下のとおりである。SE421・SE423・SK432・SR420・SB417-P4・SB422-P4を本遺構がすべて切っている。なお、SB418と重複関係にあるが、柱穴どうしの直接の切り合いが無いため、新旧関係は不明である。検出面の標高は4.9m前後である。梁行2間、桁行3間の建物で、廂等は付設しない。建物主軸をN-12°-Wにとる。柱間寸法は図中のとおりである。柱穴は、平面形が0.2~0.6mの円形を基調としており、深さ0.3~0.6mを測る。柱穴埋土は黒褐色土であった。SB418同様、検出面及び断面において柱痕跡は確認できなかった。また柱そのものの残存も認められなかった。遺物は土師器坏が2点出土している。

出土遺物 (Fig.264、4・5)

土師器坏(4・5) 4はP2出土。復元口径12.8cm、底径6.7cm、器高3.1cm。5はP9出土。復元口径13.2cm、復元底径7.8cm、器高3.3cm。2点ともに体部内外面に横ナデ調整、内底にナデ調整。底部は回転ヘラ切り離して、板状圧痕を有する。淡褐色。

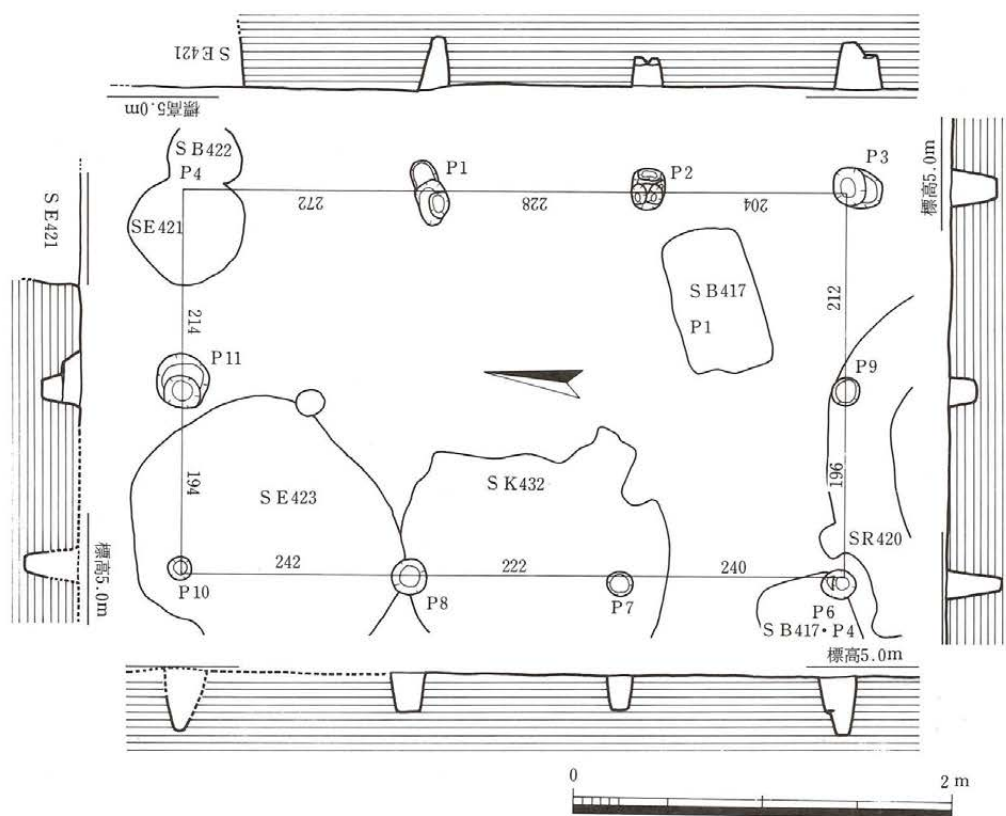


Fig.266 S B419掘立柱建物実測図 (1/80)

(4) その他の出土遺物 (Fig.267・268)

石鏃 (1・2) 1はSD433出土。黒曜石製剥片鏃で、残存長3.3cm、最大幅1.6cm、最大厚0.45cm。先端部及び基部両端を欠損。粗い調整を加え基部を造り出す。2はP4026出土。黒曜石製。残存長2.7cm、最大幅1.7cm、最大厚0.5cm。片方の基部先端を欠損する。

鉢 (3～6) 3はP4066出土。完形品。口径5.8cm、器高3.8cm。手捏土器で、外面下半部にハケ目調整。他には明瞭な指頭圧痕。口縁部付近に6箇所の穿孔が行なわれ、内3箇所が貫通している。穿孔に規則性はないが図示した部分は対になるようである。赤褐色。4はP4017出土。復元口径12.8cm、残存器高4.0cm。口縁部に横ナデ調整、体部内外面はナデ調整。淡赤褐色。5はP4026出土。復元口径13.0cm、残存器高5.0cm。口縁部に横ナデ調整。体部外面上半部にナデ調整、下半部にハケ目調整。体部内面はナデ調整。淡褐色。6はP4046出土。復元口径13.6cm、残存器高12.0cm。口縁部に横ナデ調整、体部外面は縦方向のハケ目調整。体部内面はハケ目調整の後にナデ調整。外器面下半部に黒斑あり。褐色。

甕 (7～11・15) 7はP4024出土。復元口径22.7cm、残存器高20.3cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。胴部外面には全面に黒斑あり。外面暗褐色、内面褐色。8はP4073出土。復元口径34.0cm、残存器高9.9cm。口縁部に横ナデ調整。胴部外面はハケ目調整の後にナデ調整。胴部内面はハケ目調整。胴部外面には煤が付着。淡褐色。9はP4069出土。復元底径7.1cm、残存器高4.5cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。淡褐色。10はP4080出土。復元底径7.4cm、残存器高7.2cm。外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。外器面の一部に黒斑あり。淡赤褐色。11はP4027出土。復元底径12.6cm。残存器高4.6cm。外器面にはハケ目調整後にナデ調整。内器面はナデ調整。外面淡褐色、内面暗褐色。15は土師器甕。P4044出土。復元口径16.6cm、残存器高5.0cm。口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。褐色。

器台 (12) P4027出土。復元裾部径16.6cm、残存器高12.4cm。裾端部に横ナデ調整、外器面にハケ目調整、内器面にナデ調整。淡褐色。

皿 (13) P4044出土。土師器。復元口径13.7cm、復元底径8.2cm、器高1.3cm。口縁部に横ナデ調整、内底にナデ調整。外底にヘラケズリ調整。口縁部付近に黒斑あり。淡褐色。

椀 (14) P4081出土。土師器。復元高台径7.9cm、残存器高6.2cm。外器面に横ナデ調整、内器面にナデ調整。見込み中央部に径9mm程度の焼成後穿孔あり。淡褐色。

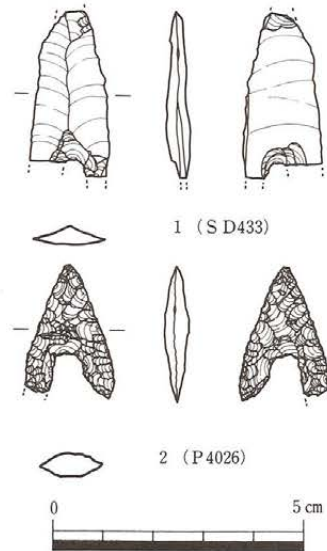


Fig.267 その他の出土遺物実測図 (1)
(2/3)

VII. 南宿遺跡

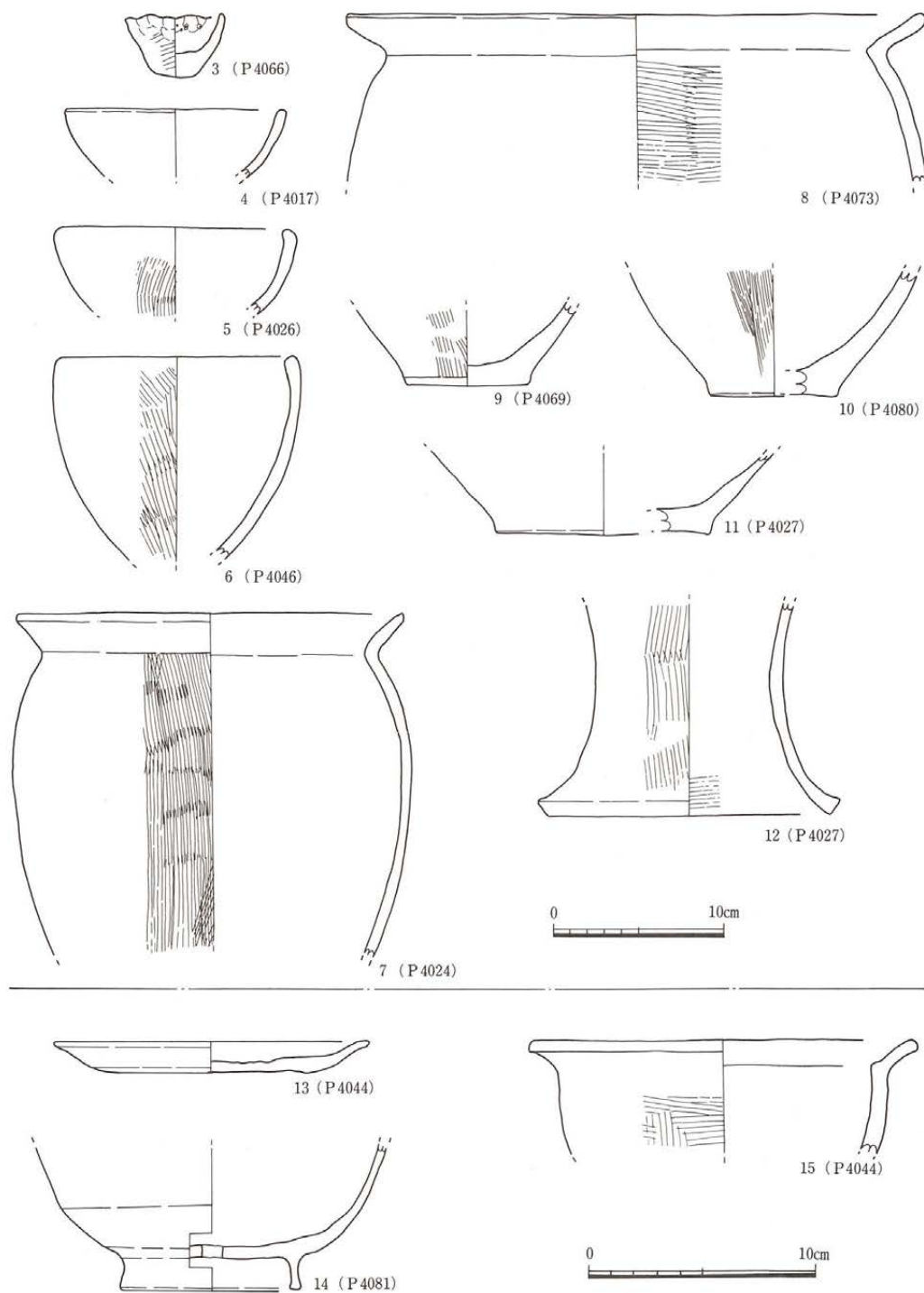


Fig.268 その他の出土遺物実測図(2) (3~12:1/4, 13~15:1/3)

4. 小 結

今回調査を行なった南宿遺跡4区は比較的内容の濃い遺跡であった。狭い調査区ながら、遺構数も割合と多く、遺構の時期も弥生時代・古墳時代・平安時代と複数時期にわたっている。この中で最も多く検出したのが弥生時代の遺構と遺物である。ここでは、弥生時代の遺構・遺物を中心に気付いた点など若干述べてみたい。

弥生時代の掘立柱建物は今回SB417・SB422の2棟を検出したが、南宿遺跡1～3区の調査においては確認されておらず、初めての調査例となった。いずれも1間×1間の建物である。建物方位は大きくずれており、方位を統一した様子は窺えない。ただ、SE423井戸を中心に建物が存在しており、建物どうしの切り合いもないことから考えて同時存在の可能性が高い。建物自体は、柱穴の規格・形状などから判断すると、村徳永遺跡で検出された掘立柱建物とほぼ同一のものであるといえる。村徳永遺跡は弥生時代中期から後期にかけての拠点集落と考えられており、これまでの調査において百数十棟を越える掘立柱建物が検出されている。掘立柱建物の柱穴からは柱材そのものも多く検出されており、その殆どが直径10～20cmの断面円形の柱である。また柱の下部構造として横木・枕木・礎板などが確認されている。今回検出した掘立柱建物は柱材などの検出はなかったが、柱痕跡から判断すると柱材の規格・形状は、村徳永遺跡のものと殆ど同じである。今回の調査において、南宿遺跡においても、村徳永遺跡と同一タイプの掘立柱建物を有する集落が存在することを確認できたことは成果であった。

掘立柱建物とともに周溝状遺構SR420も検出されている。周溝状遺構は佐賀市域においては北部域に集中してその分布が認められるが、未だその性格等については明らかにされていない。時期的には殆ど弥生中期後半から後期初頭の間にとまっている。検出状況をみると、掘立柱建物と絡んで検出される例が多いようであり、掘立柱建物と切り合っただけで検出されているものは殆どが周溝状遺構が切られている。このような遺構の時期や検出状況から考えて、掘立柱建物と周溝状遺構には何らかの関連性があるように思われる。掘立柱建物の建設に先立った祭祀の可能性を考えてもみたが、それを裏付ける資料は現在のところ無い。

溝SD403は明確な時期が判断できず、掘立柱建物との関係を明らかにすることはできなかった。また、2条の柵列についても同様な状況である。

古墳時代の遺構は井戸が2基検出されただけで、古墳時代の集落の様相については詳しく知ることができない。周辺では本村遺跡1区において古墳時代前期の堅穴住居・土塋が検出されているが、本調査区とはかなりの距離を隔てており、同一集落とは考えにくい。

平安時代の遺構は掘立柱建物2棟である。重複関係にあり、建て替えが行なわれていると思われる。建物の規模も、廂の有無が異なるだけで、ほぼ同一規格の建物である。他の遺構が検出されておらず、出土遺物も少ないため、建物の性格などについては明らかにできなかった。

VII. 南宿遺跡

今回の調査は集落の概要を明らかにするには調査面積が狭く、深く言及することができなかった。しかし、佐賀市域における弥生時代の掘立柱建物及び周溝状遺構の分布範囲が広がったこと、当地域において古墳時代及び平安時代の集落の存在を確認できたことなど、ある程度の調査成果をあげることはできたように思われる。集落の概要の解明については、今後の調査に期待したい。

図 版

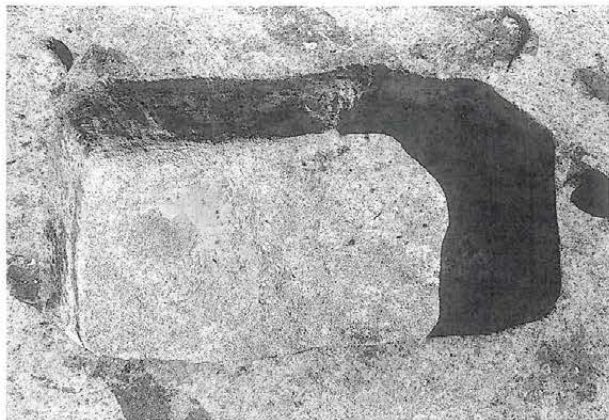


原ノ町遺跡・東高田遺跡・櫟木遺跡周辺の景観

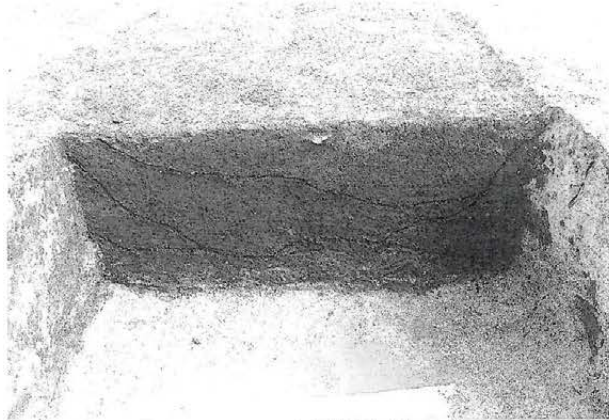
遺物写真は挿図と対照できるように
挿図番号を表記した。

5. SH310 (115—180)

図版番号 遺構番号 挿図番号



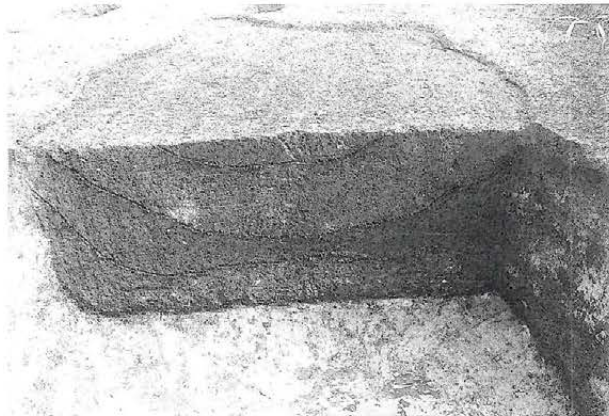
(1) SK 113土坑 (東から)



(2) SK 113土層断面 (北から)



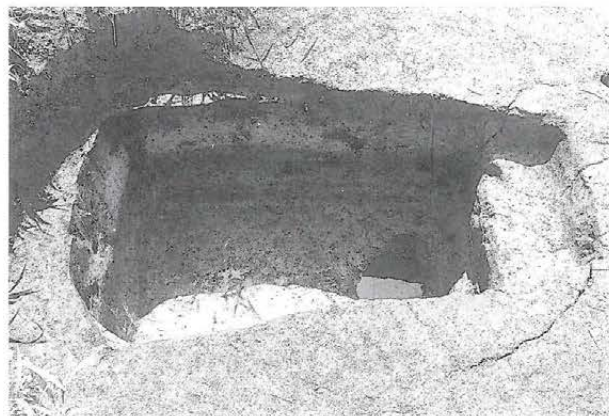
(3) SK 114土坑 (東から)



(4) SK 114土層断面 (北から)



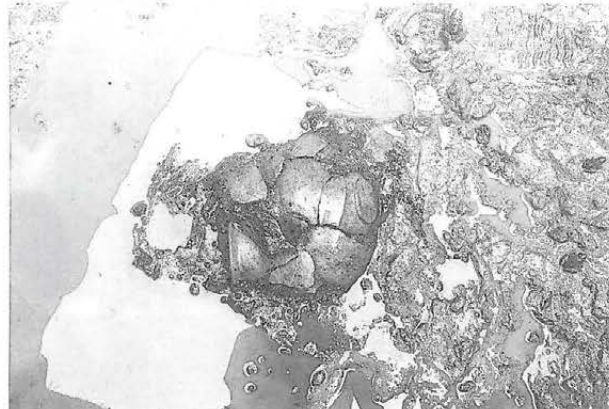
(5) SK 115土坑 (北東から)



(6) SK 122土坑 (東から)



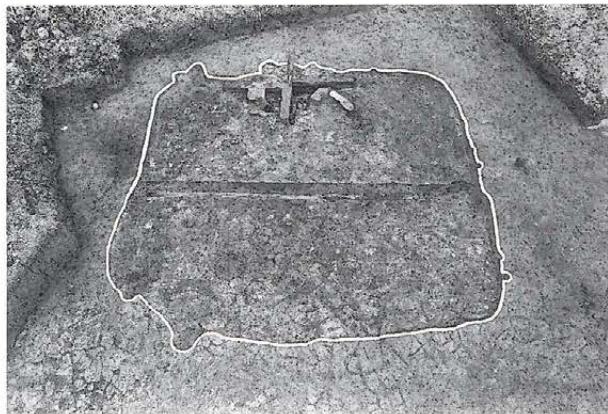
(7) SK 116土坑 (東から)



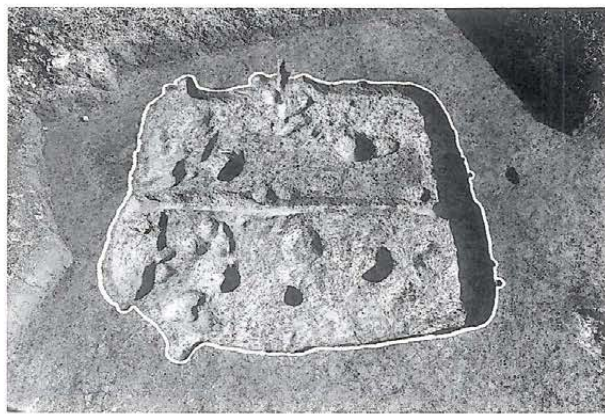
(8) SK 116土遺物出土状況 (南から)



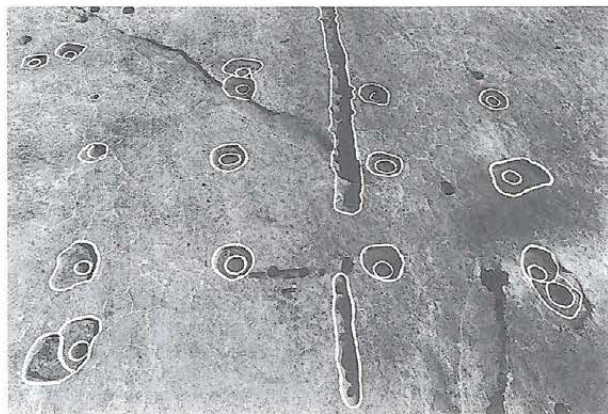
(1) 原ノ町遺跡1区全景(東半)



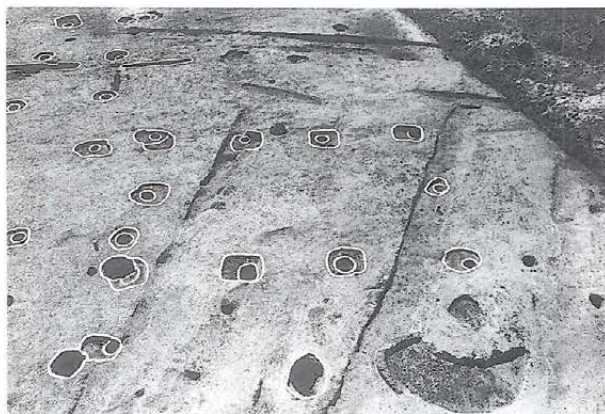
(2) SH130竪穴住居床面(南から)



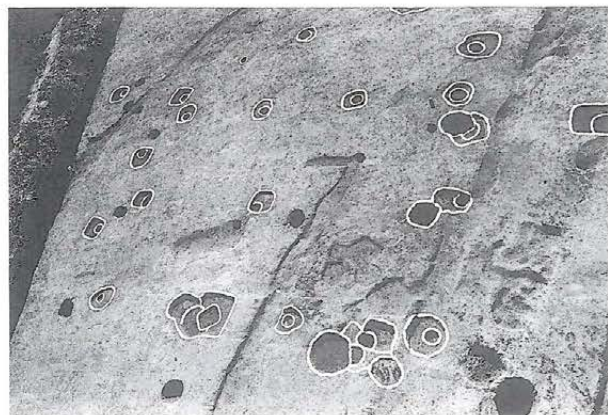
(3) SH130竪穴住居完掘(南から)



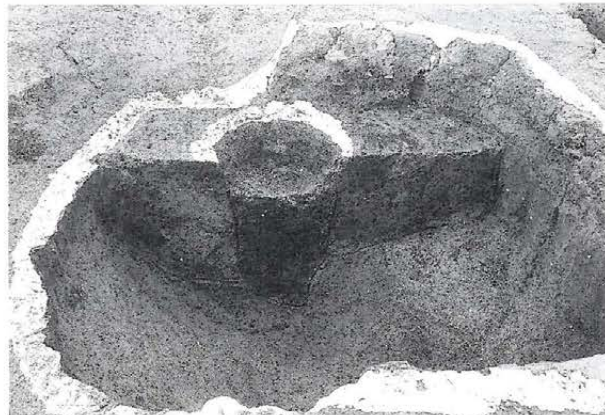
(4) SB120掘立柱建物(北から)



(5) SB121掘立柱建物(東から)



(6) SB122掘立柱建物(北東から)



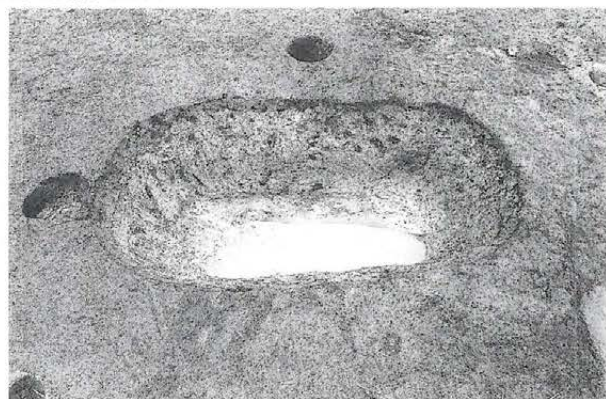
(7) SB121P 7土層断面(東から)



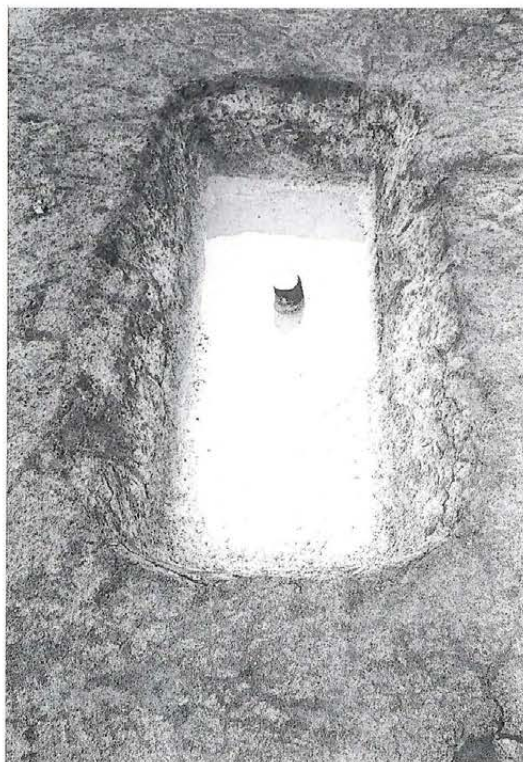
(1) 原ノ町遺跡1区全景(西半)



(1) S K 110土壙(北西から)



(2) S K 101土壙(南から)



(3) S K 103土壙(東から)



(4) S K 104土壙(南から)



(5) S K 107土壙(南から)



1



2



3



4



5



6



7



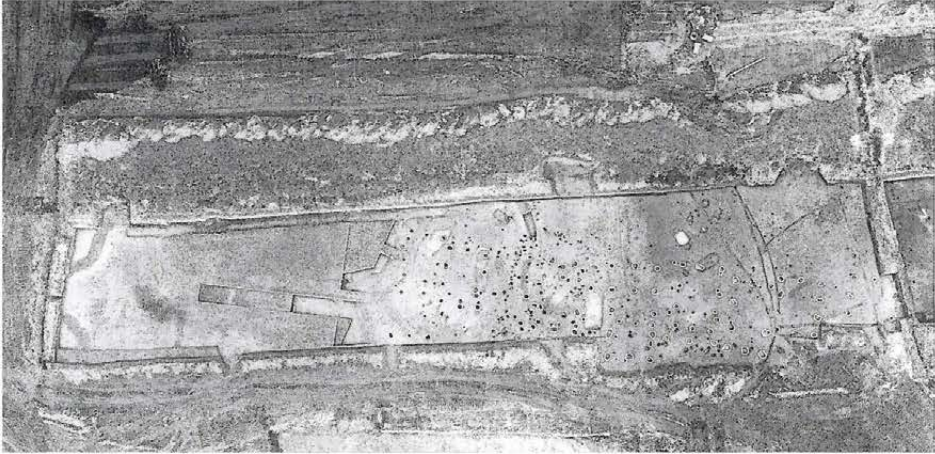
8

- 1. SK115 (11-16)
- 2. SK116 (12-19)
- 3. SK113-114 (9-8~11)
- 4. SK110 (22-31)

- 5. SK110 (22-30)
- 6. SK104 (29-47)
- 7. 表採 (31-57)
- 8. SK103 (27-44)



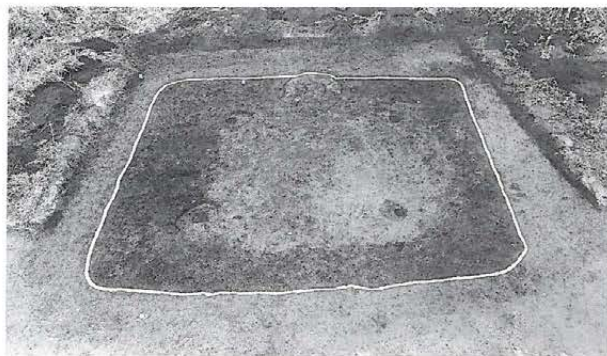
(1) 東高田遺跡1区全景(東半)



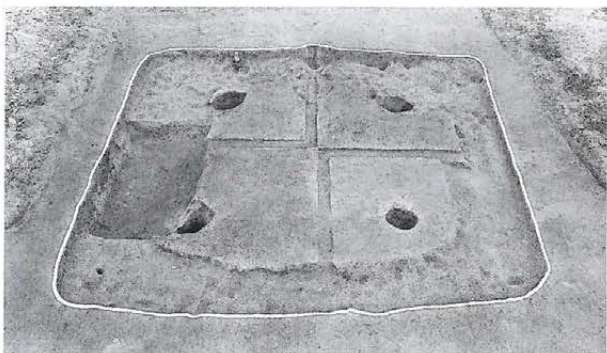
(2) 東高田遺跡1区全景(西半)



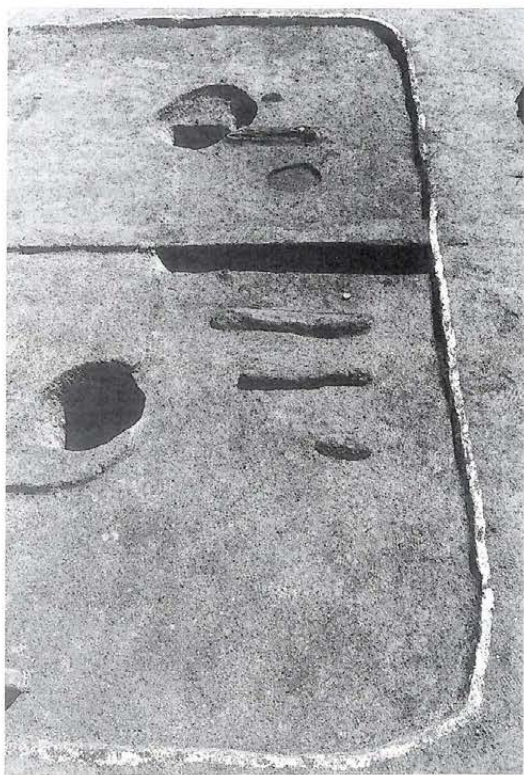
(3) 掘立柱建物群全景



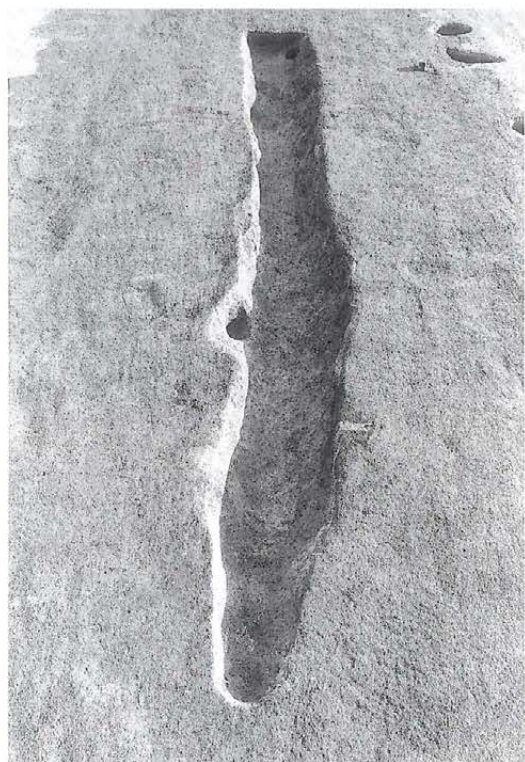
(1) SH101竪穴住居床面 (南から)



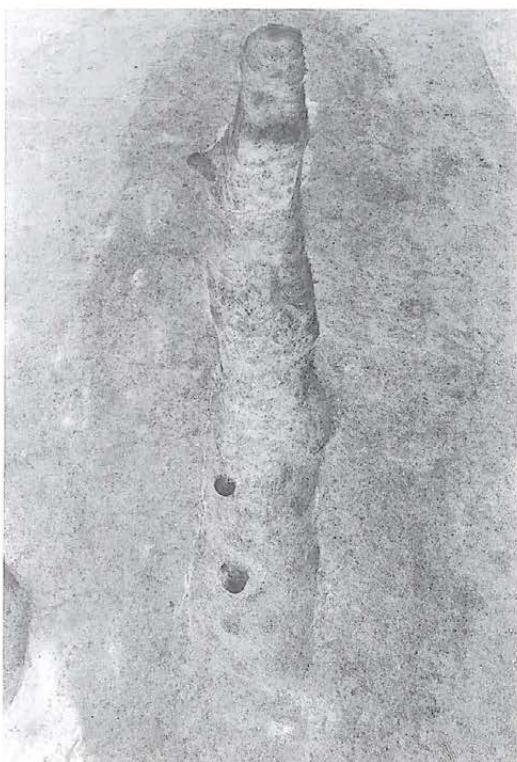
(2) SH101竪穴住居完掘 (南から)



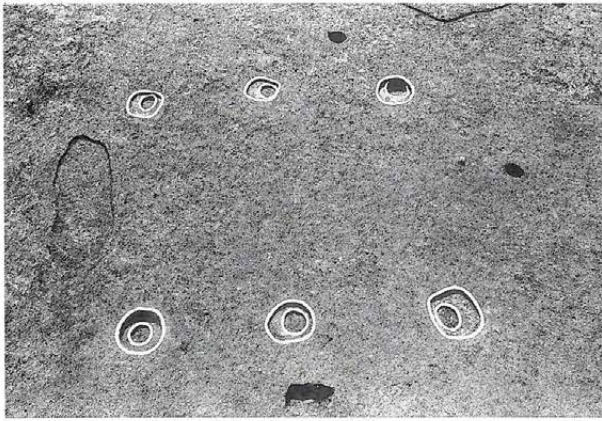
(3) SH101炭化材検出状況



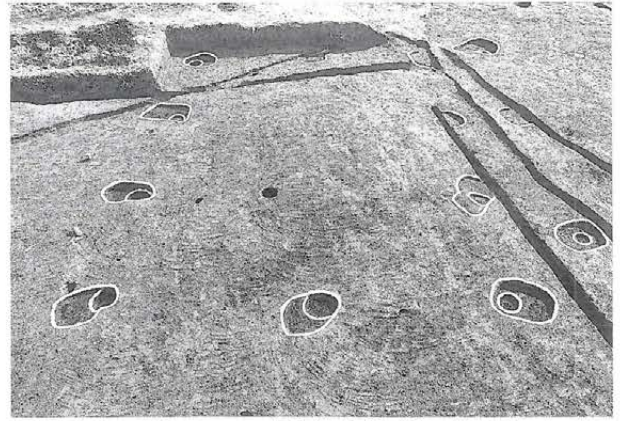
(4) SD114溝 (北から)



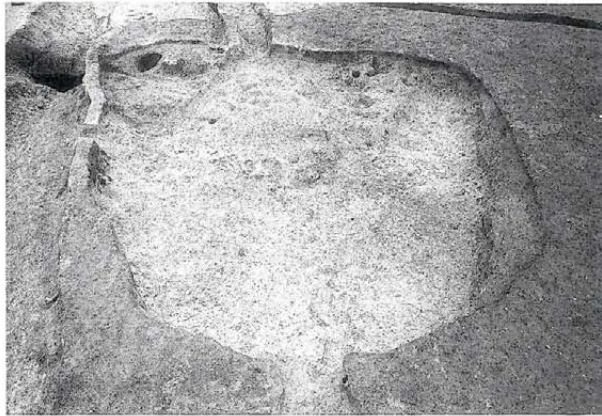
(5) SD115溝 (北から)



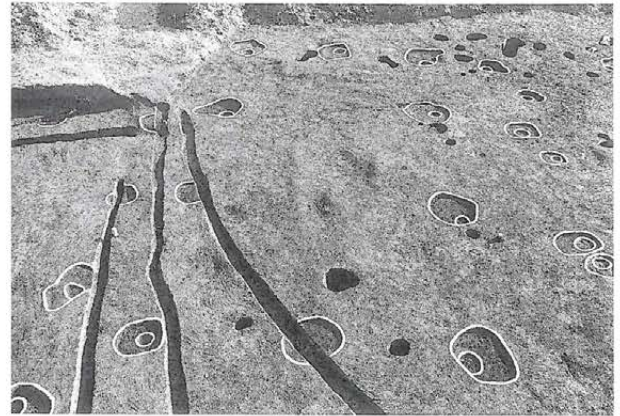
(1) S B 151掘立柱建物 (北から)



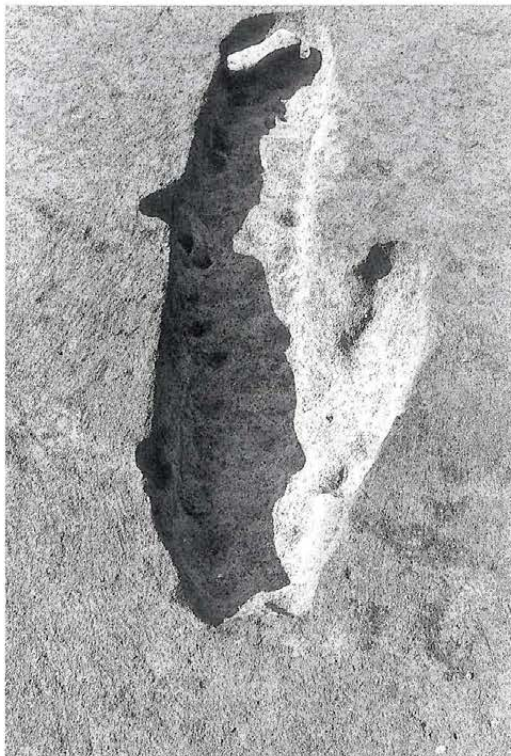
(2) S B 103掘立柱建物 (北から)



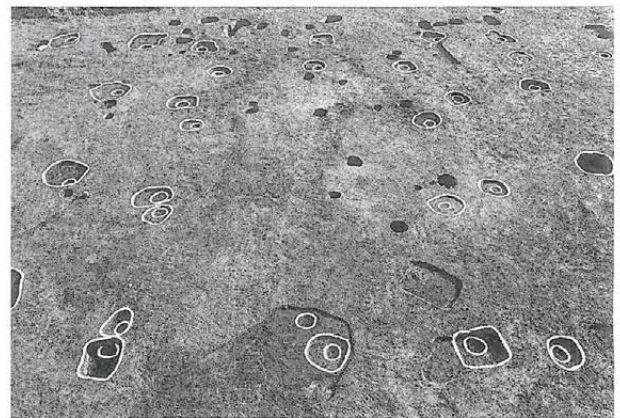
(3) S K 122土壌 (南から)



(4) S B 104掘立柱建物 (北から)



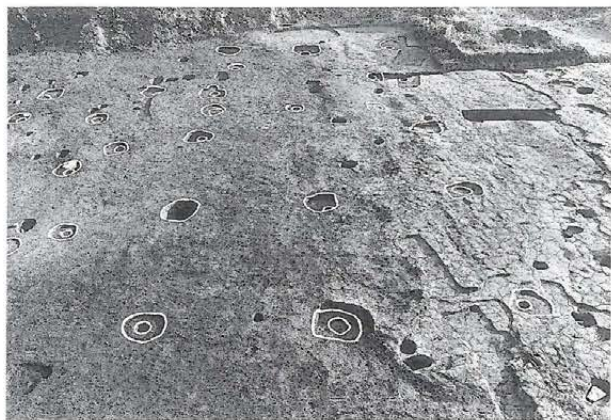
(5) S K 123土壌 (東から)



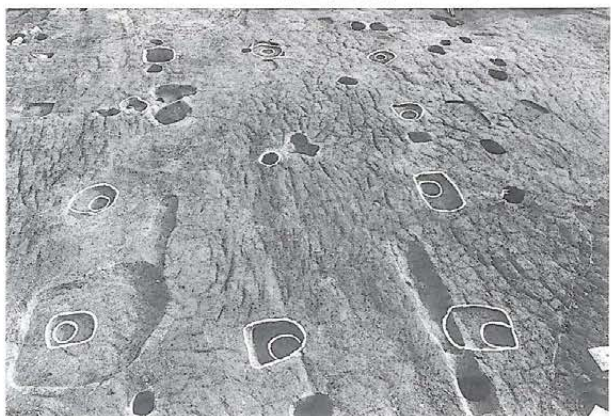
(6) S B 105・106掘立柱建物 (北から)



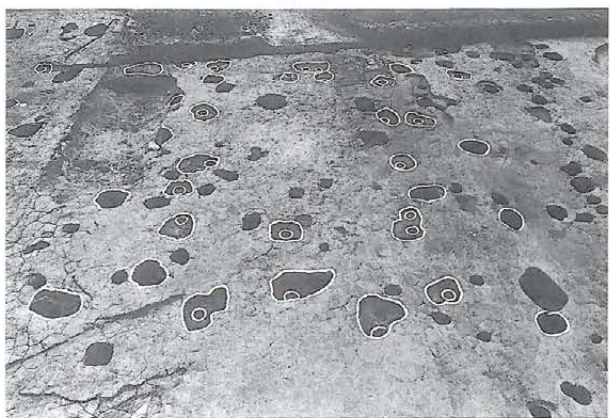
(7) S B 108P 1土壌断面 (西から)



(1) S B 107掘立柱建物 (北から)



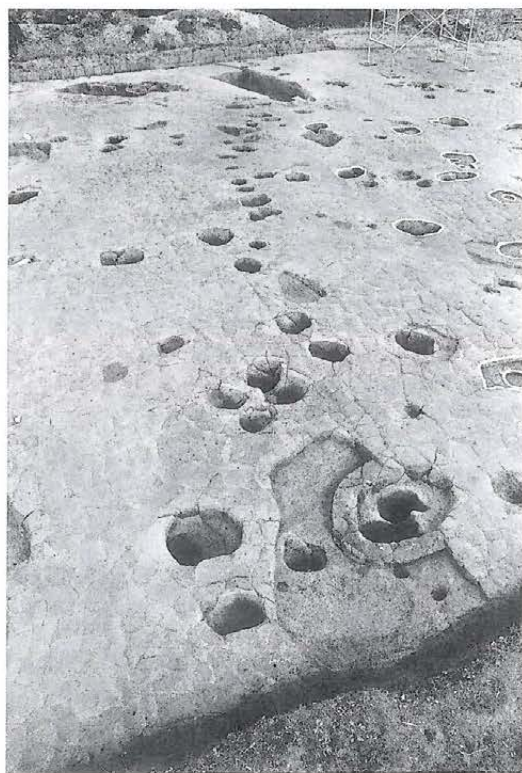
(2) S B 108掘立柱建物 (北から)



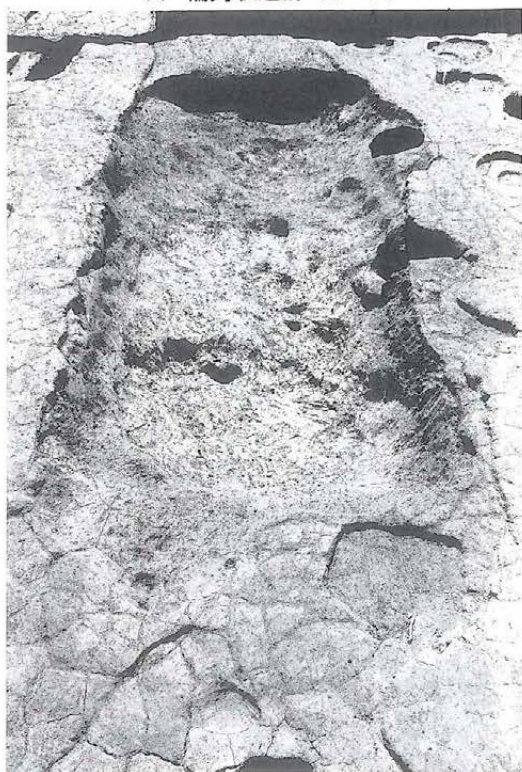
(3) S B 109・111・112掘立柱建物 (北から)



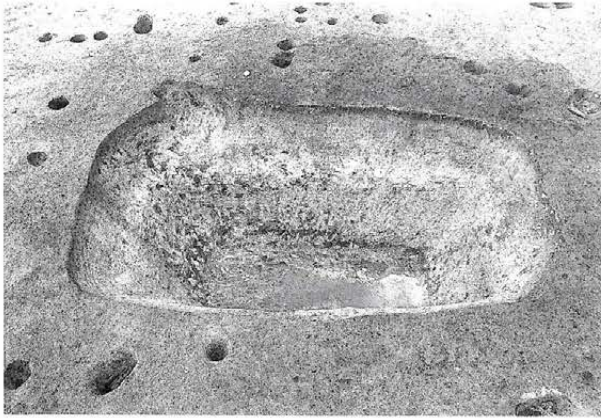
(6) S K 125土層断面 (南から)



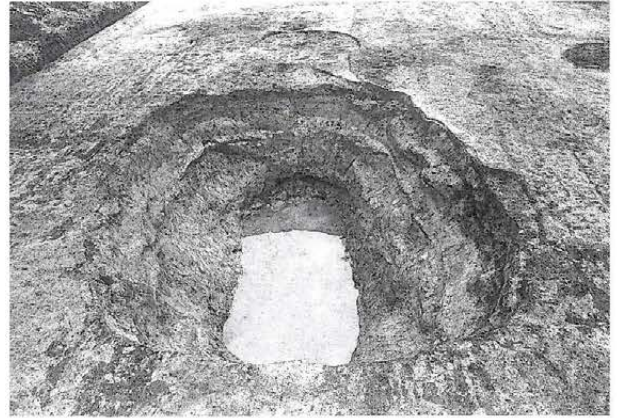
(4) 柵列状遺構 (南から)



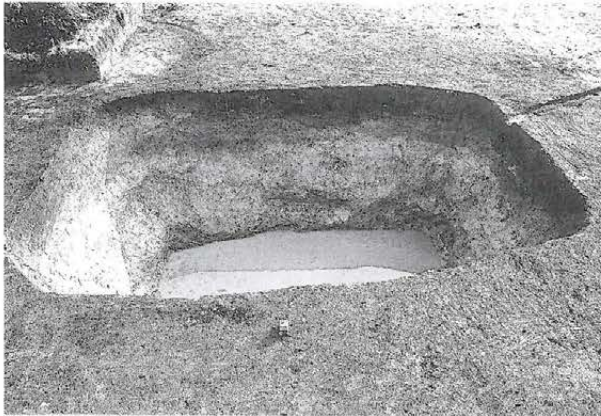
(5) S K 125土壇 (北から)



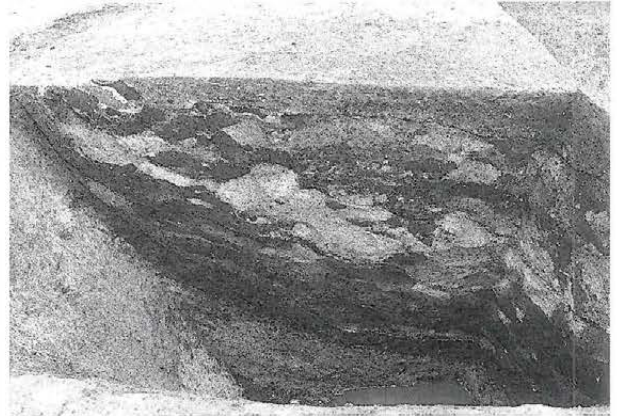
(1) S K 121土坑 (南から)



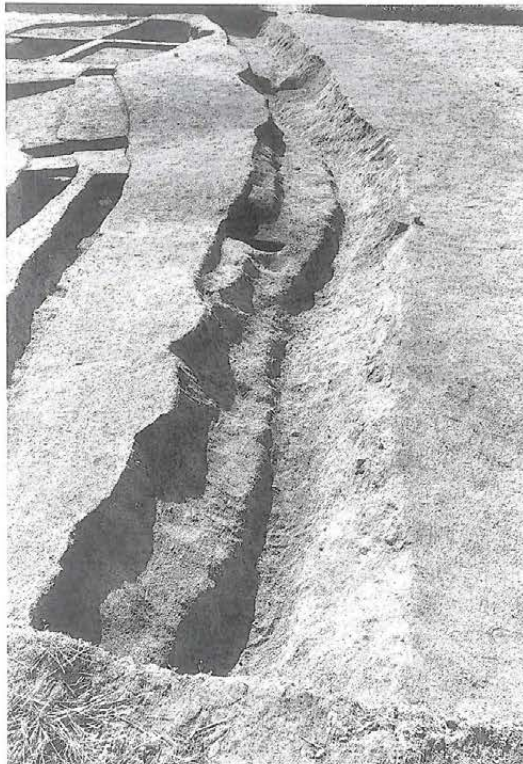
(2) S K 152土坑 (北から)



(3) S K 153土坑 (北から)



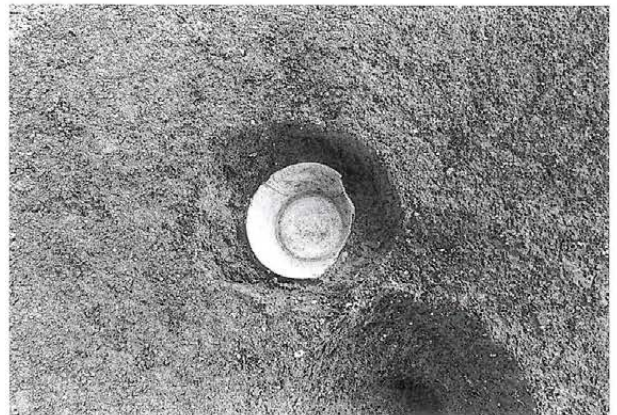
(4) S K 153土層断面 (北から)



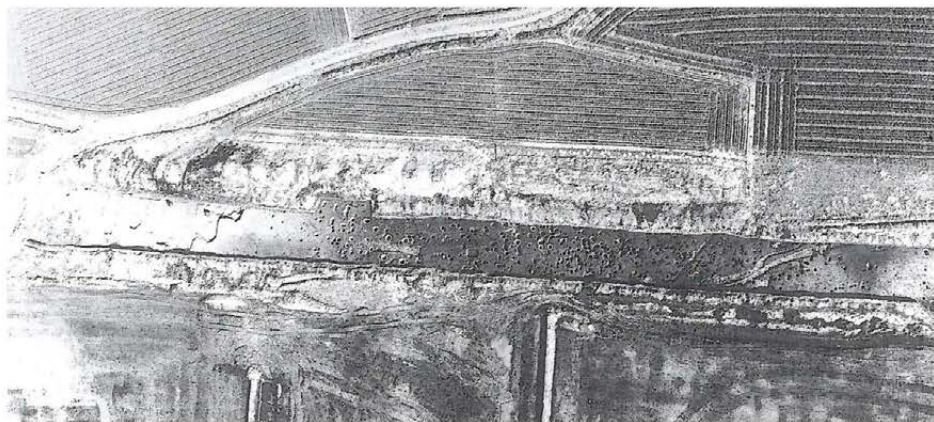
(5) S D 120溝 (北から)



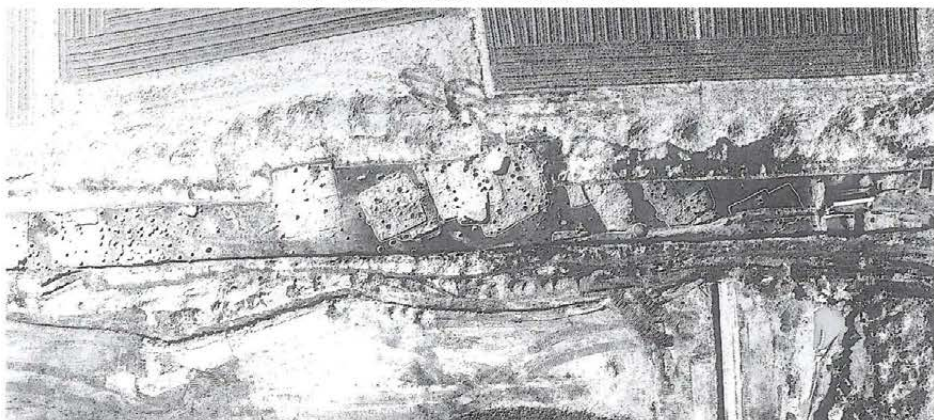
(6) S D 116・119・120溝 (北から)



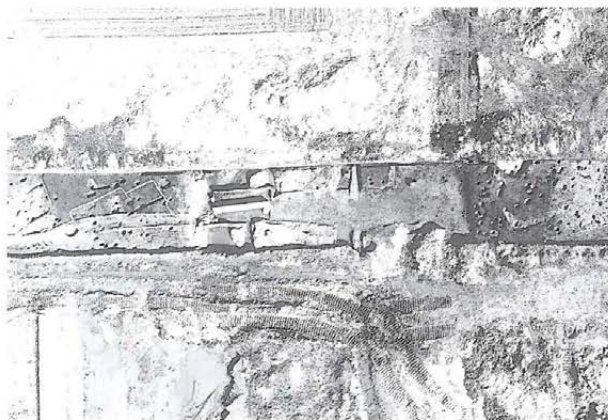
(7) P 1001小穴 (北から)



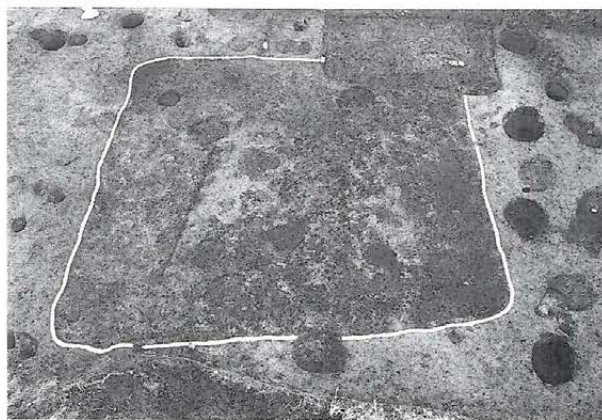
(1) 東高田遺跡2区全景(北半)



(2) 東高田遺跡2区全景(南半)



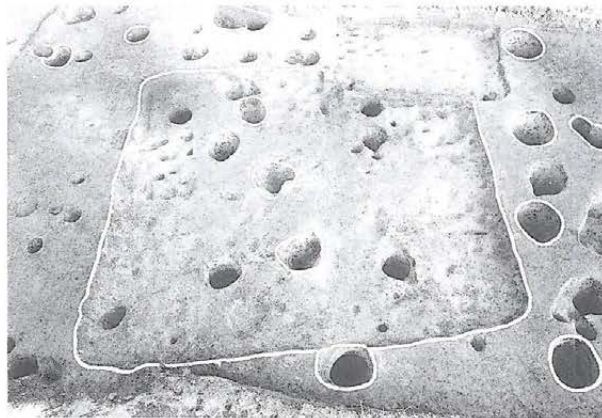
(3) S X 248・249不明遺構周辺



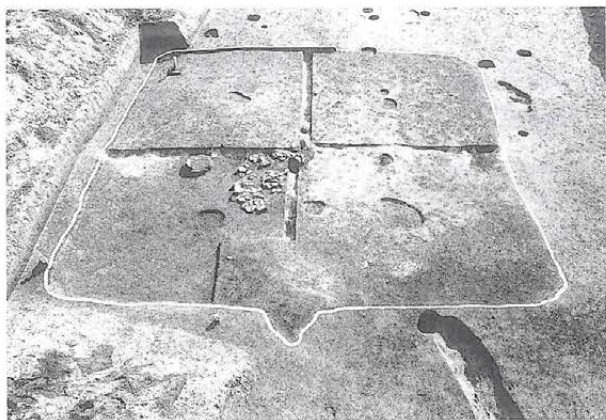
(4) S H 251竪穴住居床面(西から)



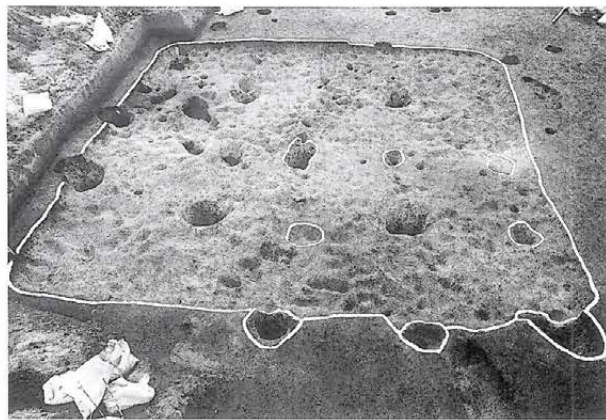
(5) S H 251遺物出土状況



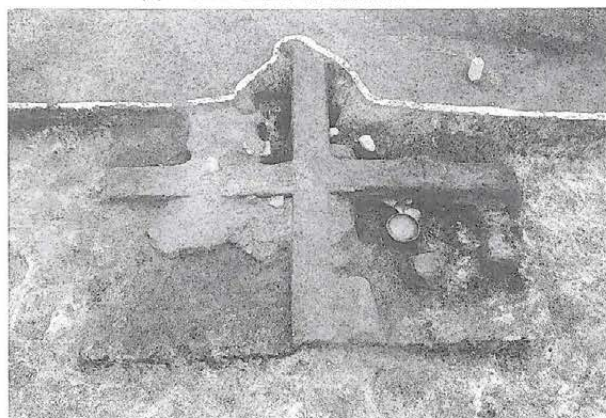
(6) S H 251竪穴住居完掘(西から)



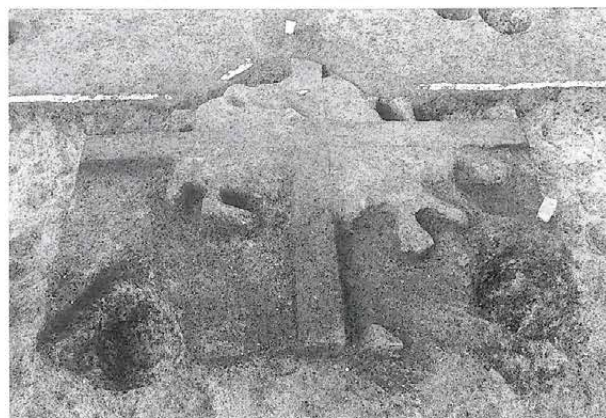
(1) SH252竪穴住居床面(北から)



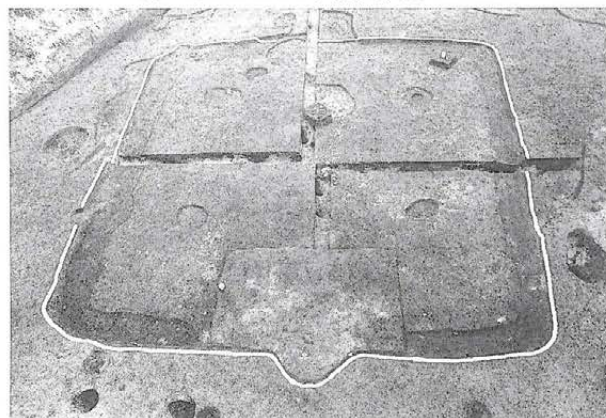
(2) SH252竪穴住居完掘(北から)



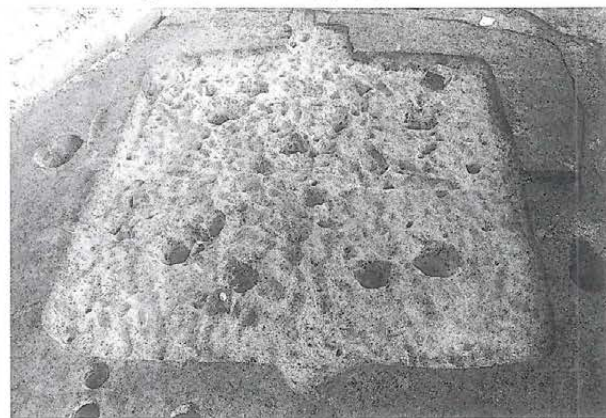
(3) SH252カマド検出状況(南から)



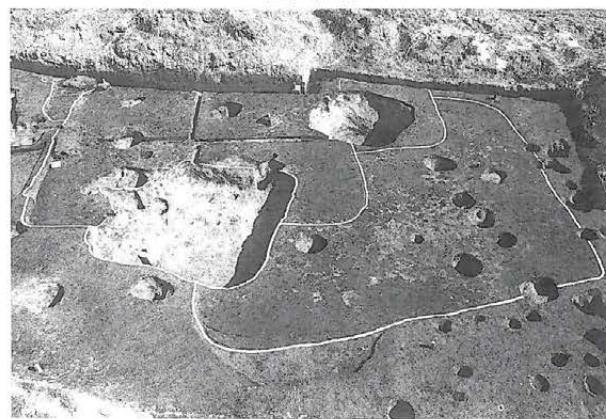
(4) SH255カマド検出状況(南から)



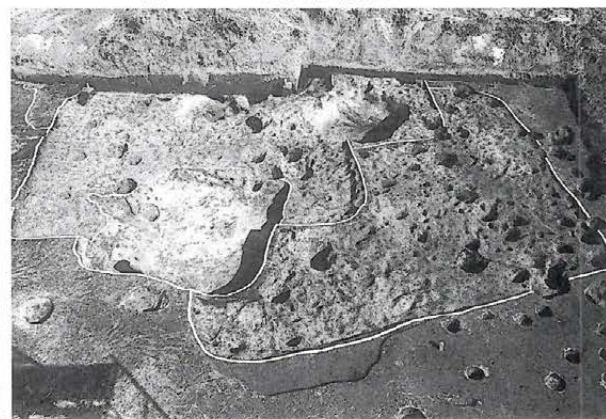
(5) SH255竪穴住居床面(北から)



(6) SH255竪穴住居完掘(北から)



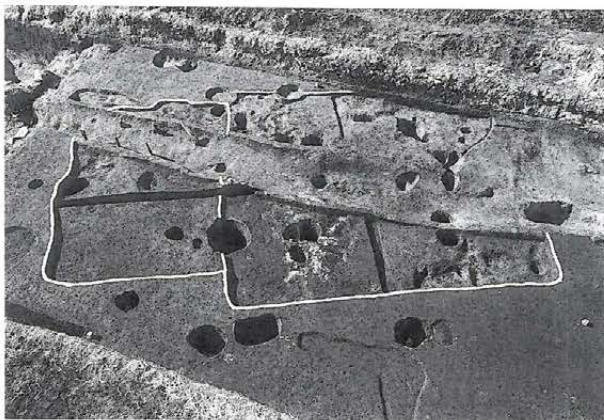
(7) SH242・261・265・266竪穴住居床面(西から)



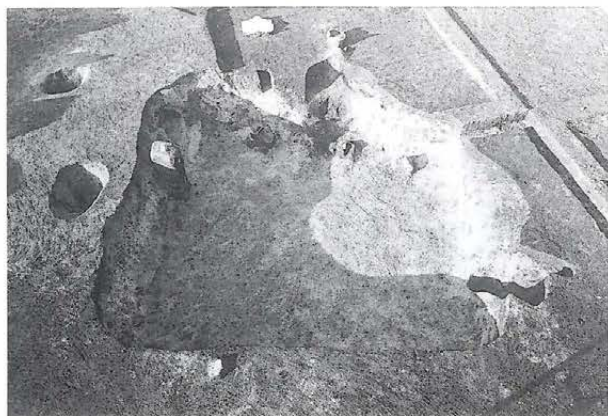
(7) SH224・261・265・266竪穴住居床面(西から)



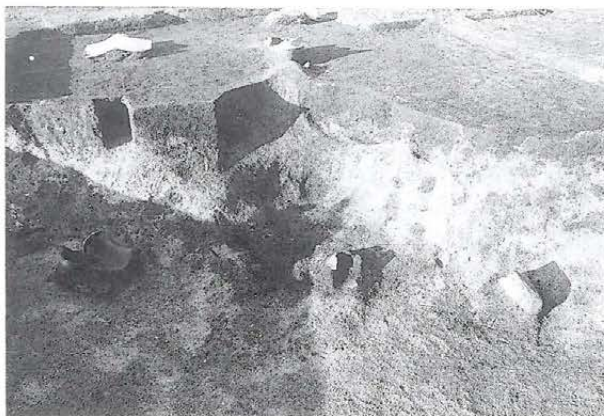
(1) SH261カマド検出状況(南から)



(2) SH259・260竪穴住居(東から)



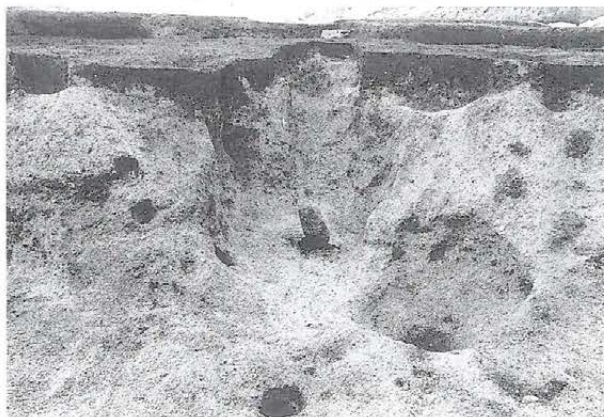
(3) SH242竪穴住居(南から)



(4) SH242カマド検出状況



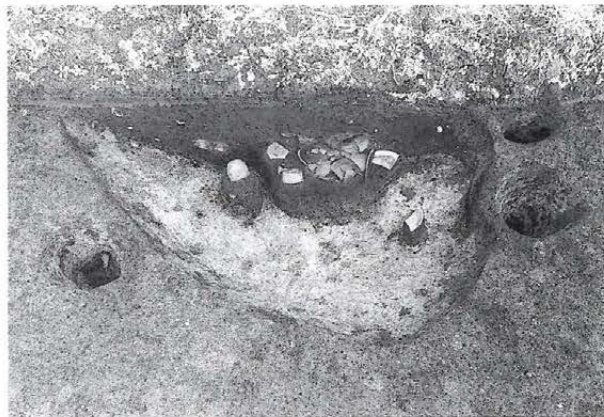
(5) SH242カマド土層断面(東から)



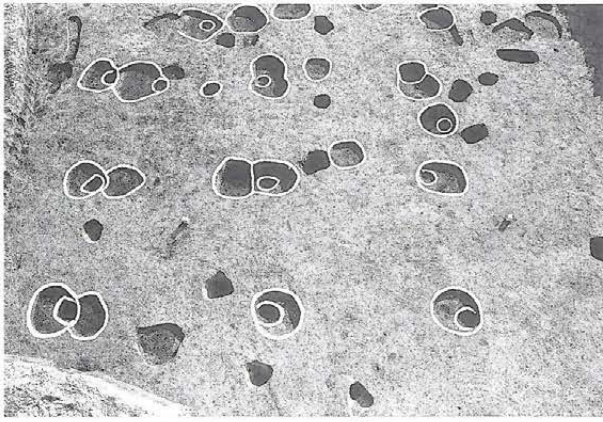
(6) SH242カマド完掘(南から)



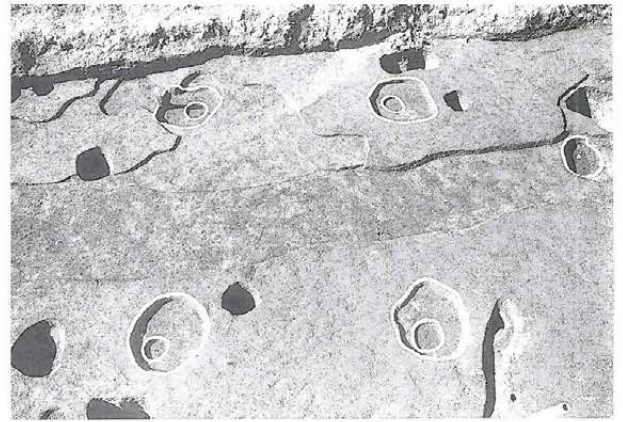
(7) SK231土壇(北から)



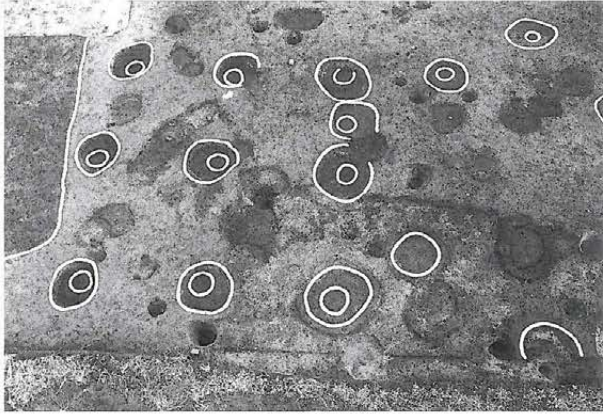
(8) SK237土壇(西から)



(1) S B 211掘立柱建物 (北から)



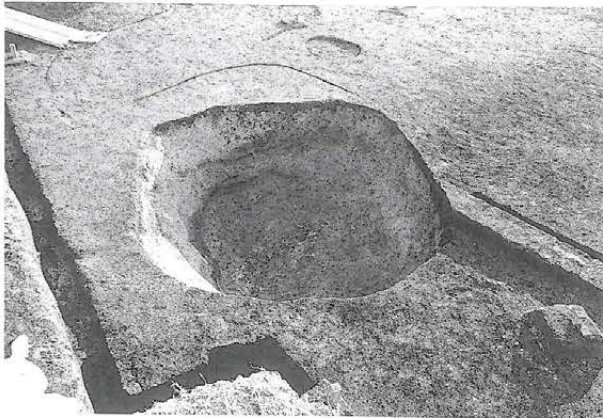
(2) S B 214掘立柱建物 (東から)



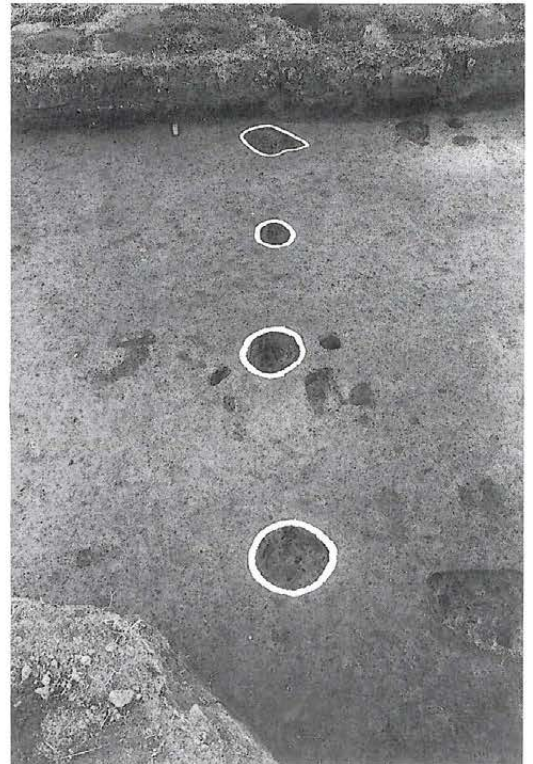
(3) S B 219掘立柱建物 (西から)



(4) S B 214P 2土層断面 (西から)



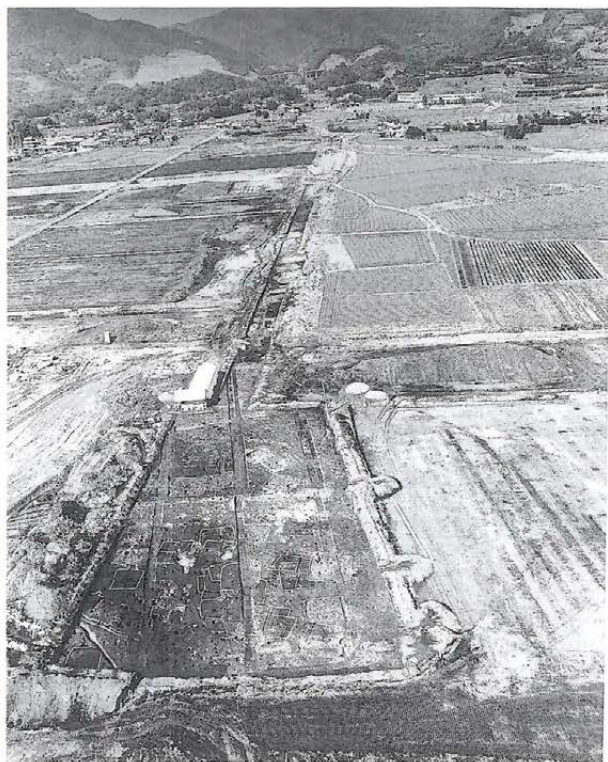
(5) S K 243土坑 (北から)



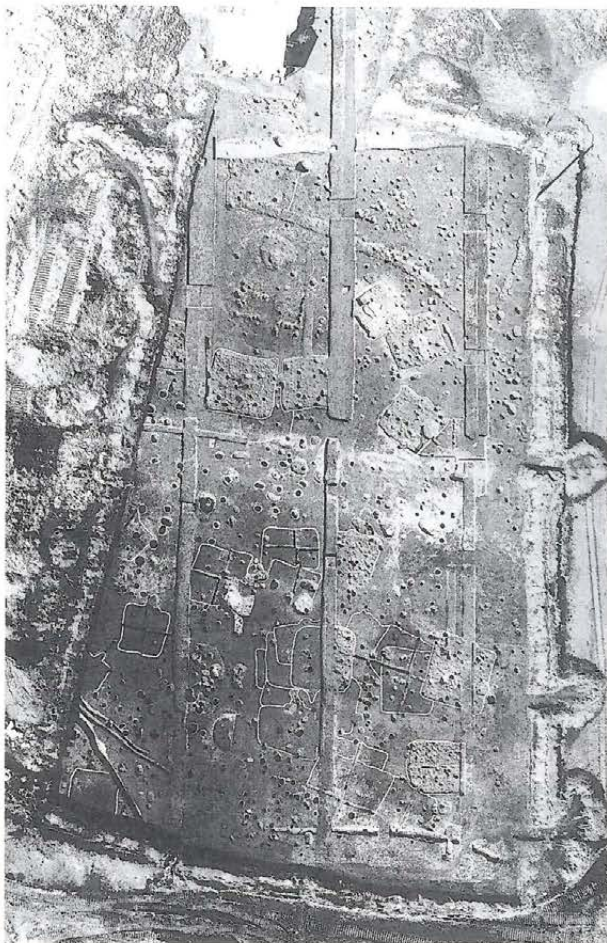
(7) S A 218柵列 (西から)



(6) S X 202不明遺構 (南から)



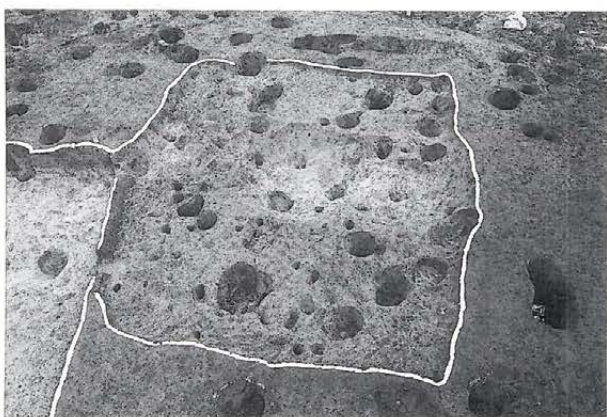
(1) 東高田遺跡調査区全景 (南から)



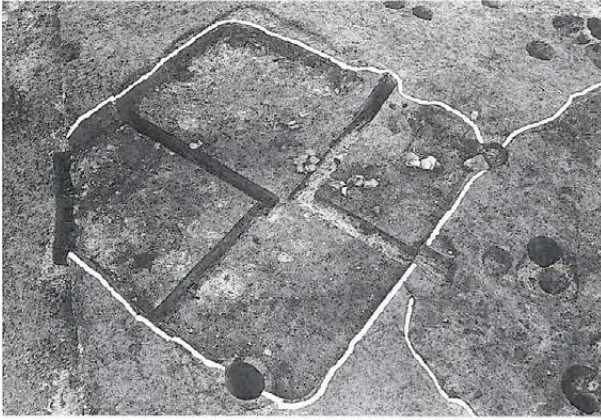
(2) 東高田遺跡3区全景



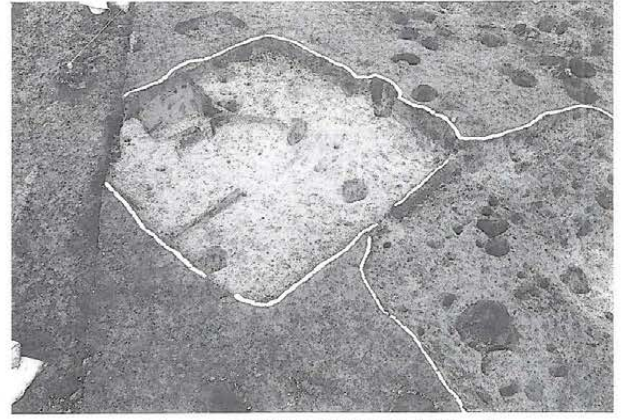
(3) SH354竪穴住居床面 (西から)



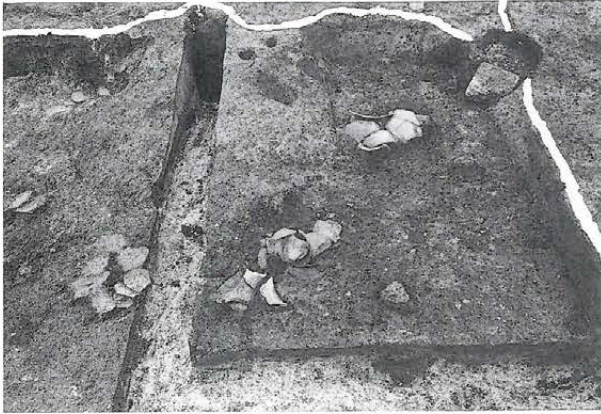
(4) SH354竪穴住居完掘 (西から)



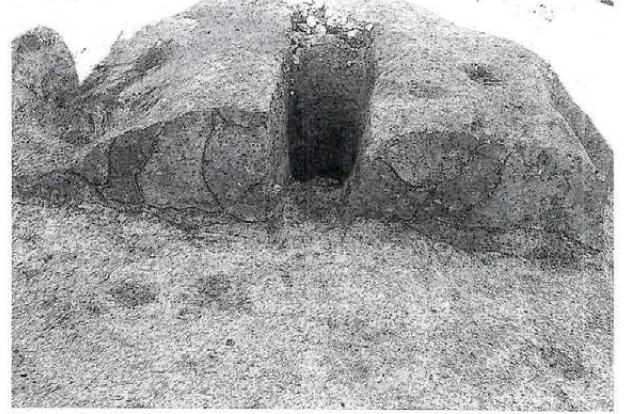
(1) SH353竪穴住居床面 (南から)



(2) SH353竪穴住居完掘 (南から)



(3) SH353遺物出土状況 (南西から)



(4) SH353カマド土層断面 (南西から)



(5) SH355竪穴住居床面 (西から)



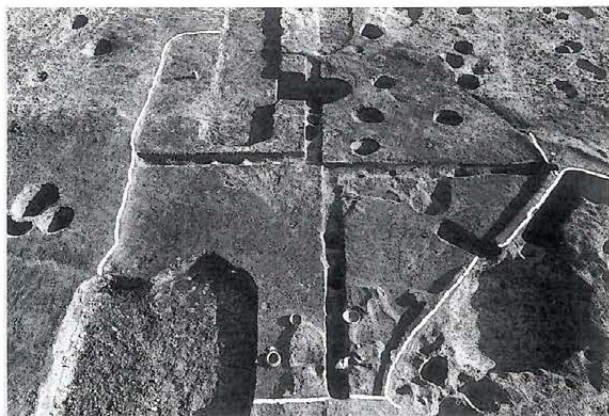
(6) SH355竪穴住居完掘 (西から)



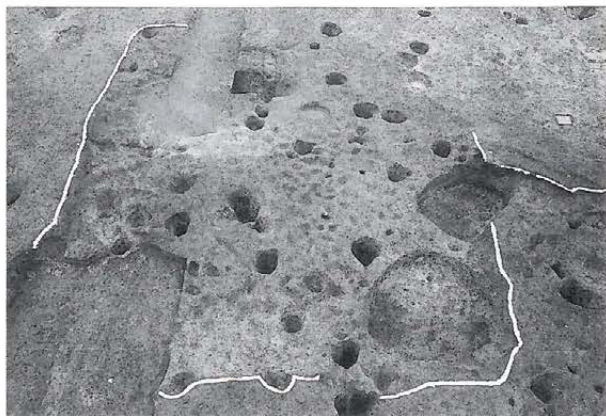
(7) SH356竪穴住居床面 (西から)



(8) SH356竪穴住居完掘 (北から)



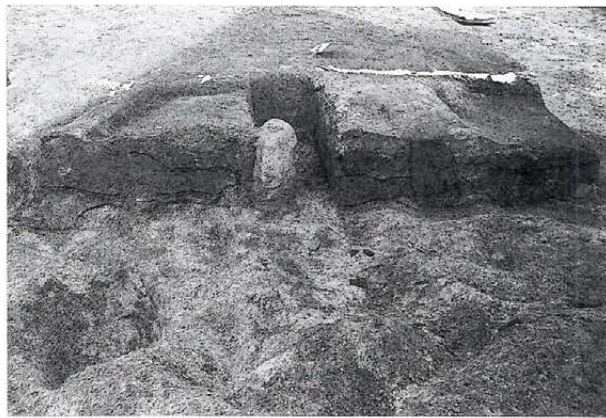
(1) SH357竪穴住居床面(北から)



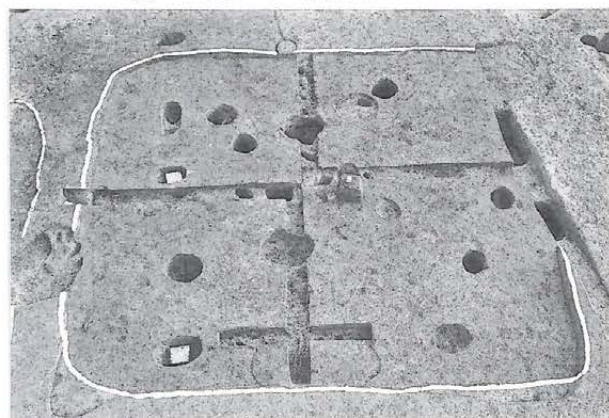
(2) SH357竪穴住居完掘(北から)



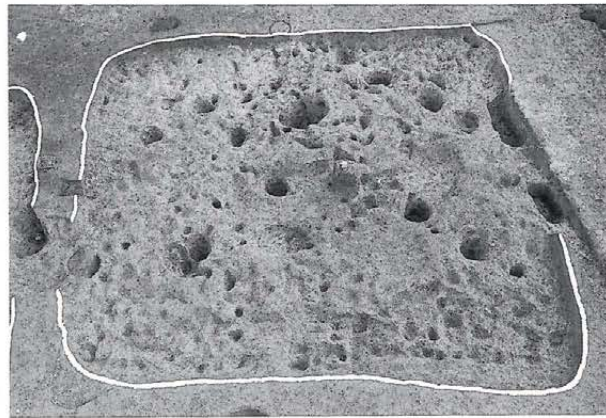
(3) SH357カマド検出状況(北から)



(4) SH357カマド土層断面(南から)



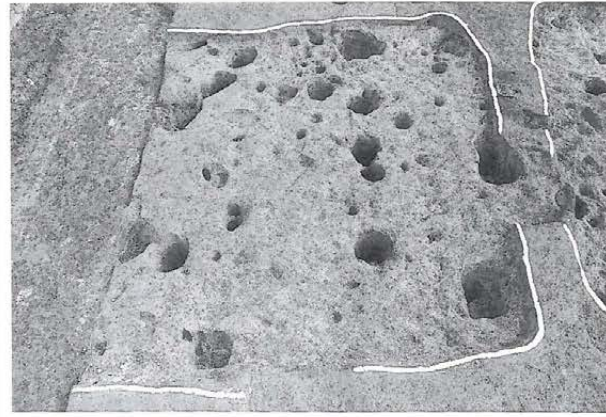
(5) SH358竪穴住居床面(北から)



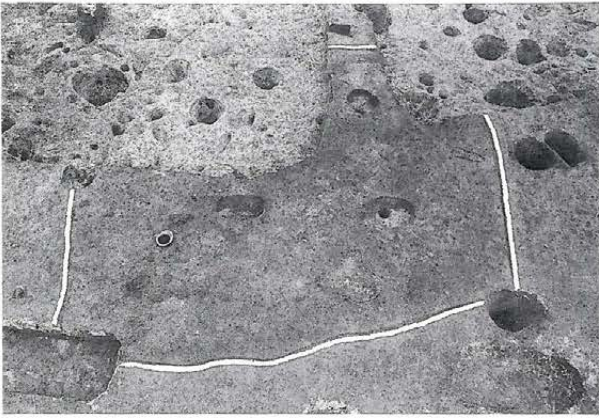
(6) SH358竪穴住居完掘(北から)



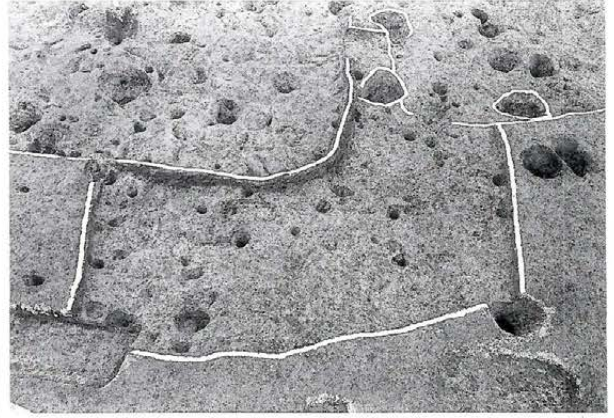
(7) SH359竪穴住居床面(北から)



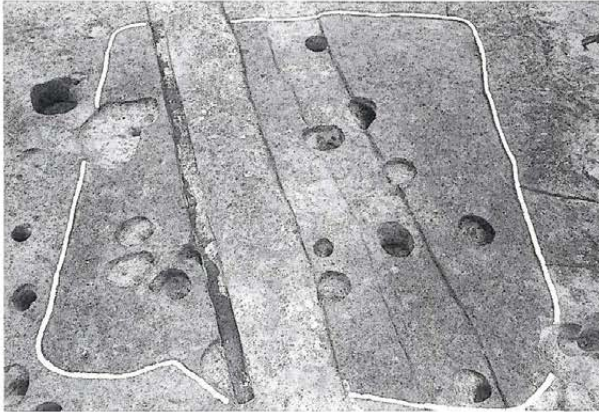
(8) SH359竪穴住居完掘(北から)



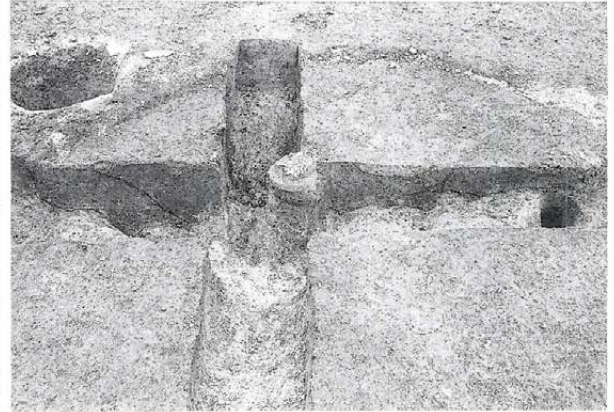
(1) SH360竪穴住居床面(南から)



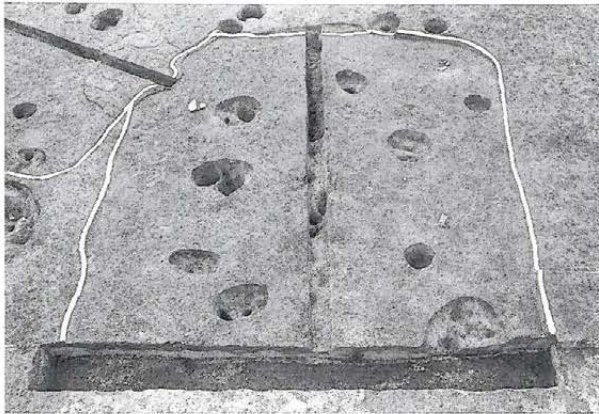
(2) SH360竪穴住居完掘(南から)



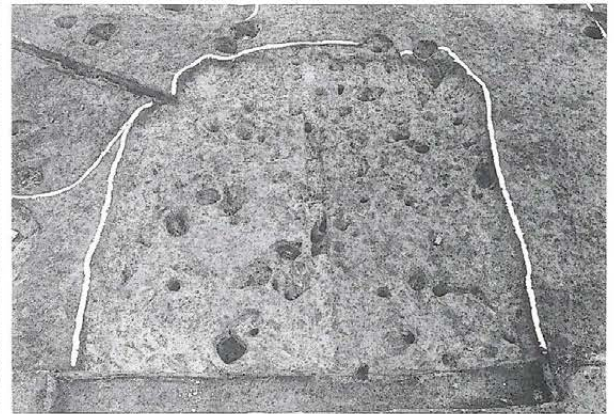
(3) SH362竪穴住居床面(北から)



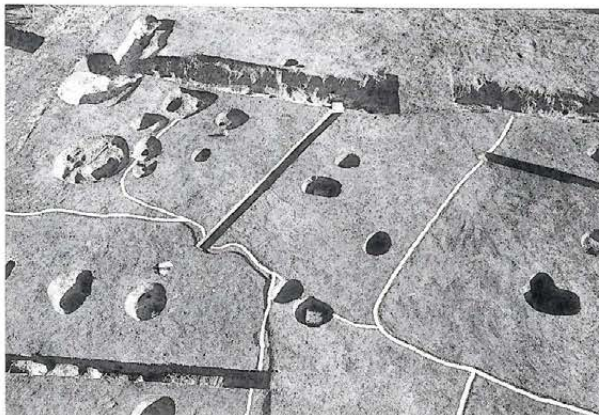
(4) SH363カマド土層断面(南東から)



(5) SH363竪穴住居床面(東から)



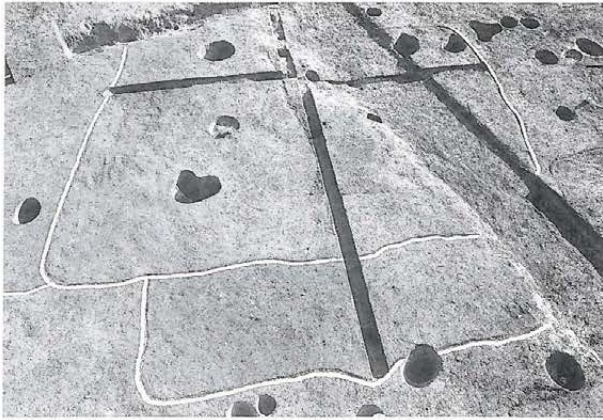
(6) SH363竪穴住居完掘(東から)



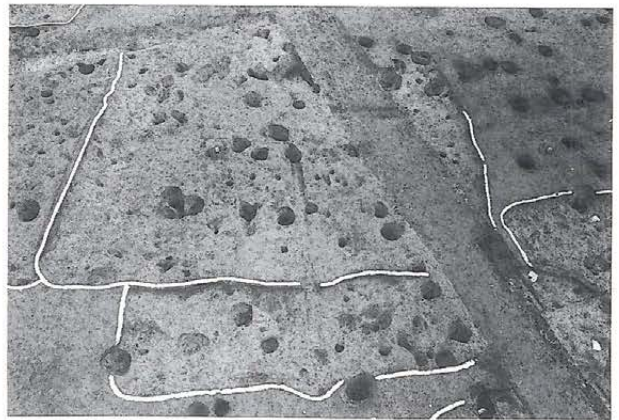
(7) SH364竪穴住居床面(北西から)



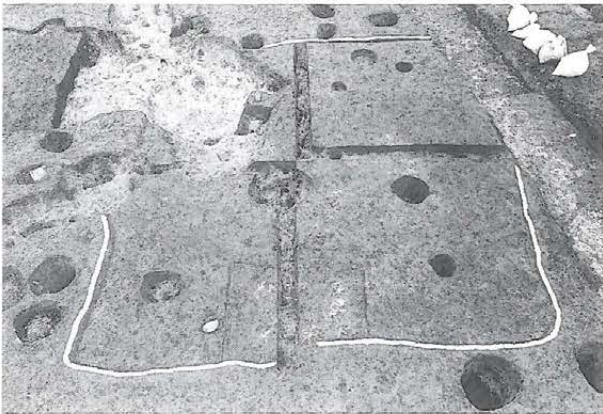
(8) SH364竪穴住居完掘(北西から)



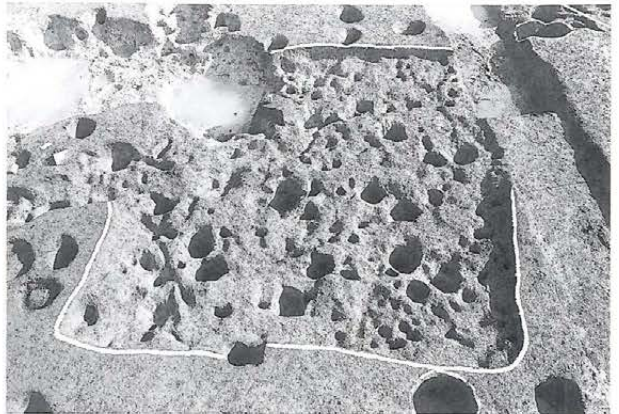
(1) S H 365・366 竪穴住居床面 (北から)



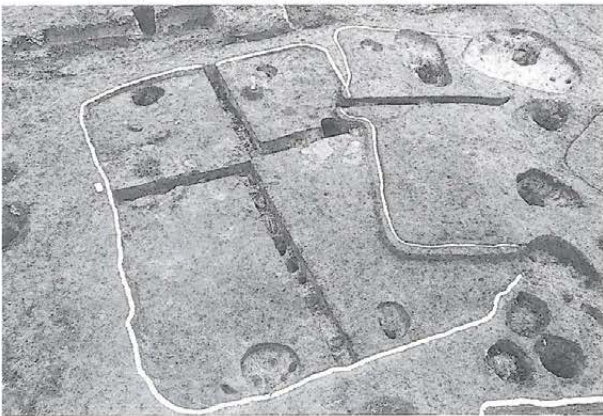
(2) S H 365・366 竪穴住居完掘 (北から)



(3) S H 367 竪穴住居床面 (北から)



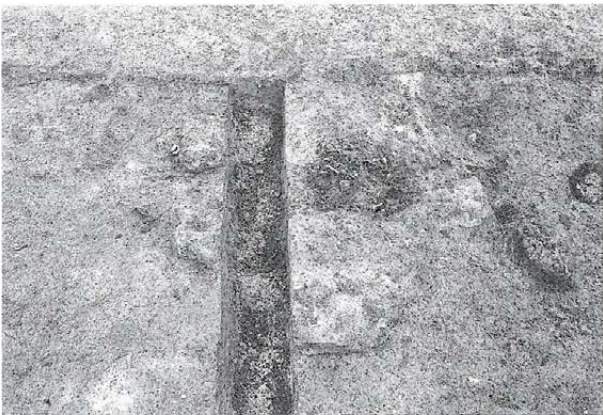
(4) S H 367 竪穴住居完掘 (北から)



(5) S H 369 竪穴住居床面 (西から)



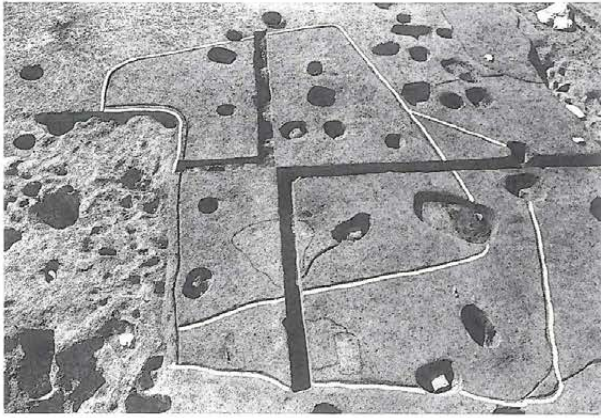
(6) S H 369 竪穴住所完掘 (西から)



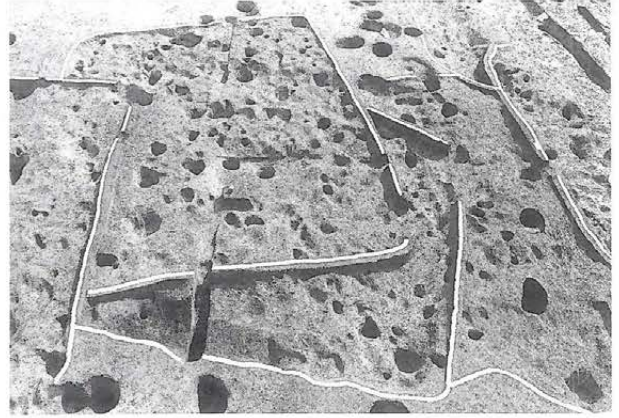
(7) S H 369 カマド 検出状況 (南から)



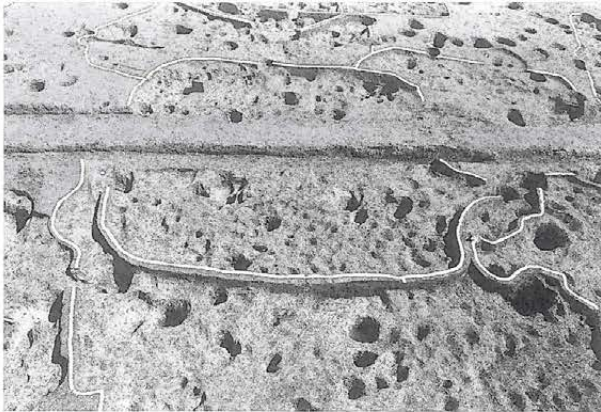
(8) 雪に埋没する調査区



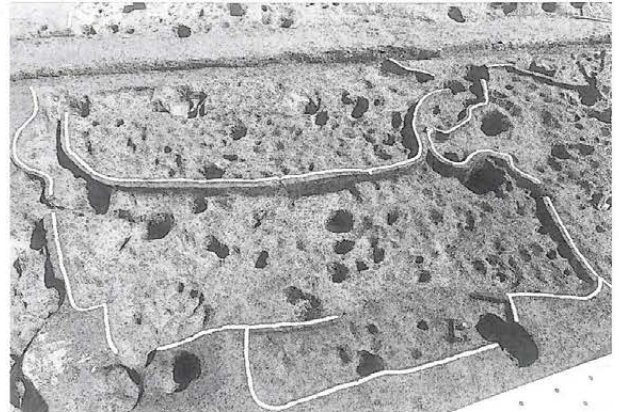
(1) S H 373・374 竪穴住居床面 (北から)



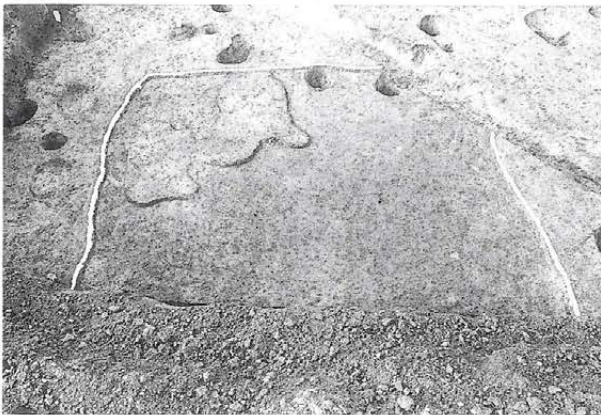
(2) S H 373・374 竪穴住居完掘 (北から)



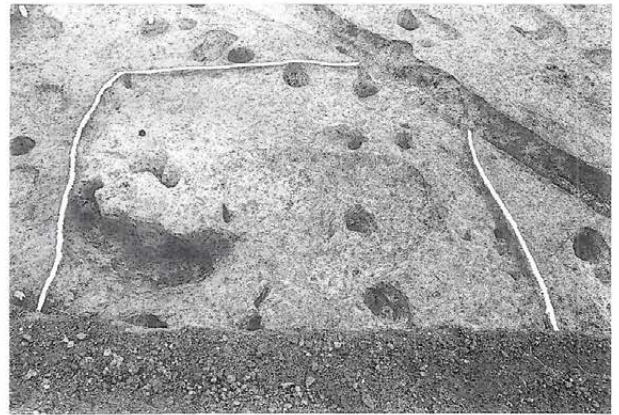
(3) S H 376 竪穴住居完掘 (西から)



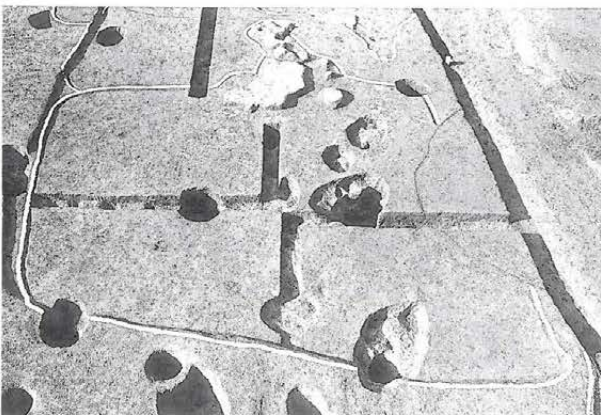
(4) S H 377 竪穴住居周辺 (西から)



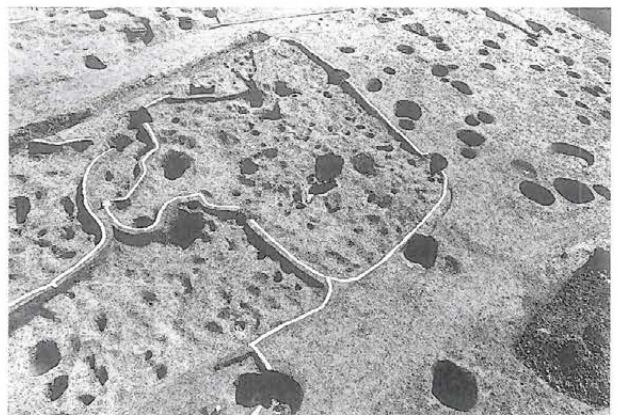
(5) S H 378 竪穴住居床面 (南から)



(6) S H 378 竪穴住居完掘 (南から)



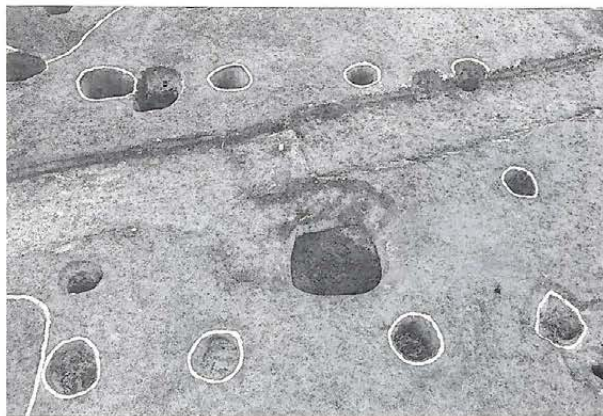
(7) S H 380 竪穴住居床面 (南から)



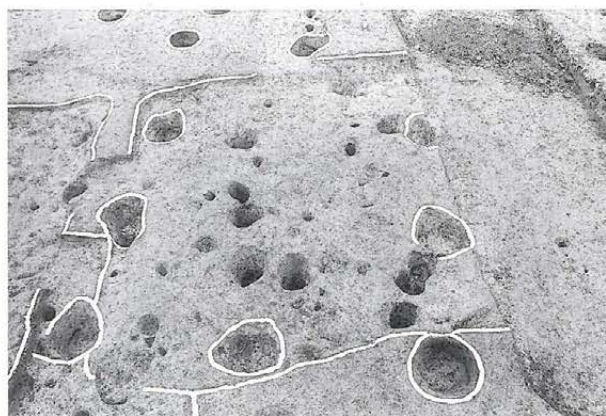
(8) S H 380 竪穴住居完掘 (北西から)



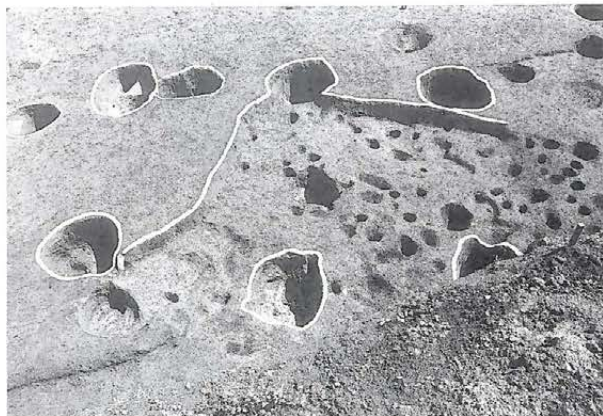
(1) S B 331掘立柱建物 (南から)



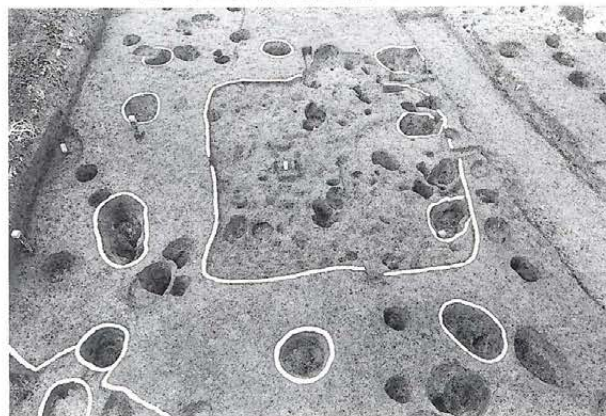
(2) S B 333掘立柱建物 (東から)



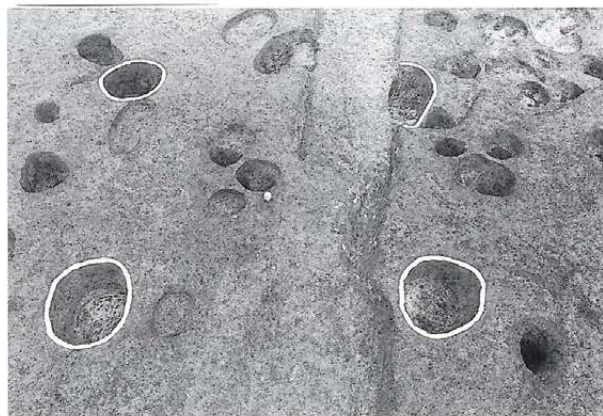
(3) S B 334掘立柱建物 (南から)



(4) S B 337掘立柱建物 (西から)



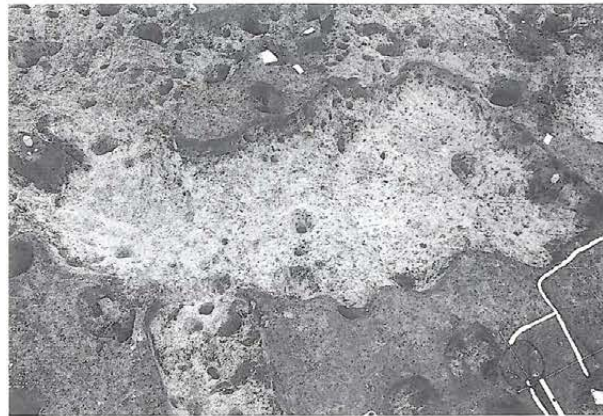
(5) S B 338掘立柱建物 (南から)



(6) S B 339掘立柱建物 (南から)



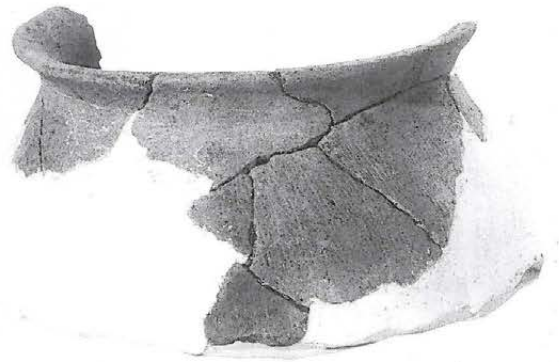
(7) S E 307井戸 (東から)



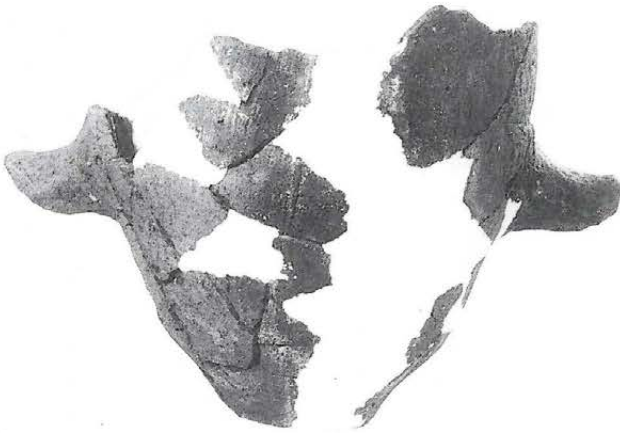
(8) S K 312土坑 (南から)



1



2



3



4



5



6



7

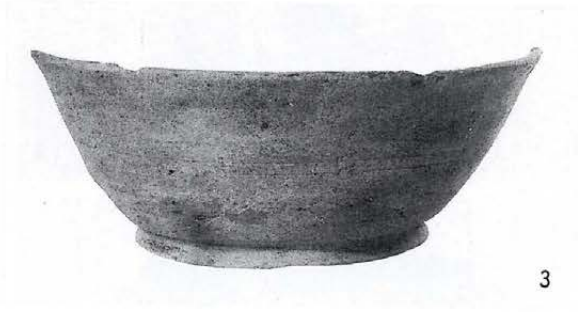


8

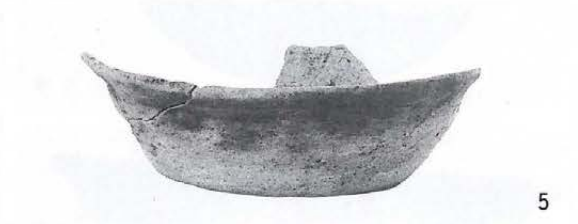
- | | |
|------------------|------------------|
| 1. SH101 (39—11) | 5. SK123 (44—24) |
| 2. SK122 (42—15) | 6. SD117 (49—45) |
| 3. SK123 (44—29) | 7. SD115 (48—40) |
| 4. SK123 (44—26) | 8. SD115 (48—41) |



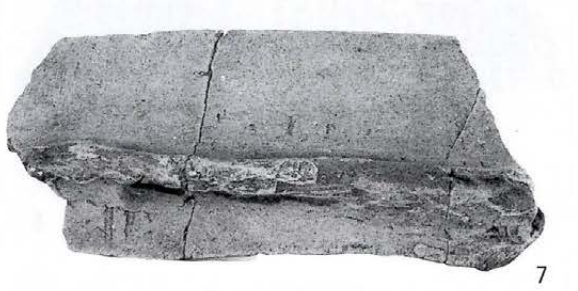
1



3



5



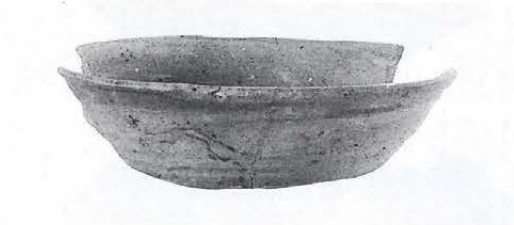
7



9



2



4



6



8



10

- 1. SB107 (55-84)
- 2. SK125 (61-108)
- 3. SK125 (62-143)
- 4. SK125 (61-121)
- 5. P1001 (70-222)
- 6. SK121 (73-223)
- 7. SH236 (82-5)
- 8. SH242 (85-11)

- 9. SH252 (93-43)
- 10. SH252 (92-42)



1



2



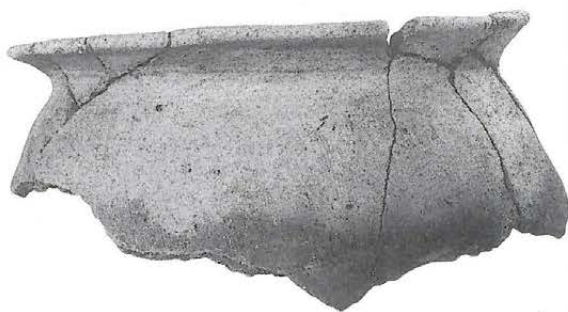
3



4



5



6



7



8

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. SH252 (92—32) | 5. SK237 (123—144) |
| 2. SH252 (93—44) | 6. SK237 (123—145) |
| 3. SH261 (105—89) | 7. カクラン溝 (137—228) |
| 4. SD234 (128—166) | 8. SK237 (123—149) |



1



3



5



7



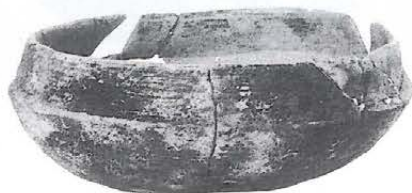
9



2



4

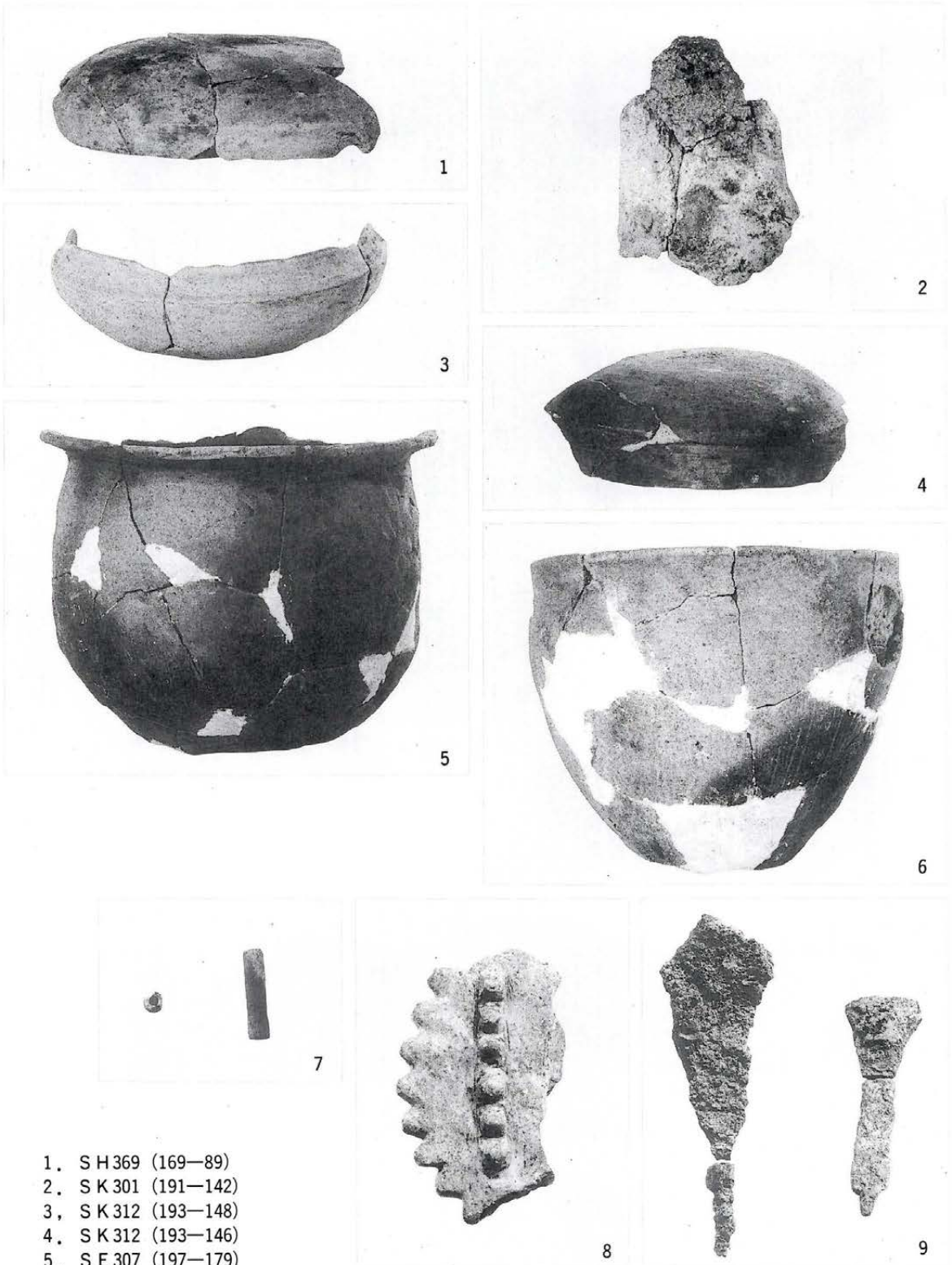


6

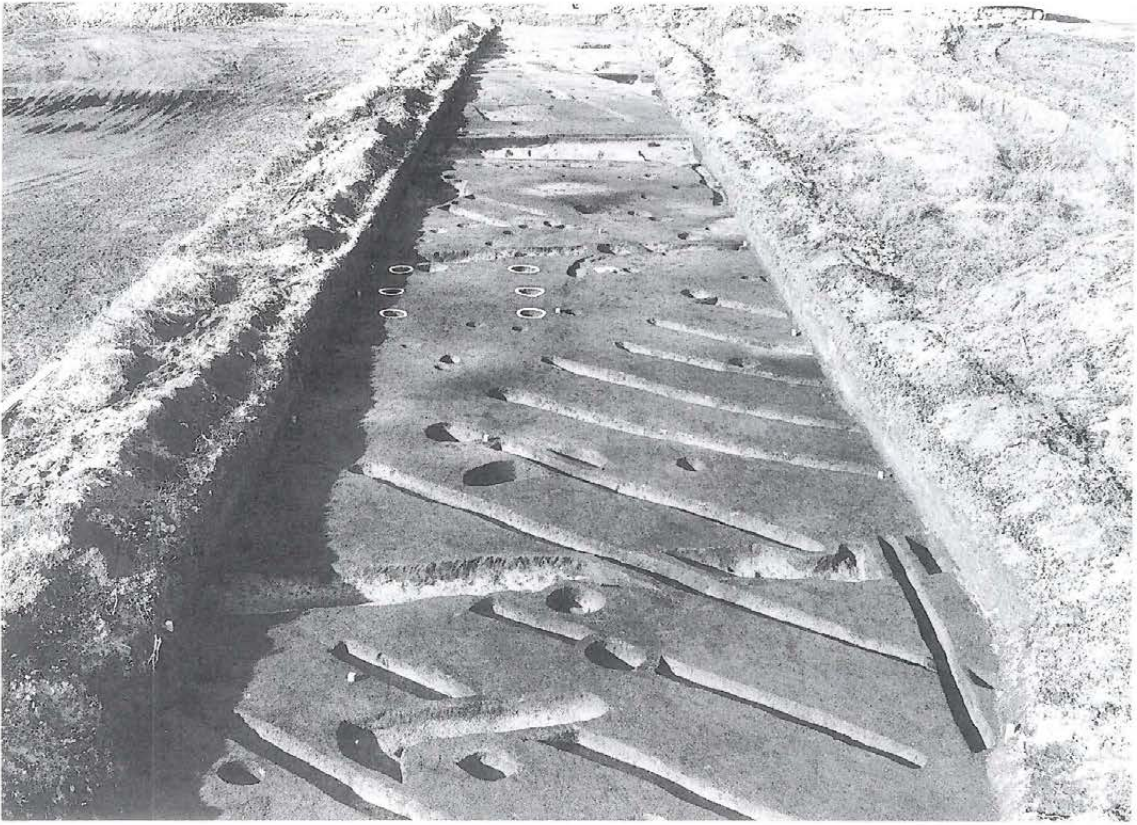


8

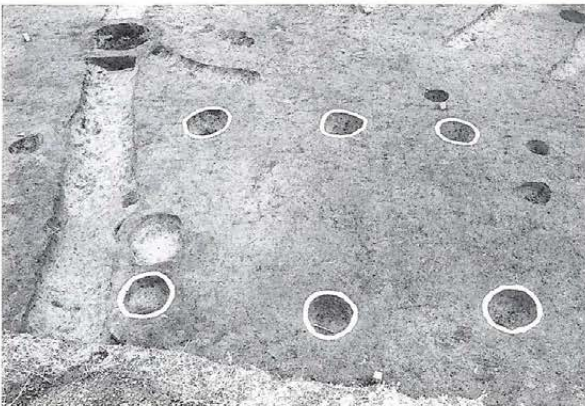
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. S X 202 (130—109) | 6. S H 357 (151—37) |
| 2. S X 202 (131—196) | 7. S H 357 (151—38) |
| 3. S X 202 (131—192) | 8. S H 357 (151—40) |
| 4. S K 202 (131—194) | 9. S H 357 (151—39) |
| 5. S H 353 (142—10) | |



1. SH369 (169—89)
2. SK301 (191—142)
3. SK312 (193—148)
4. SK312 (193—146)
5. SE307 (197—179)
6. 表採 (203—220)
7. SH353 (142—151)・SH368 (203—226)
8. SH251 (89—25)
9. SB217 (112—113)・SK125 (63—189)



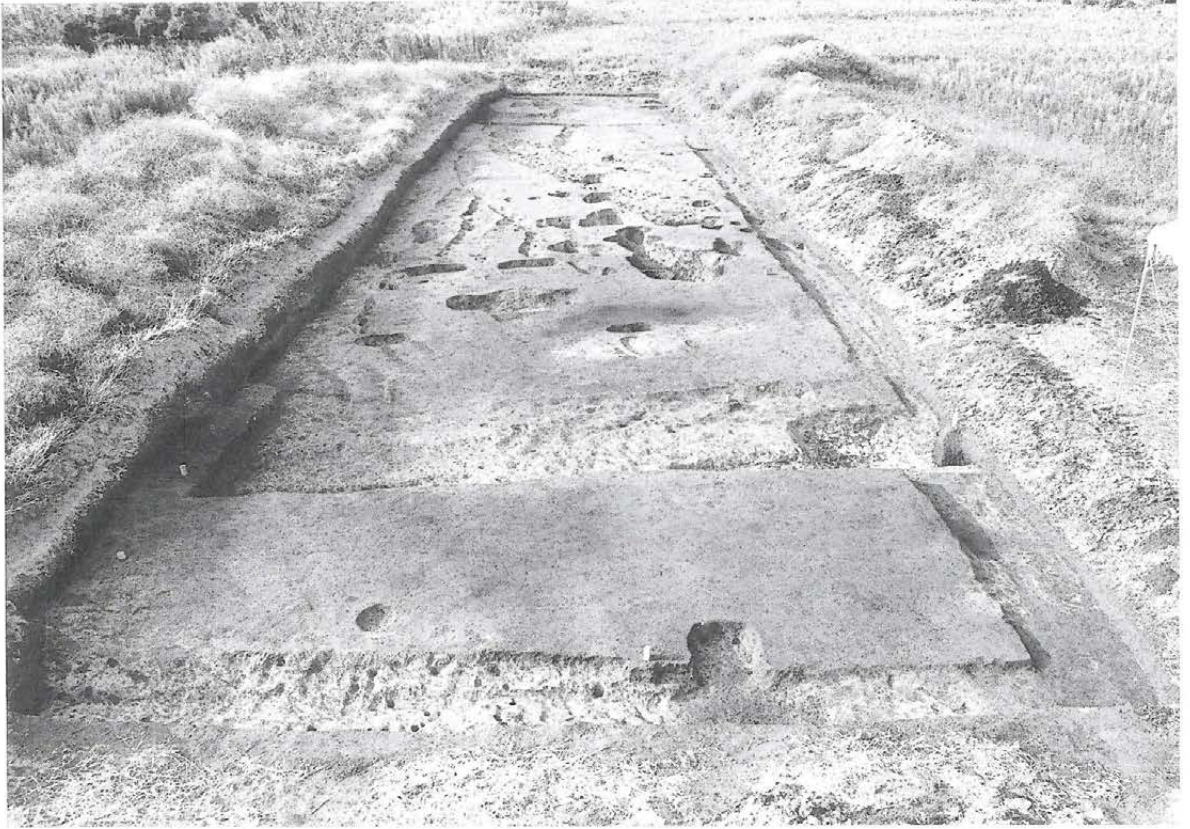
(1) 櫟木遺跡1区全景 (南から)



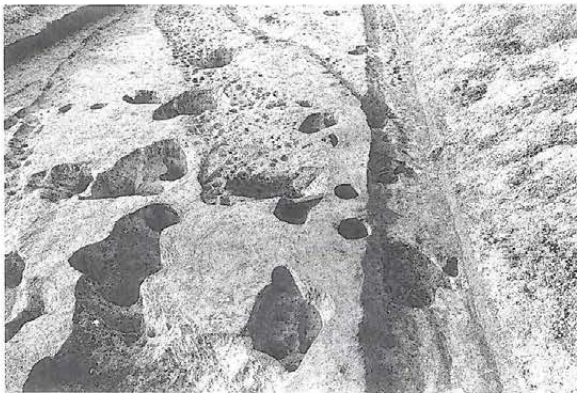
(2) S B 105掘立柱建物 (西から)



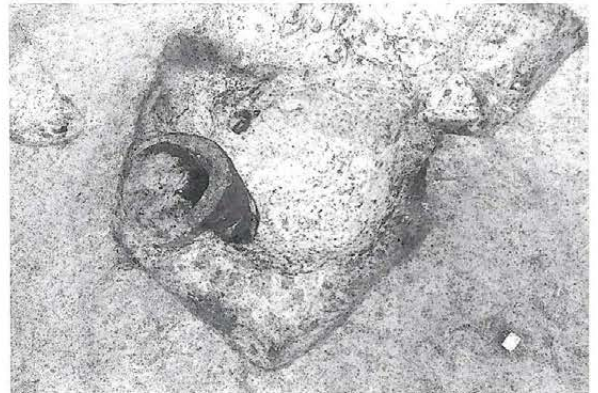
(3) S X 104不明遺構 (西から)



(1) 北宿遺跡調査区全景 (南から)



(2) S B104・S B109掘立柱建物 (南から)



(3) S K107土壙 (南から)



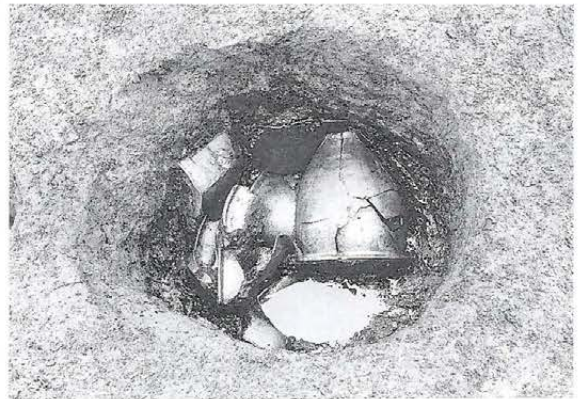
(1) 南宿遺跡1区調査区全景 (西から)



(2) S A 409柵列・S A 410柵列・S D 405溝 (北から)



(3) S A 401土塊遺物出土状況 (西から)



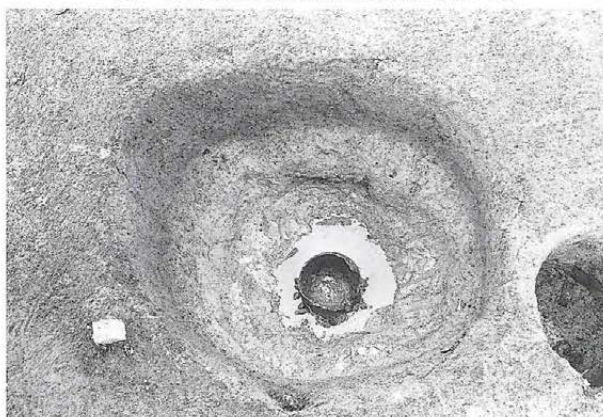
(4) S E 402井戸遺物出土状況 (東から)



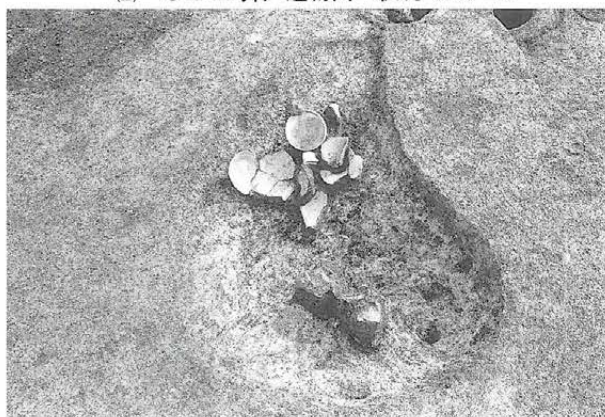
(1) S K 403土壌遺物出土状況 (南から)



(2) S E 407井戸遺物出土状況 (南から)



(3) S E 413井戸遺物出土状況 (北から)



(4) S K 415土壌遺物出土状況 (西から)



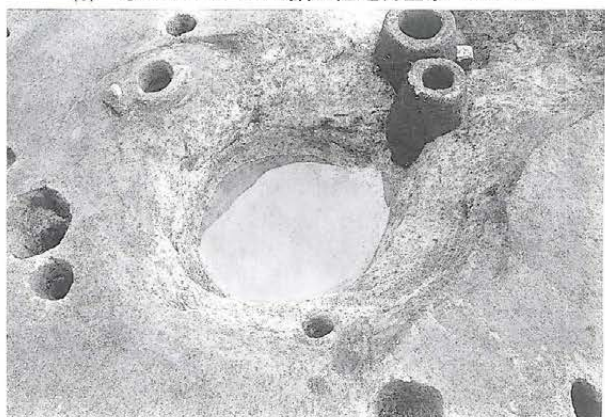
(5) S B 417掘立柱建物・S R 420周溝状遺構 (北から)



(6) S B 418・S B 419掘立柱建物全景 (北から)



(7) S E 421井戸遺物出土状況 (北から)



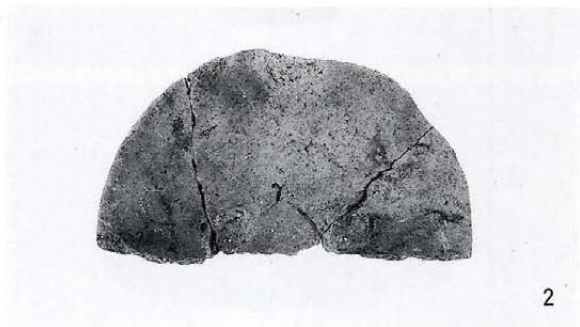
(8) S E 423井戸全景 (北から)



1



5



2



6



3



7



4

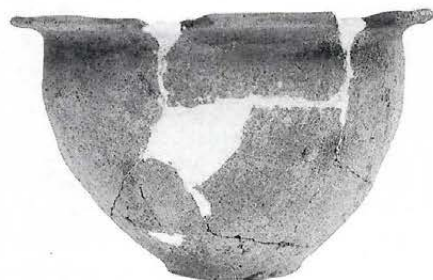


8

1. SK401 (20-3) 2. SK401 (20-19) 3. SE402 (10-2) 4. SE402 (10-4)
5. SE402 (10-7) 6. SK403 (23-12) 7. SE415 (27-1) 8. SE407 (39-1)



1



5



2



6



3



7



4



8



9

1. SK415 (27-2) 2. SK415 (27-4) 3. SK421 (14-12) 4. SK421 (14-10) 5. SK423 (18-40)
6. SE423 (18-31) 7. SE423 (18-32) 8. SE423 (18-39) 9. SE419 (43-4)

収蔵品目録

原ノ町遺跡(1区)I種

目録番号	名称	種別	時代	窯率(%)	法量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 番号	コナリ	A・B
HAM-1-001	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 9.0㉞ 器高 2.7	SH130	1990.09	1-1	15-20	3	A
HAM-1-002	皿	須恵器	古墳	不明	口径 14.8㉞ 底径 - 器高 2.0㉞	SH130	1990.09	1-2	15-21	3	A
HAM-1-003	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.0㉞ 底径 - 器高 6.6㉞	SH130	1990.09	2-3	15-23	3	A
HAM-1-004	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.0㉞ 底径 - 器高 6.8㉞	SH130	1990.09	2-4	15-24	3	A
HAM-1-005	甗	土師器	古墳	不明	口径 22.0㉞ 底径 - 器高 8.2㉞	SH130	1990.09	1-5	15-25	3	A
HAM-1-006	甕	土師器	古墳	不明	口径 18.2㉞ 底径 - 器高 9.0㉞	SH130	1990.09	2-6	15-22	3	A
HAM-1-007	甗	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 14.0㉞ 器高 27.4㉞	SH130	1990.09	3-7	15-26	3	A
HAM-1-008	把手	土師器	古墳	不明	長さ 6.0㉞ 幅 5.2㉞ 厚さ 3.1	SH130	1990.09	1-8	15-27	3	A
HAM-1-009	把手	土師器	古墳	不明	長さ 5.7㉞ 幅 5.4㉞ 厚さ 3.5	SH130	1990.09	1-9	15-28	3	A
HAM-1-010	小皿	土師器	鎌倉	60	口径 7.6㉞ 底径 6.0 器高 1.6	SK101	1990.08	4-10	27-40	3	A
HAM-1-011	椀	黑色土器	鎌倉	不明	口径 - 底径 7.0 器高 3.9㉞	SK101	1990.08	4-11	27-41	3	A
HAM-1-012	坏	須恵器	奈良	30	口径 16.8㉞ 底径 9.0㉞ 器高 6.7	SK102	1990.08	5-12	27-42	3	A
HAM-1-013	椀	瓦器	鎌倉	45	口径 16.0㉞ 底径 - 器高 5.5㉞	SK102	1990.08	5-13	27-43	3	A
HAM-1-014	碗	青磁	鎌倉	80	口径 16.1 底径 6.0 器高 6.7	SK103	1990.09	6-14	27-44	3	A
HAM-1-015	羽釜	土師器	鎌倉	不明	口径 - 底径 - 器高 7.1㉞	SK103	1990.09	7-15	27-45	3	A
HAM-1-016	釘	鉄製品	鎌倉	不明	長さ 14.8残 幅 0.5	SK103	1990.08	7-16	27-46	3	A
HAM-1-017	椀	瓦器	鎌倉	90	口径 17.8 底径 5.7 器高 5.9	SK104	1990.08	8-17	29-47	3	A
HAM-1-018	蓋	土師器	奈良	不明	撮径 - 口径 16.0㉞ 器高 2.4㉞	SK110	1990.08	9-18	22-29	3	A
HAM-1-019	坏	土師器	奈良	90	口径 13.1 底径 9.1 器高 3.1	SK110	1990.08	9-19	22-30	3	A
HAM-1-020	高台付坏	土師器	奈良	50	口径 17.2㉞ 底径 9.2㉞ 器高 6.2	SK110	1990.08	9-20	22-31	3	A
HAM-1-021	高台付坏	土師器	奈良	50	口径 17.2㉞ 底径 9.2㉞ 器高 6.4	SK110	1990.08	9-21	22-32	3	A
HAM-1-022	カマド	土師器	奈良	不明	長さ 21.6㉞ 幅 17.0㉞ 厚さ 1.5	SK110	1990.08	10-22	22-33	3	A
HAM-1-023	カマド	土師器	奈良	不明	長さ 11.4㉞ 幅 20.1㉞ 厚さ 1.5	SK110	1990.08	11-23	22-34	3	A
HAM-1-024	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.7㉞ 底径 - 器高 26.4㉞	SK112	1990.09	12-24	7-1	3	A
HAM-1-025	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.9㉞	SK112	1990.09	13-25	7-2	3	A

原ノ町遺跡(1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	剥離(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	剥離号	Fig. 号	コナテ	A・B
HAM-1-026	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 --	底径 8.0 ϕ 器高 7.7 ϕ	SK112	1990.09	13-26	7-3	3	A
HAM-1-027	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 31.6 ϕ 底径 --	器高 6.6 ϕ	SK112	1990.09	13-27	7-4	3	A
HAM-1-028	石斧	石器	弥生	不明	長さ 7.1 ϕ 幅 7.0	厚さ 2.7 ϕ	SK112	1990.09	14-28	7-6	3	A
HAM-1-029	砥石	石器	弥生	不明	長さ 13.1 幅 9.2	厚さ 3.9	SK112	1990.09	14-29	7-5	3	A
HAM-1-030	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 --	底径 -- 器高 5.4 ϕ	SK113	1990.09	15-30	9-7	3	A
HAM-1-032	砥石	石器	弥生	完形	長さ 12.1 幅 7.1	厚さ 3.4	SK114	1990.09	16-32	9-10	3	A
HAM-1-033	砥石	石器	弥生	不明	長さ 11.6 ϕ 幅 11.1 ϕ	厚さ 2.2	SK114	1990.09	17-33	9-9	3	A
HAM-1-034	砥石	石器	弥生	不明	長さ 6.0 ϕ 幅 7.7 ϕ	厚さ 4.9	SK114	1990.09	18-34	9-11	3	A
HAM-1-035	砥石	石器	弥生	不明	長さ 6.1 ϕ 幅 6.9 ϕ	厚さ 4.1	SK114	1990.09	19-35	9-8	3	A
HAM-1-037	甕	弥生土器	弥生	75	口径 12.2 底径 5.5	器高 13.2	SK115	1990.09	20-37	11-16	3	A
HAM-1-038	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 14.0 ϕ 底径 --	器高 8.0 ϕ	SK115	1990.09	20-38	11-17	3	A
HAM-1-039	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.0 ϕ 底径 --	器高 7.2 ϕ	SK115	1990.09	20-39	11-13	3	A
HAM-1-040	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.0 ϕ 底径 --	器高 10.1 ϕ	SK115	1990.09	20-40	11-12	3	A
HAM-1-041	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.0 ϕ 底径 --	器高 14.8 ϕ	SK115	1990.09	21-41	11-14	3	A
HAM-1-042	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 41.8 ϕ 底径 --	器高 24.3 ϕ	SK115	1990.09	22-42	11-15	3	A
HAM-1-043	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 21.4 ϕ 底径 --	器高 8.1 ϕ	SK115	1990.09	21-43	11-18	3	A
HAM-1-044	壺	弥生土器	弥生	完形	口径 10.1 底径 5.9	器高 17.5	SK116	1990.09	23-44	12-19	3	A
HAM-1-046	坏	須恵器	奈良	不明	口径 12.2 ϕ 底径 8.0 ϕ	器高 3.2 ϕ	SD129	1990.09	25-46	24-35	3	A
HAM-1-047	坏	須恵器	奈良	不明	口径 --	底径 10.4 ϕ 器高 2.5 ϕ	SD129	1990.09	25-47	24-36	3	A
HAM-1-048	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 --	底径 7.8 ϕ 器高 3.2 ϕ	SD129	1990.09	25-48	24-37	3	A
HAM-1-049	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 --	底径 9.0 ϕ 器高 2.0 ϕ	SD129	1990.09	25-49	24-38	3	A
HAM-1-050	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 --	底径 10.3 ϕ 器高 2.2 ϕ	SD129	1990.09	25-50	24-39	3	A
HAM-1-051	碗	磁器	江戸	60	口径 7.7 ϕ 底径 4.0 ϕ	器高 4.8	SD131	1990.09	26-51	30-49	3	A
HAM-1-052	碗	磁器	江戸	70	口径 10.1 底径 3.8	器高 5.6	SD131	1990.09	26-52	30-48	3	A
HAM-1-053	碗	磁器	江戸	95	口径 20.3 底径 9.0	器高 6.6	SD131	1990.09	26-53	30-50	3	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	発祥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-1-001	坏	土師器	古墳	35	口径 11.8 \pm 底径 8.8	器高 4.1	SH101	1990.10	1-1	39-8	11	A
HTD-1-002	壺	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 8.9 \pm	SH101	1990.10	1-2	39-10	11	A
HTD-1-003	壺	土師器	古墳	不明	口径 11.4 \pm 底径 -	器高 7.9 \pm	SH101	1990.10	1-3	39-3	11	A
HTD-1-004	甗	土師器	古墳	不明	口径 20.4 \pm 底径 -	器高 8.1 \pm	SH101	1990.10	1-4	39-12	11	A
HTD-1-005	甗	土師器	古墳	20	口径 31.8 \pm 底径 17.2 \pm	器高 18.8	SH101	1990.10	2-5	39-11	11	A
HTD-1-006	支脚	土師器	古墳	不明	受部径 -	裾部径 9.2 \pm 器高 10.1 \pm	SH101	1990.10	3-6	39-13	11	A
HTD-1-007	手づくね土器	土師器	古墳	完存	口径 2.4	器高 3.2	SH101	1990.10	3-7	39-14	11	A
HTD-1-008	坏	土師器	奈良	不明	口径 12.8 \pm 底径 -	器高 4.8 \pm	SB102	1990.11	4-8	51-63	11	A
HTD-1-009	蓋	須恵器	奈良	不明	口径 -	口径 14.0 \pm 器高 1.5 \pm	SB103	1990.10	5-9	51-64	11	A
HTD-1-010	皿	土師器	奈良	不明	口径 - 底径 7.6 \pm	器高 1.0 \pm	SB103	1990.11	5-10	51-65	11	A
HTD-1-011	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 - 底径 -	器高 2.2 \pm	SB104	1990.10	6-11	52-66	11	A
HTD-1-012	皿	須恵器	奈良	不明	口径 - 底径 11.0 \pm	器高 1.0 \pm	SB104	1990.10	6-12	52-67	11	A
HTD-1-013	坏	土師器	奈良	30	口径 14.0 \pm 底径 7.8 \pm	器高 3.0	SB104	1990.10	6-13	52-68	11	A
HTD-1-014	甕	土師器	奈良	不明	口径 25.2 \pm 底径 -	器高 18.4 \pm	SB104	1990.11	7-14	52-70	11	A
HTD-1-016	坏	土師器	奈良	不明	口径 16.2 \pm 底径 12.6 \pm	器高 2.0	SB104	1990.11	6-106	52-69	11	A
HTD-1-018	蓋	須恵器	奈良・平	不明	口径 -	口径 13.8 \pm 器高 1.6 \pm	SB106	1990.11	8-16	54-71	11	A
HTD-1-019	蓋	須恵器	奈良・平	不明	口径 -	口径 15.8 \pm 器高 1.5 \pm	SB106	1990.11	8-17	54-72	11	A
HTD-1-020	高台付坏	須恵器	奈良・平	不明	口径 - 底径 9.0 \pm	器高 4.6 \pm	SB106	1990.11	8-18	54-74	11	A
HTD-1-022	坏	土師器	奈良・平	70	口径 12.8 \pm 底径 6.8 \pm	器高 3.1	SB106	1990.11	8-20	54-76	11	A
HTD-1-023	高台付坏	土師器	奈良・平	不明	口径 - 底径 -	器高 3.6 \pm	SB106	1990.10	8-21	54-75	11	A
HTD-1-024	坏	土師器	奈良・平	不明	口径 12.8 \pm 底径 -	器高 2.5 \pm	SB106	1990.11	9-22	54-77	11	A
HTD-1-025	皿	土師器	奈良・平	不明	口径 16.6 \pm 底径 13.0 \pm	器高 1.7	SB106	1990.11	9-23	54-81	11	A
HTD-1-026	皿	土師器	奈良・平	不明	口径 - 底径 17.0 \pm	器高 1.4 \pm	SB106	1990.11	9-24	54-82	11	A
HTD-1-027	把手	土師器	奈良・平	不明	長さ 5.7 幅 4.8		SB106	1990.10	9-25	54-85	11	A
HTD-1-029	蓋	土師器	奈良・平	不明	口径 -	口径 14.4 \pm 器高 1.4 \pm	SB106	1990.11	9-108	54-73	11	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	乾燥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-1-030	坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	7.4 ^推 器高 1.6 ^推	SB106	1990.11	10-109	54-79	11	A
HTD-1-031	坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	8.6 ^推 器高 2.5 ^推	SB106	1990.11	10-110	54-80	11	A
HTD-1-032	坏	土師器	縄・鞍	20	口径 13.2 ^推	口径 8.2 ^推 器高 3.4	SB106	1990.11	10-111	54-78	11	A
HTD-1-033	甕	土師器	縄・鞍	不明	口径 27.8 ^推	口径 - 器高 8.2 ^推	SB106	1990.11	10-112	54-84	11	A
HTD-1-034	高坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	裾部径 15.5 ^推 器高 13.4 ^推	SB106	1990.11	10-113	54-83	11	A
HTD-1-035	坏	須恵器	縄・鞍	不明	口径 10.8 ^推	口径 - 器高 2.2 ^推	SB107	1990.11	11-26	55-90	11	A
HTD-1-036	皿	須恵器	縄・鞍	不明	口径 13.4 ^推	口径 - 器高 1.7 ^推	SB107	1990.11	11-27	55-92	11	A
HTD-1-037	蓋	土師器	縄・鞍	不明	撮径 - 口径	15.2 ^推 器高 2.1 ^推	SB107	1990.10	11-28	55-87	11	A
HTD-1-038	蓋	土師器	縄・鞍	15	撮径 - 口径	15.0 ^推 器高 2.3 ^推	SB107	1990.11	11-29	55-86	11	A
HTD-1-039	蓋	土師器	縄・鞍	不明	撮径 - 口径	15.1 ^推 器高 1.5 ^推	SB107	1990.11	11-30	55-88	11	A
HTD-1-040	蓋	土師器	縄・鞍	20	撮径 - 口径	15.8 ^推 器高 1.2 ^推	SB107	1990.10	11-31	55-89	11	A
HTD-1-041	高台付坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	9.1 ^推 器高 2.5	SB107	1990.10	11-32	55-91	11	A
HTD-1-042	皿	土師器	縄・鞍	不明	口径 9.8 ^推	口径 - 器高 1.4 ^推	SB107	1990.11	11-33	55-92	11	A
HTD-1-043	皿	須恵器	奈良	不明	口径 16.6 ^推	口径 - 器高 1.9 ^推	SB108	1990.11	12-34	56-96	11	A
HTD-1-044	蓋	土師器	奈良	不明	撮径 2.3	口径 - 器高 2.0 ^推	SB108	1990.11	12-35	56-94	11	A
HTD-1-045	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 - 口径	7.8 器高 1.8 ^推	SB108	1990.11	12-36	56-95	11	A
HTD-1-046	甕	土師器	奈良	不明	口径 17.4 ^推	口径 - 器高 3.8 ^推	SB108	1990.11	12-37	56-97	11	A
HTD-1-047	高台付坏	須恵器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	9.2 ^推 器高 2.5 ^推	SB109	1990.11	13-38	57-98	11	A
HTD-1-048	高台付坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	9.0 ^推 器高 1.7 ^推	SB109	1990.11	13-39	57-99	11	A
HTD-1-049	高台付坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	7.0 器高 1.9 ^推	SB109	1990.11	13-40	57-100	11	A
HTD-1-050	高坏	土師器	縄・鞍	不明	口径 - 口径	裾部径 12.0 ^推 器高 2.6 ^推	SB109	1990.11	13-41	57-102	11	A
HTD-1-051	高台付坏	土師器	縄・鞍	30	口径 16.5 ^推	口径 8.0 ^推 器高 8.0	SB109	1990.11	13-114	57-101	11	A
HTD-1-052	瓦		縄・鞍	不明	長さ 11.7 ^推	幅 11.0 ^推 厚さ 2.0	SB111	1990.11	14-42	57-104	11	A
HTD-1-053	皿	須恵器	縄・鞍	不明	口径 15.3 ^推	口径 13.0 ^推 器高 1.7	SB111	1990.11	14-271	57-103	11	A
HTD-1-054	皿	土師器	縄・鞍	40	口径 12.4 ^推	口径 8.0 ^推 器高 2.2 ^推	SB112	1990.11	15-43	59-107	11	A

東高田遺跡(1区)I種

目録番号	名称	種別	時代	発祥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナテ	A・B
HTD-1-055	皿	土師器	奈良・平安	不明	口径 13.0 [±] 底径 9.0 [±]	器高 1.8	SB112	1990.11	15-44	59-106	11	A
HTD-1-056	高台付坏	土師器	奈良・平安	不明	口径 - 底径 7.5	器高 2.3 [±]	SB112	1990.11	15-45	59-105	11	A
HTD-1-059	蓋	土師器	古墳	不明	口径 - 口径 -	器高 3.0 [±]	SD114	1990.10	17-48	48-37	11	A
HTD-1-060	甕	土師器	古墳	40	口径 10.4 [±] 底径 -	器高 12.5 [±]	SD114	1990.10	17-49	48-38	11	A
HTD-1-061	甗	土師器	古墳	20	口径 25.0 [±] 底径 -	器高 15.4 [±]	SD114	1990.10	18-115	48-39	11	A
HTD-1-062	蓋	須恵器	古墳	20	口径 - 口径 13.4 [±]	器高 4.1 [±]	SD115	1990.10	17-50	48-40	11	A
HTD-1-063	坏	土師器	古墳	完存	口径 11.7 底径 8.7	器高 5.4	SD115	1990.10	17-51	48-41	11	A
HTD-1-064	手づくね土器	土師器	古墳	完存	口径 4.7 底径 -	器高 3.2	SD115	1990.10	17-52	48-42	11	A
HTD-1-065	手づくね土器	土師器	古墳	不明	口径 4.7 底径 -	器高 3.0 [±]	SD115	1990.10	17-53	48-43	11	A
HTD-1-066	坏	土師器	古墳	50	口径 11.0 [±] 底径 -	器高 4.6	SD117	1990.10	19-54	49-44	11	A
HTD-1-067	坏	土師器	古墳	完存	口径 12.0 底径 -	器高 4.3	SD117	1990.11	19-55	49-45	11	A
HTD-1-069	甕	土師器	古墳	50	口径 11.0 [±] 底径 -	器高 4.6	SD117	1990.10	19-57	49-46	11	A
HTD-1-071	甕	土師器	古墳	不明	口径 22.6 [±] 底径 -	器高 13.0 [±]	SD117	1990.10	19-59	49-48	12	A
HTD-1-072	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 18.1 [±]	SD117	1990.10	21-60	49-47	12	A
HTD-1-073	蓋	須恵器	古墳	20	口径 - 口径 12.6 [±]	器高 2.5 [±]	SD119	1990.10	22-61	49-49	12	A
HTD-1-074	蓋	須恵器	古墳	50	口径 - 口径 13.1 [±]	器高 3.3 [±]	SD119	1990.10	22-62	49-50	12	A
HTD-1-075	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 - 口径 13.3 [±]	器高 2.9 [±]	SD119	1990.10	23-63	49-51	12	A
HTD-1-077	蓋	土師器	古墳	不明	口径 - 口径 14.2 [±]	器高 3.7 [±]	SD119	1990.11	24-65	49-52	12	A
HTD-1-078	蓋	土師器	古墳	不明	口径 - 口径 13.8 [±]	器高 3.3 [±]	SD119	1990.10	24-66	49-53	12	A
HTD-1-079	坏	須恵器	古墳	不明	口径 11.5 [±] 底径 -	器高 3.1 [±]	SD119	1990.10	22-67	49-57	12	A
HTD-1-080	坏	須恵器	古墳	25	口径 11.0 [±] 底径 -	器高 3.4 [±]	SD119	1990.11	22-68	49-55	12	A
HTD-1-081	坏	須恵器	古墳	25	口径 10.5 [±] 底径 -	器高 2.5 [±]	SD119	1990.10	22-69	49-54	12	A
HTD-1-082	坏	須恵器	古墳	15	口径 12.2 [±] 底径 -	器高 3.0 [±]	SD119	1990.10	22-70	49-58	12	A
HTD-1-083	坏	須恵器	古墳	15	口径 12.3 [±] 底径 -	器高 3.1 [±]	SD119	1990.10	22-71	49-59	12	A
HTD-1-084	坏	須恵器	古墳	不明	口径 11.4 [±] 底径 -	器高 3.8 [±]	SD119	1990.11	22-72	49-56	12	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数量(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 群	コナテ	A・B
HTD-1-085	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.0 [±]	口径 — 底径 — 器高 3.0 [±]	SD119	1990.10	24-73	49-60	12	A
HTD-1-086	坏	土師器	古墳	不明	口径 —	口径 — 底径 — 器高 3.0 [±]	SD119	1990.11	24-74	49-61	12	A
HTD-1-088	壺	須恵器	古墳	不明	口径 12.6 [±]	口径 — 底径 — 器高 6.1 [±]	SD119	1990.10	24-76	49-63	12	A
HTD-1-090	甕	須恵器	古墳	不明	口径 —	口径 — 底径 — 器高 10.4 [±]	SD119	1990.10	23-78	49-62	12	A
HTD-1-091	蓋	須恵器	奈良	不明	口径 —	口径 — 器高 0.9 [±]	SD120	1990.10	25-79	69-219	12	A
HTD-1-092	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 —	口径 — 底径 7.9 [±] 器高 2.1 [±]	SD120	1990.10	25-80	69-220	12	A
HTD-1-093	甕	須恵器	奈良	不明	口径 —	口径 — 底径 — 器高 10.0 [±]	SD120	1990.10	25-81	69-221	12	A
HTD-1-094	碗	瓦器	鎌倉	80	口径 15.9	口径 6.5 器高 6.2	SK121	1990.10	26-82	73-223	12	A
HTD-1-097	甕	土師器	古墳	不明	口径 19.5 [±]	口径 — 底径 — 器高 10.2 [±]	SK122	1990.10	27-85	42-15	12	A
HTD-1-098	坏	須恵器	古墳	不明	口径 10.4 [±]	口径 — 底径 — 器高 3.1 [±]	SK123	1990.10	31-86	44-16	12	A
HTD-1-099	坏	土師器	古墳	完存	口径 11.4	口径 — 器高 5.2	SK123	1990.10	28-87	44-24	12	A
HTD-1-100	坏	土師器	古墳	50	口径 11.5 [±]	口径 — 器高 4.2	SK123	1990.10	28-88	44-23	12	A
HTD-1-101	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.1 [±]	口径 — 器高 4.9 [±]	SK123	1990.10	28-89	44-22	12	A
HTD-1-102	坏	土師器	古墳	20	口径 10.6 [±]	口径 — 器高 4.7 [±]	SK123	1990.10	28-90	44-21	12	A
HTD-1-103	坏	土師器	古墳	不明	口径 11.8 [±]	口径 — 器高 4.3 [±]	SK123	1990.10	28-91	44-17	12	A
HTD-1-104	坏	土師器	古墳	不明	口径 14.0 [±]	口径 — 器高 3.0 [±]	SK123	1990.10	28-92	44-19	12	A
HTD-1-105	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.3 [±]	口径 — 器高 3.3 [±]	SK123	1990.10	28-93	44-18	12	A
HTD-1-106	坏	土師器	古墳	不明	口径 —	口径 — 器高 4.3 [±]	SK123	1990.10	28-94	44-20	12	A
HTD-1-107	提瓶	須恵器	古墳	不明	口径 —	口径 — 器高 18.1 [±]	SK123	1990.10	31-95	44-31	12	A
HTD-1-108	甗	土師器	古墳	不明	口径 29.2 [±]	口径 — 器高 9.0 [±]	SK123	1990.10	32-96	44-28	12	A
HTD-1-109	甕	土師器	古墳	不明	口径 —	口径 — 器高 5.7 [±]	SK123	1990.10	29-98	44-27	12	A
HTD-1-110	甗	土師器	古墳	不明	口径 —	口径 — 器高 13.5 [±]	SK123	1990.10	32-99	44-30	12	A
HTD-1-111	甗	土師器	古墳	80	口径 —	口径 — 底径 7.6 [±] 器高 22.4 [±]	SK123	1990.10	30-116	44-29	12	A
HTD-1-112	甕	土師器	古墳	60	口径 14.0	口径 — 器高 28.0 [±]	SK123	1990.10	29-117	44-26	12	A
HTD-1-113	甕	土師器	古墳	不明	口径 12.9	口径 — 器高 12.8 [±]	SK123	1990.10	27-118	44-25	12	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	残存率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 番号	コナリ	A・B
HTD-1-114	坏	須惠器	古墳	不明	口径 11.8 \pm 底径 -	器高 2.5 \pm	SK124	1990.11	31-100	46-33	12	A
HTD-1-115	坏	須惠器	古墳	25	口径 13.1 \pm 底径 -	器高 2.9 \pm	SK124	1990.11	31-101	46-34	12	A
HTD-1-116	坏	土師器	古墳	不明	口径 9.2 \pm 底径 -	器高 3.0 \pm	SK124	1990.11	31-102	46-35	12	A
HTD-1-117	坏	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 4.0 \pm	SK124	1990.11	31-103	46-32	12	A
HTD-1-118	坏	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 4.9 \pm	SK124	1990.11	32-104	46-36	12	A
HTD-1-119	蓋	須惠器	埴・平	完存	撮径 2.5 口径 14.0	器高 4.1	SK125	1990.10	33-119	61-108	12	A
HTD-1-120	蓋	須惠器	埴・平	20	撮径 - 口径 18.0	器高 2.3 \pm	SK125	1990.10	33-120	61-111	12	A
HTD-1-121	蓋	須惠器	埴・平	15	撮径 - 口径 15.0 \pm	器高 1.5 \pm	SK125	1990.10	33-121	61-109	12	A
HTD-1-124	蓋	土師器	埴・平	75	撮径 2.2 口径 15.6 \pm	器高 3.1	SK125	1990.10	34-125	61-114	12	A
HTD-1-125	蓋	土師器	埴・平	不明	撮径 2.5 口径 -	器高 2.6 \pm	SK125	1990.10	34-126	61-112	12	A
HTD-1-126	蓋	土師器	埴・平	不明	撮径 2.2 口径 -	器高 2.7 \pm	SK125	1990.10	34-127	61-113	12	A
HTD-1-127	蓋	土師器	埴・平	50	撮径 - 口径 16.4 \pm	器高 2.4 \pm	SK125	1990.10	34-128	61-115	12	A
HTD-1-128	蓋	土師器	埴・平	不明	撮径 - 口径 17.0 \pm	器高 2.3 \pm	SK125	1990.10	34-129	61-116	12	A
HTD-1-129	蓋	土師器	埴・平	不明	撮径 - 口径 15.0 \pm	器高 1.6 \pm	SK125	1990.10	34-130	61-110	12	A
HTD-1-134	坏	須惠器	埴・平	75	口径 12.4 \pm 底径 7.7	器高 3.8	SK125	1990.10	35-135	61-120	12	A
HTD-1-135	坏	須惠器	埴・平	30	口径 14.6 \pm 底径 9.6 \pm	器高 4.2	SK125	1990.10	35-136	61-125	12	A
HTD-1-136	坏	須惠器	埴・平	30	口径 12.0 \pm 底径 7.6 \pm	器高 3.5	SK125	1990.10	35-137	61-117	12	A
HTD-1-137	坏	須惠器	埴・平	70	口径 12.3 底径 7.5	器高 3.4	SK125	1990.10	35-138	61-118	12	A
HTD-1-138	坏	須惠器	埴・平	15	口径 13.0 \pm 底径 8.0 \pm	器高 3.6	SK125	1990.10	35-139	61-124	12	A
HTD-1-139	坏	須惠器	埴・平	25	口径 12.8 \pm 底径 7.6 \pm	器高 3.8	SK125	1990.10	35-140	61-122	12	A
HTD-1-140	坏	須惠器	埴・平	30	口径 12.9 \pm 底径 8.4 \pm	器高 3.9	SK125	1990.10	36-141	61-123	12	A
HTD-1-141	坏	須惠器	埴・平	45	口径 12.2 \pm 底径 7.6 \pm	器高 3.6	SK125	1990.10	36-142	61-119	14	A
HTD-1-142	坏	須惠器	埴・平	80	口径 12.8 底径 8.1	器高 3.7	SK125	1990.10	36-143	61-121	14	A
HTD-1-144	坏	土師器	埴・平	75	口径 13.7 \pm 底径 7.4 \pm	器高 3.9	SK125	1990.10	36-145	61-138	14	A
HTD-1-145	坏	土師器	埴・平	60	口径 12.0 \pm 底径 8.2 \pm	器高 3.7	SK125	1990.10	36-146	61-129	14	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類番号	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-1-146	坏	土師器	緑・平	70	口径 11.9# 底径 7.2	器高 3.1	SK125	1990.10	36-147	61-127	14	A
HTD-1-147	坏	土師器	緑・平	60	口径 12.6# 底径 7.3	器高 3.4	SK125	1990.10	37-148	61-131	14	A
HTD-1-148	坏	土師器	緑・平	30	口径 12.8# 底径 7.8#	器高 3.5	SK125	1990.10	37-149	61-132	14	A
HTD-1-149	坏	土師器	緑・平	40	口径 12.9# 底径 8.0#	器高 3.6	SK125	1990.10	37-150	61-134	14	A
HTD-1-150	坏	土師器	緑・平	30	口径 13.3# 底径 9.2#	器高 3.0	SK125	1990.10	37-151	61-135	14	A
HTD-1-151	坏	土師器	緑・平	30	口径 12.0# 底径 7.0#	器高 3.3	SK125	1990.10	37-152	61-128	14	A
HTD-1-152	坏	土師器	緑・平	25	口径 13.0# 底径 8.0#	器高 3.0	SK125	1990.10	37-154	61-136	14	A
HTD-1-154	坏	土師器	緑・平	30	口径 12.9# 底径 8.5	器高 3.4	SK125	1990.10	37-156	61-133	14	A
HTD-1-155	坏	土師器	緑・平	30	口径 11.2# 底径 6.6#	器高 3.8	SK125	1990.10	37-157	61-126	14	A
HTD-1-156	坏	土師器	緑・平	50	口径 13.8# 底径 8.4	器高 4.4	SK125	1990.10	38-158	61-137	14	A
HTD-1-157	坏	土師器	緑・平	30	口径 12.4# 底径 7.5#	器高 3.3	SK125	1990.10	38-159	61-130	14	A
HTD-1-158	坏	土師器	緑・平	30	口径 14.8# 底径 6.6#	器高 3.8	SK125	1990.10	38-160	61-139	14	A
HTD-1-160	高台付坏	須惠器	緑・平	50	口径 14.3# 底径 8.5#	器高 5.8	SK125	1990.10	38-162	62-149	14	A
HTD-1-165	高台付坏	土師器	緑・平	50	口径 15.7# 底径 9.2#	器高 6.3	SK125	1990.10	39-167	62-143	14	A
HTD-1-166	高台付坏	土師器	緑・平	不明	口径 - 底径 8.8	器高 5.7	SK125	1990.10	39-168	62-142	14	A
HTD-1-167	高台付坏	土師器	緑・平	70	口径 15.1# 底径 8.8	器高 6.4	SK125	1990.10	39-169	62-141	14	A
HTD-1-168	高台付坏	土師器	緑・平	不明	口径 - 底径 7.9#	器高 2.1#	SK125	1990.10	39-170	62-144	14	A
HTD-1-169	高台付坏	土師器	緑・平	不明	口径 - 底径 7.9	器高 2.5#	SK125	1990.10	39-171	62-145	14	A
HTD-1-171	鉢	土師器	緑・平	不明	口径 13.0# 底径 -	器高 6.0#	SK125	1990.10	40-173	64-184	14	A
HTD-1-172	皿	須惠器	緑・平	60	口径 15.7# 底径 13.0#	器高 1.9	SK125	1990.10	40-174	62-156	14	A
HTD-1-173	皿	須惠器	緑・平	50	口径 16.6# 底径 13.0#	器高 1.6	SK125	1990.10	40-175	62-159	14	A
HTD-1-174	皿	須惠器	緑・平	20	口径 14.6# 底径 10.7#	器高 1.9	SK125	1990.10	40-176	62-148	14	A
HTD-1-175	皿	須惠器	緑・平	30	口径 14.6# 底径 11.6#	器高 1.6	SK125	1990.10	40-177	62-149	14	A
HTD-1-176	皿	須惠器	緑・平	25	口径 15.9# 底径 12.9#	器高 1.7	SK125	1990.10	40-178	62-158	14	A
HTD-1-177	皿	須惠器	緑・平	40	口径 14.7# 底径 11.2#	器高 1.4	SK125	1990.10	40-179	62-150	14	A

東高田遺跡(1区)I種

目録番号	名称	種別	時代	発祥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 号	コナテ	A・B
HTD-1-178	皿	須恵器	縄・平	20	口径 14.7# 底径 11.8# 器高 1.7	SK125	SK125	1990.10	40-180	62-151	14	A
HTD-1-180	皿	須恵器	縄・平	20	口径 15.5# 底径 12.2# 器高 1.6	SK125	SK125	1990.10	41-182	62-155	14	A
HTD-1-181	皿	須恵器	縄・平	30	口径 15.1# 底径 13.0# 器高 2.1	SK125	SK125	1990.10	41-183	62-154	14	A
HTD-1-182	皿	須恵器	縄・平	10	口径 15.1# 底径 12.0# 器高 1.6	SK125	SK125	1990.10	41-184	62-153	14	A
HTD-1-183	皿	須恵器	縄・平	10	口径 15.7# 底径 12.6# 器高 1.3	SK125	SK125	1990.10	41-185	62-157	14	A
HTD-1-184	皿	須恵器	縄・平	10	口径 14.2# 底径 12.5# 器高 2.1	SK125	SK125	1990.10	41-186	62-147	14	A
HTD-1-185	皿	須恵器	縄・平	不明	口径 18.8# 底径 15.7# 器高 1.5	SK125	SK125	1990.10	41-187	62-160	14	A
HTD-1-186	皿	須恵器	縄・平	30	口径 14.1# 底径 12.0# 器高 1.7	SK125	SK125	1990.10	41-188	62-146	14	A
HTD-1-187	皿	土師器	縄・平	50	口径 15.7# 底径 12.0# 器高 1.8	SK125	SK125	1990.10	42-190	62-164	14	A
HTD-1-188	皿	土師器	縄・平	70	口径 15.6# 底径 13.1# 器高 2.3	SK125	SK125	1990.10	42-191	62-162	14	A
HTD-1-189	皿	土師器	縄・平	30	口径 15.6# 底径 11.4# 器高 1.8	SK125	SK125	1990.10	42-192	62-163	14	A
HTD-1-190	皿	土師器	縄・平	20	口径 17.7# 底径 14.2# 器高 2.0	SK125	SK125	1990.10	42-194	62-170	14	A
HTD-1-191	皿	土師器	縄・平	30	口径 17.2# 底径 14.6# 器高 1.8	SK125	SK125	1990.10	42-195	62-169	14	A
HTD-1-192	皿	土師器	縄・平	30	口径 16.4# 底径 12.6# 器高 1.6	SK125	SK125	1990.10	42-196	62-166	14	A
HTD-1-193	皿	土師器	縄・平	30	口径 15.3# 底径 12.2# 器高 1.7	SK125	SK125	1990.10	42-197	62-161	14	A
HTD-1-194	皿	土師器	縄・平	15	口径 16.6# 底径 13.3# 器高 1.6	SK125	SK125	1990.10	42-198	62-168	14	A
HTD-1-195	皿	土師器	縄・平	20	口径 15.8# 底径 13.0# 器高 1.5	SK125	SK125	1990.10	43-199	62-165	14	A
HTD-1-196	皿	土師器	縄・平	15	口径 16.6# 底径 13.2# 器高 2.0	SK125	SK125	1990.10	43-200	62-167	14	A
HTD-1-197	甕	須恵器	縄・平	不明	口径 - 底径 18.0# 器高 12.0#	SK125	SK125	1990.10	44-201	63-171	14	A
HTD-1-198	甕	土師器	縄・平	不明	口径 15.4# 底径 - 器高 3.6#	SK125	SK125	1990.10	43-202	63-172	14	A
HTD-1-199	甕	土師器	縄・平	不明	口径 17.8# 底径 - 器高 4.8#	SK125	SK125	1990.10	43-203	63-173	14	A
HTD-1-201	甕	土師器	縄・平	不明	口径 23.7# 底径 - 器高 12.8#	SK125	SK125	1990.10	45-205	63-177	14	A
HTD-1-202	甕	土師器	縄・平	不明	口径 21.0# 底径 - 器高 12.3#	SK125	SK125	1990.10	45-206	63-174	14	A
HTD-1-203	甕	土師器	縄・平	不明	口径 24.6# 底径 - 器高 16.2#	SK125	SK125	1990.10	46-207	63-180	14	A
HTD-1-204	甕	土師器	縄・平	不明	口径 23.2# 底径 - 器高 7.5#	SK125	SK125	1990.10	46-208	63-176	14	A

東高田遺跡(1区)I種

目録番号	名称	種別	時代	発祥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-1-206	甕	土師器	縄・平	不明	口径 25.5雫 底径 —	器高 6.3雫	SK125	1990.10	47-210	63-181	14	A
HTD-1-207	甕	土師器	縄・平	不明	口径 26.3雫 底径 —	器高 7.4雫	SK125	1990.10	47-211	63-182	14	A
HTD-1-208	甕	土師器	縄・平	不明	口径 26.0雫 底径 —	器高 8.0雫	SK125	1990.10	48-212	63-183	14	A
HTD-1-213	甕	土師器	縄・平	不明	口径 14.1雫 底径 —	器高 6.7雫	SK125	1990.10	49-217	63-178	14	A
HTD-1-214	カマド	土師器	縄・平	不明	長さ 12.1雫 幅 4.1雫	厚さ 5.5	SK125	1990.10	50-218	64-186	14	A
HTD-1-215	カマド	土師器	縄・平	不明	長さ 12.2雫 幅 14.0雫	厚さ	SK125	1990.10	50-219	64-185	14	A
HTD-1-216	瓦	土師器	縄・平	不明	長さ 23.0雫 幅 15.0雫	厚さ 2.6	SK125	1990.10	51-221	64-187	14	A
HTD-1-217	瓦	土師器	縄・平	不明	長さ 8.4雫 幅 5.5雫	厚さ 2.3	SK125	1990.10	52-222	64-188	14	A
HTD-1-219	石鉢	石器	弥生	95	長さ 2.0雫 幅 1.7	厚さ 0.5	SK125	1990.10	52-224	64-190	14	A
HTD-1-220	鉄鏃	鉄器	縄・平	不明	長さ 7.3雫 幅 1.1		SK125	1990.11	52-294	64-189	14	A
HTD-1-222	蓋	須恵器	縄・平	50	口径 2.2雫 口径 15.8雫	器高 2.1	SK126	1990.10	53-122	66-191	14	A
HTD-1-225	蓋	土師器	縄・平	40	口径 1.8 口径 19.6雫	器高 4.0	SK126	1990.10	53-228	66-192	14	A
HTD-1-226	坏	須恵器	縄・平	不明	口径 6.5 底径 6.9	器高 3.8	SK126	1990.10	54-229	66-193	14	A
HTD-1-227	坏	土師器	縄・平	20	口径 11.0雫 底径 6.6雫	器高 3.1雫	SK126	1990.10	54-230	66-196	14	A
HTD-1-229	坏	土師器	縄・平	不明	口径 11.4雫 底径 5.8雫	器高 3.5雫	SK126	1990.10	54-232	66-197	14	A
HTD-1-230	坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 8.2雫	器高 2.5雫	SK126	1990.10	54-233	66-194	14	A
HTD-1-232	坏	土師器	縄・平	不明	口径 11.2雫 底径 7.8雫	器高 2.1	SK126	1990.10	54-235	66-204	14	A
HTD-1-233	坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 8.3雫	器高 2.1雫	SK126	1990.10	54-236	66-195	14	A
HTD-1-236	坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 7.4雫	器高 2.0雫	SK126	1990.10	55-239	66-211	14	A
HTD-1-237	高台付坏	須恵器	縄・平	50	口径 — 底径 7.5雫	器高 3.2雫	SK126	1990.10	55-240	66-198	14	A
HTD-1-238	高台付坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 8.4	器高 2.1雫	SK126	1990.10	55-241	66-199	14	A
HTD-1-239	高台付坏	黑色土器	縄・平	不明	口径 — 底径 8.9雫	器高 2.3雫	SK126	1990.10	55-242	66-202	14	A
HTD-1-240	高台付坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 8.0雫	器高 1.5雫	SK126	1990.10	55-243	66-200	14	A
HTD-1-241	高台付坏	土師器	縄・平	不明	口径 — 底径 6.9雫	器高 1.9雫	SK126	1990.10	55-244	66-201	14	A
HTD-1-242	皿	須恵器	縄・平	50	口径 18.0雫 底径 —	器高 2.7	SK126	1990.10	55-245	66-203	14	A

東高田遺跡(1区)I種

目録番号	名称	種別	時代	剥離(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 号	コナテ	A・B
HTD-1-244	皿	土師器	纒・平	30	口径16.4# 底径12.0#	器高1.4	SK126	1990.10	55-246	66-206	14	A
HTD-1-245	皿	土師器	纒・平	15	口径18.0# 底径—	器高1.9#	SK126	1990.10	55-247	66-209	14	A
HTD-1-246	皿	土師器	纒・平	不明	口径17.4# 底径13.8#	器高1.6#	SK126	1990.10	55-248	66-207	14	A
HTD-1-247	皿	土師器	纒・平	不明	口径17.8# 底径—	器高1.8#	SK126	1990.10	55-249	66-208	14	A
HTD-1-248	皿	土師器	纒・平	不明	口径19.0# 底径—	器高1.8#	SK126	1990.10	55-250	66-210	14	A
HTD-1-249	皿	土師器	纒・平	不明	口径15.8# 底径—	器高1.5#	SK126	1990.10	55-251	66-205	14	A
HTD-1-251	甕	須恵器	纒・平	不明	口径44.4# 底径—	器高4.0#	SK126	1990.10	58-253	66-213	14	A
HTD-1-252	甕	土師器	纒・平	不明	口径22.3# 底径—	器高6.4#	SK126	1990.10	57-254	66-215	14	A
HTD-1-253	甕	土師器	纒・平	不明	口径24.8# 底径—	器高7.0#	SK126	1990.10	57-255	66-217	14	A
HTD-1-254	甕	土師器	纒・平	不明	口径24.3# 底径—	器高3.8#	SK126	1990.10	57-256	66-216	14	A
HTD-1-255	甕	土師器	纒・平	不明	口径17.8# 底径—	器高2.9#	SK126	1990.10	57-257	66-214	14	A
HTD-1-256	鉢	土師器	纒・平	不明	口径23.0# 底径—	器高6.8#	SK126	1990.10	58-258	66-212	14	A
HTD-1-259	甕	土師器	弥生	不明	口径— 底径10.6#	器高3.1#	SK127	1990.10	59-261	36-2	15	A
HTD-1-260	甕	土師器	弥生	不明	口径— 底径—	器高4.1#	SK127	1990.10	59-262	36-1	15	A
HTD-1-262	甕	土師器	弥生	不明	口径— 底径10.6#	器高3.1#	SK127	1990.10	59-264	36-3	15	A
HTD-1-263	坏	土師器	弥生	不明	口径— 底径8.4#	器高2.9#	SK129	1990.10	60-153	69-218	15	A
HTD-1-264	甕	弥生土器	弥生	不明	口径24.8# 底径—	器高10.7#	SK130	1990.11	61-265	36-4	15	A
HTD-1-265	甕	弥生土器	弥生	不明	口径21.8 底径—	器高3.2#	SK130	1990.11	61-266	36-5	15	A
HTD-1-266	甕	弥生土器	弥生	不明	口径— 底径6.7#	器高2.5#	SK130	1990.11	61-267	36-6	15	A
HTD-1-267	支脚	弥生土器	弥生	不明	長さ6.1 幅5.0	器高4.2#	SK130	1990.11	61-268	36-7	15	A
HTD-1-280	壺	須恵器	奈良?	不明	口径7.4# 底径—	器高5.3#	SK152	1990.11	63-282	73-224	15	A
HTD-1-281	甕	須恵器	鎌倉	不明	口径— 底径—	器高7.0#	SK152	1990.11	63-283	73-225	15	A
HTD-1-282	甕	須恵器	鎌倉	不明	口径— 底径—	器高4.7#	SK152	1990.11	63-284	73-228	15	A
HTD-1-283	椀	青磁	鎌倉	不明	口径— 底径—	器高2.3#	SK153	1990.11	64-285	73-226	15	A
HTD-1-284	鉢	須恵器	鎌倉	15	口径24.3# 底径7.4#	器高9.5	SK153	1990.11	64-286	73-227	15	A

東高田遺跡（1区）I種

目録番号	名称	種別	時代	形状(%)	法量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘層	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-1-291	坏	須恵器	弥生	不明	口径 25.2# 底径 - 器高 9.3#	P1001	1990.11	65-293	70-222	15	A
HTD-1-308	蓋	須恵器	奈良	20	撮径 - 口径 14.4# 器高 1.5#	Q92	1990.10	69-311	77-251	15	A
HTD-1-310	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.0# 底径 - 器高 14.4#	Q92	1990.10	70-313	75-229	15	A
HTD-1-314	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.4# 底径 - 器高 7.0#	Q92	1990.10	69-317	75-231	15	A
HTD-1-317	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 17.6# 底径 - 器高 6.1#	Q92	1990.10	71-320	75-235	15	A
HTD-1-320	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.0# 底径 - 器高 7.2#	Q92	1990.10	72-323	75-233	15	A
HTD-1-325	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.6# 器高 9.2#	Q92	1990.10	74-328	75-237	15	A
HTD-1-326	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.5 器高 8.0#	Q92	1990.10	74-329	75-238	15	A
HTD-1-327	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.1 器高 8.0#	Q92	1990.10	75-330	75-242	15	A
HTD-1-328	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 9.5#	Q92	1990.10	75-331	75-239	15	A
HTD-1-329	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.7 器高 7.2#	Q92	1990.10	75-332	75-240	15	A
HTD-1-334	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 14.8# 底径 - 器高 4.7#	Q92	1990.10	75-337	75-244	15	A
HTD-1-336	石鏃	石器	弥生	90	長さ 5.8# 幅 1.1 厚さ 0.5	Q92	1990.10	77-339	76-248	15	A
HTD-1-337	石斧	石器	弥生	不明	長さ 9.0# 幅 7.6 厚さ 4.6	Q92	1990.10	77-340	76-247	15	A
HTD-1-342	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 15.8# 底径 9.3 器高 5.4	CR90	1990.10	78-345	77-267	15	A
HTD-1-343	蓋	須恵器	奈良	不明	撮径 2.1 底径 - 器高 1.7#	CP92	1990.10	78-346	77-249	15	A
HTD-1-344	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 14.2# 底径 9.0# 器高 6.5	CP92	1990.10	78-347	77-264	15	A
HTD-1-351	坏	須恵器	奈良	不明	口径 12.8# 底径 8.0# 器高 3.7	CR92	1990.10	81-354	77-257	15	A
HTD-1-352	坏	土師器	奈良	不明	口径 - 底径 6.4# 器高 1.7#	CR92	1990.10	81-355	77-268	15	A
HTD-1-360	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8# 底径 - 器高 15.9#	CR92	1990.10	83-363	75-230	15	A
HTD-1-362	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.6# 底径 - 器高 8.5#	CR92	1990.10	84-365	75-236	16	A
HTD-1-363	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.6# 底径 - 器高 3.2#	CR92	1990.10	84-366	75-243	16	A
HTD-1-366	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.3 器高 4.0#	CR92	1990.10	85-369	75-245	16	A
HTD-1-370	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.3# 器高 8.2#	CR92	1990.10	86-373	75-241	16	A
HTD-1-373	石斧	石器	弥生	不明	長さ 9.4# 幅 4.7# 厚さ 1.9	CR92	1990.10	86-376	76-246	16	A

東高田遺跡 (1区) I種

目録番号	名称	種別	時代	群葬(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	群葬時	Fig. 群	コンテ	A・B
HTD-1-374	蓋	須恵器	弥生	25	撮径 -	口径 12.8 \pm 器高 2.1 \pm	CP93	1990.10	87-377	77-250	16	A
HTD-1-376	蓋	須恵器	奈良	10	撮径 -	口径 17.0 \pm 器高 1.8 \pm	CP93	1990.10	87-379	77-253	16	A
HTD-1-377	坏	土師器	奈良	70	口径 12.1 \pm	底径 9.1 \pm 器高 3.5	CP93	1990.10	87-380	77-259	16	A
HTD-1-378	坏	土師器	奈良	20	口径 13.3 \pm	底径 7.8 \pm 器高 3.2	CP93	1990.10	87-381	77-261	16	A
HTD-1-380	皿	須恵器	奈良	15	口径 16.2 \pm	底径 12.9 \pm 器高 1.7	CP93	1990.10	87-383	77-275	16	A
HTD-1-381	甗	土師器	奈良	不明	口径 27.6 \pm	底径 - 器高 2.8 \pm	CP93	1990.10	88-384	78-281	16	A
HTD-1-383	壺	須恵器	奈良	15	口径 8.2 \pm	底径 7.4 \pm 器高 5.4	CP93	1990.10	88-386	77-279	16	A
HTD-1-386	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 -	底径 8.5 \pm 器高 3.0 \pm	CQ93	1990.10	89-388	77-260	16	A
HTD-1-389	皿	須恵器	奈良	70	口径 14.9	底径 12.4 器高 2.2	CQ96	1990.10	90-391	77-273	16	A
HTD-1-391	甗	土師器	奈良	不明	口径 26.0 \pm	底径 - 器高 5.9 \pm	CQ96	1990.10	90-393	78-283	16	A
HTD-1-392	瓦		奈良	不明	長さ 11.4 \pm	幅 9.7 \pm 厚さ 2.1	CQ96	1990.10	90-394	78-287	16	A
HTD-1-393	蓋	須恵器	奈良	25	撮径 -	口径 17.4 \pm 器高 2.0 \pm	CP97	1990.10	91-395	77-254	16	A
HTD-1-394	蓋	土師器	奈良	25	撮径 2.1	口径 15.0 \pm 器高 2.4	CP97	1990.10	91-396	77-252	16	A
HTD-1-395	坏	須恵器	奈良	不明	口径 13.2 \pm	底径 7.2 \pm 器高 3.0	CP97	1990.10	91-397	77-258	16	A
HTD-1-396	坏	土師器	奈良	不明	口径 13.3 \pm	底径 7.7 \pm 器高 3.9	CP97	1990.10	91-398	77-260	16	A
HTD-1-397	坏	土師器	奈良	不明	口径 12.0 \pm	底径 - 器高 4.0 \pm	CP97	1990.10	91-399	77-265	16	A
HTD-1-398	坏	土師器	奈良	不明	口径 13.4 \pm	底径 8.0 \pm 器高 3.3	CP97	1990.10	91-400	77-262	16	A
HTD-1-400	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 14.0 \pm	底径 - 器高 4.4 \pm	CP97	1990.10	92-402	77-263	16	A
HTD-1-401	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 14.8 \pm	底径 8.2 \pm 器高 6.25	CP97	1990.10	92-403	77-265	16	A
HTD-1-403	皿	須恵器	奈良	不明	口径 14.6 \pm	底径 11.6 \pm 器高 1.4	CP97	1990.10	92-405	77-272	16	A
HTD-1-404	皿	須恵器	奈良	50	口径 10.4 \pm	底径 5.4 \pm 器高 1.9	CP97	1990.10	92-406	77-269	16	A
HTD-1-405	皿	須恵器	奈良	不明	口径 15.0 \pm	底径 - 器高 2.0	CP97	1990.10	92-407	77-274	16	A
HTD-1-406	皿	須恵器	奈良	不明	口径 12.8 \pm	底径 10.8 \pm 器高 1.4	CP97	1990.10	92-408	77-270	16	A
HTD-1-408	皿	須恵器	奈良	不明	口径 15.8 \pm	底径 13.2 \pm 器高 1.3	CP97	1990.10	93-410	77-276	16	A
HTD-1-411	皿	土師器	奈良	20	口径 14.2 \pm	底径 11.8 \pm 器高 2.1	CP97	1990.10	93-413	77-278	16	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	灰層(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	集積号	Fig. 番号	コナリ	A・B
HTD-2-001	坏	須惠器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.8號	SK201	1990.12	1-1	119-1	10	A
HTD-2-002	坏	土師器	古墳	不明	口径 14.9號	器高 2.9號	SK201	1990.12	1-2	119-2	10	A
HTD-2-003	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 7.0號	SK201	1990.12	1-3	119-3	10	A
HTD-2-004	蓋	須惠器	古墳	70	口径 13.4號	器高 3.8	SX202	1990.03	2-4	130-173	10	A
HTD-2-005	蓋	須惠器	古墳	50	撮径 - 口径 13.2號	器高 4.3號	SX202	1990.12	2-5	130-167	10	A
HTD-2-007	蓋	須惠器	古墳	40	口径 10.5	器高 3.5	SX202	1990.12	2-7	130-172	10	A
HTD-2-008	蓋	須惠器	古墳	完存	口径 12.4	器高 3.3	SX202	1990.12	2-8	130-169	10	A
HTD-2-009	蓋	須惠器	古墳	20	口径 13.4	器高 3.0	SX202	1990.12	3-9	130-170	10	A
HTD-2-010	蓋	須惠器	古墳	不明	口径 15.0號	器高 2.7	SX202	1990.12	3-10	130-171	10	A
HTD-2-011	蓋	須惠器	古墳	不明	口径 13.8號	器高 3.3號	SX202	1990.12	3-11	130-168	10	A
HTD-2-014	蓋	土師器	古墳	50	口径 13.7號	器高 4.4	SX202	1990.12	3-14	130-175	10	A
HTD-2-015	蓋	土師器	古墳	25	口径 11.1號	器高 2.7	SX202	1990.12	3-15	130-184	10	A
HTD-2-016	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	器高 1.3號	SX202	1990.12	4-16	130-185	10	A
HTD-2-018	蓋	土師器	古墳	不明	口径 11.7號	器高 3.2號	SX202	1990.12	4-18	130-174	10	A
HTD-2-020	坏	須惠器	古墳	35	口径 12.2號 底径 9.8號	器高 2.6	SX202	1990.12	4-20	130-181	10	A
HTD-2-021	坏	須惠器	古墳	55	口径 11.2號 底径 -	器高 4.4	SX202	1990.12	4-21	130-179	10	A
HTD-2-022	坏	須惠器	古墳	50	口径 10.0號 底径 5.8號	器高 3.5	SX202	1990.12	5-22	130-176	10	A
HTD-2-023	坏	須惠器	古墳	30	口径 10.5號 底径 -	器高 3.3號	SX202	1990.12	5-23	130-178	10	A
HTD-2-024	坏	須惠器	古墳	20	口径 10.0號 底径 -	器高 3.1號	SX202	1990.12	5-24	130-177	10	A
HTD-2-025	坏	須惠器	古墳	不明	口径 12.4號 底径 -	器高 2.9號	SX202	1990.12	5-25	130-182	10	A
HTD-2-027	坏	須惠器	古墳	不明	口径 13.6號 底径 -	器高 2.2號	SX202	1990.12	5-27	130-183	10	A
HTD-2-028	坏	須惠器	古墳	不明	口径 12.0號 底径 -	器高 2.4號	SX202	1990.12	5-28	130-180	10	A
HTD-2-032	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.2號 底径 -	器高 4.1號	SX202	1990.12	6-32	130-186	10	A
HTD-2-033	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.3號 底径 -	器高 3.5號	SX202	1990.12	6-33	130-187	10	A
HTD-2-034	高坏	土師器	古墳	不明	口径 14.4號 桶部径 -	器高 13.1號	SX202	1990.12	6-34	130-189	10	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	割合(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	ｺﾝﾃﾞｰ	A・B
HTD-2-035	高坏	土師器	古墳	不明	口径 - 裾部径 -	器高 5.6㍎	SX202	1990.12	7-35	130-190	10	A
HTD-2-036	高坏	土師器	古墳	不明	口径 - 裾部径 11.2㍎	器高 3.5㍎	SX202	1990.12	7-36	130-191	10	A
HTD-2-037	甗	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 3.3	器高 11.6㍎	SX202	1990.12	7-37	131-194	10	A
HTD-2-038	甗	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 5.5㍎	SX202	1990.03	7-38	131-193	10	A
HTD-2-039	短頸壺	須恵器	古墳	70	口径 7.4㍎ 底径 -	器高 6.5	SX202	1990.03	7-39	131-192	10	A
HTD-2-040	椀	土師器	古墳	40	口径 11.6㍎ 底径 -	器高 6.3	SX202	1990.12	8-40	130-188	10	A
HTD-2-041	甗	土師器	古墳	80	口径 18.0 底径 -	器高 31.0㍎	SX202	1990.12	9-41	131-197	10	A
HTD-2-042	提瓶	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 10.0㍎	SX202	1990.12	8-42	131-195	10	A
HTD-2-044	甗	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 24.1㍎	SX202	1990.03	11-44	132-204	10	A
HTD-2-046	甗	土師器	古墳	完存	口径 9.1 底径 -	器高 9.4	SX202	1990.03	12-46	131-196	10	A
HTD-2-048	甗	土師器	古墳	不明	口径 18.6㍎ 底径 -	器高 4.6㍎	SX202	1990.12	12-48	131-202	10	A
HTD-2-049	甗	土師器	古墳	不明	口径 11.4㍎ 底径 -	器高 3.6㍎	SX202	1990.12	12-49	131-198	10	A
HTD-2-050	甗	土師器	古墳	不明	口径 17.9㍎ 底径 -	器高 6.1㍎	SX202	1990.12	13-50	131-199	10	A
HTD-2-051	甗	土師器	古墳	不明	口径 17.6㍎ 底径 -	器高 7.6㍎	SX202	1990.12	13-51	131-201	10	A
HTD-2-052	甗	土師器	古墳	不明	口径 27.0㍎ 底径 -	器高 9.7㍎	SX202	1990.12	13-52	132-205	10	A
HTD-2-053	甗	土師器	古墳	不明	口径 30.3㍎ 底径 -	器高 11.0㍎	SX202	1990.12	14-53	132-206	10	A
HTD-2-054	甗	土師器	古墳	不明	口径 18.4㍎ 底径 -	器高 6.4㍎	SX202	1990.12	14-54	131-200	10	A
HTD-2-055	甗	土師器	古墳	不明	口径 18.4㍎ 底径 -	器高 5.2㍎	SX202	1990.12	14-55	131-203	10	A
HTD-2-061	把手	土師器	古墳	不明	長さ 6.2 幅 3.9	厚さ 3.3	SX202	1990.12	16-60	132-211	10	A
HTD-2-064	把手	土師器	古墳	不明	長さ 7.9 幅 4.2	厚さ 4.4	SX202	1990.12	17-63	132-210	10	A
HTD-2-067	把手	土師器	古墳	不明	長さ 6.7 幅 3.6	厚さ 4.4	SX202	1990.12	17-66	132-209	10	A
HTD-2-068	甗	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 13.0㍎	SX202	1990.12	18-67	132-207	10	A
HTD-2-069	甗	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 9.0㍎	SX202	1990.12	18-68	132-208	10	A
HTD-2-079	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.5㍎	SB213	1990.12	20-78	109-111	11	A
HTD-2-080	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.3㍎	SB213	1990.12	20-79	109-112	11	A

東高田遺跡（2区）I種

目録番号	名称	種別	時代	数率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	実測号	Fig. 番号	コナシ	A・B
HTD-2-082	鉄鏃	鉄器	古墳	不明	長さ10.7釐 幅3.6	頸部幅0.5	SB217	1990.12	21-80	112-113	11	A
HTD-2-083	蓋	須恵器	古墳	15	口径12.8釐 器高3.4		SA218	1990.03	22-82	117-117	11	A
HTD-2-085	蓋	土師器	古墳	不明	口径— 器高3.4釐		SB219	1990.12	23-84	112-114	11	A
HTD-2-086	高台付坏	須恵器	古墳	不明	口径— 底径9.3釐 器高2.8釐		SB219	1990.12	23-85	112-115	11	A
HTD-2-087	甕	土師器	古墳	不明	口径— 底径— 器高4.9釐		SB219	1990.12	23-86	112-116	11	A
HTD-2-089	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径— 底径11.1釐 器高2.1釐		SK231	1991.01	24-88	121-122	11	A
HTD-2-090	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径— 底径9.5釐 器高0.8釐		SK231	1991.01	24-89	121-121	11	A
HTD-2-092	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径— 底径7.1釐 器高1.5釐		SK231	1991.01	24-91	121-123	11	A
HTD-2-093	皿	土師器	奈良	不明	口径12.3釐 底径— 器高2.1釐		SK231	1991.01	24-92	121-124	11	A
HTD-2-094	皿	土師器	奈良	15	口径13.2釐 底径10.2釐 器高1.7釐		SK231	1991.01	24-93	121-125	11	A
HTD-2-095	甕	土師器	奈良	不明	口径25.2釐 底径— 器高4.7釐		SK231	1991.01	24-94	121-126	11	A
HTD-2-096	脚	土師器	奈良	不明	長さ10.0 幅3.5 器高1.7釐 厚さ3.4		SK231	1991.01	24-95	121-127	11	A
HTD-2-097	蓋	須恵器	古墳	15	口径7.3釐 器高1.7釐		SD233	1991.01	25-96	128-164	11	A
HTD-2-098	高台付坏	須恵器	古墳	不明	口径— 底径10.0釐 器高1.5釐		SD233	1990.12	25-97	128-165	11	A
HTD-2-100	坏	須恵器	古墳	完形	口径11.3 器高4.5		SD234	1991.03	26-99	128-166	11	A
HTD-2-105	坏	須恵器	古墳	40	口径11.7釐 底径7.4釐 器高4.4釐		SH236	1990.12	27-104	82-2	11	A
HTD-2-106	坏	須恵器	古墳	25	口径8.2釐 底径5.6釐 器高2.6		SH236	1990.12	27-105	82-1	11	A
HTD-2-107	高台付坏	須恵器	古墳	不明	口径— 底径8.6釐 器高2.0釐		SH236	1990.12	27-106	82-3	11	A
HTD-2-108	甕	土師器	古墳	不明	口径11.6釐 底径— 器高7.0釐		SH236	1990.12	27-107	82-4	11	A
HTD-2-109	カマド	土師器	古墳	不明	口径— 底径— 器高8.4		SH236	1990.12	28-108	82-5	11	A
HTD-2-111	蓋	須恵器	古墳	不明	口径— 口径10.0釐 器高1.2釐		SH237	1990.12	29-110	123-128	11	A
HTD-2-113	坏	須恵器	古墳	不明	口径14.8釐 底径— 器高7.2釐		SK237	1990.12	29-112	123-132	11	A
HTD-2-114	坏	須恵器	古墳	不明	口径14.7釐 底径— 器高6.6釐		SK237	1990.12	29-113	123-134	11	A
HTD-2-115	坏	土師器	古墳	30	口径15.8釐 底径11.2釐 器高5.3釐		SK237	1990.12	29-114	123-133	11	A
HTD-2-116	高台付坏	須恵器	古墳	25	口径13.7釐 底径8.3釐 器高5.3釐		SK237	1990.12	29-115	123-129	11	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数量(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナリ	A・B	
HTD-2-117	高台付杯	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 9.2雉	器高 2.3雉	SK237	1990.12	29-116	123-131	11	A	
HTD-2-118	高台付杯	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 9.0雉	器高 1.8雉	SK237	1990.12	29-117	123-130	11	A	
HTD-2-119	皿	土師器	古墳	60	口径 25.6雉	底径 20.4雉	器高 2.2	SK237	1990.12	30-118	123-139	11	A
HTD-2-120	皿	土師器	古墳	不明	口径 15.8雉	底径 11.1雉	器高 2.7	SK237	1990.12	30-119	123-135	11	A
HTD-2-121	皿	土師器	古墳	不明	口径 16.8雉	底径 11.8雉	器高 2.3	SK237	1991.03	30-120	123-136	11	A
HTD-2-122	皿	土師器	古墳	15	口径 16.9雉	底径 13.0雉	器高 2.7	SK237	1990.12	30-121	123-137	11	A
HTD-2-124	皿	土師器	古墳	不明	口径 19.2	底径 -	器高 1.75雉	SK237	1990.12	30-123	123-138	11	A
HTD-2-125	高坏	土師器	古墳	不明	口径 14.6雉	底径 -	器高 1.6雉	SK237	1990.12	31-124	123-141	11	A
HTD-2-126	高坏	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 4.5雉	SK237	1991.03	31-125	123-140	11	A	
HTD-2-127	壺	須恵器	古墳	不明	口径 13.7雉	底径 -	器高 5.6雉	SK237	1990.12	31-126	123-143	11	A
HTD-2-129	甕	土師器	古墳	80	口径 12.4	底径 -	器高 9.9	SK237	1990.12	31-128	123-144	11	A
HTD-2-130	甕	土師器	古墳	不明	口径 20.0雉	底径 -	器高 8.0	SK237	1990.12	31-129	123-145	11	A
HTD-2-131	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.4雉	底径 -	器高 5.4雉	SK237	1990.12	35-130	123-146	11	A
HTD-2-132	甕	土師器	古墳	不明	口径 16.6雉	底径 -	器高 4.3雉	SK237	1990.12	35-131	123-147	11	A
HTD-2-134	甕	土師器	古墳	不明	口径 31.0雉	底径 -	器高 7.7雉	SK237	1990.12	35-133	123-148	11	A
HTD-2-135	甕	土師器	古墳	70	口径 19.2	底径 -	器高 30.4雉	SK237	1990.12	34-134	123-149	11	A
HTD-2-136	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 17.2雉	器高 5.3雉	SK237	1991.03	32-135	124-150	11	A	
HTD-2-137	把手	土師器	古墳	不明	長さ 8.2	幅 4.1	厚さ 4.2	SK237	1990.12	32-136	124-151	11	A
HTD-2-138	カマド	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 8.7雉	SK237	1990.12	33-137	124-152	11	A	
HTD-2-139	手づくね土器	土師器	古墳	95	口径 3.2雉	底径 -	器高 2.0雉	SK237	1990.12	32-138	123-142	11	A
HTD-2-140	釘	鉄製品	古墳	不明	長さ 6.6雉	幅 0.5		SK237	1990.12	33-139	124-153	11	A
HTD-2-144	蓋	須恵器	古墳	90	撮径 -	口径 8.4	器高 2.0	SK240	1991.01	36-143	134-212	12	A
HTD-2-145	蓋	須恵器	古墳	不明	撮径 -	口径 -	器高 3.3雉	SK240	1991.01	36-144	134-214	12	A
HTD-2-146	蓋	須恵器	古墳	20	撮径 -	口径 11.8雉	器高 3.7雉	SK240	1991.01	36-145	134-213	12	A
HTD-2-147	坏	須恵器	古墳	完存	口径 8.9	底径 -	器高 2.8	SK240	1991.03	36-146	134-216	12	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	残率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナシ	A・B
HTD-2-148	坏	須恵器	古墳	10	口径 13.0雉	底径 - 器高 2.5雉	SX240	1991.01	36-147	134-215	12	A
HTD-2-149	坏	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 4.0	器高 2.2雉	SX240	1991.01	36-148	134-217	12	A
HTD-2-151	高坏	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 8.6雉	器高 4.7雉	SX240	1991.01	36-150	134-218	12	A
HTD-2-153	甕	土師器	古墳	不明	口径 27.6雉	底径 - 器高 4.9雉	SX240	1991.01	37-152	134-219	12	A
HTD-2-154	甕	土師器	古墳	不明	口径 11.6雉	底径 - 器高 6.9雉	SX240	1991.01	37-153	134-220	12	A
HTD-2-155	把手	土師器	古墳	不明	長さ 6.7	幅 4.1 厚さ 3.4	SX240	1991.01	37-154	134-222	12	A
HTD-2-156	把手	土師器	古墳	不明	長さ 5.3	幅 3.0 厚さ 2.3	SX240	1991.01	37-155	134-221	12	A
HTD-2-161	蓋	須恵器	奈良	15	口径 - 口径 19.0雉	器高 1.9雉	SH242	1991.01	39-160	85-6	12	A
HTD-2-162	蓋	土師器	奈良	15	口径 - 口径 15.5雉	器高 2.4	SH242	1991.01	39-161	85-7	12	A
HTD-2-163	坏	土師器	奈良	不明	口径 13.8雉	底径 8.5雉 器高 2.4雉	SH242	1991.01	39-162	85-9	12	A
HTD-2-164	高台付坏	須恵器	奈良	15	口径 12.0雉	底径 8.8雉 器高 3.3雉	SH242	1991.01	39-163	85-8	12	A
HTD-2-165	長頸壺	須恵器	奈良	不明	口径 - 底径 -	器高 8.7雉	SH242	1991.01	39-164	85-10	12	A
HTD-2-166	甕	土師器	奈良	80	口径 15.2	底径 - 器高 10.8	SH242	1991.01	39-165	85-11	12	A
HTD-2-167	甕	土師器	奈良	70	口径 - 底径 -	器高 7.9雉	SH242	1991.01	40-166	85-17	12	A
HTD-2-168	甕	土師器	奈良	不明	口径 16.8雉	底径 - 器高 14.6雉	SH242	1991.01	40-167	85-12	12	A
HTD-2-169	甕	土師器	奈良	不明	口径 21.8雉	底径 - 器高 11.9雉	SH242	1991.01	40-168	85-13	12	A
HTD-2-171	甕	土師器	奈良	不明	口径 32.4雉	底径 - 器高 8.5雉	SH242	1991.01	41-170	85-15	12	A
HTD-2-172	甕	土師器	奈良	不明	口径 22.0雉	底径 - 器高 5.9雉	SH242	1991.01	41-171	85-14	12	A
HTD-2-173	甕	土師器	奈良	不明	口径 14.5雉	底径 - 器高 5.7雉	SH242	1991.01	41-172	85-16	12	A
HTD-2-177	瓦		奈良	不明	長さ 5.4雉	幅 8.8雉 厚さ 1.9	SH242	1991.02	42-176	85-19	12	A
HTD-2-178	把手	土師器	奈良	不明	長さ 7.2	幅 4.1 厚さ 3.0	SH242	1991.02	42-350	85-18	12	A
HTD-2-179	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 12.5雉	器高 2.9	SK243	1991.01	43-177	126-154	12	A
HTD-2-180	蓋	土師器	古墳	不明	口径 11.6雉	器高 3.8雉	SK243	1991.01	43-178	126-157	12	A
HTD-2-181	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 3.3	SK243	1991.01	43-179	126-155	12	A
HTD-2-182	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.7雉	SK243	1991.01	43-180	126-156	12	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	残存率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 群	コナマ	A・B
HTD-2-183	鉢	土師器	古墳	不明	口径 11.2 ^推 底径 —	器高 9.4 ^残	SK243	1991.01	43-181	126-158	12	A
HTD-2-184	甕	土師器	古墳	不明	口径 20.4 ^推 底径 —	器高 11.9 ^残	SK243	1991.01	44-182	126-159	12	A
HTD-2-185	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.6 ^推 底径 —	器高 4.8 ^残	SK243	1991.01	44-183	126-160	12	A
HTD-2-193	蓋	土師器	古墳	不明	口径 11.8 ^推 器高 4.3 ^残		SK247	1991.03	47-191	127-161	12	A
HTD-2-194	坏	土師器	古墳	40	口径 10.8 ^推 底径 7.4 ^推	器高 4.6	SK247	1991.03	47-192	127-162	12	A
HTD-2-195	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.6 ^推 底径 —	器高 3.3 ^残	SK247	1991.03	47-193	127-163	12	A
HTD-2-199	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 — 底径 8.0 ^推	器高 1.7 ^残	SX248	1991.03	48-197	136-223	12	A
HTD-2-200	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 — 底径 7.4 ^推	器高 2.2 ^残	SX248	1991.03	48-198	136-224	12	A
HTD-2-201	甕	土師器	奈良	不明	口径 21.7 ^推 底径 —	器高 3.9 ^残	SX248	1991.03	48-199	136-226	12	A
HTD-2-202	壺	土師器	奈良	不明	口径 11.8 ^推 底径 —	器高 3.9 ^残	SX248	1991.03	48-200	136-225	12	A
HTD-2-203	瓦		奈良	不明	長さ 10.3 ^残 幅 10.9 ^残	厚さ 2.0	SX248	1991.03	49-201	136-227	12	A
HTD-2-204	坏	須恵器	古墳	70	口径 11.7 ^推 底径 10.0 ^推	器高 3.5	SH250	1990.12	50-202	87-20	12	A
HTD-2-205	坏	須恵器	古墳	25	口径 11.9 ^推 底径 8.2 ^推	器高 3.6	SH251	1990.12	51-203	89-21	12	A
HTD-2-207	碗	土師器	古墳	80	口径 10.0 底径 —	器高 5.2	SH251	1990.12	51-205	89-22	12	A
HTD-2-208	碗	土師器	古墳	不明	口径 — 底径 —	器高 3.2 ^残	SH251	1990.12	51-206	89-23	12	A
HTD-2-209	高坏	土師器	古墳	不明	口径 — 裾部径 9.3 ^推	器高 2.1 ^残	SH251	1990.12	51-207	89-24	12	A
HTD-2-213	子持勾玉	石製品	古墳	不明	長さ 8.5 ^残 幅 5.5 ^残		SH251	1990.12	51-211	89-25	12	A
HTD-2-214	蓋	須恵器	古墳	20	口径 14.0 ^推 器高 3.7		SH252	1990.12	53-212	92-26	13	A
HTD-2-215	蓋	土師器	古墳	60	口径 11.9 ^推 器高 4.1		SH252	1990.12	53-213	92-27	13	A
HTD-2-216	蓋	土師器	古墳	不明	口径 14.0 ^推 器高 3.5 ^残		SH252	1990.12	53-214	92-28	13	A
HTD-2-218	坏	須恵器	古墳	25	口径 11.2 ^推 底径 6.3 ^推	器高 4.2	SH252	1990.12	53-216	92-30	13	A
HTD-2-219	坏	須恵器	古墳	20	口径 11.0 ^推 底径 5.4 ^推	器高 4.0	SH252	1990.12	53-217	92-29	13	A
HTD-2-221	坏	土師器	古墳	90	口径 13.2 ^推 底径 —	器高 4.3	SH252	1991.01	54-219	92-32	13	A
HTD-2-222	坏	土師器	古墳	90	口径 13.6 底径 —	器高 4.5	SH252	1991.01	54-220	92-33	13	A
HTD-2-223	坏	土師器	古墳	不明	口径 14.0 ^推 底径 —	器高 4.1 ^残	SH252	1991.01	54-221	92-34	13	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	残存(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナナ	A・B	
HTD-2-224	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.8 [#]	底径 -	器高 4.1 [#]	SH252	1990.12	54-222	92-31	13	A
HTD-2-225	坏	土師器	古墳	不明	口径 14.4 [#]	底径 -	器高 3.5 [#]	SH252	1990.12	54-223	92-35	13	A
HTD-2-226	坏	土師器	古墳	不明	口径 16.8 [#]	底径 -	器高 4.2 [#]	SH252	1990.12	54-224	92-36	13	A
HTD-2-227	甕	土師器	古墳	70	口径 13.2 [#]	底径 -	器高 29.5	SH252	1990.12	55-225	93-43	14	A
HTD-2-228	甕	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 -	器高 7.0 [#]	SH252	1990.12	56-226	92-37	13	A
HTD-2-229	甕	土師器	古墳	完形	口径 23.9	底径 -	器高 25.7	SH252	1990.12	57-227	92-42	14	A
HTD-2-230	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.8	底径 -	器高 10.2 [#]	SH252	1990.12	56-228	92-41	13	A
HTD-2-232	甕	土師器	古墳	不明	口径 12.2 [#]	底径 -	器高 14.7 [#]	SH252	1990.12	58-230	92-39	13	A
HTD-2-233	甕	土師器	古墳	不明	口径 16.4 [#]	底径 -	器高 8.1 [#]	SH252	1990.12	58-231	92-40	13	A
HTD-2-234	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.5 [#]	底径 -	器高 7.1 [#]	SH252	1990.12	58-232	92-38	13	A
HTD-2-235	支脚	土製品	古墳	不明	長さ 10.9 [#]	幅 11.5		SH252	1991.01	59-233	93-44	13	A
HTD-2-236	支脚	土製品	古墳	不明	長さ 9.0 [#]	幅 12.0		SH252	1991.01	60-234	93-45	13	A
HTD-2-237	支脚	土製品	古墳	不明	長さ 7.9 [#]	幅 11.5		SH252	1991.01	61-235	93-46	13	A
HTD-2-238	石鏃	石器	古墳	完存	長さ 2.4	幅 1.2	厚さ 0.5	SH252	1990.12	61-236	93-47	13	A
HTD-2-239	蓋	須恵器	古墳	10	口径 -	口径 15.2 [#]	器高 3.2 [#]	SH255	1991.01	62-237	96-48	13	A
HTD-2-240	蓋	土師器	古墳	40	口径 -	口径 14.1 [#]	器高 3.5 [#]	SH255	1991.01	62-238	96-51	13	A
HTD-2-241	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	口径 13.0 [#]	器高 2.5 [#]	SH255	1991.01	62-239	96-49	13	A
HTD-2-242	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	口径 13.0 [#]	器高 2.6 [#]	SH255	1990.12	62-240	96-50	13	A
HTD-2-245	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.1 [#]	底径 -	器高 3.8 [#]	SH255	1990.12	62-243	96-52	13	A
HTD-2-246	高坏	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 -	器高 3.5 [#]	SH255	1990.10	63-244	96-53	13	A
HTD-2-247	高坏	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 15.2 [#]	器高 6.6 [#]	SH255	1991.01	63-245	96-54	13	A
HTD-2-248	甕	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 -	器高 6.7 [#]	SH255	1990.12	63-246	96-55	13	A
HTD-2-249	支脚	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 -	器高 6.0 [#]	SH255	1991.01	63-248	97-65	13	A
HTD-2-250	甕	土師器	古墳	不明	口径 25.0 [#]	底径 -	器高 14.8 [#]	SH255	1991.01	64-249	97-62	13	A
HTD-2-251	甕	土師器	古墳	不明	口径 11.4 [#]	底径 -	器高 11.1 [#]	SH255	1991.01	64-250	97-57	13	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数量(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類番	Fig. 群	ｺﾝﾃﾞ	A・B
HTD-2-252	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.4 ^Ⅱ	底径 - 器高 6.6 ^Ⅱ	SH255	1991.01	64-251	97-59	13	A
HTD-2-253	甗	土師器	古墳	不明	口径 14.7 ^Ⅱ	底径 - 器高 4.8 ^Ⅱ	SH255	1991.01	64-252	97-63	13	A
HTD-2-254	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.0 ^Ⅱ	底径 - 器高 6.3 ^Ⅱ	SH255	1990.12	65-253	97-58	13	A
HTD-2-256	甕	土師器	古墳	不明	口径 16.2 ^Ⅱ	底径 - 器高 3.9 ^Ⅱ	SH255	1991.01	65-255	97-60	13	A
HTD-2-257	甕	土師器	古墳	不明	口径 19.6 ^Ⅱ	底径 - 器高 4.8 ^Ⅱ	SH255	1991.01	65-256	97-61	13	A
HTD-2-258	甕	土師器	古墳	不明	口径 10.7 ^Ⅱ	底径 - 器高 2.9 ^Ⅱ	SH255	1990.12	65-257	97-56	13	A
HTD-2-259	甗	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 8.2 ^Ⅱ 器高 3.6 ^Ⅱ	SH255	1991.01	65-258	97-64	13	A
HTD-2-260	鉄鏃	鉄製品	古墳	不明	長さ 12.5 ^Ⅱ 残	幅 0.9	SH255	1991.01	66-352	97-66	13	A
HTD-2-263	蓋	土師器	古墳	10	撮径 -	口径 13.8 ^Ⅱ 器高 3.5 ^Ⅱ	SH258	1991.01	66-261	99-67	13	A
HTD-2-264	蓋	土師器	古墳	不明	撮径 -	口径 12.5 ^Ⅱ 器高 2.1 ^Ⅱ	SH258	1991.01	66-262	99-68	13	A
HTD-2-265	坏	土師器	古墳	10	口径 12.6 ^Ⅱ	底径 - 器高 2.8 ^Ⅱ	SH258	1991.01	66-263	99-69	13	A
HTD-2-266	坏	土師器	古墳	不明	口径 11.4 ^Ⅱ	底径 - 器高 2.4 ^Ⅱ	SH258	1991.01	66-264	99-70	13	A
HTD-2-269	壺	土師器	古墳	不明	口径 7.0 ^Ⅱ	底径 - 器高 4.1 ^Ⅱ	SH258	1991.01	67-267	99-71	13	A
HTD-2-273	蓋	土師器	古墳	不明	撮径 -	口径 12.3 ^Ⅱ 器高 2.9 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-271	101-72	13	A
HTD-2-274	蓋	土師器	古墳	不明	撮径 -	口径 14.0 ^Ⅱ 器高 2.9 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-272	101-73	13	A
HTD-2-275	坏	土師器	古墳	40	口径 13.6 ^Ⅱ	底径 - 器高 5.8 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-273	101-76	13	A
HTD-2-276	坏	土師器	古墳	30	口径 10.4 ^Ⅱ	底径 - 器高 3.8 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-274	101-75	13	A
HTD-2-277	坏	土師器	古墳	不明	口径 11.6 ^Ⅱ	底径 - 器高 3.6 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-275	101-75	13	A
HTD-2-278	椀	土師器	古墳	10	口径 -	底径 - 器高 5.1 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-276	101-77	13	A
HTD-2-279	壺	土師器	古墳	不明	口径 9.8 ^Ⅱ	底径 - 器高 4.5 ^Ⅱ	SH259	1991.01	68-277	101-78	13	A
HTD-2-280	甗	土師器	古墳	不明	口径 22.8 ^Ⅱ	底径 - 器高 5.9 ^Ⅱ	SH259	1991.01	69-278	101-79	13	A
HTD-2-282	甗	土師器	古墳	不明	口径 22.0 ^Ⅱ	底径 - 器高 8.2 ^Ⅱ	SH260	1991.01	69-280	102-80	13	A
HTD-2-286	蓋	須恵器	古墳	不明	撮径 -	口径 - 器高 2.9 ^Ⅱ	SH261	1991.02	70-284	105-81	13	A
HTD-2-287	脚台	須恵器	古墳	10	撮径 -	口径 17.2 ^Ⅱ 器高 3.4 ^Ⅱ	SH261	1991.02	70-285	105-94	13	A
HTD-2-289	蓋	土師器	古墳	40	撮径 -	口径 14.4 ^Ⅱ 器高 3.7 ^Ⅱ	SH261	1991.02	70-287	105-84	13	A

東高田遺跡 (2区) I種

目録番号	名称	種別	時代	経緯(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナテ	A・B
HTD-2-290	蓋	土師器	古墳	20	撮径 -	口径 12.8# 器高 3.6#	SH261	1991.02	70-288	105-86	13	A
HTD-2-291	蓋	土師器	古墳	10	撮径 -	口径 12.0# 器高 3.4#	SH261	1991.02	70-289	105-85	13	A
HTD-2-292	蓋	土師器	古墳	不明	撮径 -	口径 11.6# 器高 2.5#	SH261	1991.02	70-290	105-83	13	A
HTD-2-293	蓋	土師器	古墳	10	撮径 -	口径 - 器高 1.6#	SH261	1991.02	71-291	105-82	13	A
HTD-2-295	坏	須恵器	古墳	90	口径 11.9	底径 7.7 器高 4.0	SH261	1991.02	71-293	105-89	13	A
HTD-2-296	坏	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 5.4# 器高 3.1#	SH261	1991.02	71-294	105-88	13	A
HTD-2-297	坏	須恵器	古墳	不明	口径 11.9#	底径 - 器高 2.5#	SH261	1991.02	71-295	105-87	13	A
HTD-2-299	坏	土師器	古墳	95	口径 12.2	底径 - 器高 4.0	SH261	1991.02	71-297	105-90	13	A
HTD-2-301	坏	土師器	古墳	不明	口径 18.1#	底径 - 器高 4.0#	SH261	1991.02	71-299	105-93	13	A
HTD-2-302	高坏	土師器	古墳	不明	口径 19.4#	底径 - 器高 4.9#	SH261	1991.02	72-300	105-92	13	A
HTD-2-303	高坏	土師器	古墳	不明	口径 21.0#	底径 - 器高 4.3#	SH261	1991.02	72-301	105-91	13	A
HTD-2-304	支脚	土師器	古墳	不明	幅 6.9#	器高 8.3#	SH261	1991.02	72-302	105-101	13	A
HTD-2-305	支脚	土師器	古墳	不明	幅 8.7#	器高 6.2#	SH261	1991.02	72-303	105-102	13	A
HTD-2-306	甕	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 7.1#	SH261	1991.02	72-304	105-95	13	A
HTD-2-307	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.2#	底径 - 器高 6.7#	SH261	1991.02	73-305	105-96	13	A
HTD-2-308	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.8#	底径 - 器高 6.2#	SH261	1991.02	73-306	105-99	13	A
HTD-2-310	甕	土師器	古墳	不明	口径 18.2#	底径 - 器高 7.7#	SH261	1991.02	74-308	105-100	13	A
HTD-2-311	甕	土師器	古墳	不明	口径 18.4#	底径 - 器高 4.6#	SH261	1991.02	73-309	105-97	13	A
HTD-2-312	甕	土師器	古墳	不明	口径 19.0#	底径 - 器高 7.1#	SH261	1991.02	74-310	105-98	13	A
HTD-2-315	土製丸玉	土製品	古墳	実存	径 0.8		SH261	1991.03	73-313	105-103	13	A
HTD-2-316	鉄鏃	鉄製品	古墳	不明	長さ 8.0#	幅 0.8	SH261	1991.03	73-314	105-104	13	A
HTD-2-320	砥石	石器	古墳	不明	長さ 11.3	幅 9.3 厚さ 6.0	P2041	1990.12	76-318	137-230	15	A
HTD-2-328	砥石	石器	古墳	不明	長さ 21.7#	幅 13.1# 厚さ 11.7	P2125	1991.03	78-326	137-229	15	A
HTD-2-335	支脚	土製品	古墳	不明	長さ 16.0#	幅 9.8	妙子	1990.12	80-333	137-228	15	A
HTD-2-344	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 13.9#	器高 3.5#	SH265	1991.02	83-342	107-105	15	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	割合(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘時期	Fig. 番号	コナシ	A・B
HTD-3-001	蓋	須恵器	古墳	60		口径 12.8㎝ 器高 3.2	SK301	1991.01	1-1	191-136	12	A
HTD-3-003	蓋	土師器	古墳	不明	口径 2.8	口径 2.8 器高 3.2	SK301	1991.01	1-3	191-137	12	A
HTD-3-004	坏	須恵器	古墳	不明	口径 -	口径 - 器高 2.1	SK301	1991.01	1-4	191-138	12	A
HTD-3-006	甕	土師器	古墳	不明	口径 11.6㎝	口径 11.6 器高 9.5	SK301	1991.01	1-6	191-141	12	A
HTD-3-007	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.0㎝	口径 14.0 器高 9.2	SK301	1991.01	2-7	191-140	12	A
HTD-3-008	甕	土師器	古墳	不明	口径 12.4㎝	口径 12.4 器高 6.0	SK301	1991.01	1-8	191-139	12	A
HTD-3-009	鞆羽口	土師器	古墳	不明		口径 7.2	SK301	1991.01	2-9	191-142	12	A
HTD-3-010	坏	土師器	奈良	20	口径 -	口径 8.0 器高 1.9	SD302	1991.02	3-10	202-201	12	A
HTD-3-011	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 -	口径 11.0 器高 1.3	SD302	1991.02	3-11	202-203	12	A
HTD-3-012	高台付坏	須恵器	奈良	不明	口径 -	口径 8.2 器高 0.9	SD302	1991.02	3-12	202-202	12	A
HTD-3-013	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 -	口径 8.5 器高 2.5	SD302	1991.02	3-13	202-202	12	A
HTD-3-014	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 -	口径 9.0 器高 2.3	SD302	1991.02	3-14	202-205	12	A
HTD-3-015	高台付坏	土師器	奈良	不明	口径 -	口径 9.4 器高 0.9	SD302	1991.02	3-15	202-206	12	A
HTD-3-020	皿	須恵器	奈良	不明	口径 -	口径 9.8 器高 1.1	SD302	1991.02	4-50	202-200	12	A
HTD-3-021	皿	須恵器	奈良	不明	口径 -	口径 7.2 器高 0.3	SD302	1991.02	4-51	202-199	12	A
HTD-3-023	坏	須恵器	古墳	不明	口径 12.7㎝	口径 12.7 器高 4.1	SD303	1991.02	4-20	195-168	12	A
HTD-3-026	坏	土師器	平安	不明	口径 -	口径 7.5 器高 1.7	SK306	1991.02	5-23	200-192	12	A
HTD-3-027	坏	土師器	平安	不明	口径 -	口径 7.4 器高 2.0	SK306	1991.02	5-24	200-191	12	A
HTD-3-028	坏	土師器	平安	不明	口径 -	口径 7.3 器高 2.2	SK306	1991.02	5-25	200-193	12	A
HTD-3-029	坏	土師器	平安	不明	口径 -	口径 5.1 器高 1.7	SK306	1991.02	5-26	200-190	12	A
HTD-3-033	椀	土師器	平安	不明	口径 -	口径 8.6 器高 4.7	SK306	1991.02	5-30	200-196	12	A
HTD-3-034	椀	土師器	平安	不明	口径 -	口径 8.9 器高 1.9	SK306	1991.02	6-31	200-194	12	A
HTD-3-035	椀	土師器	平安	不明	口径 -	口径 8.6 器高 3.3	SK306	1991.02	6-32	200-195	12	A
HTD-3-036	椀	黒色土器	平安	不明	口径 16.1㎝	口径 16.1 器高 9.4	SK306	1991.02	6-33	200-197	12	A
HTD-3-039	坏	土師器	平安	15	口径 14.8㎝	口径 14.8 器高 4.8	SE307	1991.02	8-35	197-176	12	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	ｺﾝｸﾞ	A・B
HTD-3-041	坏	土師器	平安	15	口径 15.2# 底径 9.0#	器高 2.8	SE307	1991.02	8-37	197-175	12	A
HTD-3-044	皿	土師器	平安	80	口径 14.3 底径 7.9	器高 1.8	SE307	1991.02	8-40	197-172	12	A
HTD-3-045	皿	土師器	平安	70	口径 17.5 底径 10.7	器高 2.9	SE307	1991.02	8-41	197-174	12	A
HTD-3-046	皿	土師器	平安	60	口径 13.6# 底径 8.2	器高 1.9	SE307	1991.02	8-42	197-171	12	A
HTD-3-047	皿	土師器	平安	15	口径 15.0# 底径 -	器高 3.2#	SE307	1991.02	9-43	197-169	12	A
HTD-3-051	皿	土師器	平安	15	口径 12.0# 底径 -	器高 1.5	SE307	1991.02	9-47	197-170	12	A
HTD-3-052	椀	黑色土器	平安	不明	口径 - 底径 9.8#	器高 1.9#	SE307	1991.02	9-48	197-177	12	A
HTD-3-053	椀	黑色土器	平安	不明	口径 - 底径 7.7	器高 3.0#	SE307	1991.02	9-49	197-178	12	A
HTD-3-054	甕	土師器	平安	不明	口径 25.5# 底径 -	器高 21.0#	SE307	1991.02	10-54	197-179	12	A
HTD-3-055	甕	土師器	平安	不明	口径 25.8# 底径 -	器高 9.9#	SE307	1991.02	7-55	197-180	12	A
HTD-3-057	坏	土師器	平安	60	口径 12.2# 底径 7.4	器高 3.1	SE309	1991.02	11-57	198-183	13	A
HTD-3-058	坏	土師器	平安	30	口径 14.0# 底径 7.2#	器高 3.8	SE309	1991.02	11-58	198-185	13	A
HTD-3-059	坏	土師器	平安	25	口径 12.6# 底径 7.4#	器高 3.5#	SE309	1991.02	11-59	198-184	13	A
HTD-3-060	坏	土師器	平安	30	口径 11.6# 底径 6.6#	器高 3.9	SE309	1991.02	11-60	198-182	13	A
HTD-3-061	坏	土師器	平安	20	口径 11.8# 底径 6.3#	器高 3.0	SE309	1991.02	11-61	198-181	13	A
HTD-3-062	高台付坏	須恵器	平安	不明	口径 - 底径 8.0#	器高 1.2	SE309	1991.02	11-62	198-186	13	A
HTD-3-064	高台付坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 9.4#	器高 1.3#	SE309	1991.02	11-64	198-188	13	A
HTD-3-065	高台付坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 7.4#	器高 1.3#	SE309	1991.02	11-65	198-187	13	A
HTD-3-066	甕	土師器	平安	不明	口径 26.4# 底径 -	器高 19.2#	SE309	1991.02	12-66	198-189	13	A
HTD-3-071	蓋	土師器	古墳	50	口径 14.0#	器高 3.8	SK312	1991.03	14-71	193-146	13	A
HTD-3-072	蓋	土師器	古墳	40	口径 13.0#	器高 4.5	SK312	1991.03	14-72	193-143	13	A
HTD-3-073	蓋	土師器	古墳	15	口径 13.9#	器高 4.1#	SK312	1991.03	14-73	193-145	13	A
HTD-3-074	蓋	土師器	古墳	不明	口径 15.8#	器高 3.7#	SK312	1991.03	14-74	193-147	13	A
HTD-3-075	蓋	土師器	古墳	不明	口径 13.6#	器高 4.1#	SK312	1991.03	14-75	193-144	13	A
HTD-3-076	坏	土師器	古墳	70	口径 11.3# 底径 -	器高 5.0	SK312	1991.03	14-76	193-148	13	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	斫率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	契割番号	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-3-077	坏	土師器	古墳	不明	口径14.0雫	底径— 器高3.8雫	SK312	1991.03	15-77	193-150	13	A
HTD-3-078	坏	土師器	古墳	不明	口径15.3雫	底径— 器高3.9雫	SK312	1991.03	15-78	193-151	13	A
HTD-3-079	坏	土師器	古墳	不明	口径12.0雫	底径— 器高4.1雫	SK312	1991.03	15-79	193-149	13	A
HTD-3-080	碗	土師器	古墳	不明	口径11.9雫	底径— 器高5.5	SK312	1991.03	15-80	193-152	13	A
HTD-3-081	壺	土師器	古墳	不明	口径11.6雫	底径— 器高8.2雫	SK312	1991.03	15-81	194-155	13	A
HTD-3-082	鉢	土師器	古墳	不明	口径19.8雫	底径— 器高8.0	SK312	1991.03	16-82	194-154	13	A
HTD-3-083	甕	土師器	古墳	不明	口径15.5雫	底径— 器高19.3雫	SK312	1991.03	17-83	194-163	13	A
HTD-3-084	甕	土師器	古墳	不明	口径14.5雫	底径— 器高6.6雫	SK312	1991.03	16-84	194-158	13	A
HTD-3-085	甕	土師器	古墳	不明	口径15.0雫	底径— 器高5.1雫	SK312	1991.03	16-85	194-159	13	A
HTD-3-086	甕	土師器	古墳	不明	口径21.0雫	底径— 器高7.1雫	SK312	1991.03	16-86	194-164	13	A
HTD-3-087	甕	土師器	古墳	不明	口径17.1雫	底径— 器高4.1雫	SK312	1991.03	18-87	194-161	13	A
HTD-3-088	甕	土師器	古墳	不明	口径15.3雫	底径— 器高5.0雫	SK312	1991.03	18-88	194-160	13	A
HTD-3-089	甕	土師器	古墳	不明	口径23.0雫	底径— 器高5.5	SK312	1991.03	18-89	194-165	13	A
HTD-3-090	甕	土師器	古墳	不明	口径21.6雫	底径— 器高6.4雫	SK312	1991.03	18-90	194-167	13	A
HTD-3-091	甕	土師器	古墳	不明	口径26.0雫	底径— 器高5.1雫	SK312	1991.03	19-91	194-166	13	A
HTD-3-092	甕	土師器	古墳	不明	口径20.4雫	底径— 器高14.5雫	SK312	1991.03	19-92	194-162	13	A
HTD-3-093	甕	土師器	古墳	不明	口径—	底径— 器高13.4雫	SK312	1991.03	20-93	194-156	13	A
HTD-3-094	甕	土師器	古墳	不明	口径—	底径— 器高12.0雫	SK312	1991.03	20-94	194-157	13	A
HTD-3-096	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径3.7	底径— 器高2.9	SK312	1991.03	21-96	193-153	13	A
HTD-3-109	蓋	須恵器	古墳	不明	口径12.0雫	底径— 器高2.1雫	SH331	1991.03	23-109	185-128	13	A
HTD-3-112	甕	土師器	古墳	不明	口径11.6雫	底径— 器高3.5雫	SH333	1991.03	24-112	185-129	13	A
HTD-3-113	蓋	土師器	古墳	不明	口径14.6雫	底径— 器高4.5	SH353	1991.02	25-113	142-4	13	A
HTD-3-114	蓋	土師器	古墳	不明	口径13.9	底径— 器高4.7	SH353	1991.02	25-114	142-1	13	A
HTD-3-115	蓋	土師器	古墳	不明	口径14.2雫	底径— 器高2.8	SH353	1991.02	25-115	142-2	13	A
HTD-3-116	蓋	土師器	古墳	不明	口径14.2雫	底径— 器高3.1雫	SH353	1991.02	25-116	142-3	13	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	転率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	コナリ	A・B
HTD-3-119	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.1	底径 - 器高 3.8號	SH353	1991.02	26-119	142-6	13	A
HTD-3-120	坏	土師器	古墳	不明	口径 11.6	底径 - 器高 3.3號	SH353	1991.02	26-120	142-5	13	A
HTD-3-121	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.6號	底径 - 器高 3.1號	SH353	1991.02	26-121	142-7	13	A
HTD-3-122	椀	土師器	古墳	50	口径 10.2號	底径 - 器高 6.0號	SH353	1991.02	26-122	142-8	13	A
HTD-3-123	椀	土師器	古墳	不明	口径 11.2號	底径 - 器高 3.8號	SH353	1991.02	26-123	142-9	13	A
HTD-3-124	甕	土師器	古墳	80	口径 18.2	底径 - 器高 26.0號	SH353	1991.02	26-124	142-10	13	A
HTD-3-125	甕	土師器	古墳	不明	口径 18.6號	底径 - 器高 10.0號	SH353	1991.02	26-125	142-13	13	A
HTD-3-126	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.6號	底径 - 器高 3.8號	SH353	1991.02	26-126	142-11	13	A
HTD-3-130	甕	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 7.0號	SH353	1991.02	28-130	142-12	13	A
HTD-3-131	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径 2.6	底径 - 器高 2.0	SH353	1991.02	28-131	142-14	13	A
HTD-3-132	坏	須恵器	古墳	25	口径 11.6號	底径 7.0號 器高 4.4	SH354	1991.03	29-132	144-16	14	A
HTD-3-134	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.2號	底径 - 器高 5.1號	SH354	1991.02	29-134	144-17	14	A
HTD-3-136	把手	土師器	古墳	不明	長さ 8.8	幅 4.6 厚さ 3.8	SH354	1991.03	29-136	144-18	14	A
HTD-3-137	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 -	器高 2.3號	SH355	1991.02	30-137	146-19	14	A
HTD-3-138	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 -	器高 2.9號	SH355	1991.02	30-138	146-20	14	A
HTD-3-139	坏	須恵器	古墳	不明	口径 14.6號	底径 - 器高 3.5號	SH355	1991.02	30-139	146-21	14	A
HTD-3-140	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.6號	底径 - 器高 3.0號	SH355	1991.02	30-140	146-22	14	A
HTD-3-141	高坏	土師器	古墳	不明	口径 -	裾部径 7.2號 器高 7.5號	SH355	1991.02	30-141	146-23	14	A
HTD-3-142	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.0號	底径 - 器高 11.9	SH355	1991.02	31-142	146-25	14	A
HTD-3-143	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.2號	底径 - 器高 17.2號	SH355	1991.02	31-143	146-24	14	A
HTD-3-144	甕	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 9.8號	SH355	1991.02	30-144	146-26	14	A
HTD-3-149	甗	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 10.6號 器高 2.8號	SH355	1991.02	32-149	146-27	14	A
HTD-3-151	カマド	土師器	古墳	不明	長さ 7.9號	幅 8.8號 厚さ 1.1	SH355	1991.02	32-151	146-28	14	A
HTD-3-152	蓋	土師器	古墳	10	口径 12.0號	器高 3.0號	SH356	1991.02	33-152	148-29	14	A
HTD-3-154	坏	須恵器	古墳	不明	口径 9.8號	底径 - 器高 2.7號	SH356	1991.02	33-154	148-30	14	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	残片(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番	コナシ	A・B
HTD-3-155	坏	土師器	古墳	40	口径 11.0 [±] 底径 —	器高 3.0	SH356	1991.02	33-155	148-31	14	A
HTD-3-156	壺	土師器	古墳	不明	口径 11.4 [±] 底径 —	器高 5.4 [±]	SH356	1991.02	33-156	148-32	14	A
HTD-3-157	甕	土師器	古墳	不明	口径 12.4 [±] 底径 —	器高 3.5 [±]	SH356	1991.02	33-157	148-33	14	A
HTD-3-158	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.8 [±] 底径 —	器高 3.9 [±]	SH356	1991.02	33-158	148-34	14	A
HTD-3-160	坏	土師器	古墳	80	口径 13.4 底径 —	器高 4.8 [±]	SH357	1991.02	34-160	151-38	14	A
HTD-3-161	坏	土師器	古墳	90	口径 11.4 底径 —	器高 5.0	SH357	1991.02	34-161	151-37	14	A
HTD-3-162	椀	土師器	古墳	完存	口径 11.6 底径 —	器高 5.8	SH357	1991.02	34-162	151-39	14	A
HTD-3-163	鉢	土師器	古墳	90	口径 16.6 底径 —	器高 6.3	SH357	1991.02	34-163	151-40	14	A
HTD-3-164	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.8 [±] 底径 —	器高 11.4 [±]	SH357	1991.02	34-164	151-45	14	A
HTD-3-165	甕	土師器	古墳	不明	口径 10.4 [±] 底径 —	器高 6.5 [±]	SH357	1991.02	34-165	151-42	14	A
HTD-3-166	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.2 [±] 底径 —	器高 7.8 [±]	SH357	1991.03	35-166	151-44	14	A
HTD-3-167	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.2 [±] 底径 —	器高 8.5 [±]	SH357	1991.02	35-167	151-43	14	A
HTD-3-168	甕	土師器	古墳	不明	口径 9.8 [±] 底径 —	器高 5.9 [±]	SH357	1991.02	35-168	151-41	14	A
HTD-3-169	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径 3.4 底径 —	器高 2.8	SH357	1991.02	35-169	151-46	14	A
HTD-3-170	土錘	土師器	古墳	完存	長さ 3.7 幅 4.5		SH357	1991.02	35-170	151-47	14	A
HTD-3-171	蓋	須恵器	古墳	20	口径 14.7 [±]	器高 4.75 [±]	SH357	1991.02	36-171	151-35	14	A
HTD-3-172	蓋	土師器	古墳	15	口径 16.5 [±]	器高 4.7 [±]	SH357	1991.02	36-172	151-36	14	A
HTD-3-174	蓋	須恵器	古墳	15	口径 11.7 [±]	器高 2.8 [±]	SH358	1991.02	36-174	153-48	14	A
HTD-3-177	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.6 [±] 底径 —	器高 4.1 [±]	SH358	1991.02	37-177	153-49	14	A
HTD-3-178	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.7 [±] 底径 —	器高 2.9 [±]	SH358	1991.02	37-178	153-50	14	A
HTD-3-181	甕	土師器	古墳	不明	口径 21.4 [±] 底径 —	器高 4.2 [±]	SH358	1991.02	37-181	153-51	14	A
HTD-3-182	坏	須恵器	古墳	不明	口径 12.2 [±] 底径 —	器高 2.5 [±]	SH359	1991.03	37-182	155-52	14	A
HTD-3-183	坏	土師器	古墳	不明	口径 12.0 底径 —	器高 4.7	SH359	1991.02	37-183	155-53	14	A
HTD-3-184	坏	土師器	古墳	不明	口径 — 底径 —	器高 3.4 [±]	SH359	1991.02	37-184	155-54	14	A
HTD-3-185	高坏	土師器	古墳	不明	口径 — 脚部径 9.6 [±]	器高 4.8 [±]	SH359	1991.02	37-185	155-55	14	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数量(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類番号	Fig. 番号	ｺﾝﾃﾅ	A・B
HTD-3-187	甕	土師器	古墳	50	口径 14.0# 底径 -	器高 9.8#	SH359	1991.02	38-187	155-58	14	A
HTD-3-188	甕	土師器	古墳	不明	口径 17.7# 底径 -	器高 11.0#	SH359	1991.02	39-188	155-59	14	A
HTD-3-189	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.3# 底径 -	器高 3.5#	SH359	1991.03	39-189	155-57	14	A
HTD-3-190	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.0# 底径 -	器高 3.5#	SH359	1991.02	39-190	155-56	14	A
HTD-3-194	甗	土師器	古墳	50	口径 22.2# 底径 -	器高 20.8#	SH359	1991.02	40-194	155-60	14	A
HTD-3-195	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径 4.4 底径 -	器高 3.2	SH359	1991.02	40-195	155-62	14	A
HTD-3-196	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径 3.5 底径 -	器高 2.6	SH359	1991.02	40-196	155-63	14	A
HTD-3-197	手づくね土器	土製品	古墳	完存	口径 3.4 底径 -	器高 2.2#	SH359	1991.02	40-197	155-61	14	A
HTD-3-198	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	器高 2.2#	SH360	1991.02	41-198	157-61	15	A
HTD-3-199	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	器高 2.4#	SH360	1991.02	41-199	157-62	15	A
HTD-3-200	椀	土師器	古墳	20	口径 11.6# 底径 4.6#	器高 3.9#	SH360	1991.02	41-200	157-64	15	A
HTD-3-201	椀	土師器	古墳	不明	口径 11.8# 底径 -	器高 3.9#	SH360	1991.02	41-201	157-63	15	A
HTD-3-202	甕	土師器	古墳	不明	口径 12.7 底径 -	器高 5.6#	SH360	1991.03	41-202	157-65	15	A
HTD-3-203	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.4#	SH361	1991.03	42-203	159-67	15	A
HTD-3-204	坏	須恵器	古墳	不明	口径 11.7# 底径 -	器高 2.1#	SH361	1991.03	42-204	159-66	15	A
HTD-3-205	坏	須恵器	古墳	15	口径 10.3# 底径 5.4#	器高 3.7	SH362	1991.02	42-205	160-68	15	A
HTD-3-206	坏	須恵器	古墳	不明	口径 12.7# 底径 -	器高 2.4#	SH362	1991.02	42-206	160-69	15	A
HTD-3-207	椀	土師器	古墳	不明	口径 12.2# 底径 -	器高 3.4#	SH362	1991.02	42-207	160-70	15	A
HTD-3-209	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.4# 底径 -	器高 3.6#	SH362	1991.03	42-209	160-71	15	A
HTD-3-212	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 14.4#	器高 2.3#	SH363	1991.03	43-212	162-74	15	A
HTD-3-213	蓋	土師器	古墳	15	口径 16.0#	器高 3.9#	SH363	1991.03	43-213	162-73	15	A
HTD-3-214	蓋	土師器	古墳	不明	口径 14.0#	器高 3.1#	SH363	1991.02	43-214	162-75	15	A
HTD-3-215	壺	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 8.0#	SH363	1991.02	43-215	162-76	15	A
HTD-3-219	支脚	土製品	古墳	不明	器高 5.0# 幅 11.2	厚さ 12.0	SH363	1991.03	45-219	162-77	15	A
HTD-3-221	甕	土師器	古墳	不明	口径 16.0# 底径 -	器高 4.5#	SH366	1991.03	45-221	165-82	15	A

東高田遺跡(3区)I種

目録番号	名称	種別	時代	発祥(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	系番号	Fig. 番号	ｺﾝﾂ	A・B
HTD-3-223	蓋	土師器	古墳	不明	口径一	器高 3.1㍍	SH366	1991.03	45-223	165-79	15	A
HTD-3-225	坏	須恵器	古墳	不明	口径一	器高 1.6㍍	SH366	1991.02	45-225	165-80	15	A
HTD-3-226	碗	土師器	古墳	25	口径 13.9㍍	口径一	SH366	1991.03	45-226	165-81	15	A
HTD-3-227	蓋	須恵器	古墳	50	口径 15.3㍍	器高 4.3	SH367	1991.03	46-227	167-84	15	A
HTD-3-228	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 13.2㍍	器高 1.9㍍	SH367	1991.03	46-228	167-83	15	A
HTD-3-229	蓋	土師器	古墳	50	口径 13.8㍍	器高 4.0	SH367	1991.02	46-229	167-86	15	A
HTD-3-230	蓋	土師器	古墳	不明	口径 13.5㍍	器高 3.4㍍	SH367	1991.02	46-230	167-65	15	A
HTD-3-240	坏	土師器	奈良	50	口径 14.0㍍	口径 9.4㍍	P3189	1991.03	48-240	203-215	15	A
HTD-3-241	坏	土師器	奈良	不明	口径 14.1㍍	口径 9.2㍍	P3189	1991.03	48-241	203-217	15	A
HTD-3-243	坏	土師器	奈良	不明	口径 14.0㍍	口径一	P3189	1991.03	48-243	203-216	15	A
HTD-3-245	皿	土師器	奈良	40	口径 17.2㍍	口径 14.2㍍	P3189	1991.03	48-245	203-212	15	A
HTD-3-246	皿	土師器	奈良	60	口径 17.2㍍	口径 12.8㍍	P3189	1991.03	48-246	203-213	15	A
HTD-3-247	皿	土師器	奈良	25	口径 17.6㍍	口径 14.6㍍	P3189	1991.03	48-247	203-214	15	A
HTD-3-248	皿	土師器	奈良	40	口径 16.4㍍	口径 12.8㍍	P3189	1991.03	49-248	203-210	15	A
HTD-3-249	皿	土師器	奈良	不明	口径 16.3㍍	口径 12.8㍍	P3189	1991.03	49-249	203-209	15	A
HTD-3-251	皿	土師器	奈良	不明	口径 16.7㍍	口径 12.6㍍	P3189	1991.03	49-251	203-211	15	A
HTD-3-252	皿	土師器	奈良	不明	口径 14.8㍍	口径 11.0㍍	P3189	1991.03	49-252	203-208	15	A
HTD-3-254	皿	土師器	奈良	不明	口径 12.7㍍	口径 9.2㍍	P3189	1991.03	49-254	203-207	15	A
HTD-3-256	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.5㍍	口径一	SH369	1991.02	50-256	170-97	15	A
HTD-3-257	甕	土師器	古墳	不明	口径 11.6㍍	口径一	SH369	1991.02	50-257	170-96	15	A
HTD-3-258	甕	土師器	古墳	不明	口径 13.2㍍	口径一	SH369	1991.02	50-258	170-98	15	A
HTD-3-260	甕	土師器	古墳	15	口径 14.2㍍	口径一	SH369	1991.02	50-260	170-95	15	A
HTD-3-263	支脚	土製品	古墳	不明	長さ 16.3㍍	幅 8.1	SH369	1991.03	52-263	170-100	15	A
HTD-3-264	蓋	土師器	古墳	50	口径 15.3㍍	器高 3.7㍍	SH369	1991.03	51-363	169-89	15	A
HTD-3-265	蓋	土師器	古墳	不明	口径 15.2㍍	器高 3.7㍍	SH370	1991.03	53-264	172-103	15	A

東高田遺跡 (3区) I種

目録番号	名称	種別	時代	数率(%)	法	量	遺構名	出土年月	分類番号	Fig. 番号	コナナ	A・B
HTD-3-266	蓋	土師器	古墳	不明	口径 14.0 ^推	器高 3.4 ^推	SH370	1991.03	53-265	172-102	15	A
HTD-3-267	蓋	土師器	古墳	不明	口径 12.9 ^推	器高 3.9 ^推	SH370	1991.03	53-266	172-101	15	A
HTD-3-268	蓋	土師器	古墳	不明	口径 12.8 ^推	器高 3.3 ^推	SH370	1991.03	53-267	172-105	15	A
HTD-3-270	坏	須恵器	古墳	不明	口径 14.3 ^推 底径 -	器高 2.9 ^推	SH370	1991.03	53-269	172-104	15	A
HTD-3-271	坏	土師器	古墳	不明	口径 15.0 ^推 底径 -	器高 3.4 ^推	SH370	1991.03	53-270	172-107	15	A
HTD-3-272	坏	土師器	古墳	不明	口径 14.0 ^推 底径 -	器高 4.5 ^推	SH370	1991.03	54-271	172-106	15	A
HTD-3-277	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.4 ^推 底径 -	器高 5.1 ^推	SH371	1991.03	55-276	174-108	15	A
HTD-3-278	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 7.2 ^推	SH371	1991.03	55-277	174-109	15	A
HTD-3-279	把手	土師器	古墳	不明	長さ 9.0 幅 4.9	厚さ 4.0	SH371	1991.03	55-278	174-110	15	A
HTD-3-281	蓋	土師器	古墳	不明	口径 15.0 ^推	器高 3.5 ^推	SH373	1991.03	56-280	176-111	15	A
HTD-3-282	坏	須恵器	古墳	不明	口径 11.0 ^推 底径 -	器高 3.4 ^推	SH373	1991.03	56-281	176-112	15	A
HTD-3-283	提瓶?	須恵器	古墳	不明	口径 9.3 ^推 底径 -	器高 5.6 ^推	SH373	1991.03	56-282	176-113	15	A
HTD-3-284	蓋	土師器	古墳	25	口径 13.0 ^推	器高 3.8 ^推	SH374	1991.03	56-283	176-114	15	A
HTD-3-285	蓋	土師器	古墳	不明	口径 -	器高 2.2 ^推	SH374	1991.03	56-284	176-115	15	A
HTD-3-286	甕	土師器	古墳	不明	口径 10.4 ^推 底径 -	器高 2.7 ^推	SH374	1991.03	56-285	176-116	15	A
HTD-3-288	蓋	土師器	古墳	不明	口径 11.6 ^推	器高 3.3	SH376	1991.03	57-287	178-117	15	A
HTD-3-289	坏	須恵器	古墳	40	口径 12.8 ^推 底径 5.2 ^推	器高 3.5	SH376	1991.03	57-288	178-121	15	A
HTD-3-290	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.6 ^推	SH376	1991.03	57-289	178-120	15	A
HTD-3-291	坏	須恵器	古墳	20	口径 8.7 底径 -	器高 3.2 ^推	SH376	1991.03	57-290	178-118	15	A
HTD-3-292	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.8 ^推	SH376	1991.03	57-291	178-119	15	A
HTD-3-294	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 4.6 ^推	SH376	1991.03	57-293	178-123	15	A
HTD-3-297	甕	土師器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 4.5 ^推	SH376	1991.03	58-296	178-122	15	A
HTD-3-301	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 -	器高 1.8 ^推	SH377	1991.03	59-300	180-124	15	A
HTD-3-302	蓋	土師器	古墳	不明	口径 13.3 ^推	器高 3.7 ^推	SH377	1991.03	59-301	180-126	15	A
HTD-3-303	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 -	器高 2.4 ^推	SH377	1991.03	59-302	180-125	15	A

東高田遺跡（3区）I種

目録番号	名称	種別	時代	数率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	発掘号	Fig. 番号	ｺﾝﾃﾅ	A・B
HTD-3-304	甕	土師器	古墳	不明	口径 15.3㎎	底径 - 器高 4.4㎎	SH377	1991.03	59-303	180-127	15	A
HTD-3-316	蓋	土師器	古墳	不明	口径 13.6㎎	器高 3.8	SH369	1991.03	61-315	169-87	15	A
HTD-3-318	蓋	土師器	古墳	不明	口径 13.6㎎	器高 3.2㎎	SH369	1991.03	61-317	169-88	15	A
HTD-3-321	坏	須恵器	古墳	80	口径 11.8㎎	底径 - 器高 3.8	SH369	1991.03	62-320	169-90	15	A
HTD-3-322	坏	土師器	古墳	40	口径 14.7㎎	底径 - 器高 4.3	SH369	1991.03	62-321	169-94	15	A
HTD-3-323	坏	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 2.7㎎	SH369	1991.03	62-322	169-91	15	A
HTD-3-324	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.0㎎	底径 - 器高 3.3㎎	SH369	1991.03	62-323	169-92	15	A
HTD-3-325	坏	土師器	古墳	不明	口径 13.4㎎	底径 - 器高 3.7㎎	SH369	1991.03	62-324	169-93	15	A
HTD-3-327	蓋	須恵器	古墳	不明	口径 -	器高 2.9㎎	P3070	1991.03	62-326	189-130	15	A
HTD-3-329	坏	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 1.5㎎	P3071	1991.03	63-328	189-131	15	A
HTD-3-330	甕	土師器	古墳	不明	口径 14.2㎎	底径 - 器高 4.0㎎	P3086	1991.03	63-329	189-135	15	A
HTD-3-331	蓋	土師器	古墳	不明	口径 11.9㎎	器高 3.4㎎	P3107	1991.03	63-330	189-134	15	A
HTD-3-332	坏	土師器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 3.8㎎	P3161	1991.03	63-331	189-133	15	A
HTD-3-333	坏	須恵器	古墳	30	口径 10.8㎎	底径 - 器高 3.6	P3185	1991.03	63-332	189-132	15	A
HTD-3-341	土製鏡	土製品	古墳	完存	長さ 4.2	幅 2.3 厚さ 1.3	P3013	1991.03	64-340	203-224	15	A
HTD-3-354	壺	須恵器	古墳	不明	口径 -	底径 - 器高 5.1㎎	表採	1991.03	67-353	203-219	15	A
HTD-3-355	鉢	土師器	古墳	60	口径 15.1㎎	底径 - 器高 8.3	表採	1991.03	66-354	203-218	15	A
HTD-3-358	甗	土師器	古墳	50	口径 15.9㎎	底径 3.9㎎ 器高 12.8	表採	1991.03	67-357	203-220	15	A
HTD-3-359	砥石	石製品	古墳	不明	長さ 6.6㎎	幅 4.4 厚さ 3.0	表採	1991.03	68-358	203-222	15	A
HTD-3-360	砥石	石製品	古墳	不明	長さ 5.5㎎	幅 6.6 厚さ 2.0	表採	1991.03	68-359	203-223	15	A
HTD-3-361	砥石	石製品	古墳	不明	長さ 9.5㎎	幅 4.2 厚さ 3.4	表採	1991.03	69-360	203-221	15	A
HTD-3-364	管玉	土製品	古墳	完存	長さ 2.9	径 0.7	SH353	1991.03	70-364	142-15	15	A
HTD-3-365	小玉	石製品	古墳	完存	径 0.7	厚さ 0.5	SH368	1991.03	70-365	203-226	15	A
HTD-3-367	石剣	石製品	?	不明	長さ 8.1㎎	幅 4.0	SH365	1991.03	70-367	165-78	15	A
HTD-3-368	鉄鎌	鉄製品	古墳	不明	長さ 8.1㎎	幅 2.3	P3001	1991.03	70-368	203-225	15	A

南宿遺跡(4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	葬率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別号	Fig.番号	ｺﾝﾃﾅ	A・B
NSK-4-001	甕	弥生土器	弥生	30	口径 17.2 \pm	口径 10.8 \pm	SK401	1990.10	1-8	20-5	6	A
NSK-4-002	甕	弥生土器	弥生	15	口径 23.6 \pm	口径 9.7 \pm	SK401	1990.10	1-9	20-6	6	A
NSK-4-003	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	口径 8.2	SK401	1990.10	2-5	20-7	6	A
NSK-4-004	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	口径 8.4 \pm	SK401	1990.10	2-2	20-8	6	A
NSK-4-005	蓋	弥生土器	弥生	50	頭部径 -	口径 20.5	SK401	1990.10	3-10	20-9	6	A
NSK-4-006	蓋	弥生土器	弥生	50	頭部径 -	口径 13.6 \pm	SK401	1990.10	3-11	20-10	6	A
NSK-4-007	鉢	弥生土器	弥生	認識済	口径 11.6	口径 8.5	SK401	1990.10	4-6	20-4	6	A
NSK-4-008	手捏鉢	弥生土器	弥生	完形	口径 7.3	口径 5.1	SK401	1990.10	4-1	20-3	6	A
NSK-4-009	器台	弥生土器	弥生	80	受部径 10.0 \pm	幅部径 10.3 厚さ 17.2	SK401	1990.10	4-7	20-2	6	A
NSK-4-010	器台	弥生土器	弥生	35	受部径 8.8 \pm	幅部径 10.6 \pm 器高 10.0	SK401	1990.10	4-4	20-1	6	A
NSK-4-011	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 -	幅部径 10.6 器高 6.4 \pm	SK401	1990.10	1-3		6	A
NSK-4-012	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 15.6 \pm	口径 8.4 \pm	SE402	1990.10	5-37	10-5	6	A
NSK-4-013	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	口径 5.2 \pm	SE402	1990.10	5-34	10-6	6	A
NSK-4-014	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.4 \pm	口径 42.5 \pm	SE402	1990.10	6-30	11-9	7	A
NSK-4-015	甕	弥生土器	弥生	90	口径 27.6	口径 33.0	SE402	1990.10	7-216	10-2	8	A
NSK-4-016	甕	弥生土器	弥生	75	口径 24.6 \pm	口径 8.0	SE402	1990.10	8-33	10-4	6	A
NSK-4-017	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 \pm	口径 11.6 \pm	SE402	1990.10	9-31	10-1	9	A
NSK-4-018	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 34.6 \pm	口径 6.2 \pm	SE402	1990.10	9-32	10-3	9	A
NSK-4-019	高杯	弥生土器	弥生	40	口径 -	脚部径 19.7 器高 19.4 \pm	SE402	1990.10	10-36	10-8	9	A
NSK-4-020	支脚	弥生土器	弥生	完形	受部径 7.5	幅部径 10.2 器高 8.2	SE402	1990.10	5-40	10-7	9	A
NSK-4-021	板状木製品	木器	弥生	不明	長さ 19.2 \pm	最大幅 13.3 最大厚 2.5	SE402	1990.10	11-2	12-11	19	A
NSK-4-022	杭材	木器	弥生	不明	長さ 36.0 \pm	最大幅 3.7 最大厚 3.7	SE402	1990.10	12-1	12-10	19	A
NSK-4-023	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 -	口径 10.0 器高 16.7 \pm	SK403	1990.10	13-50	22-11	9	A
NSK-4-024	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 -	口径 7.4 器高 15.7	SK403	1990.10	14-49	22-10	9	A
NSK-4-025	壺	弥生土器	弥生	30	口径 7.8 \pm	口径 - 器高 8.0	SK403	1990.10	18-46	22-9	9	A

南宿遺跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	群葬(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	群葬号	Fig. 番号	ｺﾝﾃﾅ	A・B
NSK-4-026	甕	弥生土器	弥生	80	口径 36.1	底径 11.3 器高 38.5	SK403	1990.10	15-215	23-12	10	A
NSK-4-027	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.0 [㊦]	底径 - 器高 6.8	SK403	1990.10	16-216	22-5	9	A
NSK-4-028	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.6 [㊦]	底径 - 器高 3.6 [㊦]	SK403	1990.10	17-44	22-4	9	A
NSK-4-029	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.6 [㊦]	底径 - 器高 3.1 [㊦]	SK403	1990.10	17-42	22-2	9	A
NSK-4-030	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8 [㊦]	底径 - 器高 3.7 [㊦]	SK403	1990.10	17-45	22-3	9	A
NSK-4-031	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.8 [㊦]	底径 - 器高 5.5 [㊦]	SK403	1990.10	17-43	22-1	9	A
NSK-4-032	鉢	弥生土器	弥生	25	口径 11.0 [㊦]	底径 - 器高 5.6 [㊦]	SK403	1990.10	18-48	22-6	9	A
NSK-4-033	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 -	裾部径 10.2 器高 7.0 [㊦]	SK403	1990.10	18-47	22-8	9	A
NSK-4-034	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 16.0 [㊦]	底径 - 器高 3.7 [㊦]	SD405	1990.10	19-62	37-2	11	A
NSK-4-035	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.2 [㊦]	底径 - 器高 2.7 [㊦]	SD405	1990.10	19-61	37-3	11	A
NSK-4-036	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 9.6 [㊦] 器高 4.4 [㊦]	SD405	1990.10	19-58	37-6	11	A
NSK-4-037	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 9.0 [㊦] 器高 6.8 [㊦]	SD405	1990.10	20-52	37-4	11	A
NSK-4-038	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 8.0 器高 1.7 [㊦]	SD405	1990.10	20-53	37-5	11	A
NSK-4-039	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 10.4 [㊦] 器高 3.7 [㊦]	SD405	1990.10	20-54		11	A
NSK-4-040	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 11.4 [㊦] 器高 3.2 [㊦]	SD405	1990.10	20-55	37-8	11	A
NSK-4-041	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 7.4 [㊦] 器高 5.2 [㊦]	SD405	1990.10	20-56	37-7	11	A
NSK-4-042	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 10.2 [㊦] 器高 3.8 [㊦]	SD405	1990.10	20-57		11	A
NSK-4-043	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 11.4 [㊦]	底径 - 器高 4.5 [㊦]	SD405	1990.10	21-63	37-1	11	A
NSK-4-044	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 -	裾部径 9.4 [㊦] 器高 8.4 [㊦]	SD405	1990.10	19-59	37-9	11	A
NSK-4-045	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 -	裾部径 10.8 [㊦] 器高 3.4 [㊦]	SD405	1990.10	19-60	37-10	11	A
NSK-4-046	壺	土師器	古墳	隠形	口径 11.5 [㊦]	丸底 - 器高 13.7	SE407	1990.10	22-66	39-1	11	A
NSK-4-047	甕	土師器	古墳	90	口径 15.9	底径 - 器高 7.3 [㊦]	SE407	1990.10	22-65	39-2	11	A
NSK-4-048	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 - 器高 5.6 [㊦]	SE407	1990.10	22-64	39-3	11	A
NSK-4-049	木錘	木器	弥生	不明	長さ 18.2 [㊦]	最大幅 7.3 器高 4.3	SE407	1990.10	23-217	40-8	20	A
NSK-4-050	木錘	木器	弥生	不明	長さ 16.8 [㊦]	最大幅 7.4 器高 4.1	SE407	1990.10	23-218	40-7	20	A

南宿遺跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	形状(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類群	Fig. 群	コナテ	A・B
NSK-4-051	木錘	木器	弥生	不明	長さ 17.3雫	最大幅 7.6	最大厚 4.4	SE407	1990.10	24-219	40-5	20 A
NSK-4-052	木錘	木器	弥生	不明	長さ 17.2雫	最大幅 7.4	最大厚 3.8	SE407	1990.10	24-220	40-4	20 A
NSK-4-053	木錘	木器	弥生	不明	長さ 17.5雫	最大幅 7.2	最大厚 3.4	SE407	1990.10	25-221	40-6	20 A
NSK-4-054	杯	土師器	平安	不明	口径 -	底径 7.2雫	器高 1.7雫	SK408	1990.10	26-68		11 A
NSK-4-055	復合口縁壺	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 -	器高 7.8雫	SA410	1990.10	27-71	6-1	11 A
NSK-4-056	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.6雫	底径 -	器高 4.4雫	SA410	1990.10	27-69	6-2	11 A
NSK-4-057	台付甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 9.8雫	器高 5.2雫	SA410	1990.10	27-70	6-3	11 A
NSK-4-058	甕	土師器	古墳	不明	口径 -	丸底 -	器高 19.3雫	SE413	1990.10	28-72	42-1	11 A
NSK-4-059	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.6雫	底径 -	器高 17.7雫	SK415	1990.10	29-74	27-5	12 A
NSK-4-060	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.3雫	底径 9.8	器高 19.7	SK415	1990.10	30-77	27-4	12 A
NSK-4-061	甕	弥生土器	弥生	80	口径 15.2雫	底径 -	器高 11.1	SK415	1990.10	31-76	27-3	12 A
NSK-4-062	蓋	弥生土器	弥生	不明	頭部径 5.4	口径 16.6	器高 4.6	SK415	1990.10	32-73	27-1	12 A
NSK-4-063	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 16.7	底径 6.2	器高 8.5	SK415	1990.10	31-75	27-2	12 A
NSK-4-064	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0雫	底径 -	器高 14.0雫	SK416	1990.10	33-78	29-2	12 A
NSK-4-065	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.6雫	底径 -	器高 6.0雫	SK416	1990.10	33-79	29-3	12 A
NSK-4-066	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0雫	底径 -	器高 8.0雫	SK416	1990.10	34-80	29-1	12 A
NSK-4-067	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 7.5	器高 6.0雫	SK416	1990.10	35-81	29-5	12 A
NSK-4-068	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 7.4	器高 4.2雫	SK416	1990.10	35-82	29-4	12 A
NSK-4-069	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 -	器高 14.6雫	SB417	1990.10	36-83	4-4	12 A
NSK-4-070	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 -	底径 13.6雫	器高 3.3雫	SB417	1990.10	36-86	4-5	12 A
NSK-4-071	高杯	弥生土器	弥生	不明	口径 24.6雫	脚部径 -	器高 4.2雫	SB417	1990.10	37-84	4-3	12 A
NSK-4-072	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 9.6雫	裾部径 -	器高 6.2雫	SB417	1990.10	38-87	4-2	12 A
NSK-4-073	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 11.0雫	底径 -	器高 2.3雫	SB417	1990.10	39-85	4-1	12 A
NSK-4-074	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 14.0雫	底径 -	器高 3.4雫	SB418	1990.10	40-89		13 A
NSK-4-075	椀	黑色土器	平安	不明	口径 -	底径 7.6雫	器高 3.0雫	SB418	1990.10	39-92	43-3	13 A

南宿道跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	群率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	群番号	Fig. 群	刃方	A・B
NSK-4-076	杯	土師器	平安	不明	口径 —	底径 7.2	器高 1.4	SB418	39-90	43-2	13	A
NSK-4-077	皿	土師器	平安	25	口径 10.2	底径 6.0	器高 1.2	SB418	39-91	43-1	13	A
NSK-4-078	砥石	石製品	平安	不明	最大長 8.1	最大幅 7.3	最大厚 2.9	SB418	41-93	43-6	13	A
NSK-4-079	杯	土師器	平安	50	口径 13.2	底径 7.8	器高 3.3	SB419	42-94	43-4	13	A
NSK-4-080	杯	土師器	平安	70	口径 12.8	底径 6.7	器高 3.1	SB419	42-95	43-5	13	A
NSK-4-081	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.4	底径 —	器高 2.4	SR420	43-196	8-3	13	A
NSK-4-082	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 10.2	器高 4.4	SR420	43-201	8-4	13	A
NSK-4-083	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.5	底径 —	器高 4.8	SR420	43-197	8-2	13	A
NSK-4-084	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 13.6	底径 —	器高 5.0	SR420	43-198	8-1	13	A
NSK-4-085	高杯	弥生土器	弥生	不明	口径 —	脚部径 —	器高 3.9	SR420	44-200	8-5	13	A
NSK-4-086	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 —	裾部径 14.6	器高 9.5	SR420	43-199	8-6	13	A
NSK-4-087	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.4	底径 —	器高 7.9	SE421	45-98	14-4	13	A
NSK-4-088	甕	弥生土器	弥生	25	口径 21.4	底径 —	器高 5.3	SE421	45-99	14-1	13	A
NSK-4-089	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2	底径 —	器高 6.6	SE421	45-100	14-3	13	A
NSK-4-090	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.0	底径 —	器高 3.9	SE421	45-101	14-2	13	A
NSK-4-091	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 9.0	器高 7.9	SE421	46-102	14-7	13	A
NSK-4-092	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 9.0	器高 7.0	SE421	46-103	14-6	13	A
NSK-4-093	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 8.6	器高 8.2	SE421	46-104	14-5	13	A
NSK-4-094	鉢	弥生土器	弥生	完形	口径 15.9	底径 4.8	器高 8.9	SE421	47-108	14-10	13	A
NSK-4-095	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 16.8	底径 —	器高 5.1	SE421	47-106	14-9	13	A
NSK-4-096	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 12.0	底径 —	器高 5.0	SE421	47-107	14-8	13	A
NSK-4-097	高杯	弥生土器	弥生	不明	口径 —	脚部径 16.1	器高 14.7	SE421	48-109	14-12	13	A
NSK-4-098	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 —	裾部径 14.0	器高 9.0	SE421	48-105	14-11	13	A
NSK-4-099	石斧柄	木器	弥生	不明	最大長 9.8	最大幅 3.6	最大厚 2.5	SE421	49-222	14-13	21	A
NSK-4-100	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 8.2	底径 —	器高 2.5	SE423	50-146	17-24	14	A

南宿遺跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	斫率(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	類別	Fig. 番号	コナリ	A・B
NSK-4-101	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 13.8 \pm	底径 — 器高 3.5 \pm	SE423	1990.10	50-147	17-25	14	A
NSK-4-102	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 10.2 \pm	底径 — 器高 5.8 \pm	SE423	1990.10	51-151	17-27	14	A
NSK-4-103	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 11.4 \pm	底径 — 器高 4.8 \pm	SE423	1990.10	52-120	17-26	14	A
NSK-4-104	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 7.6 \pm 器高 3.8 \pm	SE423	1990.10	59-140	17-29	14	A
NSK-4-105	甕	弥生土器	弥生	30	口径 17.8 \pm	底径 — 器高 15.2 \pm	SE423	1990.10	51-126	16-8	14	A
NSK-4-106	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 15.8 \pm	底径 — 器高 4.0 \pm	SE423	1990.10	52-117		14	A
NSK-4-107	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.2 \pm	底径 — 器高 5.8 \pm	SE423	1990.10	52-118	16-7	14	A
NSK-4-108	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 17.4 \pm	底径 — 器高 3.2 \pm	SE423	1990.10	52-119	16-5	14	A
NSK-4-109	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 17.2 \pm	底径 — 器高 5.5 \pm	SE423	1990.10	52-124	16-6	14	A
NSK-4-110	甕	弥生土器	弥生	25	口径 26.6 \pm	底径 — 器高 19.0 \pm	SE423	1990.10	53-125	16-11	14	A
NSK-4-111	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 37.2 \pm	底径 — 器高 8.7 \pm	SE423	1990.10	53-112	16-12	14	A
NSK-4-112	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.0 \pm	底径 — 器高 5.7 \pm	SE423	1990.10	54-113	16-10	14	A
NSK-4-113	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.3 \pm	底径 — 器高 5.1 \pm	SE423	1990.10	54-114	16-9	14	A
NSK-4-114	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 16.7 \pm	底径 — 器高 3.0 \pm	SE423	1990.10	54-115	16-4	14	A
NSK-4-115	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.1 \pm	底径 — 器高 2.8 \pm	SE423	1990.10	54-116	16-1	14	A
NSK-4-116	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 15.0 \pm	底径 — 器高 6.1 \pm	SE423	1990.10	55-122	16-2	14	A
NSK-4-117	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 16.2 \pm	底径 — 器高 5.9 \pm	SE423	1990.10	55-123	16-3	14	A
NSK-4-118	甕	弥生土器	弥生	50	口径 26.8 \pm	底径 7.4 \pm 器高 17.0	SE423	1990.10	56-144	18-40	14	A
NSK-4-119	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 8.0 \pm 器高 8.5 \pm	SE423	1990.10	57-133	17-22	14	A
NSK-4-120	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 6.0 \pm 器高 7.5 \pm	SE423	1990.10	57-134	17-21	14	A
NSK-4-121	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 7.0 \pm 器高 6.0 \pm	SE423	1990.10	57-135	17-20	15	A
NSK-4-122	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 5.6 \pm 器高 3.1 \pm	SE423	1990.10	57-136	17-13	15	A
NSK-4-123	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 6.0 \pm 器高 2.2 \pm	SE423	1990.10	57-137	17-28	15	A
NSK-4-124	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 —	底径 7.7 \pm 器高 3.5 \pm	SE423	1990.10	57-138	17-16	15	A
NSK-4-125	甕	弥生土器	弥生	底25	口径 —	底径 11.2 \pm 器高 3.7 \pm	SE423	1990.10	58-128	17-19	15	A

南宿遺跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	群葬(%)	法	量 (cm)	遺構名	出土年月	契割号	Fig. 番号	コナナ	A・B
NSK-4-126	甕	弥生土器	弥生	底50	口径—	底径7.6 ^㉜ 器高3.3 ^㉜	SE423	1990.10	58-129	17-15	15	A
NSK-4-127	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径9.4 ^㉜ 器高7.6 ^㉜	SE423	1990.10	58-130	17-23	15	A
NSK-4-128	甕	弥生土器	弥生	底50	口径—	底径8.6 ^㉜ 器高3.5 ^㉜	SE423	1990.10	58-131	17-17	15	A
NSK-4-129	甕	弥生土器	弥生	底20	口径—	底径9.0 ^㉜ 器高3.5 ^㉜	SE423	1990.10	58-132	17-18	15	A
NSK-4-130	甕	弥生土器	弥生	底25	口径—	底径7.0 ^㉜ 器高3.6 ^㉜	SE423	1990.10	58-139	17-14	15	A
NSK-4-131	蓋	弥生土器	弥生	不明	頸部径5.7	口径— 器高5.4 ^㉜	SE423	1990.10	59-154	18-30	15	A
NSK-4-132	蓋	弥生土器	弥生	不明	頸部径—	口径14.4 ^㉜ 器高4.0 ^㉜	SE423	1990.10	59-155	18-31	15	A
NSK-4-133	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径17.4 ^㉜	底径— 器高5.8 ^㉜	SE423	1990.10	55-121	18-37	15	A
NSK-4-134	鉢	弥生土器	弥生	器部	口径15.0	底径5.1 器高7.8	SE423	1990.10	56-148	18-39	15	A
NSK-4-135	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径12.6 ^㉜	底径5.0 ^㉜ 器高6.5	SE423	1990.10	56-152	18-38	15	A
NSK-4-136	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径20.4 ^㉜	底径— 器高4.7 ^㉜	SE423	1990.10	60-159	18-34	15	A
NSK-4-137	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径16.8 ^㉜	底径— 器高4.5 ^㉜	SE423	1990.10	60-145	18-36	15	A
NSK-4-138	椀	弥生土器	弥生	不明	口径12.0 ^㉜	底径— 器高4.4 ^㉜	SE423	1990.10	60-153	18-35	15	A
NSK-4-139	高杯	弥生土器	弥生	不明	口径—	脚部径4.6 ^㉜ 器高3.0 ^㉜	SE423	1990.10	59-157	18-33	15	A
NSK-4-140	器台	弥生土器	弥生	50	受部径10.5 ^㉜	裾部径10.3 ^㉜ 器高9.9	SE423	1990.10	61-156	18-32	15	A
NSK-4-141	甕	弥生土器	弥生	50	口径31.6 ^㉜	底径— 器高3.5 ^㉜	SK424	1990.10	62-160	31-8	15	A
NSK-4-142	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径— 器高7.1 ^㉜	SK424	1990.10	62-161	31-5	15	A
NSK-4-143	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径— 器高5.6 ^㉜	SK424	1990.10	62-162	31-7	15	A
NSK-4-144	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径— 器高5.9 ^㉜	SK424	1990.10	62-166	31-6	15	A
NSK-4-145	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径11.0 ^㉜ 器高2.9 ^㉜	SK424	1990.10	62-163	31-11	15	A
NSK-4-146	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径8.0 ^㉜ 器高3.3 ^㉜	SK424	1990.10	63-164	31-10	15	A
NSK-4-147	甕	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径8.6 ^㉜ 器高4.0 ^㉜	SK424	1990.10	63-165	31-9	15	A
NSK-4-148	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径—	底径— 器高3.9 ^㉜	SK424	1990.10	63-169	31-1	15	A
NSK-4-149	高杯	弥生土器	弥生	不明	口径—	脚部径14.4 ^㉜ 器高4.2 ^㉜	SK424	1990.10	63-168	31-4	15	A
NSK-4-150	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径—	裾部径14.6 ^㉜ 器高3.7 ^㉜	SK424	1990.10	63-167	31-3	15	A

南宿遺跡 (4区) I種

目録番号	名称	種別	時代	釋率(%)	法量 (cm)	遺構名	出土年月	集積号	Fig. 号	コナリ	A・B
NSK-4-151	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 14.0# 器高 4.0#	SK424	1990.10	63-223	31-2	15	A
NSK-4-152	甕	弥生土器	弥生	25	口径 36.0# 底径 — 器高 6.3#	SK425	1990.10	64-170	32-12	15	A
NSK-4-153	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 34.0# 底径 — 器高 25.3#	SK425	1990.10	64-171	32-13	15	A
NSK-4-154	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.6# 底径 — 器高 3.8#	SK425	1990.10	64-172	31-9	15	A
NSK-4-155	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.6# 底径 — 器高 6.6#	SK425	1990.10	64-173	32-10	15	A
NSK-4-156	甕	弥生土器	弥生	20	口径 22.0# 底径 — 器高 7.5#	SK425	1990.10	65-174	32-11	15	A
NSK-4-157	甕	弥生土器	弥生	口25	口径 30.4# 底径 — 器高 10.2#	SK425	1990.10	65-184	32-14	16	A
NSK-4-158	甕	弥生土器	弥生	底50	口径 — 底径 10.4 器高 4.6#	SK425	1990.10	66-175	32-16	16	A
NSK-4-159	甕	弥生土器	弥生	底50	口径 — 底径 5.6# 器高 2.0#	SK425	1990.10	66-176	32-15	16	A
NSK-4-160	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 8.6# 底径 — 器高 4.6#	SK425	1990.10	66-177	32-3	16	A
NSK-4-161	鉢	弥生土器	弥生	25	口径 13.0# 底径 — 器高 6.0#	SK425	1990.10	66-178	32-1	16	A
NSK-4-162	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.6# 底径 — 器高 3.1#	SK425	1990.10	66-179	32-2	16	A
NSK-4-163	器台	弥生土器	弥生	80	口径 8.6 底径 11.4 器高 13.3	SK425	1990.10	67-180	32-7	16	A
NSK-4-164	器台	弥生土器	弥生	30	口径 — 底径 14.0# 器高 13.3#	SK425	1990.10	67-181	32-8	16	A
NSK-4-165	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 底径 9.8# 器高 7.5#	SK425	1990.10	67-182	32-5	16	A
NSK-4-166	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 7.4# 底径 — 器高 4.5#	SK425	1990.10	67-183	32-4	16	A
NSK-4-167	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 底径 11.8# 器高 5.5#	SK425	1990.10	67-184	32-6	16	A
NSK-4-168	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.0# 底径 — 器高 14.8#	SK426	1990.10	68-185	34-11	16	A
NSK-4-169	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.6# 底径 — 器高 10.5#	SK426	1990.10	68-186	33-6	16	A
NSK-4-170	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.3# 底径 — 器高 7.5#	SK426	1990.10	69-187	33-7	16	A
NSK-4-171	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.9# 底径 — 器高 6.4#	SK426	1990.10	69-188	33-8	16	A
NSK-4-172	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.4# 底径 — 器高 6.4#	SK426	1990.10	69-189	33-9	16	A
NSK-4-173	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0# 底径 — 器高 4.1#	SK426	1990.10	70-190	33-5	16	A
NSK-4-174	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 14.7# 底径 — 器高 6.2#	SK426	1990.10	70-192	33-4	16	A
NSK-4-175	甕	弥生土器	弥生	25	口径 31.8# 底径 11.7# 器高 35.5	SK426	1990.10	71-191	34-12	16	A

佐賀市文化財調査報告書第38集
原ノ町遺跡・東高田遺跡・櫟木遺跡
北宿遺跡・南宿遺跡

平成4年3月31日

発行 佐賀市教育委員会
佐賀市栄町1番1号

印刷 (株)佐賀印刷社
佐賀市高木瀬西六丁目11-7